学修の手引き

第 3 学 年

（ Segment 6 ）

2022 年度

東京女子医科大学
医 学 部

目　　次

東京女子医科大学設立の精神…… 1
東京女醫學校設立主意…… 2
序　言…… 3

東京女子医科大学の目的…… 4
東京女子医科大学医学部における４つのポリシー …… 5
MD プログラム 2011 改訂版について…… 8
　学部教育を通じて達成する医師としての実践力…… 9
　医の実践力_アウトカム・ロードマップ…… 11
　慈しむ心の姿勢_アウトカム・ロードマップ…… 14
　カリキュラムの構造…… 16
　週間の授業予定…… 17

セグメント６
Ⅰ　学修内容…… 18

Ⅱ　到達目標
　Ａ．包括的到達目標…… 19
　Ｂ．科目別シラバス
　・基幹科目
　「脳神経系１（構造・機能)」…… 23
　「脳神経系２（病態・疾患・治療・症候)」…… 47
　「精神系（病態・疾患・治療)」…… 72
　「聴覚・耳鼻咽喉系（構造・機能・病態・症候・疾患)」…… 83
　「眼・視覚系（構造・機能・病態・症候・疾患)」…… 106
　「運動器系（構造・機能・病態・疾患・治療・症候)」…… 124
　「皮膚粘膜系（構造・機能・病態・症候・疾患)」…… 143
　・臨床系実習スケジュール　…… 158
　・縦断教育科目
　「「至誠と愛」の実践学修」…… 160
　「研究プロジェクト」……186
　「国際コミュニケーション」……202
　「AI・データサイエンスと医療」……204
　「健康管理」……210
　基礎研究医養成プログラム　……215

Ⅲ　試験科目表・試験日程表……217

Ⅳ　Team-based learning(TBL)
　1　ＴＢＬについて ……219
　2　ＴＢＬ課題一覧表……222
　3　リソースパーソン……225

Ⅴ　第３学年教育委員会・学生委員……228

Ⅵ　選択科目……229

Ⅶ　講義・実習時間割表……231

東京女子医科大学設立の精神

Ⅰ． 建学の精神

東京女子医科大学は、1900 年（明治 33 年）に創立された東京女醫學校を母体として設立された。東京女子医科大学の創立者である吉岡彌生は、1952 年（昭和 27 年）新制大学設立に際し、東京女醫學校創立の主意をもって建学の精神とした。その主旨は、高い知識・技能と病者を癒す心を持った医師の育成を通じて、精神的・経済的に自立し社会に貢献する女性を輩出することであった。新制大学設立時の学則には「医学の蘊奥を究め兼ねて人格を陶冶し社会に貢献する女性医人を育成する。」と記されている。

建学の精神に基づく医療人育成の場として、1998 年（平成 10 年）度より新たに看護学部が新設された。医療を行うものが学ぶ学府として、現在の東京女子医科大学の使命は、最良の医療を実践する知識・技能を修め高い人格を陶冶した医療人および医学・看護学研究者を育成する教育を行うことである。大学建学の精神に基づき、大学教育では社会に貢献する女性の医療人を育成する。

Ⅱ． 大学の理念

東京女子医科大学の使命を達成するための教育・研究・診療の基盤となる理念は、「至誠と愛」である。至誠は、「常住不断私が患者に接するときの根本的な心構えを短い二つの文字のなかに言い現したもの（吉岡彌生傳）」という創立者吉岡彌生の座右の銘であり、「きわめて誠実であること」「慈しむ心（愛）」は教育・研究・診療の総ての場において求められる。大学およびそこに学び働くものは本学の理念である「至誠と愛」に従って活動しなくてはならない。

東京女醫學校

○設立主意

世界ノ文化ハ日一日ト其歩ヲ進メ我日本モ泰西ノ制度文物輸入以來女子ノ教育ハ長足ノ進歩ヲ成シ今ヤ普通教育ニ至リテハ殆ンド間然スル所ナシ豈吾人女子ノ至幸之レニ比スルモノアランヤ蓋シ一歩ヲ進メテ益々其必要ヲ感ズルハ女子ノ専門學ニアリ由來女子ノ専門學ナルモノハ歐米ニ於テハ業ニ既ニ數十年以前ヨリ實施サレ其職ヲ或ハ政治界ニ或ハ新聞記者ニ或ハ醫業ニ或ハ教育界ニ或ハ銀行會社ニ奉ジツヽ、其資格毫モ男子ト軒輊スル處ナシ我邦モ條約實施以來對等ノ地位ヲ以テ列國ト交際スルニ至リタレバ女子ノ品位モ彼我又對等ナラザルヲ得ズ此際ニ當リテ社會ノ人心皆茲ニ意ヲ注クト雖モ其意ヲ滿タスノ設備不完全ナルヲ如何セン思フニ女子ノ専門學校トシテハ女子師範學校、音楽學校、美術學校等ノ設ケアリテ各自其志望ヲ達セシムルト雖モ獨リ女醫學校ニ至リテハ未タ日本全國否日本ノ首府タル東京ニ於テ其設立アルヲ見ズ聞説ク將ニ設立セラレントスル女子大學ニ於テモ文學科家政科等アル而已ト余ノ考フル處ニ依レバ女子ノ本性ニ最モ適シ且ツ女子ノ品位ヲ高尚ナラシムル業務ハ醫學ヲ以テ唯一ノ専門學トス随テ斯學ニ志スノ女子又少シト云フ可ラス然ルニ是等ノ姉妹ニ其志ヲ遂ゲシムル學校ナキハ我邦學校設備ノ欽點ニシテ幾多ノ高尚ナル思想アル姉妹ヲシテ岐路ニ迷ハシム是千歳ノ恨事ニアラズヤ已レ女醫ノ業ニ従事スル茲ニ九年塾ラ々々女醫教育ノ不完全ト女子ノ醫學研究ノ困難トヲ見滿腔ノ同情ハ傍觀座視スルニ忍ビス浅學不才ヲ顧ミズ決然起テ女醫學校ヲ設立スル所以ナリ

明治三十三年十一月

東京女醫學校主　鷲山彌生　識

序　言

学　長

東京女子医科大学は、社会的に自立する女性医療者の育成を建学の精神として、「至誠と愛」を理念に創立され、100 年以上に渡り医学生を育ててきた。良い医師を育てるために、質の高い教育を行い、優れた医療を提供し、医学に係わる高い水準の研究を推進してきた。本学は医学生が学ぶために最良の環境と教育プログラムを用意している。学生にはこの環境とプログラムを最も有効に活用して学んでもらいたい。

本学の最新の教育プログラムは 2017 年度に改訂された MD プログラム 2011（2011 年度 1 年生より導入）であるが、その原形は 1990 年に日本で初めてのテュートリアル教育、インタビュー教育（その後、『ヒューマンリレーションズ』、『人間関係教育』、そして 2018 年度には『「至誠と愛」の実践学修』に発展）、そして関連領域全体を理解して学ぶ統合カリキュラムである。

MD プログラム 2011 では、学生が学ぶ目標、すなわち自分が卒業するときに達成すべき知識・技能・態度の専門的実践力をアウトカム、アウトカムに到る途中の目標をロードマップで示した教育プログラムが導入された。2017 年度の改訂では、医師としての実践力の基本を学部卒業時に達成するための臨床教育の改善が行われた。2018 年度には、医師の態度、振る舞い、倫理、コミュニケーション力、女性医師キャリアなどを、創立者が臨床で常に実践した信念である「至誠と愛」の理念のもと、現代の医療を実践するカリキュラムとして、従来の『人間関係教育カリキュラム』を改訂し『「至誠と愛」の実践学修』と改称した。本学の教育は、至誠と愛を実践する良い医師となるための教育であるが、学生は本学で学ぶその意義を認識し、本学の卒業生としてこの理念を継承する自覚を持って学修してもらいたい。

どのように学修するかが示されているのが、この「学修の手引き」である。学生、教員がともに学修の目標、方法、内容、評価を共通に理解することが、良い教育が行われる一つの条件である。この手引きが有効に活用されることを望む。

東京女子医科大学の目的

本学は、教育基本法および学校教育法に基づき、女子に医学の理論と実際を教授し、創造的な知性と豊かな人間性を備え、社会に貢献する医人を育成するとともに、深く学術を研究し、広く文化の発展に寄与することを目的とする。『学則第１条』

医学部の教育目標

将来医師の活躍しうる様々な分野で、必要な基本的知識、技術及び態度を身に体し、生涯に亘って学修しうる基礎を固める。

すなわち、自主的に課題に取り組み、問題点を把握しかつ追求する姿勢を養い、医学のみならず広く関連する諸科学を照覧して理論を構築し、問題を解決できる能力及び継続的に自己学修する態度を開発する。さらに、医学・医療・健康に関する諸問題にとり組むにあたっては、自然科学に留まらず、心理的、社会的、倫理的問題等も含め、包括的にかつ創造的に論理を展開でき、様々な人と対応できる全人的医療人として素養を涵養する。

東京女子医科大学医学部における
人材の養成に関する目的・その他の教育上の目的

(趣旨)

第１条　本内規は、東京女子医科大学学則第１条第２項及び東京女子医科大学院学則第１条に基づき、人材の養成に関する目的、その他の教育研究上の目的に関して必要な事項を定める。

(医学部の目的)

第２条　医学部における人材の養成に関する目的は次のとおりとする。

(1)「至誠と愛」を実践する女性医師および女性研究者を育成すること。

(2) 社会を先導する医療人、そして多様なキャリア形成とライフサイクルの中で、自分を磨き続けることのできる女性医師あるいは女性研究者を育成すること。

2　医学部におけるその他教育研究上の目的は次のとおりとする。

(1) 将来医師として自らの能力を磨き、医学の知識・技能を修得し、生涯にわたって学習を継続しうる基礎的能力を獲得すること。

(2) 患者一人ひとりに向き合い、それぞれの悩みを解決でき、かつ医療を実践する過程で、様々な人々と協働できる素地を獲得すること。

東京女子医科大学医学部における４つのポリシー

ディプロマ・ポリシー（卒業認定・学位授与の方針）

卒業時には定められた授業科目を修了し、学修成果（アウトカム）に示す「医の実践力」と「慈しむ心の姿勢」を修得して以下の能力を備えることが求められます。

1. 医師としての基本的診療能力を持ち、考え、行動することができる。
2. 自ら問題を発見し解決する能力を持つ。
3. 医学の発展、変化する地域や国際的な医療に適応する科学的および臨床的思考力を持つ。
4. 安全な医療を行える能力を有する。
5. 生涯にわたり女性医師として「至誠と愛」の理念を持ち、振る舞い、自立して社会に貢献する意思を持つ。

要件を満たした者には卒業を認め、学士（医学）を授与します。

カリキュラム・ポリシー　（教育課程編成・実施の方針）

卒業時に達成すべき医師として必要な基本知識、技能および態度を「医の実践力」および「慈しむ心の姿勢」として示した学修成果（アウトカム）を達成し、建学の精神に沿って自立して社会に貢献する医療者となる基礎を体得し、大学の理念である「至誠と愛」を生涯に亘り実践するカリキュラムが構築されています。アウトカムを達成するための段階的な目標はロードマップとして示され、様々なカリキュラム、学修法によりロードマップとアウトカムを達成します。

「医の実践力」の学修は、1年次から6年次まで関連した専門領域が統合（水平的統合）されたセグメントとして10に区分されたカリキュラム、および縦断的カリキュラムとして「情報処理・統計」、「国際コミュニケーション」および「基本的・医学的表現技術」を6学年通して統合（垂直的統合）し学修します。「医の実践力」に含まれる、自主的に課題に取り組み、問題点を把握しかつ追求する姿勢を養い、医学のみならず広く関連する諸科学を照覧して理論を構築し、問題を解決できる能力および継続的に自己学修する力を、テュートリアル、チーム基盤型学修、研究プロジェクト等の能動学修プログラムおよび各セグメントにおける実習を通じて学びます。

「慈しむ心の姿勢」の学修は、専門職としての使命感、倫理感、態度、女性医師としての特徴、キャリア、リーダーシップとパートナーシップ、コミュニケーション、医療安全、チーム医療等を体得する「『至誠と愛』の実践学修」が水平的ならびに垂直的に統合され6年間を通して学びます。一部は、セグメント科目やテュートリアルでも学びます。

医師となる訓練として、1年次から段階的に患者さんと接する実践の場やシミュレーション等で学ぶ機会が設けられ、4年次修了までに「医の実践力」および「慈しむ心の姿勢」の学修を含め、医師としての基本的知識、技能、態度の修得が求められ、さらに5年次から6年次では指導者の下で診療に参画して学修する診療参加型臨床実習を行い、卒業までに医師としての基本的診療能力を持ち、考え、行動できるように学修します。

医師としての素養、国際的医療実践、組織・社会の先導力を涵養するために、選択科目、国外での臨床実習、リーダーシップ学修の機会が提供され、学生が自分の個性を伸ばすため、医療者の新しい役割を認識するために活用できます。

セグメント、縦断的カリキュラム、テュートリアル、チーム基盤型学修、「『至誠と愛』の実践学修」の学修成果は、それぞれの学修目標に照らして、筆記試験、レポート、技能試験、態度・姿勢の観察評価により総合的に評価され、学年毎に定められた科目・単位の修了により、次学年に進級します。また、各科目の評価をGPA（Grade Point Average)として評価し進級の要件とします。さらに、共用試験として行われる4年次のCBT（Computer Based Testing)、 OSCE（Objective Structured Clinical Examination)、P-SAT（Problem-solving Ability Test)、ならびに6年次のPost-CC（Clinical Clerkship）OSCEは、進級の要件となります。進級の認定が得られなかった場合は、翌年に限り同一学年の全必修科目を再履修し、再度評価を受けます。

アウトカム・ロードマップの評価は、それぞれの科目試験、「『至誠と愛』の実践学修」評価、テュートリアル・チーム基盤型学修および実習の評価、臨床実習のポートフォリオ評価等から、関係する評価を統合して学修成果（アウトカム）に沿って評価を行います。

アドミッション・ポリシー(入学者受入れの方針)

自らの能力を磨き、医学の知識・技能を修得して自立し、「至誠と愛」を実践する女性医師および女性研究者となるために、学修者自身が問題意識をもち、自らの力で知識と技能を発展させていく教育を行います。

医師を生涯続ける意志を持ち、幅広い視野を身につけ、自ら能力を高め、問題を解決していこうとする意欲に燃えた向学者で、以下のような人材を求めます。

医学部が求める入学者像

1. きわめて誠実で慈しむ心を持つ人
2. 礼節をわきまえ、情操豊かな人
3. 独立心に富み、自ら医師となる堅い決意を持つ人
4. 医師として活動するために適した能力を有する人

本学で学修しようとする者には、本学の建学の精神と大学の理念を理解して学ぶことを求めます。その上で、本学のカリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施の方針）に沿って学修して、学修成果（アウトカム）を達成し、ディプロマ・ポリシー（卒業認定・学位授与の方針）を満たし、生涯に亘り医師として、女性医療者として自立して多方面で活躍する人材を、多様な方法により選抜します。

一般選抜においては、高等学校等における学修成果の評価を筆記試験で、また医師となる適性、使命感、将来継続して女性医師として社会に貢献する心構え、そして「至誠と愛」の理念の下に本学で学びディプロマ・ポリシーを達成する意思を面接、小論文、適性試験により評価します。

学校推薦型選抜（一般推薦）では、高等学校等における知識・技能・態度の学修成果や医師となる適性を高等学校の推薦書等に基づき評価し、さらに医師としての使命感、将来継続して女性医師として社会に貢献する心構え、そして問題を発見し、学修し、解決する自ら学ぶ力、「至誠と愛」の理念とカリキュラム・ポリシーを理解して学びディプロマ・ポリシーを達成する意思を面接、小グループ討論、小論文、適性試験により評価します。

学校推薦型選抜（「至誠と愛」推薦）では、本学の建学の精神、大学の理念を継承し、生涯医療者として社会に貢献する意志をもつ優秀な者を受け入れるため、3 親等以内の親族に本学医学部同窓会至誠会の会員または準会員がおり、高等学校等の推薦に加えて、至誠会の推薦を受けた者を対象として、面接、受験生の建学の精神についての理解を問う小論文、思考力試験により評価します。

学校推薦型選抜（指定校推薦）では、指定校からの推薦書から本学の建学の精神と理念を理解しカリキュラム・ポリシーおよびディプロマ・ポリシーに適性の高い志望者であることを確認し、さらに志望者に対して医師となる使命感、適性、将来継続して女性医師として社会に貢献する心構え、「至誠と愛」の理念の下に本学のカリキュラム・ポリシーを理解して学びディプロマ・ポリシーを達成しようとする強い意思を、面接、小グループ討論、小論文、思考力試験により評価します。

入学までに期待する学修項目は、社会、医療を先導する女性医療者となる確固たる意思の醸成、専門職に求められる自らの学修を振り返りながら新たな課題を発見し問題解決する学び方、考え方の学修、ひと、特に病

めるひとに相対する医療者が持つべき態度、心配り、倫理観を学ぶ基盤となる、人と交わる力の醸成です。

アセスメントポリシー

入学時にはアドミッション・ポリシーを満たす人材か、在学中はカリキュラム・ポリシーに則って学修が進められているか、卒業時はディプロマ・ポリシーを満たす人材となったかを以下の基準で評価します。

	入学時	在学中	卒業時
大学 （機関レベル）	入学者選抜 入学時調査	休学率・退学率・学生調査・課外活動状況	学士授与（卒業）率・国家試験合格率・大学院進学率・就職率・学生調査・アンケート調査
医学部 （課程レベル）	入学者選抜 入学時調査	進級率・休学率 退学率・試験結果 GPA・ポートフォリオ・共用試験 CBT・共用試験 OSCE・Mini-CEX・実習評価・学生調査・課外活動状況	卒業試験・Post CC-OSCE・学士授与（卒業）率・国家試験合格率・ストレート卒業率・大学院進学率・就職率・アンケート調査
学部科目レベル	入学者選抜	単位認定・定期試験・レポート評価・実習評価・小テスト出席率・至誠と愛の体得度・ポートフォリオ・授業評価アンケート	
大学院医学研究科 （課程レベル）	入学者選抜 入学時調査	進級率・休学率・退学率・単位認定・レポート評価・研究計画書・研究指導状況報告書・中間発表会評価	学位授与率・修了率・学位論文の IF・就職率・学生調査・アンケート調査
大学院科目レベル	入学者選抜	単位認定・レポート評価・研究計画書・研究指導状況報告書・中間発表会評価	

学部学生では、科目等では合格基準として詳細は学修の手引きに示し、進級については、及落判定基準として学生便覧に示します。大学院生に関しては大学院便覧に示します。継続的に形成的評価を行い、学生への指導に使用します。また、その結果の学修成果（達成度）を評価するために、決まった時期と数の総括的評価を実施します。これらの評価は、統合教育学修センターでの解析等によって評価そのものの事後評価を行い、信頼性と妥当性を最大化します。

MD プログラム 2011 改訂版について

東京女子医科大学医学部で医学を学ぶことは、大学の理念を受け継ぎ、社会に貢献する力を持った医師を目指して学修することである。医学部は 110 年を超える歴史の中で女性医師を育てるための教育に力を入れてきたが、平成 29 年度新入生から新たなカリキュラムを導入した。新カリキュラムは、それまでのカリキュラム MD プログラム 2011 の良い点を踏襲しつつ、現代社会のニーズあるいは日本と世界で求められる、医師像を「至誠と愛」の理念のもとに達成することを目指す。

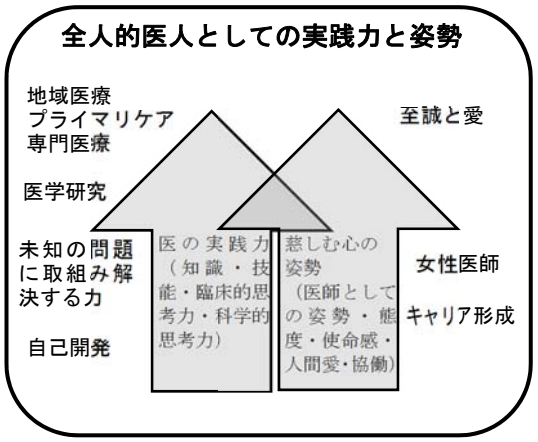
MD プログラム 2011 改訂版は 4 個の包括的目標を持つ。

1) 卒業時に基本的知識を持ち、医師として考え行動し、振る舞うことができる実践力を持つこと。
2) 学生が自分の目標を知り、自ら実践力を高められる教育となること。
3) 科学的思考力と臨床的思考力を持つこと。
4) 女性医師としての特徴をもち、基本的診療能力を備え、地域や国際を含めた現代の医療および医療ニーズに即した実践力を獲得すること。

MD プログラム 2011 改訂版は、以下の特徴を持つ。

1) 知識だけでなく技能と態度を備えた実践力の最終目標をアウトカム、途中の目標をロードマップとして具体的に示し、学生が入学時から最終目標に向けてどのように自己開発をしたらよいかを明示し、またその達成度を評価する事により学生が長い学修期間の中で目標と動機を失わないようにする。
2) 臨床的能力を高めるため、高学年の臨床実習開始前に臨床的思考力、技能、態度の学修を充実させ、実践的臨床実習を行う。
3) 基礎と臨床、知識と技能を統合して学ぶ統合カリキュラムを前カリキュラムから引き継ぎ、自ら問題を見つけ、科学的・医学的に且つ人間性を持ち、問題解決のための思考力を講義・実習・テュートリアル教育を通じて学ぶ。
4) 医師としての人間性・倫理・使命感・態度を育成する「至誠と愛」の実践学修を行う。
5) 医の実践力の一部となる基本的・医学的表現技術、情報処理・統計、国際コミュニケーションを 4 ないし 6 年間継続して積み上げる縦断教育を行う。
6) 医療を支える科学に自ら触れる機会を通じて、研究の面白さを知るとともに医師が持つべき研究的視点を学ぶ。
7) 女性の特性を意識した医療者となるための学修を行う。

学部教育を通じて達成する医師としての実践力



医学部の学修を通じて修得する実践力は、**医の実践力と慈しむ心の姿勢**に分かれる。医の実践力は主として知識・技術とその応用に関する 6 個の中項目、慈しむ心の姿勢は医人としての態度・情報と意志を疎通する能力・使命感・倫理感・専門職意識などに関する 5 個の中項目に分かれ、それぞれに数個のアウトカムが定められている。アウトカムは卒業時までに達成すべき目標の包括的目標であるが、低学年（1/2 年）、中学年（3/4 年）、高学年（5/6 年）で達成すべき具体的目標をロードマップとして表してある。

アウトカム・ロードマップは各教科の目標ではなく、学修の積み重ねにより修得すべき実際に自分でできる力、実践力、を示したものである。学生は、最終目標を見据えて学修段階に応じた目標を持ち、教員はそれぞれ担当する教育の中で、全体像のどの段階を学生が学ぶべきかを理解して教育にあたるために全体が示されている。学生の評価も、科目として受ける試験などによる評価と共に、様々な評価情報を組み合わせたロードマップ評価を行い、学生の到達度を認識できるようになる。

以下にアウトカムを示す。

Ⅰ　医の実践力

1. 知識と技能を正しく使う力

A. 医学的知識を医療に活用できる。

B. 診断・治療・予防を実践できる。

C. 基本的技能を実践できる。

2. 問題を見つけ追求する力

A. 解決すべき問題を発見できる。

B. 問題を深く追求できる。

C. 未知の問題に取り組むことができる。

3. 問題解決に向け考え実行する力

A. 適切な情報を集め有効に活用できる。

B. 解決方法を選び実行できる。

C. 結果を評価できる。

4. 情報を伝える力

A. 患者に情報を伝えることができる。

B. 医療情報を記録できる。

C. 医療者と情報交換ができる。

5. 根拠に基づいた判断を行う力
   A. 臨床・基礎医学の根拠を発見できる。
   B. 根拠に基づいて診療を行える。
6. 法と倫理に基づいて医療を行う力
   A. 医療者としての法的義務を理解し守れる。
   B. 医療倫理を理解し実践できる。
   C. 研究倫理を理解し実践できる。
   D. 社会の制度に沿った診療を行える。

Ⅱ 慈しむ心の姿勢
1. 患者を理解し支持する姿勢
   A. 患者の意志と尊厳に配慮できる。
   B. 家族・患者周囲に配慮できる。
   C. 社会の患者支援機構を活用できる。
2. 生涯を通じて研鑽する姿勢
   A. 目標を設定し達成するために行動できる。
   B. 社会のニーズに応えて研鑽できる。
   C. 自分のライフサイクルのなかでキャリアを構築できる。
   D. 自分の特性を活かした医療を行うために研鑽する。
   E. 専門職として目標を持つ
3. 社会に奉仕する姿勢
   A. 社会・地域で求められる医療を実践できる。
   B. 医学研究を通じた社会貢献ができる。
4. 先導と協働する姿勢
   A. 自分の判断を説明できる。
   B. グループを先導できる。
   C. 医療チームのなかで協働できる。
5. ひとの人生へ貢献する姿勢
   A. 患者に希望を与えられる。
   B. 後輩を育てることができる。

次にそれぞれのアウトカムを達成するためのロードマップ（中間目標）を示す。

I 医の実践力—アウトカム・ロードマップ

	1. 知識と技能を正しく使う力			2. 問題を見つけ追求する力		
アウトカム	A. 医学的知識を医療に活用できる。	B. 診断・治療・予防を実践できる。	C. 基本的技能を実践できる。	A. 解決すべき問題を発見できる。	B. 問題を深く追求できる。	C. 未知の問題に取り組むことができる。
1、2年 ロードマップ	① 人体の正常な構造と機能を説明できる。 I-1-A-(1-2)-① ② 人体の構造と機能に異常が起こる原因と過程を概説できる。 I-1-A-(1-2)-② ③ 受精から出生の正常と異常を説明できる。 I-1-A-(1-2)-③	① データを読み解釈できる。 I-1-B-(1-2)-①	① 実習に必要な技術を実践できる。 I-1-C-(1-2)-① ② 安全に配慮して実習・研修を行える。 I-1-C-(1-2)-②	① 現象・事例から学ぶべきことを発見できる。 I-2-A-(1-2)-①	① 仮説を導くことができる。 I-2-B-(1-2)-① ② 事象、現象、観察などからその原因について考えられる。 I-2-B-(1-2)-②	① 既知と未知の問題を明らかにできる。 I-2-C-(1-2)-① ② 医学の発展に寄与した科学的発見を述べられる。 I-2-C-(1-2)-②
3、4年 ロードマップ	① 人体の臓器・器官系の機能と構造、正常と異常を説明できる。 I-1-A-(3-4)-① ② 全身的疾患、外的要因による異常を説明できる。 I-1-A-(3-4)-② ③ 受精から出生、成長と発育、成熟と加齢の正常と異常を説明できる。 I-1-A-(3-4)-③ ④ 疾患、症候の病態を説明できる。 I-1-A-(3-4)-④	① 診断の過程を説明し実践できる。 I-1-B-(3-4)-① ② 適切な治療法とその根拠を説明できる。 I-1-B-(3-4)-② ③ 疾病予防・健康維持・公衆衛生の方法を説明できる。 I-1-B-(3-4)-③	① 基本的医療技能を示すことができる。 I-1-C-(3-4)-① ② 医療安全に必要な配慮を示すことができる。 I-1-C-(3-4)-②	① 問題の優先度および重要度を判断できる。 I-2-A-(3-4)-① ② 事例で診療上の心理的・社会的問題を明らかにできる。 I-2-A-(3-4)-②	① 問題の科学的重要性を評価できる。 I-2-B-(3-4)-① ② 基礎・病態・臨床を結びつけて考えられる。 I-2-B-(3-4)-②	① 事例から自分の知らないことを発見できる。 I-2-C-(3-4)-① ② 未知の問題を解決する方法を見つけることができる。 I-2-C-(3-4)-②
5、6年 ロードマップ	① 患者の抱える異常とその病態を説明できる。 I-1-A-(5-6)-①	① 臨床推論を実践できる。 I-1-B-(5-6)-① ② 患者にあわせた診断・治療の判断ができる。 I-1-B-(5-6)-② ③ 患者に合わせた診療計画・経過観察計画を立てられる。 I-1-B-(5-6)-③	① 基本的医療技能を実践できる。 I-1-C-(5-6)-① ② 安全に配慮して、医療を実践できる。 I-1-C-(5-6)-②	① 患者・家族が抱える心理的・社会的問題・不安を明らかにできる。 I-2-A-(5-6)-① ② 患者の診療上の問題を明らかにできる。 I-2-A-(5-6)-②	① 患者の病態の原因を検索できる。 I-2-B-(5-6)-① ② 患者の苦痛の原因を人体の構造と機能、および「こころ」から説明できる。 I-2-B-(5-6)-②	① 患者から新しいことを学べる。 I-2-C-(5-6)-① ② 患者から自分の知らないことを発見できる。 I-2-C-(5-6)-② ③ 自分の能力では解決できない問題を判断できる。 I-2-C-(5-6)-③

	3. 問題解決に向け考え実行する力			4. 情報を伝える力		
アウトカム	A. 適切な情報を集め有効に活用できる。	B. 解決方法を選び実行できる。	C. 結果を評価できる。	A. 患者に情報を伝えることができる。	B. 医療情報を記録できる。	C. 医療者と情報交換ができる。
1、2年 ロードマップ	① 問題解決のための情報収集ができる。 I-3-A-(1-2)-① ② 仮説を証明する手順を説明できる。 I-3-A-(1-2)-②	① 情報に即して適切な解決方法を導くことができる。I-3-B-(1-2)-① ② 複数の問題解決法を考えることができる。 I-3-B-(1-2)-②	① 問題解決結果の妥当性を評価できる。 I-3-C-(1-2)-① ② 結果に予想される誤差を考えられる。 I-3-C-(1-2)-②	① 自分の考えを他者に伝えることができる。 I-4-A-(1-2)-①	① 結論とその根拠が明確な文書を作成できる。 I-4-B-(1-2)-① ② 研究・実習の報告書が作成できる。I-4-B-(1-2)-② ③ 文書の要約を作成できる。 I-4-B-(1-2)-③	① 簡潔で要点が明確な質問と回答ができる。I-4-C-(1-2)-① ② 相手の理解に合わせて、説明できる。I-4-C-(1-2)-② ③ 自己学修の結果を適切に伝えられる。I-4-C-(1-2)-③
3、4年 ロードマップ	① 事例に即した問題解決のための情報検索ができる。 I-3-A-(3-4)-① ② 適切な診療ガイドラインを選択できる。 I-3-A-(3-4)-②	① 病態を明らかにする方法を挙げることができる。 I-3-B-(3-4)-① ② 事例で診療上の問題を解決する方法・手段を明らかにできる。 I-3-B-(3-4)-②	① 適切な問題解決を行ったか検証できる。 I-3-C-(3-4)-① ② 結果の客観的評価ができる。I-3-C-(3-4)-② ③ 結果の解釈の限界を明らかにできる。 I-3-C-(3-4)-③	① 医学的情報をわかりやすく伝えることができる。 I-4-A-(3-4)-① ② 患者に分かる言葉を選択できる。I-4-A-(3-4)-②	① 研究・実習・症例などの要約が作成できる。I-4-B-(3-4)-① ② POMR に基づく診療情報記録方法を説明できる。 I-4-B-(3-4)-②	① 研究・実習・症例などの背景、目的、方法、結果、考察を適切に発表できる。I-4-C-(3-4)-① ② 医療チームでの情報共有について説明できる。I-4-C-(3-4)-②
5、6年 ロードマップ	① 適切な診療ガイドラインを選択できる。 I-3-A-(5-6)-① ② 診療上の問題解決のために分析すべきことを明らかにできる。I-3-A-(5-6)-② ③ 診療上の問題解決のための情報検索ができる。 I-3-A-(5-6)-③ ④ 異なる問題解決の方法を提示し、比較できる。 I-3-A-(5-6)-④	① 診療上の問題を解決する方法・手段を明らかにできる。I-3-B-(5-6)-① ② 情報を活用し適切な解決方法を判断できる。 I-3-B-(5-6)-②	① 診療で得られた情報の信頼性を評価できる。 I-3-C-(5-6)-① ② 診療過程で予測される問題点を示せる。 I-3-C-(5-6)-② ③ 予想と異なる結果について原因を考察できる。 I-3-C-(5-6)-③	① 病状を患者が理解できるように伝えられる。 I-4-A-(5-6)-① ② 診療に関する情報を患者が理解できるように伝えられる。 I-4-A-(5-6)-②	① 診療録を適切に記載できる。 I-4-B-(5-6)-① ② 処方箋を適切に発行できる。 I-4-B-(5-6)-② ③ 症例要約を作成できる。 I-4-B-(5-6)-③ ④ 死亡診断書記入法を説明できる。I-4-B-(5-6)-④	① 口頭で症例提示ができる。 I-4-C-(5-6)-① ② 患者の問題点を指導医に報告できる。I-4-C-(5-6)-② ③ 必要な患者情報を要約して説明できる。I-4-C-(5-6)-③ ④ 専門の異なる医療者に対して適切な情報交換を行える。 I-4-C-(5-6)-④

	5. 根拠に基づいた判断を行う力		6. 法と倫理に基づいて医療を行う力			
アウトカム	A. 臨床・基礎医学の根拠を発見できる。	B. 根拠に基づいて診療を行える。	A. 医療者としての法的義務を理解し守れる。	B. 医療倫理を理解し実践できる。	C. 研究倫理を理解し実践できる。	D. 社会の制度に沿った診療を行える。
1、2年 ロードマップ	① 現象の原因・機序を検索できる。Ⅰ-5-A-(1-2)-① ② 実験・実習などで得られた結果を評価し予想との相違を明確にできる。Ⅰ-5-A-(1-2)-② ③ 情報の信頼度を評価できる。Ⅰ-5-A-(1-2)-③	① 根拠に基づいて解決法を判断できる。Ⅰ-5-B-(1-2)-① ② 問題解決の適切性を評価できる。Ⅰ-5-B-(1-2)-②	① 社会的規範を守った生活ができる。Ⅰ-6-A-(1-2)-① ② 学則を守った学生生活ができる。Ⅰ-6-A-(1-2)-②	① 個人情報保護について説明できる。Ⅰ-6-B-(1-2)-① ② 倫理の概念について説明することができる。Ⅰ-6-B-(1-2)-②	① 研究倫理の概念について述べることができる。Ⅰ-6-C-(1-2)-① ② 研究倫理に配慮して実験・実習の結果報告書を作成できる。Ⅰ-6-C-(1-2)-②	
3、4年 ロードマップ	① データ・結果の根拠を批判的に説明できる。Ⅰ-5-A-(3-4)-① ② 結果・情報をもとに新たな仮説を立てられる。Ⅰ-5-A-(3-4)-② ③ 根拠となる文献を検索できる。Ⅰ-5-A-(3-4)-③	① 診療上のエビデンスを選ぶことができる。Ⅰ-5-B-(3-4)-①	① 医学生の医行為水準を説明できる。Ⅰ-6-A-(3-4)-① ② 医師法・医療法の概要を説明できる。Ⅰ-6-A-(3-4)-②	① 医学における倫理の概念を説明できる。Ⅰ-6-B-(3-4)-① ② 倫理的問題を明らかにできる。Ⅰ-6-B-(3-4)-② ③ 患者情報が含まれる文書・電子媒体を適切に使用できる。Ⅰ-6-B-(3-4)-③	① 基礎研究における倫理指針を概説できる。Ⅰ-6-C-(3-4)-① ② 利益相反(Conflict of interest)について説明できる。Ⅰ-6-C-(3-4)-②	① 社会保障を概説できる。Ⅰ-6-D-(3-4)-① ② 医療に関する保証制度を概説できる。Ⅰ-6-D-(3-4)-②
5、6年 ロードマップ	① 基礎的・臨床的観察を通じて新たな発見ができる。Ⅰ-5-A-(5-6)-① ② 問題点に関わる臨床医学文献を検索できる。Ⅰ-5-A-(5-6)-② ③ 検索した医学的情報の確かさを評価できる。Ⅰ-5-A-(5-6)-③	① 患者に合わせた診療上のエビデンスを選ぶことができる。Ⅰ-5-B-(5-6)-①	① 病院の規則に従って診療に関われる。Ⅰ-6-A-(5-6)-①	① 患者情報の守秘を励行して医療を行える。Ⅰ-6-B-(5-6)-① ② 臨床倫理を実践できる。Ⅰ-6-B-(5-6)-② ③ 立場の違いによる倫理観の違いを理解しながら倫理判断ができる。Ⅰ-6-B-(5-6)-③	① 臨床研究の倫理指針を概説できる。Ⅰ-6-C-(5-6)-①	① 患者に合わせて医療保険、医療補助制度を説明できる。Ⅰ-6-D-(5-6)-①

II 慈しむ心の姿勢—アウトカム・ロードマップ

	1. 患者を理解し支持する姿勢			2. 生涯を通じて研鑽する姿勢				
アウトカム	A. 患者の意志と尊厳に配慮できる。	B. 家族・患者周囲に配慮できる。	C. 社会の患者支援機構を活用できる。	A. 目標を設定し達成するために行動できる。	B. 社会のニーズに応えて研鑽できる。	C. 自分のライフサイクルのなかでキャリアを構築できる。	D. 自分の特性を生かした医療を行うために研鑽する。	E. 専門職として目標を持つ。
1、2年ロードマップ	① 他者の意志を聞き出すことができる。 II-1-A-(1-2)-① ② 他者を尊重して対話ができる。 II-1-A-(1-2)-② ③ 他者の自己決定を理解できる。 II-1-A-(1-2)-③	① 様々な年齢の他者と意志を交わすことができる。 II-1-B-(1-2)-①	① 社会支援制度を説明できる。 II-1-C-(1-2)-①	① 学修上の目標を設定することができる。 II-2-A-(1-2)-① ② 目標達成の手段を明らかにできる。 II-2-A-(1-2)-② ③ 省察（振り返り）を実践できる。 II-2-A-(1-2)-③ ④ 卒業までに学ぶべきことの概要を理解できる。 II-2-A-(1-2)-④	① 社会が期待する医師像を説明できる。 II-2-B-(1-2)-①	① 社会で活躍する女性の特性を述べられる。 II-2-C-(1-2)-① ② 学修のための時間を適切に自己管理できる。 II-2-C-(1-2)-②	① 自分の学び方を知り、効果的な学び方に発展させられる。 II-2-D-(1-2)-① ② 真摯に学びを励行できる。 II-2-D-(1-2)-②	① 自分の目標となる人物像を説明できる。 II-2-E-(1-2)-①
3、4年ロードマップ	① 傾聴できる。 II-1-A-(3-4)-① ② 患者の人権・尊厳を説明できる。 II-1-A-(3-4)-②	① 他者の気持ちに配慮して意志を交わすことができる。 II-1-B-(3-4)-① ② 患者・家族の心理を説明できる。 II-1-B-(3-4)-②	① 社会の支援制度を利用する方法を明らかにできる。 II-1-C-(3-4)-①	① 卒業までの学修目標を立て、自分の達成度を評価できる。 II-2-A-(3-4)-① ② 医師として必要な知識、技能、態度を述べることができる。 II-2-A-(3-4)-②	① 地域社会の医療ニーズを説明できる。 II-2-B-(3-4)-①	① 学修目標を達成するための自己学修を計画的に行える。 II-2-C-(3-4)-① ② 女性のライフサイクルを説明できる。 II-2-C-(3-4)-② ③ キャリア継続の意思を持つ。 II-2-C-(3-4)-③	① 自分の特性を活かして学修できる。 II-2-D-(3-4)-① ② 学修の中で興味を持ったことを自ら学べる。 II-2-D-(3-4)-②	① 自分のモデルとなる先輩を示すことができる。 II-2-E-(3-4)-①
5、6年ロードマップ	① 患者の自己決定を支援し、必要な情報が提供できる。 II-1-A-(5-6)-① ② 患者の意志を聞き出すことができる。 II-1-A-(5-6)-② ③ 患者の尊厳に配慮した診察が行える。 II-1-A-(5-6)-③	① 患者・家族の解釈を理解し、対応できる。 II-1-B-(5-6)-① ② 患者・家族の信頼を得る振る舞いができる。 II-1-B-(5-6)-② ③ 患者・家族への説明の場に配慮できる。 II-1-B-(5-6)-③	① 患者支援制度を検索し利用法を説明できる。 II-1-C-(5-6)-①	① 診察能力・技能を振り返り、目標を設定し、修得のための方法を明らかにできる。 II-2-A-(5-6)-①	① 研修（実習）する地域社会での医療ニーズから、学ぶべきことを明らかにできる。 II-2-B-(5-6)-①	① ライフサイクルを理解し、その中でキャリア継続のための計画を立てられる。 II-2-C-(5-6)-①	① 自分の目指す医師像を達成するための計画を示せる。 II-2-D-(5-6)-①	① 自分の特性を活かしてどのような医師を目指すかを述べることができる。 II-2-E-(5-6)-①

	3. 社会に奉仕する姿勢		4. 先導と協働する姿勢			5. ひとの人生へ貢献する姿勢	
アウトカム	A. 社会・地域で求められる医療を実践できる。	B. 医学研究を通じた社会貢献ができる。	A. 自分の判断を説明できる。	B. グループを先導できる。	C. 医療チームのなかで協働できる。	A. 患者に希望を与えられる。	B. 後輩を育てることができる。
1、2年ロードマップ	① 社会・地域に奉仕する姿勢を持つ。 Ⅱ-3-A-(1-2)-①	① 医学研究の重要性について概説できる。 Ⅱ-3-B-(1-2)-①	① 自分の考えの根拠を説明できる。 Ⅱ-4-A-(1-2)-①	① 共通の目標を設定できる。Ⅱ-4-B-(1-2)-① ② 活動向上のための評価ができる。 Ⅱ-4-B-(1-2)-② ③ 意見の異なる他者の意見を尊重し対処できる。Ⅱ-4-B-(1-2)-③	① 他者の話を聴くことができる。Ⅱ-4-C-(1-2)-① ② 対話の中で相手の述べることを要約できる。 Ⅱ-4-C-(1-2)-② ③ 役割分担を確実に実践できる。Ⅱ-4-C-(1-2)-③	① 医学の進歩が人に希望を与えることを説明できる。Ⅱ-5-A-(1-2)-① ② 困難な状況にあっても、希望を見いだすことができる。Ⅱ-5-A-(1-2)-②	① 学生として適切な振る舞いで行動できる。 Ⅱ-5-B-(1-2)-① ② 学んだことを他者に説明できる。 Ⅱ-5-B-(1-2)-②
3、4年ロードマップ	① 医療を通じた社会・地域への貢献を説明できる。Ⅱ-3-A-(3-4)-①	① 基礎医学研究の意義と現在の動向を概説できる。Ⅱ-3-B-(3-4)-① ② 医学研究成果の意義と応用・将来性を説明できる。Ⅱ-3-B-(3-4)-② ③ 臨床や医学研究の動向に目を向け概説できる。 Ⅱ-3-B-(3-4)-③	① 自分の選択・判断の根拠を説明できる。 Ⅱ-4-A-(3-4)-① ② 他者の考えを聞いて自分の選択を判断し説明できる。 Ⅱ-4-A-(3-4)-②	① 討論・話し合いを促せる。Ⅱ-4-B-(3-4)-① ② 自分の方針を説明し同意を得ることができる。Ⅱ-4-B-(3-4)-② ③ 活動向上のための評価に基づく行動をグループに導入できる。 Ⅱ-4-B-(3-4)-③	① グループ目標達成のために行動できる。 Ⅱ-4-C-(3-4)-① ② 講成員の役割と考えを尊重してグループの目標を立てられる。 Ⅱ-4-C-(3-4)-②	① 学修する事例について医学の貢献を説明できる。 Ⅱ-5-A-(3-4)-① ② 問題を解決できたときの状況を考え説明できる。 Ⅱ-5-A-(3-4)-②	① 自分が目標をどのように達成したかを他者に説明できる。 Ⅱ-5-B-(3-4)-① ② 相手の知識・技能に合わせて質問に答えることができる。 Ⅱ-5-B-(3-4)-②
5、6年ロードマップ	① 臨床実習の中で医療に参加し社会・地域に貢献する。 Ⅱ-3-A-(5-6)-①	① 診療のなかで医学研究の課題を見つけることができる。 Ⅱ-3-B-(5-6)-①	① 診療上の判断を他者に分かるように説明できる。 Ⅱ-4-A-(5-6)-①	① 講成員の特性に合わせて個人と全体の活動を統括できる。 Ⅱ-4-B-(5-6)-①	① 自分が所属する医療チーム構成者の役割を説明できる。Ⅱ-4-C-(5-6)-① ② 与えられた医療の役割について責任を持ち確実に実施できる。 Ⅱ-4-C-(5-6)-①	① 医療の限界のなかで可能なことを説明できる。 Ⅱ-5-A-(5-6)-① ② 患者に医療が行うことのできる望ましい結果を説明できる。 Ⅱ-5-A-(5-6)-②	① 適切な振る舞いで診療に参加できる。 Ⅱ-5-B-(5-6)-① ② 他者の疑問を共に解決することができる。 Ⅱ-5-B-(5-6)-② ③ 医療の中で他者に教えることを実践できる。 Ⅱ-5-B-(5-6)-③

カリキュラムの構造

カリキュラム（教育計画）は、学生が実践力を持つ医師になるために限られた時間のなかで最大の学修を得られるように構築されている。学生には、全てのカリキュラムに参加して最終目標を達成することが求められる。

医学部カリキュラムの全体構造は、初めに人体の基本構造と機能を 2 年前期までに学び、次に医療を行うために必要な臓器・器官系の正常と異常、臓器系をまたいでおこる全身的異常、人の発生・出産・出生・成長・発育・成熟・加齢の正常と異常を 3 年後期までに学ぶ。4 年前期は、全身的な変化と、社会・法律・衛生・公衆衛生と医学の関わりを学び、医療を取り巻く環境を理解する。そして 4 年後期は、5 年の臨床実習に備えた臨床入門を学ぶ。臨床入門は、基本的臨床技能を学ぶだけでなく、画像・検査などの臨床的理解、臨床推論の進め方などの臨床的思考力、麻酔・救急などの全身管理に係わる医学を学び、5 年の初めから医療の中に入って臨床実習を行えるようになるための仕上げとなる。臨床実習への準備は、総合試験（共用試験 CBT および問題解決能力試験）、共用試験 OSCE などで評価される。5 年から 6 年前半の臨床実習では、見学するのではなく参加する意識で実習を行って欲しい。臨床実習では、地域医療・プライマリケアなど現代の日本の医療に求められる領域、国外留学など国際的医療に係わる機会、基礎医学を学ぶ機会などが設けられ、且つ学生が自分のキャリアを考えて学修の場を選べるようになっている。6 年後期は、6 年間の学修の総括と卒業認定のための評価に充てられる。

学年毎に進むカリキュラムとは別に縦断的カリキュラムがある。これは、学生が 4 もしくは 6 年間で継続して自己開発する必要のある科目で、縦断教育科目と呼ぶ。

６年間のカリキュラム全体図

<table>
<tr><td rowspan="2">1年</td><td>前期
（4月～7月）</td><td>セグメント1</td><td>人体の基礎</td><td rowspan="2">人体の基本的構造と機能／
人体の防御機構</td><td rowspan="11">テュートリアル・TBL</td><td rowspan="11">「至誠と愛」の実践学修</td><td rowspan="11">医療・患者安全学</td><td rowspan="11">基本的・医学的表現技術</td><td rowspan="11">国際コミュニケーション</td><td rowspan="11">AI・データサイエンスと医療</td><td rowspan="11">選択科目</td></tr>
<tr><td>後期
（9月～3月）</td><td>セグメント2</td><td>人体の機能と
微細構造</td></tr>
<tr><td rowspan="2">2年</td><td>前期</td><td>セグメント3</td><td>人体の構造と
疾患の基礎</td><td>人体の発生と全体構造／
疾患の成り立ちと治療の基礎</td></tr>
<tr><td>後期</td><td>セグメント4</td><td>臓器・器官系の構造と
機能の正常と異常１</td><td>臨床診断総論／循環器系
呼吸器系／腎尿路系／生殖器系／妊娠と分娩</td></tr>
<tr><td rowspan="2">3年</td><td>前期</td><td>セグメント5</td><td>臓器・器官系の構造と
機能の正常と異常２／
人の一生</td><td>消化器系／内分泌・高血圧系／栄養・代謝系
新生児・小児・思春期／加齢と老化、臨終</td></tr>
<tr><td>後期</td><td>セグメント6</td><td>臓器・器官系の構造と
機能の正常と異常３／
医学研究</td><td>脳神経系／精神系／運動器系／
皮膚粘膜系／聴覚・耳鼻咽喉系／眼・視覚系</td></tr>
<tr><td rowspan="2">4年</td><td>前期</td><td>セグメント7</td><td>全身的な変化と医学／
医療と社会</td><td>全身的な変化／医学と社会</td></tr>
<tr><td>後期</td><td>セグメント8</td><td>臨床入門</td><td>臨床入門</td></tr>
<tr><td rowspan="2">5年</td><td>前期</td><td rowspan="3">セグメント9</td><td rowspan="3">医療と医学の
実践</td><td rowspan="3">診療参加型臨床実習（研究実習）</td></tr>
<tr><td>後期</td></tr>
<tr><td rowspan="2">6年</td><td>前期</td></tr>
<tr><td>後期</td><td>セグメント10</td><td>全体統合・
総合達成度評価</td><td>卒業試験</td></tr>
</table>

週間の授業予定

学生は全ての授業に出席し能動的に学ぶ事が求められる。

医学部の時間割の特徴は、テュートリアル・TBL を中心に十分な自己学修の時間が確保されていることである。自ら目標を定め能動的に学ぶことで医師となっても使い続けることのできる知識の活用を修得するように、授業・実習のない学修時間が確保されている。

I 学修内容

セグメント6は、神経系を中心とするカリキュラムであり、中枢神経系、精神系、感覚器系、運動器系、皮膚粘膜系から構成されている。脳神経系1・2では、大脳、小脳、脳幹、脊髄から脳神経、脊髄神経、自律神経、感覚神経、運動神経などについて講義と実習およびTBL学修からなる統合的学修が行われる。精神系では、脳神経系の高次機能について生理、生化学、薬理などを理解し、その障害の症状、診断について学ぶ。感覚器系には嗅覚、視覚、味覚、聴覚、平衡覚などが含まれ、鼻腔、口腔、咽頭、喉頭など頭頸部、顔部の全てについて、このセグメントで学ぶことになる。頭部、頸部を始めとして全身の筋、骨格についても、画像診断の学修が行われるので、積極的に取り組んでほしい。

セグメント6のカリキュラムの中には学生のときからリサーチマインドを涵養するため研究プロジェクトが組み込まれているので、基礎と臨床の各教室が提案している研究テーマのいずれかを選択し、主体的に取り組むことを期待している。

本セグメントは、多くの領域について、広汎かつ詳細な学修が行われることから、各自の自主的な勉学が特に求められる。

Ⅱ 到 達 目 標

A. 包括的到達目標

Ⅰ 中枢および末梢神経系の形態を理解し、それぞれの基本的機能を述べることができる。神経系の主な症候と基本的検査について説明することができる。
1 脳神経系の構造と機能
2 症候と病態生理
3 神経症候と検査

Ⅱ 機能異常を主とした神経系の疾患について説明することができる。
1 発達機能障害
2 けいれん性疾患
3 自律神経疾患
4 神経変性疾患
5 感染性神経疾患
6 末梢神経、筋疾患
7 内科疾患に伴う神経筋傷害
8 中枢神経作用薬

Ⅲ 血管系も含めた形態異常を主とした疾患の診断と治療につき述べることができる。
1 脳脊髄外傷
2 脳脊髄血管傷害
3 脳腫瘍
4 先天異常
5 中枢神経系画像診断
6 放射線治療学

Ⅳ 精神と脳の高次機能につき理解し、疾患の症状、診断、治療につき論じることができる。
1 高次神経機能
2 精神疾患の操作的分類と診断法
3 症状学
4 精神治療学（薬物療法、非薬物療法）

Ⅴ 嗅覚、味覚、聴覚、平衡機能につき形態と機能を理解し、疾患において症状、検査、診断と治療を述べることができる。これらの感覚器を支持する鼻腔、口腔、咽頭、喉頭や発声機構について論じることができる。
1 聴覚、平衡器の構造と機能
2 耳鼻咽喉科的検査
3 耳疾患
4 鼻疾患
5 口腔、咽頭、喉頭、頸部食道の異常
6 治療

Ⅵ 視覚器とその周囲組織につき形態と機能を理解し、疾患における症状、検査、診断、治療につき説明できる。

1 視覚器の構造と機能
2 眼科的検査
3 結膜、角膜疾患
4 ぶどう膜疾患
5 網膜疾患
6 眼科治療学

Ⅶ 筋、骨格系の形態と機能を理解し、体幹、四肢の運動器系疾患の検査、診断、治療につき述べることができる。

1 筋、関節、骨格系の形態と機能
2 骨系統疾患
3 上下肢、体幹の異常
4 四肢循環障害
5 骨腫瘍
6 治療

Ⅶ 皮膚および口腔粘膜の正常構造と機能について説明することができる。

1) 表皮
2) 真皮
3) 皮下組織
4) 付属器
5) 口腔粘膜

Ⅷ 主な皮膚および口腔粘膜疾患についてその主要症候、病態生理、病因、診断、検査および治療について述べることができる。

1) 原発疹、続発疹
2) 湿疹、皮膚炎群および炎症性皮膚疾患
3) 水疱、膿疱性疾患
4) 母斑、母斑症、色素異常症
5) 皮膚良性、悪性腫瘍
6) 皮膚感染症
7) デルマドローム

B. 科目別シラバス

（★＝「至誠と愛」の実践学修）

セグメント6

［脳神経・精神・運動器・聴覚・耳鼻咽喉・眼・視覚・皮膚粘膜］

2022年8月29日～ 2022年2月21日

科目名	脳神経系1
科目責任者(所属)	宮田　麻理子

到達目標	脳と脊髄から成る中枢神経系の解剖と生理機能を多義的に学修し、臨床における神経学的症状を理解する上での礎となる学識を習熟する。前半においては、神経系の解剖と生理の基礎医学的内容を学修する。また、解剖学的知識に基づいた脳の正常画像も学ぶ。後半では、症候学と補助診断検査などの神経疾患診断学の基礎となる事項について学修する。また、神経系の発達症候学、睡眠と意識、脳死についても学修する。	
アウトカム・ロードマップに係わる到達目標/項目番号	人体の臓器・器官系の機能と構造、正常と異常を説明できる。	Ⅰ-1-A-(3-4)-①
	疾患、症候の病態を説明できる。	Ⅰ-1-A-(3-4)-④
	基本的医療技能を示すことができる。	Ⅰ-1-C-(3-4)-①
	問題の優先度および重要度を判断できる。	Ⅰ-2-A-(3-4)-①
	事例で診療上の心理的・社会的問題を明らかにできる。	Ⅰ-2-A-(3-4)-②
	問題の科学的重要性を評価できる。	Ⅰ-2-B-(3-4)-①
	基礎・病態・臨床を結びつけて考えられる。	Ⅰ-2-B-(3-4)-②
	医学における倫理の概念を説明できる。	Ⅰ-6-B-(3-4)-①
	倫理的問題を明らかにできる。	Ⅰ-6-B-(3-4)-②
	患者の人権・尊厳を説明できる。	Ⅱ-1-A-(3-4)-②
	基礎医学研究の意義と現在の動向を概説できる。	Ⅱ-3-B-(3-4)-①
学修(教育)方法	講義・実習・テュートリアル・TBL	
評価方法 (1)総括的評価の対象	定期試験　(90%)と実習(10%)の総合成績を科目の評価とする。試験様式は多肢選択肢問題(MCQ:マークシート)に加えて記述試験を加える場合もある。	
評価方法 (2)評価項目	中枢神経系と末梢神経系・自律神経系の構造と支配様式およびその機能について説明することができる。	C-2-3),2),3)
	特殊感覚の伝導路、錐体路系、錐体外路系、および脳神経の基本的な投射回路と機能を説明することができる。	C-2-3),2),3)
	自律神経系の機能と投射路を説明することができる。	C-2-3),2),3)
	運動野・小脳・大脳基底核による、運動の制御機構・運動学修のメカニズムとその障害について述べることができる。	D-2-1),2),3),4)
	神経細胞とグリアの種類と機能を説明することができる。	D-2-1),4) C-4-2)
	意識と睡眠のメカニズムについて説明することができる。	D-2-3)
	意識障害ついて説明することができる。	D-2-3)
	死の概念とそれに関わる社会的問題や、脳死の判定について説明できる。	B-2-1),E-9-1)
	主な神経症候についてその用語の意味と症候の機序を説明することができる。	D-2-1),2),3),4)
	神経学的検査方法の種類とその適応について述べることができる。	D-2-1),2),3),4)
	乳幼児の精神運動発達について説明できる。	E-7-2)
	脳の正常画像の撮影法の原理を理解し、画像から脳解剖との対応を説明できる。	F-2-5),D-2-2)
評価方法 (3)評価基準	科目成績は定期試験(筆記試験)の他に実習の平均を科目成績の10%として反映させる。定期試験の成績(90%)と実習の成績(10%)を合わせて100点満点とし、S.極めて良く理解している(90%以上)A.良く理解している(80%以上90%未満)B.平均的に理解している(70%以上80%未満)C.最低限は理解している(60%以上70%未満)D.理解が不十分である(60%未満)のいずれかとし、C.以上を合格とする。	
伝達事項	実習に関しては、出席、実習態度、レポートなどが評価の対象となる。実習の評価基準は各実習で定める。講義中に小テストを行う場合は、その	

	提出をもって出席とする。小テストは各自の学修理解の確認のために利用してほしい。

教科書・参考図書

No	書籍名	著者名	上段:出版社 下段:出版年	ISBN
1.	『＊印は推薦教科書 ＜各教室名＞』			
2.	『＊生理学テキスト 第8版 ＜神経生理学＞』	大地陸男著	文光堂 2017	9784830602290
3.	『＊カラー図解 人体の正常構造と機能 全10巻縮刷版 ＜神経生理学＞』	坂井 建雄, 河原 克雅 編	日本医事新報社 2017	9784784931804
4.	『＊神経科学—脳の探求 ＜神経生理学＞』	加藤 宏司　他（翻訳）	西村書店 2007	9784890133567
5.	『臨床脳波学　第6版 ＜神経生理学＞』	大熊輝雄／松岡洋夫／上埜高志／齋藤秀光著	医学書院 2016	9784260014496
6.	『＊マーティンカラー神経解剖学：テキストとアトラス ＜解剖学＞』	ジョン・H・マーティン著；野村嶬, 金子武嗣監訳	西村書店 2015	9784890134601
7.	『＊臨床神経解剖学 ＜解剖学・生化学＞』	M J Turlough FitzGerald著；杉本哲夫, 車田正夫, 河田光博訳	医歯薬出版 2013	9784263731512
8.	『＊正常解剖（脳MRI；1） ＜画像診断・核医学＞』	高橋昭喜編著	学研メディカル秀潤社 2005	9784879622907
9.	『＊神経内科ハンドブック—鑑別診断と治療—（第5版） ＜脳神経内科学＞』	水野水邦著	医学書院 2016	9784260024174
10.	『＊神経内科クリニカルスタンダード：必携ベッドサイドで必ず役立つ臨床神経学のエッセンス ＜脳神経内科学＞』	望月秀樹, 北川一夫編	文光堂 2015	9784830615429
11.	『神経症候学を学ぶひとのために ＜脳神経内科学＞』	岩田誠著	医学書院 1994	9784260117869
12.	『＊写真で見る乳幼児検診の神経学的チェック法　改訂第8版 ＜小児科学＞』	前川喜平　小枝達也編	南山堂 2012	9784525288587
13.	『医学生・研修医のための神経内科学（第2版）』	神田隆著	中外医学社 2014	9784498128590
14.	『ムーア人体発生学』	Moore, KL	医歯薬出版 2011	9784263731345
15.	『神経伝導検査と筋電図を学ぶ人のために』	木村淳,　幸原伸夫著	医学書院 2010	9784260008952
16.	『神経診断学を学ぶ人のために』	柴崎浩著	医学書院 2009	9784260016322
17.	『臨床神経生理学』	柳沢信夫, 柴崎浩著	医学書院 2008	9784260007092
18.	『神経症候学　I』	平山惠造著	文光堂 2006	483061532X

	19.	『神経症候学　II』	平山惠造著	文光堂 2010	9784830615337

関連リンク	1.	脳科学辞典	https://bsd.neuroinf.jp
	2.	ライフサイエンス 領域融合レビュー	http://leading.lifesciencedb.jp

添付ファイル ※3つまで、1ファイルにつき5MBまで、圧縮ファイルOK	

授業予定表

回数	年月日	時限	授業形式	教室	開始終了時間
1.	2022/08/29(月)	2時限	講義	講義室 201	10:25-11:35
	タイトル	1　科目の概要			
	担当者(所属)	宮田　麻理子			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-2-1)-(1)①②③④,D-2-1)-(4)①②			
	講義資料番号/連番(LMS)				1
2.	2022/08/29(月)	3時限	講義	講義室 201	12:30-13:40
	タイトル	2　脳血管、髄膜、脳脊髄液			
	担当者(所属)	本多　祥子			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-2-1)-(1)①②⑤,C-2-4)⑨			
	講義資料番号/連番(LMS)				2
3.	2022/08/29(月)	4時限	講義	講義室 201	13:55-15:05
	タイトル	3　脊髄、脊髄神経			
	担当者(所属)	本多　祥子			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-2-1)-(1)①,D-2-1)-(2)①②③,C-2-3)-(2)⑤			
	講義資料番号/連番(LMS)				3
4.	2022/08/29(月)	5時限	講義	講義室 201	15:15-16:25
	タイトル	4　脳幹、脳神経			
	担当者(所属)	本多　祥子			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-2-1)-(3)①②③,D-13-1)④,D-2-1)-(7)①			
	講義資料番号/連番(LMS)				4
5.	2022/08/30(火)	1時限	講義	講義室 201	09:00-10:10
	タイトル	5　小脳			
	担当者(所属)	本多　祥子			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-2-1)-(5)②			
	講義資料番号/連番(LMS)				5
6.	2022/08/30(火)	2時限	講義	講義室 201	10:25-11:35

	タイトル	6 小脳の機能と運動制御			
	担当者(所属)	宮田 麻理子			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-2-1)-(5)②,D-2-1)-(3)③,D-2-1)-(4)③			
	講義資料番号/連番(LMS)				6
7.	2022/08/30(火)	3時限	講義	講義室 201	12:30-13:40
	タイトル	10 間脳、大脳基底核			
	担当者(所属)	本多 祥子			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-2-1)-(5)③,D-2-1)-(4)①,D-2-1)-(7)②			
	講義資料番号/連番(LMS)				7
8.	2022/08/30(火)	4時限	講義	講義室 201	13:55-15:05
	タイトル	7 大脳基底核の機能			
	担当者(所属)	宮田 麻理子			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-2-1)-(5)③			
	講義資料番号/連番(LMS)				8
9.	2022/08/30(火)	5時限	講義	講義室 201	15:15-16:25
	タイトル	9 自律神経中枢、内臓機能の調節			
	担当者(所属)	宮田 麻理子			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	C-2-3)-(4)②③④,D-2-1)-(7)①②③			
	講義資料番号/連番(LMS)				9
10.	2022/08/30(火)	6時限	講義	講義室 201	16:35-17:45
	タイトル	16 脳の正常画像(Ⅰ) 核医学			
	担当者(所属)	金子 恒一郎			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	F-2-5)①②			
	講義資料番号/連番(LMS)				10
11.	2022/08/31(水)	1時限	講義	講義室 201	09:00-10:10
	タイトル	11 終脳			
	担当者(所属)	本多 祥子			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-2-1)-(4)①②③			
	講義資料番号/連番(LMS)				11
12.	2022/08/31(水)	2時限	講義	講義室 201	10:25-11:35
	タイトル	8 大脳皮質運動野の機能・運動制御まとめ			
	担当者(所属)	宮田 麻理子			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-2-1)-(5)①			
	講義資料番号/連番(LMS)				12

13.	2022/08/31(水)	3時限	講義	講義室 201	12:30-13:40
	タイトル	12 間脳、大脳皮質の機能			
	担当者(所属)	宮田　麻理子			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	C-2-2)-(1)④,C-2-2)-(2)①,D-2-1)-(4)①②			
	講義資料番号/連番(LMS)				13
14.	2022/08/31(水)	4時限	講義	講義室 201	13:55-15:05
	タイトル	13 脳幹の機能:姿勢と歩行			
	担当者(所属)	赤川　浩之			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	c-2-2)-(2)①,D-2-1)-(3)①②③,D-2-1)-(6) ②,D-2-3)-(4)②,D-2-3)-(4)③			
	講義資料番号/連番(LMS)				14
15.	2022/09/01(木)	1時限	講義	講義室 201	09:00-10:10
	タイトル	14　伝導路(Ⅰ)感覚器系(上行性)伝導路			
	担当者(所属)	本多　祥子			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-2-1)-(6)①②,D-2-1)-(4)①②			
	講義資料番号/連番(LMS)				15
16.	2022/09/01(木)	2時限	講義	講義室 201	10:25-11:35
	タイトル	15　伝導路(Ⅱ)運動系(下行性)伝導路			
	担当者(所属)	本多　祥子			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-2-1)-(5)①③,D-2-1)-(4)①②			
	講義資料番号/連番(LMS)				16
17.	2022/09/01(木)	4時限	講義	講義室 201	13:55-15:05
	タイトル	23　神経系の補助診断検査(Ⅰ)			
	担当者(所属)	清水　優子 飯嶋　睦			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-2-2)②,D-2-1)-(2)①,D-2-3)④,D-2-4)-(3)①			
	講義資料番号/連番(LMS)				17
18.	2022/09/01(木)	5時限	講義	講義室 201	15:15-16:25
	タイトル	18 神経症候学(Ⅰ)			
	担当者(所属)	北川　一夫			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-2-1)-(3),D-2-1)-(4)			
	講義資料番号/連番(LMS)				18
19.	2022/09/01(木)	6時限	講義	講義室 201	16:35-17:45
	タイトル	19 神経症候学(Ⅱ)			
	担当者(所属)	北川　一夫			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-2-1)-(5),D-2-1)-(6)			

	講義資料番号/連番(LMS)				19
20.	2022/09/02(金)	2時限	講義	講義室 201	10:25-11:35
	タイトル	17 脳の正常画像(Ⅱ) CT・MRI			
	担当者(所属)	阿部 香代子			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-2-2)①,F-2-5)①②			
	講義資料番号/連番(LMS)				20
21.	2022/09/05(月)	3時限	実習	解剖実習室	12:30-16:25
	タイトル	1, 2, 3 解剖1 中枢(解剖)脳全景・髄膜・血管系			
	担当者(所属)	本多 祥子 藤枝 弘樹 齋藤 文典 蒋池 かおり			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-2-1)-(1)①②⑤,D-2-1)-(4)①			
	講義資料番号/連番(LMS)				29
22.	2022/09/05(月)	4時限	実習	解剖実習室	12:30-16:25
	タイトル	1, 2, 3 解剖1 中枢(解剖)脳全景・髄膜・血管系			
	担当者(所属)	本多 祥子 藤枝 弘樹 齋藤 文典 蒋池 かおり			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-2-1)-(1)①②⑤,D-2-1)-(4)①			
	講義資料番号/連番(LMS)				30
23.	2022/09/05(月)	5時限	実習	解剖実習室	12:30-16:25
	タイトル	1, 2, 3 解剖1 中枢(解剖)脳全景・髄膜・血管系			
	担当者(所属)	本多 祥子 藤枝 弘樹 齋藤 文典 蒋池 かおり			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-2-1)-(1)①②⑤,D-2-1)-(4)①			
	講義資料番号/連番(LMS)				31
24.	2022/09/06(火)	1時限	講義	講義室 201	09:00-10:10
	タイトル	27 ニューロンとグリアの細胞病理学(Ⅰ)			
	担当者(所属)	倉田 厚			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-2-1)-(1)①③④⑤,D-2-1)-(2)①,D-2-4)-(3)②,D-2-4)-(5)①②,C-4-2)①②③,E-4-3)-(3)①②③,E-4-3)-(4)①②,E-4-3)-(5)①②			
	講義資料番号/連番(LMS)				21
25.	2022/09/06(火)	2時限	講義	講義室 201	10:25-11:35
	タイトル	28 ニューロンとグリアの細胞病理学(Ⅱ)			

	担当者(所属)	倉田　厚			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-2-1)-(1)①③④⑤,D-2-1)-(2)①,D-2-4)-(3)②,D-2-4)-(5)①②,C-4-2)①②③,E-4-3)-(3)①②③,E-4-3)-(4)①②,E-4-3)-(5)①②			
	講義資料番号/連番(LMS)				22
26.	2022/09/06(火)	3時限	実習	解剖実習室	12:30-16:25
	タイトル	4, 5, 6　解剖2　中枢(解剖)小脳・脳幹			
	担当者(所属)	本多　祥子 藤枝　弘樹 齋藤　文典 蒋池　かおり			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-2-1)-(4)①②③,D-2-1)-(5)①③,D-2-1)-(7)①②			
	講義資料番号/連番(LMS)				32
27.	2022/09/06(火)	4時限	実習	解剖実習室	12:30-16:25
	タイトル	4, 5, 6　解剖2　中枢(解剖)小脳・脳幹			
	担当者(所属)	本多　祥子 藤枝　弘樹 齋藤　文典 蒋池　かおり			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-2-1)-(4)①②③,D-2-1)-(5)①③,D-2-1)-(7)①②			
	講義資料番号/連番(LMS)				33
28.	2022/09/06(火)	5時限	実習	解剖実習室	12:30-16:25
	タイトル	4, 5, 6　解剖2　中枢(解剖)小脳・脳幹			
	担当者(所属)	本多　祥子 藤枝　弘樹 齋藤　文典 蒋池　かおり			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-2-1)-(4)①②③,D-2-1)-(5)①③,D-2-1)-(7)①②			
	講義資料番号/連番(LMS)				34
29.	2022/09/08(木)	2時限	講義	講義室 201	10:25-11:35
	タイトル	22　神経系の補助診断検査(Ⅱ)			
	担当者(所属)	飯嶋　睦			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-2-2)②			
	講義資料番号/連番(LMS)				23
30.	2022/09/09(金)	1時限	実習	解剖実習室	09:00-11:35
	タイトル	7, 8　解剖3　中枢(解剖)間脳・終脳			
	担当者(所属)	本多　祥子 藤枝　弘樹 齋藤　文典 蒋池　かおり			

	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-2-1)-(3)①②③,D-2-1)-(5)②,D-2-1)-(7)①			
	講義資料番号/連番(LMS)				35
31.	2022/09/09(金)	2時限	実習	解剖実習室	09:00-11:35
	タイトル	7, 8　解剖3　中枢(解剖)間脳・終脳			
	担当者(所属)	本多　祥子 藤枝　弘樹 齋藤　文典 蒋池　かおり			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-2-1)-(3)①②③,D-2-1)-(5)②,D-2-1)-(7)①			
	講義資料番号/連番(LMS)				36
32.	2022/09/09(金)	3時限	実習	解剖実習室	12:30-16:25
	タイトル	9, 10, 11　解剖4　中枢(解剖)大脳の内景・脊髄			
	担当者(所属)	本多　祥子 藤枝　弘樹 齋藤　文典 蒋池　かおり			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-2-1)-(4)①②③,D-2-1)-(5)①③,D-2-1)-(7)①②			
	講義資料番号/連番(LMS)				37
33.	2022/09/09(金)	4時限	実習	解剖実習室	12:30-16:25
	タイトル	9, 10, 11　解剖4　中枢(解剖)大脳の内景・脊髄			
	担当者(所属)	本多　祥子 藤枝　弘樹 齋藤　文典 蒋池　かおり			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-2-1)-(4)①②③,D-2-1)-(5)①③,D-2-1)-(7)①②			
	講義資料番号/連番(LMS)				38
34.	2022/09/09(金)	5時限	実習	解剖実習室	12:30-16:25
	タイトル	9, 10, 11　解剖4　中枢(解剖)大脳の内景・脊髄			
	担当者(所属)	本多　祥子 藤枝　弘樹 齋藤　文典 蒋池　かおり			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-2-1)-(4)①②③,D-2-1)-(5)①③,D-2-1)-(7)①②			
	講義資料番号/連番(LMS)				39
35.	2022/09/12(月)	1時限	講義	講義室 201	09:00-10:10
	タイトル	29　ニューロンとグリアの細胞病理学(Ⅲ)			
	担当者(所属)	倉田　厚			

	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-2-1)-(1)④,D-2-2)②,D-2-3)②,D-2-3)-(4)③			
	講義資料番号/連番(LMS)				24
36.	2022/09/14(水)	2時限	実習	講義室 201	10:25-15:05
	タイトル	12, 13, 14 中枢神経系の微細構造(組織学)			
	担当者(所属)	浦瀬 香子 菊田 幸子 森島 正恵 石井 泰雄 石津 綾子 望月 牧子 横溝 智雅 矢作 綾野			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-2-1)-(1)①②⑤,D-2-1)-(2)①,D-2-1)-(3)①②,D-2-1)-(4)①②,D-2-1)-(5)①②			
	講義資料番号/連番(LMS)				40
37.	2022/09/14(水)	3時限	実習	講義室 201	10:25-15:05
	タイトル	12, 13, 14 中枢神経系の微細構造(組織学)			
	担当者(所属)	浦瀬 香子 菊田 幸子 森島 正恵 石井 泰雄 石津 綾子 望月 牧子 横溝 智雅 矢作 綾野			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-2-1)-(1)①②⑤,D-2-1)-(2)①,D-2-1)-(3)①②,D-2-1)-(4)①②,D-2-1)-(5)①②			
	講義資料番号/連番(LMS)				41
38.	2022/09/14(水)	4時限	実習	講義室 201	10:25-15:05
	タイトル	12, 13, 14 中枢神経系の微細構造(組織学)			
	担当者(所属)	浦瀬 香子 菊田 幸子 森島 正恵 石井 泰雄 石津 綾子 望月 牧子 横溝 智雅 矢作 綾野			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-2-1)-(1)①②⑤,D-2-1)-(2)①,D-2-1)-(3)①②,D-2-1)-(4)①②,D-2-1)-(5)①②			
	講義資料番号/連番(LMS)				42
39.	2022/09/16(金)	1時限	講義	講義室 201	09:00-10:10

	タイトル	30 意識と睡眠			
	担当者(所属)	赤川 浩之			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-2-1)-(1)①③④⑤,D-2-1)-(2)①,D-2-4)-(3)②,D-2-4)-(5)①②,C-4-2)①②③,E-4-3)-(3)①②③,E-4-3)-(4)①②,E-4-3)-(5)①②			
	講義資料番号/連番(LMS)				25
	2022/09/16(金)	3時限	実習	大実習室 2 大実習室 3	12:30-16:25
	タイトル	15, 16, 17 神経生理実習1			
40.	担当者(所属)	三谷 昌平 茂泉 佐和子 宮田 麻理子 末廣 勇司 出嶋 克史 植田 禎史 伊豆原 郁月 吉田 慶太 緑川 光春 河村 寿子 大野 奈緒子			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-2-1)-(3)①,D-2-1)-(4)②,D-2-2)②,C-2-3)-(2)④			
	講義資料番号/連番(LMS)				43
	2022/09/16(金)	4時限	実習	大実習室 2 大実習室 3	12:30-16:25
	タイトル	15, 16, 17 神経生理実習1			
41.	担当者(所属)	三谷 昌平 茂泉 佐和子 宮田 麻理子 末廣 勇司 出嶋 克史 植田 禎史 伊豆原 郁月 吉田 慶太 緑川 光春 河村 寿子 大野 奈緒子			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-2-1)-(3)①,D-2-1)-(4)②,D-2-2)②,C-2-3)-(2)④			
	講義資料番号/連番(LMS)				44
42.	2022/09/16(金)	5時限	実習	大実習室 2 大実習室 3	12:30-16:25
	タイトル	15, 16, 17 神経生理実習1			
	担当者(所属)	三谷 昌平 茂泉 佐和子 宮田 麻理子			

		末廣　勇司 出嶋　克史 植田　禎史 伊豆原　郁月 吉田　慶太 緑川　光春 河村　寿子 大野　奈緒子			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-2-1)-(3)①,D-2-1)-(4)②,D-2-2)②,C-2-3)-(2)④			
	講義資料番号/連番(LMS)				45
43.	2022/09/20(火)	3時限	実習	大実習室 2 大実習室 3	12:30-16:25
	タイトル	18, 19, 20　神経生理実習2			
	担当者(所属)	三谷　昌平 茂泉　佐和子 宮田　麻理子 末廣　勇司 出嶋　克史 植田　禎史 伊豆原　郁月 吉田　慶太 緑川　光春 河村　寿子 大野　奈緒子			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-2-1)-(3)①,D-2-1)-(4)②,D-2-2)②,C-2-3)-(2)④			
	講義資料番号/連番(LMS)				46
44.	2022/09/20(火)	4時限	実習	大実習室 2 大実習室 3	12:30-16:25
	タイトル	18, 19, 20　神経生理実習2			
	担当者(所属)	三谷　昌平 茂泉　佐和子 宮田　麻理子 末廣　勇司 出嶋　克史 植田　禎史 伊豆原　郁月 吉田　慶太 緑川　光春 河村　寿子 大野　奈緒子			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-2-1)-(3)①,D-2-1)-(4)②,D-2-2)②,C-2-3)-(2)④			

	講義資料番号/連番(LMS)				47
	2022/09/20(火)	5時限	実習	大実習室 2 大実習室 3	12:30-16:25
	タイトル	18, 19, 20 神経生理実習2			
45.	担当者(所属)	三谷 昌平 茂泉 佐和子 宮田 麻理子 末廣 勇司 出嶋 克史 植田 禎史 伊豆原 郁月 吉田 慶太 緑川 光春 河村 寿子 大野 奈緒子			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-2-1)-(3)①,D-2-1)-(4)②,D-2-2)②,C-2-3)-(2)④			
	講義資料番号/連番(LMS)				48
	2022/09/21(水)	3時限	講義	講義室 303	12:30-13:40
	タイトル	26 意識障害と脳死			
46.	担当者(所属)	江口 盛一郎			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	B-2-1)①,E-9-1)②			
	講義資料番号/連番(LMS)				26
	2022/09/27(火)	3時限	実習	大実習室 2 大実習室 3	12:30-16:25
	タイトル	21, 22, 23 神経生理実習3			
47.	担当者(所属)	三谷 昌平 茂泉 佐和子 宮田 麻理子 末廣 勇司 出嶋 克史 植田 禎史 伊豆原 郁月 吉田 慶太 緑川 光春 河村 寿子 大野 奈緒子			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-2-1)-(3)①,D-2-1)-(4)②,D-2-2)②,C-2-3)-(2)④			
	講義資料番号/連番(LMS)				49
48.	2022/09/27(火)	4時限	実習	大実習室 2 大実習室 3	12:30-16:25
	タイトル	21, 22, 23 神経生理実習3			
	担当者(所属)	三谷 昌平			

		茂泉　佐和子 宮田　麻理子 末廣　勇司 出嶋　克史 植田　禎史 伊豆原　郁月 吉田　慶太 緑川　光春 河村　寿子 大野　奈緒子			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-2-1)-(3)①,D-2-1)-(4)②,D-2-2)②,C-2-3)-(2)④			
	講義資料番号/連番(LMS)				50
49.	2022/09/27(火)	5時限	実習	大実習室 2 大実習室 3	12:30-16:25
	タイトル	21, 22, 23　神経生理実習3			
	担当者(所属)	三谷　昌平 茂泉　佐和子 宮田　麻理子 末廣　勇司 出嶋　克史 植田　禎史 伊豆原　郁月 吉田　慶太 緑川　光春 河村　寿子 大野　奈緒子			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-2-1)-(3)①,D-2-1)-(4)②,D-2-2)②,C-2-3)-(2)④			
	講義資料番号/連番(LMS)				51
50.	2022/09/30(金)	2時限	講義	講義室 303	10:25-11:35
	タイトル	25　神経系の発達症候学			
	担当者(所属)	竹下　暁子			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	E-7-2)			
	講義資料番号/連番(LMS)				27
51.	2022/09/30(金)	3時限	実習	大実習室 2 大実習室 3	12:30-16:25
	タイトル	24, 25, 26　神経生理実習4			
	担当者(所属)	三谷　昌平 茂泉　佐和子 宮田　麻理子 末廣　勇司 出嶋　克史			

		植田　禎史 伊豆原　郁月 吉田　慶太 緑川　光春 河村　寿子 大野　奈緒子			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-2-1)-(3)①,D-2-1)-(4)②,D-2-2)②,C-2-3)-(2)④			
	講義資料番号/連番(LMS)				52
	2022/09/30(金)	4時限	実習	大実習室 2 大実習室 3	12:30-16:25
	タイトル	24, 25, 26　神経生理実習4			
52.	担当者(所属)	三谷　昌平 茂泉　佐和子 宮田　麻理子 末廣　勇司 出嶋　克史 植田　禎史 伊豆原　郁月 吉田　慶太 緑川　光春 河村　寿子 大野　奈緒子			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-2-1)-(3)①,D-2-1)-(4)②,D-2-2)②,C-2-3)-(2)④			
	講義資料番号/連番(LMS)				53
	2022/09/30(金)	5時限	実習	大実習室 2 大実習室 3	12:30-16:25
	タイトル	24, 25, 26　神経生理実習4			
53.	担当者(所属)	三谷　昌平 茂泉　佐和子 宮田　麻理子 末廣　勇司 出嶋　克史 植田　禎史 伊豆原　郁月 吉田　慶太 緑川　光春 河村　寿子 大野　奈緒子			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-2-1)-(3)①,D-2-1)-(4)②,D-2-2)②,C-2-3)-(2)④			
	講義資料番号/連番(LMS)				54
54.	2022/10/14(金)	3時限	講義	講義室 201	12:30-13:40
	タイトル	24　神経の分化と回路形成の分子機構			

	担当者(所属)	中村　史雄			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	C-2-3)-(1)②,C-2-4)⑨			
	講義資料番号/連番(LMS)				28
55.	2022/11/08(火)	4時限	実習	ー	13:55-15:05
	タイトル	1 臨床実習(1)			
	担当者(所属)	ー ー			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	F-3-5)-(6)①-⑥、F-3-5)-(7)③			
	講義資料番号/連番(LMS)				55
56.	2022/11/08(火)	5時限	実習	ー	15:15-16:25
	タイトル	1 臨床実習(1)			
	担当者(所属)	ー ー			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	F-3-5)-(6)①-⑥、F-3-5)-(7)③			
	講義資料番号/連番(LMS)				56
57.	2022/11/15(火)	4時限	実習	ー	13:55-15:05
	タイトル	2 臨床実習(2)			
	担当者(所属)	ー ー			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	F-3-5)-(6)①-⑥、F-3-5)-(7)③			
	講義資料番号/連番(LMS)				57
58.	2022/11/15(火)	5時限	実習	ー	15:15-16:25
	タイトル	2 臨床実習(2)			
	担当者(所属)	ー ー			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	F-3-5)-(6)①-⑥、F-3-5)-(7)③			
	講義資料番号/連番(LMS)				58
59.	2022/11/25(金)	4時限	実習	ー	13:55-15:05
	タイトル	3 臨床実習(3)			
	担当者(所属)	ー ー			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	F-3-5)-(6)①-⑥、F-3-5)-(7)③			
	講義資料番号/連番(LMS)				59
60.	2022/11/25(金)	5時限	実習	ー	15:15-16:25
	タイトル	3 臨床実習(3)			
	担当者(所属)	ー ー			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	F-3-5)-(6)①-⑥、F-3-5)-(7)③			
	講義資料番号/連番(LMS)				60
61.	2023/01/06(金)	4時限	実習	ー	13:55-15:05

	タイトル	4 臨床実習(4)			
	担当者(所属)	ー ー			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	F-3-5)-(6)①-⑥、F-3-5)-(7)③			
	講義資料番号/連番(LMS)				61
62.	2023/01/06(金)	5時限	実習	ー	15:15-16:25
	タイトル	4 臨床実習(4)			
	担当者(所属)	ー ー			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	F-3-5)-(6)①-⑥、F-3-5)-(7)③			
	講義資料番号/連番(LMS)				62
63.	2023/01/13(金)	3時限	実習	ー	12:30-13:40
	タイトル	5 臨床実習(5)(4-5限に(5)(6)をあわせて実施)			
	担当者(所属)	ー ー			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	F-3-5)-(6)①-⑥、F-3-5)-(7)③			
	講義資料番号/連番(LMS)				63
64.	2023/01/13(金)	4時限	実習	ー	13:55-15:05
	タイトル	6 臨床実習(5)(6)			
	担当者(所属)	ー ー			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	F-3-5)-(6)①-⑥、F-3-5)-(7)③			
	講義資料番号/連番(LMS)				65
65.	2023/01/13(金)	5時限	実習	ー	15:15-16:25
	タイトル	6 臨床実習(5)(6)			
	担当者(所属)	ー ー			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	F-3-5)-(6)①-⑥、F-3-5)-(7)③			
	講義資料番号/連番(LMS)				66
66.	2023/01/13(金)	6時限	実習	ー	16:35-17:45
	タイトル	5 臨床実習(5)(4-5限に(5)(6)をあわせて実施))			
	担当者(所属)	ー ー			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	F-3-5)-(6)①-⑥、F-3-5)-(7)③			
	講義資料番号/連番(LMS)				64
67.	2023/01/17(火)	4時限	実習	ー	13:55-15:05
	タイトル	7 臨床実習(7)			
	担当者(所属)	ー ー			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	F-3-5)-(6)①-⑥、F-3-5)-(7)③			
	講義資料番号/連番(LMS)				67
68.	2023/01/17(火)	5時限	実習	ー	15:15-16:25

	タイトル	7 臨床実習(7)			
	担当者(所属)	ー ー			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	F-3-5)-(6)①-⑥、F-3-5)-(7)③			
	講義資料番号/連番(LMS)				68
69.	2023/01/24(火)	4時限	実習	ー	13:55-15:05
	タイトル	8 臨床実習(8)			
	担当者(所属)	ー ー			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	F-3-5)-(6)①-⑥、F-3-5)-(7)③			
	講義資料番号/連番(LMS)				69
70.	2023/01/24(火)	5時限	実習	ー	15:15-16:25
	タイトル	8 臨床実習(8)			
	担当者(所属)	ー ー			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	F-3-5)-(6)①-⑥、F-3-5)-(7)③			
	講義資料番号/連番(LMS)				70
71.	2023/01/27(金)	4時限	実習	ー	13:55-15:05
	タイトル	9 臨床実習(9)			
	担当者(所属)	ー ー			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	F-3-5)-(6)①-⑥、F-3-5)-(7)③			
	講義資料番号/連番(LMS)				71
72.	2023/01/27(金)	5時限	実習	ー	15:15-16:25
	タイトル	9 臨床実習(9)			
	担当者(所属)	ー ー			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	F-3-5)-(6)①-⑥、F-3-5)-(7)③			
	講義資料番号/連番(LMS)				72
73.	2023/01/31(火)	4時限	実習	ー	13:55-15:05
	タイトル	10 臨床実習(10)			
	担当者(所属)	ー ー			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	F-3-5)-(6)①-⑥、F-3-5)-(7)③			
	講義資料番号/連番(LMS)				73
74.	2023/01/31(火)	5時限	実習	ー	15:15-16:25
	タイトル	10 臨床実習(10)			
	担当者(所属)	ー ー			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	F-3-5)-(6)①-⑥、F-3-5)-(7)③			
	講義資料番号/連番(LMS)				74
75.	2023/02/03(金)	4時限	実習	ー	13:55-15:05

	タイトル	11 臨床実習(11)			
	担当者(所属)	ー ー			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	F-3-5)-(6)①-⑥、F-3-5)-(7)③			
	講義資料番号/連番(LMS)				75
76.	2023/02/03(金)	5時限	実習	ー	15:15-16:25
	タイトル	11 臨床実習(11)			
	担当者(所属)	ー ー			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	F-3-5)-(6)①-⑥、F-3-5)-(7)③			
	講義資料番号/連番(LMS)				76
77.	2023/02/07(火)	4時限	実習	ー	13:55-15:05
	タイトル	12 臨床実習(12)			
	担当者(所属)	ー ー			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	F-3-5)-(6)①-⑥、F-3-5)-(7)③			
	講義資料番号/連番(LMS)				77
78.	2023/02/07(火)	5時限	実習	ー	15:15-16:25
	タイトル	12 臨床実習(12)			
	担当者(所属)	ー ー			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	F-3-5)-(6)①-⑥、F-3-5)-(7)③			
	講義資料番号/連番(LMS)				78
79.	2023/02/13(月)	3時限	試験	講義室 303	13:00-14:30
	タイトル	脳神経系 1 試験			
	担当者(所属)	宮田 麻理子			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)				79
80.	2023/02/13(月)	4時限	試験	講義室 303	13:00-14:30
	タイトル	脳神経系 1 試験			
	担当者(所属)	宮田 麻理子			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)				80
81.	2023/02/27(月)	1時限	追・再試験	講義室 201	10:00-11:30
	タイトル	脳神経系 1 追試験			
	担当者(所属)	宮田 麻理子			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)				81
82.	2023/02/27(月)	2時限	追・再試験	講義室 201	10:00-11:30

タイトル	脳神経系 1　追試験	
担当者（所属）	宮田　麻理子	
コアカリキュラム/S10国試出題基準		
講義資料番号/連番(LMS)	**41**	82

［脳神経系１（構造・機能）］

大　項　目	中　　項　　目	小　　項　　目	備　考
Ⅰ.神経系の構造	1. 神経系の微細構造	1)　神経組織（白質と灰白質）	
		2)　神経終末：受容器と効果器	
		3)　神経節と神経細胞、神経核	
		4)　脊髄	
		5)　大脳、小脳、中脳、橋、延髄	
	2. 神経細胞の分化と栄養因子	1)　神経成長因子（NGF）ファミリー	
		2)　線維芽細胞成長因子	
		3)　細胞間接着因子	
		4)　サイトカイン	
	3. 中枢神経系の発生と構造	1)　脊髄	
		2)　脳：延髄、橋、小脳、中脳、間脳および終脳	
		3)　脳室と脈絡組織	
		4)　髄膜	
		5)　脳脊髄液循環と血管系	
		6)　血液・脳関門	
		7)　頭蓋腔と脊柱管の局所解剖	
		8)　中枢神経系の発生異常	
	4. 末梢神経系の発生と構造	1)　脊髄神経：頚神経、胸神経、腰神経、仙骨神経、神経叢	
		2)　脳神経：嗅神経、視神経、動眼神経、滑車神経、三叉神経、外転神経、顔面神経、内耳神経、舌咽神経、迷走神経、副神経、舌下神経	
		3)　自律神経系：交感神経、副交感神経	
		4)　末梢神経系の発生異常	
	5. 伝導路		
	a. 反射経路	反射弓	
	b. 下行性伝導路	1)　錐体路	
		2)　錐体外路系	
	c. 上行性伝導路	1)　体性感覚伝導路	
		2)　視覚・聴覚伝導路	
		3)　嗅覚・味覚伝導路	
		4)　脊髄小脳路	
	6. ニューロンとグリアの細胞病理学	1)　エネルギー代謝の異常	
		2)　蛋白代謝の異常	
		3)　脂質代謝の異常	
		4)　核酸代謝の異常	
		5)　金属代謝の異常	
		6)　ニューロン・アストロサイト・オリゴデンドロサイト・ミクログリアの病態	

大　項　目	中　　項　　目	小　　項　　目	備　考
Ⅱ.神経系の機能	1. 視床下部	1)　水分調節中枢	
A.自律機能		2)　血糖調節中枢	
		3)　体温調節中枢	
		4)　視床下部－下垂体系	
	2. 脳幹	1)　循環中枢、循環反射	
		2)　呼吸中枢、呼吸反射	
		3)　脳幹を介する反射	
	3. 脊髄	1)　蓄尿、排尿、排便反射	
		2)　勃起、射精反射	
B.運動の制御	1. 大脳皮質	★ 1)　大脳皮質機能局在	
		2)　大脳皮質細胞構築	
		3)　大脳皮質運動野	
		4)　線維結合と機能円柱	
		5)　運動前野	
		6)　補足運動野	
		7)　随意運動	
		8)　パーキンソン病、ハンチントン舞踏病の神経回路的説明	
	2. 大脳基底核	1)　大脳基底核の構成	
		2)　神経回路と伝達物質	
		3)　大脳基底核の機能	
		4)　不随意運動	
	3. 小脳	1)　小脳入出力	
		2)　小脳皮質の神経回路	
		3)　小脳皮質の機能分布	
		4)　小脳による運動制御	
		5)　適応運動学習と神経可塑性	
		6)　小脳症状	
		7)　随意運動発現機序	
	4. 脳幹	1)　筋緊張	
		2)　歩行運動	
		3)　姿勢の制御	
		4)　除脳固縮	
	5. 脊髄	1)　脊髄反射	
		2)　抑制回路	
		3)　錐体路と錐体外路	
		4)　$\alpha-\gamma$ 連関	
		5)　M 波・H 波	
C.感覚系の機能	1. 体性感覚	1)　受容野	
		2)　体性感覚伝導路	
		3)　視床と網様体	
		4)　大脳皮質体性感覚野	
	2. 感覚の認識	1)　感覚野内の空間的機能、分布、体部位局在	

大　項　目	中　　項　　目	小　　項　　目	備　考
		2)　機能円柱	
		3)　刺激パターンと反応パターン	
		4)　特徴抽出ニューロン	
D.意識と睡眠	★ 1. 意識	1)　脳幹網様体	
		2)　視床非特殊系	
	★ 2. 睡眠	1)　non － REM 睡眠	
		2)　REM 睡眠	
		3)　睡眠物質	
	★ 3. 意識障害と死	1)　植物状態	
		2)　脳死	
		3)　心臓死	
Ⅲ.主要症候と病態生理			
A.発達症候学	1. 小児の発達とその異常	1)　胎児から成人までの脳の発達過程の基礎と臨床	
		2)　正常児と異常児の差異	
		3)　異常姿勢	
B.一般症候	1. 意識障害、睡眠障害		
	2. 知能障害	1)　認知症	
	3. 疼痛、頭重感、めまい	1)　頭痛、2)　神経痛	
	4. 嗄声、悪心・嘔吐、痙攣		
	5. 不定愁訴		
C.精神・神経症候精神・心理機能	1. 失語、失行、失認	1)　Broca 失語、Wernicke 失語	
		2)　Gerstmann 症候群	
	2. 通過症候群		
	3. 失外套症候群		
	4. 無動無言症	1)　大脳辺縁系、Papez 回路	
	5. Locked － in 症候群	1)　橋底部障害	
D.脳・髄膜症状	1. 髄膜刺激症状	1)　頭痛、悪心、嘔吐	
		2)　項部硬直、Kernig 徴候	
		3)　Burdzinski 徴候	
	2. 頭蓋内圧亢進	1)　脳浮腫	
	3. 脳ヘルニア	1)　テント切痕ヘルニア	
		2)　大孔ヘルニア	
		3)　その他の脳ヘルニア	
Ⅳ.神経症候			
A.脳神経領域	1. 嗅覚障害	1)　頭部外傷	
		2)　前頭葉腫瘍	
	2. 瞳孔異常：形状	1)　Horner 症候群	
	a. 左右差、瞳孔反射	2)　Adie 症候群	
		3)　Argyll Robertson 瞳孔	

大　項　目	中　　項　　目	小　　項　　目	備　考
	3. 眼底	1)　乳頭、血管、網膜	
	4. 視覚路障害	1)　視力、視野	
	5. 眼球運動障害	1)　注視麻痺	
		2)　共同偏視	
		3)　核間性眼筋麻痺	
		4)　眼振	
	a. 動眼神経		
	b. 滑車神経		
	c. 外転神経		
	6. 三叉神経、運動・感覚枝	1)　咀嚼運動、開口障害	
		2)　顔面の感覚	
	7. 顔面神経	1)　顔面神経麻痺・攣縮	
		a) Ramsay－Hunt 症候群	
		b) Bell 麻痺	
		c) 半側顔面攣縮	
	8. 聴神経・前庭神経	1)　難聴	
		2)　失調	
	9. 舌咽・迷走神経	1)　咽頭感覚	
	A. 球麻痺	2)　嚥下障害	
	B. 偽性球麻痺	3)　構音障害	
B.脊髄	1. 脊髄障害	1)　横断性脊髄障害	
		2)　半側性脊髄障害	
		(Brown－Séquard 症候群)	
		3)　前脊髄動脈症候群	
C.脊髄神経	1. 運動麻痺	1)　痙性麻痺、弛緩性麻痺	
	2. 反射異常	1)　亢進、低下、消失	
		2)　病的反射	
	3. 感覚異常	1)　全感覚障害	
		2)　解離性感覚障害	
	4. 自律神経障害	1)　排尿・排便障害	
		2)　発汗障害	
D.運動障害	1. 錐体路・錐体外路徴候	1)　筋力低下、筋萎縮	
		2)　筋緊張異常（痙縮、固縮）	
		3)　不随意運動	
	2. 小脳症候	1)　運動失調	
		2)　筋緊張低下	
		3)　協調運動障害	
	3. 姿勢異常	1)　除脳硬直、除皮質硬直	
		2)　前屈姿勢	
	4. 歩行異常	1)　円環歩行、小刻歩行、鶏歩	
		2)　鋏足歩行、動揺性歩行	
		3)　失調歩行（酩酊歩行）	
		脊髄・小脳性	
	5. 末梢性神経麻痺		
E.自律神経系	1. 自律神経障害	1)　血圧調節障害	

大　項　目	中　　項　　目	小　　項　　目	備　考
		2)　排尿障害、尿失禁、尿閉	
		3)　発汗障害	
Ⅴ.検査			
A.脳脊髄液検査	1. 腰椎穿刺・後頭下穿刺	1)　髄液圧：初圧、終圧	
	2. 髄液定量検査	2)　Queckenstedt 試験	
		1)　外観、細胞数、総蛋白	
	3. 適応と禁忌	2)　糖、クロール量	
B.生体機能検査	1. 脳波	1)　培養、墨汁法	
		1)　異常波診断	
		2)　脳波賦活法（深呼吸、光刺激、睡眠）	
	2. 誘発電位	3)　ポリグラフィ	
		1)　聴性脳幹反応	
		2)　視覚誘発電位	
	3. 筋電図	3)　体性感覚誘発電位	
		1)　針筋電図、誘発筋電図	
	4. 末梢神経検査	2)　表面筋電図	
	5. 生検	1)　神経伝導速度	
		1)　筋生検	
		2)　神経生検	
C.感覚系の検査	1. 体性感覚	1)　触、痛、温、冷感覚点の分布	
		2)　二点識別	
		3)　重量感覚、Weber の法則	
		4)　振動覚	
	2. 嗅覚		
	3. 視覚機能	1)　瞳孔、眼底、視力、視野	
	4. 眼球運動	1)　電気眼振計（EOG）	
	5. 聴覚・平衡機能	1)　聴力検査（気導・骨導）	
		2)　偏奇・立直り試験	
	6. 味覚機能	1)　甘味、塩味、酸味、苦味の識別閾濃度	
		2)　舌の味覚分布	
★D.心理・精神機能検査	1. 知能検査	1)　田中・Binet 式、WAIS、WISC	
	2. 記銘力検査		
	3. 性格テスト	1)　YG テスト	
	4. 知的機能	1)　長谷川式痴呆簡易スケール	
		2)　Mini－mental state exam.（MMSE）	
	5. 失語検査	1)　標準失語症検査（SLTA）	
		2)　WAB 日本語版	

科目名	脳神経系2
科目責任者(所属)	川俣　貴一

到達目標	中枢神経系の正常機能とその異常の臨床。具体的には、周産期脳障害、発達期および成人の脳に起こる機能異常（けいれん、頭痛等の基礎と臨床）、脳血管障害、脳腫瘍、外傷、中枢神経系・末梢神経系・自律神経系の炎症、感染症、変性疾患、脱髄性疾患、神経筋疾患および内科疾患における神経障害の基礎と臨床、中枢神経系画像診断と脳・脊髄の疾患の中で、主要な疾患の病態・診断と治療について学ぶ。外傷は頭蓋骨、脊椎の損傷を伴うことも多く、骨格を中心とした運動器の解剖学を同時に学修しながら、急性・慢性の神経外傷の重要点を把握する。脳血管障害は脳梗塞、高血圧性脳内出血、くも膜下出血等救急医療の点からも重要な疾患が多く、内科的、外科的両面からの診断、治療が重要であり、総合的な観点から理解を深める。脳腫瘍は種類が多く、病理学的な理解が基礎になる。良性、悪性腫瘍により、病態や治療方針も異なってくるので、それぞれを個別的に学修し、さらに神経系腫瘍に対する放射線治療や化学療法の基本を学修する。 また、神経系疾患の基本となる頭蓋内圧亢進の病態の理解と治療法を学ぶ。本領域では、画像診断や先天異常、頭痛、てんかんや不随意運動などの機能的疾患も対象となり、新たな画像診断と内科的、外科的治療を学修する。	
アウトカム・ロードマップに係わる到達目標/項目番号	人体の臓器・器官系の機能と構造、正常と異常を説明できる。	Ⅰ-1-A-(3-4)-①
	疾患、症候の病態を説明できる。	Ⅰ-1-A-(3-4)-④
	診断の過程を説明し実践できる。	Ⅰ-1-B-(3-4)-①
	適切な治療法とその根拠を説明できる。	Ⅰ-1-B-(3-4)-②
	基礎・病態・臨床を結びつけて考えられる。	Ⅰ-2-B-(3-4)-②
	適切な診療ガイドラインを選択できる。	Ⅰ-3-A-(3-4)-②
	病態を明らかにする方法を挙げることができる。	Ⅰ-3-B-(3-4)-①
	事例で診療上の問題を解決する方法・手段を明らかにできる。	Ⅰ-3-B-(3-4)-②
	医学的情報をわかりやすく伝えることができる。	Ⅰ-4-A-(3-4)-①
	医療チームでの情報共有について説明できる。	Ⅰ-4-C-(3-4)-②
	データ・結果の根拠を批判的に説明できる。	Ⅰ-5-A-(3-4)-①
	診療上のエビデンスを選ぶことができる。	Ⅰ-5-B-(3-4)-①
	医学生の医行為水準を説明できる。	Ⅰ-6-A-(3-4)-①
	医学における倫理の概念を説明できる。	Ⅰ-6-B-(3-4)-①
	患者情報が含まれる文書・電子媒体を適切に使用できる。	Ⅰ-6-B-(3-4)-③
	傾聴できる。	Ⅱ-1-A-(3-4)-①
	患者の人権・尊厳を説明できる。	Ⅱ-1-A-(3-4)-②
	他者の気持ちに配慮して意志を交わすことができる。	Ⅱ-1-B-(3-4)-①
	医師として必要な知識、技能、態度を述べることができる。	Ⅱ-2-A-(3-4)-②
	学修の中で興味を持ったことを自ら学べる。	Ⅱ-2-D-(3-4)-②
学修（教育）方法	講義・実習・TBL	
評価方法 (1)総括的評価の対象	定期試験（90%）の点数と実習（10%）の総合成績を科目の評価とする。	
評価方法 (2)評価項目	1) 脳・脊髄のコンピュータ断層撮影(computed tomography <CT>)・磁気共鳴画像法(magnetic resonance imaging <MRI>)検査の適応と異常所見を説明し、結果を解釈できる。	D-2-2)①
	2) 神経系の電気生理学的検査（脳波検査、筋電図、末梢神経伝導検査）で得られる情報を説明できる。	D-2-2)②
	3) けいれん	D-2-3)①
	4) 意識障害・失神	D-2-3)②
	5) めまい	D-2-3)③

	6) 頭痛	D-2-3)④
	7) 運動麻痺・筋力低下	D-2-3)⑤
	8) 小脳性・前庭性・感覚性運動失調障害を区別して説明できる。	D-2-3)-(1)①
	9) 振戦を概説できる。	D-2-3)-(1)②
	10) その他の不随意運動(ミオクローヌス、舞踏運動、ジストニア、固定姿勢保持困難(asterixis)、アテトーシス、チック)を概説できる。	D-2-3)-(1)③
	11) 歩行障害を病態に基づいて分類できる。	D-2-3)-(2)①
	12) 失語症と構音障害の違いを説明できる。	D-2-3)-(3)①
	13) 脳浮腫の病態を説明できる。	D-2-3)-(4)①
	14) 急性・慢性頭蓋内圧亢進の症候を説明できる。	D-2-3)-(4)②
	15) 脳ヘルニアの種類と症候を説明できる。	D-2-3)-(4)③
	16) 脳血管障害(脳出血、くも膜下出血、頭蓋内血腫、脳梗塞、一過性脳虚血発作)の病態、症候と診断を説明できる。	D-2-4)-(1)①
	17) 脳血管障害の治療と急性期・回復期・維持期(生活期)のリハビリテーション医療を概説できる。	D-2-4)-(1)②
	18) 認知症の病因を列挙できる。	D-2-4)-(2)①
	19) 認知症をきたす主な病態(Alzheimer型認知症、Lewy小体型認知症、血管性認知症)の症候と診断を説明できる。	D-2-4)-(2)②
	20) Parkinson病の病態、症候と診断を説明できる。	D-2-4)-(2)③
	21) 筋萎縮性側索硬化症を概説できる。	D-2-4)-(2)④
	22) 多系統萎縮症を概説できる。	D-2-4)-(2)⑤
	23) 脳炎・髄膜炎、脳症の病因、症候と診断を説明できる。	D-2-4)-(3)①
	24) 多発性硬化症の病態、症候と診断を説明できる。	D-2-4)-(3)②
	25) 頭部外傷の分類を説明できる。	D-2-4)-(4)①
	26) 急性硬膜外・硬膜下血腫及び慢性硬膜下血腫の症候と診断を説明できる。	D-2-4)-(4)②
	27) 頭部外傷後の高次脳機能障害を説明できる。	D-2-4)-(4)③
	28) ニューロパチーの病因(栄養障害、中毒、遺伝性)と病態を分類できる。	D-2-4)-(5)①
	29) Guillain-Barré症候群の症候、診断を説明できる。	D-2-4)-(5)②
	30) Bell麻痺の症候、診断を説明できる。	D-2-4)-(5)③
	31) 主な神経障害性疼痛(三叉・坐骨神経痛)を概説できる。	D-2-4)-(5)④
	32) 重症筋無力症の病態、症候と診断を説明できる。	D-2-4)-(6)①
	33) 進行性筋ジストロフィーの病因、分類、症候と診断を説明できる。	D-2-4)-(6)②
	34) 周期性四肢麻痺を概説できる。	D-2-4)-(6)③
	35) てんかんの分類、診断と治療を説明できる。	D-2-4)-(7)①
	36) 頭痛(偏頭痛、緊張型頭痛等)の分類、診断と治療を説明できる。	D-2-4)-(8)①
	37) 脳性麻痺の病因、病型、症候とリハビリテーションを説明できる。	D-2-4)-(9)①
	38) 水頭症の症候と治療を説明できる。	D-2-4)-(9)②
	39) 主な脳・脊髄腫瘍の分類と好発部位を説明し、病態を概説できる。	D-2-4)-(10)①

評価方法 (3)評価基準	上記の評価項目について定期試験と実習を合わせて100点満点にて点数化を行い、 S.極めて良く理解している(90%以上) A.良く理解している(80%以上90%未満) B.平均的に理解している(70%以上80%未満) C.最低限は理解している(60%以上70%未満) D.理解が不十分である(60%未満)のいずれかとして判定し、C以上を合格とする。
伝達事項	準備学修: 脳神経系疾患を学修する基礎となる神経系の解剖学・生理学・生化学・内科診断学・放射線画像診断学などを事前に復習しておくことが望ましい。

教科書・参考図書

No	書籍名	著者名	上段:出版社 下段:出版年	ISBN
1.	『Goodman and Gilman's The Parmacological Basis of Terapeutics』	Laurence L. Brunton	McGraw-Hill	9780071624428

			2011	
2.	『脳と神経の薬理』	栗山欣弥, 松田友宏著	金芳堂 1989	4765305465
3.	『臨床医のための痛みのメカニズム　改訂2版』	横田敏勝著	南江堂 1997	9784524213894
4.	『がん患者の痛みに対するモルヒネの適応と実際』	武田文和編著	真興交易医書出版部 1995	488003424X
5.	『神経病理を学ぶ人のために　第4版』	平野朝雄, 冨安斉著	医学書院 2003	9784260103602
6.	『カラーアトラス神経病理　第3版』	平野朝雄編著	医学書院 2006	9784260002851
7.	『エスクロール基本神経病理学　第4版』	エスクロール [原著] ; F.グレイ, U.デ・ジロラーミ, J.ポワリエ編著	西村書店 2009	9784890133765
8.	『グラフィック神経学　普及版』	田中順一, 岩田誠著	医歯薬出版 2010	9784263209929
9.	『神経病理学アトラス』	Haruo Okazaki, Bernd W. Scheithauer[著] ; 岡崎春雄, 今津修訳	医学書院 1996	4260103539
10.	『解剖学および生理学 (The Ciba collection of medical illustrations ; vol. 1 . 神経 / Frank H. Netter[著] ; 第1部)』	Frank H. Netter [著] ; Alister Brass編 ; 石塚典生 [ほか] 訳	日本チバガイギー 1985	
11.	『神経系および神経筋疾患 (The Ciba collection of medical illustrations ; vol. 1 . 神経 / Frank H. Netter[著] ; 第2部)』	Frank H. Netter[著] ; 桐野高明 [ほか]訳	日本チバガイギー 1989	
12.	『Greenfield's neuropathology　vol.1・2』	Seth Love, David N. Louis, David W. Ellison	Hodder Arnold 2008	9780340906811
13.	『Developmental Neuropathology　第2版』	Friede, RL	Springer-Verlag 1989	9783642736995
14.	『Nelson Textbook of Pediatrics　第21版』	Robert M. Kliegman ... [et al.]	Elsevier/Saunders 2020	9780323529501
15.	『小児科診療ガイドライン : 最新の診療指針　第4版』	五十嵐隆編	総合医学社 2019	9784883786725
16.	『ベッドサイドの小児神経・発達の診かた　第4版』	桃井真里子, 宮尾益知, 水口雅編	南山堂 2017	9784525285548
17.	『小児神経学アトラス』	熊谷公明 [ほか] 編	診断と治療社 1986	4787801112
18.	『Epileptic syndromes in infancy, childhood and adolescence　第6版』	Joseph Roger [et al.]	John Libbey Eurotext 2019	9782742015726
19.	『臨床神経生理学』	柳沢信夫, 柴崎浩著	医学書院 2008	9784260007092
20.	『小児神経の画像診断 : 脳脊髄から頭頸部・骨軟部まで』	大場洋編著	学研メディカル秀潤社 2010	9784780908091
21.	『神経症候学を学ぶ人のために』	岩田誠著	医学書院	9784260117869

			1994	
22.	『簡要神経学　第4版』	I.M.S. Wilkinson, G. Lennox [著] ; 岩田誠, 岩田淳訳	メディカル・サイエンス・インターナショナル 2006	9784895924627
23.	『神経局在診断 : その解剖,生理,臨床　第6版』	Mathias Bähr, Michael Frotscher [著] ; 花北順哉訳	文光堂 2016	9784830615443
24.	『神経伝導検査と筋電図を学ぶ人のために　第2版』	木村淳,　幸原伸夫著	医学書院 2010	9784260008952
25.	『神経内科学書　第2版』	豊倉康夫総編集	朝倉書店 2004	9784254321906
26.	『国試対策神経内科学　改訂2版』	園生雅弘著	中外医学社 2004	9784498029910
27.	『臨床神経内科学　第6版』	廣瀬源二郎, 田代邦雄, 葛原茂樹編	南山堂 2016	9784525247669
28.	『標準脳神経外科学 (Standard textbook)　第15版』	佐々木富男 [ほか] 編集 ; 阿部俊昭 [ほか] 執筆	医学書院 2021	9784260043182
29.	『ガイドライン脳神経外科学　第3版』	森惟明著	南江堂 1995	9784524208586
30.	『中枢神経の先天異常 : 写真によるQ & A』	森惟明編, 坂本貴志著	にゅーろん社 1995	9784931101777
31.	『脳腫瘍(New Lecture ; 3)』	松谷雅生著 ; 山浦晶編	篠原出版 1996	4879491500
32.	『脳神経外科周術期管理のすべて　第5版』	松谷雅生, 田村晃編	メジカルビュー社 2019	9784758318495
33.	『「超」入門脳神経外科術中モニタリング : 医師・検査技師・MEが使える : 会話形式で役割がわかる　改訂2版』	佐々木達也, 鈴木恭一, 板倉毅著	メディカ出版 2011	9784840468688
34.	『脳神経外科臨床マニュアル　全3巻　改訂5版』	端和夫編	丸善出版 2018	9784621303481
35.	『一目でわかるニューロサイエンス　第3版』	Roger A. Barker, Stephen Barasi[著]	メディカル・サイエンス・インターナショナル 2009	9784895926171
36.	『脳腫瘍臨床病理カラーアトラス　第4版』	日本脳腫瘍病理学会編	医学書院 2017	9784260030472
37.	『Stroke : pathophysiology, diagnosis, and management 第7班』	J.P. Mohr ... [et al.]	Saunders 2021	9781416054788
38.	『脳神経外科学 全2巻　改訂12版』	太田富雄総編集, 川原信隆 [ほか] 編	金芳堂 2016	9784765316675
39.	『がん・放射線療法2010』	大西洋, 唐澤久美子, 唐澤克之編著	篠原出版新社 2010	9784884123444
40.	『臨床放射線腫瘍学 : 最新知見に基づいた放射線治療の実践』	日本放射線腫瘍学会, 日本放射線腫瘍学研究機構編	南江堂 2012	9784524263226

関連リンク	

添付ファイル ※3つまで、1ファイルにつき5MBまで、圧縮ファイルOK	

授業予定表

回数	年月日	時限	授業形式	教室	開始終了時間
1.	2022/09/02(金)	1時限	講義	講義室 201	09:00-10:10
	タイトル	1 科目の概要			
	担当者(所属)	天野 耕作			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	F-2-9)-(1)①-⑤,F-2-9)-(2)①-⑩,D-2-4)-(2)①②③④⑤			
	講義資料番号/連番(LMS)				1
2.	2022/09/05(月)	1時限	講義	講義室 201	09:00-10:10
	タイトル	25 小児脳神経外科疾患			
	担当者(所属)	藍原 康雄			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	G-4-2)①②「脳神経外科」①②			
	講義資料番号/連番(LMS)				2
3.	2022/09/05(月)	2時限	講義	講義室 201	10:25-11:35
	タイトル	26 神経系外傷			
	担当者(所属)	川島 明次			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-2-4)-(4)①②③			
	講義資料番号/連番(LMS)				3
4.	2022/09/07(水)	1時限	講義	講義室 201	09:00-10:10
	タイトル	14 脳腫瘍の病理			
	担当者(所属)	増井 憲太			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	C-4-6)⑤,D-2-4)-(10)①			
	講義資料番号/連番(LMS)				4
5.	2022/09/07(水)	2時限	講義	講義室 201	10:25-11:35
	タイトル	35 脳腫瘍 良性腫瘍			
	担当者(所属)	川俣 貴一			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-2-4)-(10)①			
	講義資料番号/連番(LMS)				5
6.	2022/09/12(月)	2時限	講義	講義室 201	10:25-11:35
	タイトル	10 神経血管障害の病理(1)			
	担当者(所属)	増井 憲太			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-2-1)-(1)②⑤,D-2-1)-(2)①,D-2-1)-(3)①②,D-2-1)-(4)①②③,D-2-1)-(5)①②③,D-2-3)-(4)①,D-2-4)-(1)①②			

	講義資料番号/連番(LMS)				6
7.	2022/09/13(火)	1時限	講義	講義室 201	09:00-10:10
	タイトル	5 癌・集学的治療における放射線治療の役割			
	担当者(所属)	唐澤　久美子			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	F-3-1)③④,E-6-2)③⑤,E-6-1)③④⑥			
	講義資料番号/連番(LMS)				7
8.	2022/09/13(火)	2時限	講義	講義室 201	10:25-11:35
	タイトル	11　神経血管障害の病理(2)			
	担当者(所属)	増井　憲太			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-2-1)-(1)②⑤,D-2-1)-(2)①,D-2-1)-(3)①②,D-2-1)-(4)①②③,D-2-1)-(5)①②③,D-2-3)-(4)①,D-2-4)-(1)①②			
	講義資料番号/連番(LMS)				8
9.	2022/09/13(火)	3時限	講義	講義室 201	12:30-13:40
	タイトル	12　神経血管障害の病理(3)			
	担当者(所属)	増井　憲太			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-2-1)-(1)②⑤,D-2-1)-(2)①,D-2-1)-(3)①②,D-2-1)-(4)①②③,D-2-1)-(5)①②③,D-2-3)-(4)①,D-2-4)-(1)①②			
	講義資料番号/連番(LMS)				9
10.	2022/09/13(火)	4時限	講義	講義室 201	13:55-15:05
	タイトル	22　神経系感染症の病理(1)			
	担当者(所属)	増井　憲太			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-2-1)-(1)②⑤,D-2-1)-(2)①,D-2-1)-(3)①②,D-2-1)-(4)①②③,D-2-1)-(5)①②③			
	講義資料番号/連番(LMS)				10
11.	2022/09/13(火)	5時限	講義	講義室 201	15:15-16:25
	タイトル	23　神経系感染症の病理(2)			
	担当者(所属)	増井　憲太			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-2-1)-(1)②⑤,D-2-1)-(2)①,D-2-1)-(3)①②,D-2-1)-(4)①②③,D-2-1)-(5)①②③			
	講義資料番号/連番(LMS)				11
12.	2022/09/14(水)	1時限	講義	講義室 201	09:00-10:10
	タイトル	7　小児の神経疾患			
	担当者(所属)	小平　かやの			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-15-3)⑪⑫			
	講義資料番号/連番(LMS)				12
13.	2022/09/15(木)	1時限	講義	講義室 201	09:00-10:10
	タイトル	3　脳・脊髄の感染症(1)			
	担当者(所属)	清水　優子			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-2-4)-(3)①,D-2-3)-(4)①,D-2-4)-(3)①,E-2-4)-(1)②③④⑤⑥⑧⑨⑩,E-2-4)-(2)③⑥⑧,E-2-4)-(3)①②③④			

	講義資料番号/連番(LMS)				13
14.	2022/09/15(木)	2時限	講義	講義室 201	10:25-11:35
	タイトル	4 脳・脊髄の感染症(2)			
	担当者(所属)	清水 優子			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-2-4)-(3)①			
	講義資料番号/連番(LMS)				14
15.	2022/09/20(火)	2時限	講義	講義室 303	10:25-11:35
	タイトル	13 脊椎・脊髄(1)			
	担当者(所属)	佐々木 寿之			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-2-4)-(10)①			
	講義資料番号/連番(LMS)				15
16.	2022/09/21(水)	1時限	講義	講義室 303	09:00-10:10
	タイトル	6 鎮痛薬・抗炎症薬			
	担当者(所属)	塚原 富士子			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	C-4-5)①③			
	講義資料番号/連番(LMS)				16
17.	2022/09/21(水)	2時限	講義	講義室 303	10:25-11:35
	タイトル	34 脳血管障害の外科(1)			
	担当者(所属)	川俣 貴一			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-2-4)-(1)①			
	講義資料番号/連番(LMS)				17
18.	2022/09/22(木)	4時限	講義	講義室 303	13:55-15:05
	タイトル	16 脳血管障害(1)			
	担当者(所属)	北川 一夫			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-2-4)-(1)①			
	講義資料番号/連番(LMS)				18
19.	2022/09/22(木)	5時限	講義	講義室 303	15:15-16:25
	タイトル	17 脳血管障害(2)			
	担当者(所属)	北川 一夫			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-2-4)-(1)②			
	講義資料番号/連番(LMS)				19
20.	2022/09/26(月)	2時限	講義	講義室 303	10:25-11:35
	タイトル	18 フロッピーインファント			
	担当者(所属)	石垣 景子			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-2-4)-(6)①,D-2-3)⑤,D-4-1)⑧,D-4-3)①,D-2-3)-(1),D-2-3)-(4),D-2-4)-(4),D-2-4)-(6)①②,D-2-4)-(7),D-5-3)⑦,E-2-3)③,F-1-7)②,F-1-8)①②③,G-2-7),G-4-1)-(3)②③④⑤			

	講義資料番号/連番(LMS)				20
21.	2022/09/28(水)	1時限	講義	講義室 303	09:00-10:10
	タイトル	8 小児のけいれん性疾患			
	担当者(所属)	伊藤 進			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-2-1)-(4)①②,D-2-3)①②,D-5-3)⑦,E-2-3)③,F-1-7)②			
	講義資料番号/連番(LMS)				21
22.	2022/09/28(水)	2時限	実習	講義室 303	10:25-13:40
	タイトル	1, 2 神経系の病理(1)			
	担当者(所属)	加藤 陽一郎 山本 智子 増井 憲太			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	C-4-6)①-⑥,D-2-4)-(10)			
	講義資料番号/連番(LMS)				54
23.	2022/09/28(水)	3時限	実習	講義室 303	10:25-13:40
	タイトル	1, 2 神経系の病理(1)			
	担当者(所属)	加藤 陽一郎 山本 智子 増井 憲太			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	C-4-6)①-⑥,D-2-4)-(10)			
	講義資料番号/連番(LMS)				55
24.	2022/09/28(水)	4時限	講義	講義室 303	13:55-15:05
	タイトル	24 神経系感染症の病理(3)			
	担当者(所属)	増井 憲太			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-2-1)-(1)②⑤,D-2-1)-(2)①,D-2-1)-(3)①②,D-2-1)-(4)①②③,D-2-1)-(5)①②③			
	講義資料番号/連番(LMS)				22
25.	2022/09/29(木)	1時限	講義	講義室 303	09:00-10:10
	タイトル	47 脱随性疾患			
	担当者(所属)	清水 優子			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-2-4)-(3)②			
	講義資料番号/連番(LMS)				23
26.	2022/09/29(木)	2時限	講義	講義室 303	10:25-11:35
	タイトル	48 内科疾患と神経障害			
	担当者(所属)	原 由紀子			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-2-3)②,D-2-4)(3)①,(5)①.(6)③,G-2-2) G-2-34)			
	講義資料番号/連番(LMS)				24
27.	2022/09/30(金)	1時限	講義	講義室 303	09:00-10:10

	タイトル	20 周生期脳障害			
	担当者(所属)	竹下 暁子			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-2-4)-(9) ①,D-2-4)-(9)②			
	講義資料番号/連番(LMS)				25
28.	2022/10/03(月)	1時限	講義	講義室 201	09:00-10:10
	タイトル	36 中枢神経系の画像診断(1)			
	担当者(所属)	吉浦 敬			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-2-4)-(6)①②③			
	講義資料番号/連番(LMS)				26
29.	2022/10/03(月)	2時限	講義	講義室 201	10:25-11:35
	タイトル	37 中枢神経系の画像診断(2)			
	担当者(所属)	吉浦 敬			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-2-4)-(6)①②③			
	講義資料番号/連番(LMS)				27
30.	2022/10/04(火)	1時限	講義	講義室 201	09:00-10:10
	タイトル	27 変性疾患・遺伝性疾患(1)			
	担当者(所属)	飯嶋 睦			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-2-3)-(1)②③,D-2-4)-(2)③④⑤			
	講義資料番号/連番(LMS)				28
31.	2022/10/04(火)	2時限	講義	講義室 201	10:25-11:35
	タイトル	28 変性疾患・自律神経疾患			
	担当者(所属)	飯嶋 睦			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-2-3)-(1)①,D-2-4)-(2)①②			
	講義資料番号/連番(LMS)				29
32.	2022/10/05(水)	3時限	講義	講義室 201	12:30-13:40
	タイトル	29 定位放射線手術(ガンマナイフ)			
	担当者(所属)	林 基弘			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-2-1)-(1)①,D-2-1)-(3)②③,D-2-2)①,D-2-3)-(4)①			
	講義資料番号/連番(LMS)				30
33.	2022/10/05(水)	4時限	講義	講義室 201	13:55-15:05
	タイトル	51 機能的脳神経外科			
	担当者(所属)	堀澤 士朗			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-2-4)-(2)③			
	講義資料番号/連番(LMS)				31
34.	2022/10/11(火)	1時限	講義	講義室 201	09:00-10:10

	タイトル	38　小児期発症の変性疾患(脳白質変性を中心に)			
	担当者(所属)	伊藤　康			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-2-4)-(2)①-⑤,D-2-4)-(3)①②,C-4-3)③,D-12-4)-(9)①②③			
	講義資料番号/連番(LMS)				32
35.	2022/10/11(火)	2時限	講義	講義室 201	10:25-11:35
	タイトル	39　脳血管障害の外科(2)			
	担当者(所属)	山口　浩司			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-2-4)-(1)①			
	講義資料番号/連番(LMS)				33
36.	2022/10/12(水)	1時限	講義	講義室 201	09:00-10:10
	タイトル	19　脳腫瘍　悪性腫瘍			
	担当者(所属)	丸山　隆志			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	C-4-6)①②③④⑤⑥			
	講義資料番号/連番(LMS)				34
37.	2022/10/12(水)	2時限	講義	講義室 201	10:25-11:35
	タイトル	21　てんかん			
	担当者(所属)	久保田　有一			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-2-4)-(7)①			
	講義資料番号/連番(LMS)				35
38.	2022/10/12(水)	3時限	講義	講義室 201	12:30-13:40
	タイトル	50　出血性脳血管障害			
	担当者(所属)	石川　達也			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-2-4)-(1)①,D-2-4)-(2)①②③④⑤			
	講義資料番号/連番(LMS)				36
39.	2022/10/12(水)	4時限	講義	講義室 201	13:55-15:05
	タイトル	30　脳・脊髄感染症の外科			
	担当者(所属)	江口　盛一郎			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-2-4)-(3)①,D-2-4)-(2)①②③④⑤			
	講義資料番号/連番(LMS)				37
40.	2022/10/13(木)	1時限	講義	講義室 201	09:00-10:10
	タイトル	45　中枢神経系の画像診断(3)			
	担当者(所属)	野口　智幸			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-2-2)①			
	講義資料番号/連番(LMS)				38
41.	2022/10/13(木)	2時限	講義	講義室 201	10:25-11:35

	タイトル	46 筋疾患			
	担当者(所属)	鈴木 美紀			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-2-4)-(6)①②③			
	講義資料番号/連番(LMS)				39
42.	2022/10/14(金)	1時限	講義	講義室 201	09:00-10:10
	タイトル	2 脊椎・脊髄(2)			
	担当者(所属)	三浦 勇			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-2-1)-(2)①②③			
	講義資料番号/連番(LMS)				40
43.	2022/10/17(月)	1時限	講義	講義室 201	09:00-10:10
	タイトル	52 間脳下垂体			
	担当者(所属)	天野 耕作			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-2-4)-(10)①,D-12-4)-(1)①②③⑥			
	講義資料番号/連番(LMS)				41
44.	2022/10/19(水)	2時限	講義	講義室 201	10:25-11:35
	タイトル	31 神経変性疾患の病理(1)			
	担当者(所属)	増井 憲太			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-2-1)-(1)②⑤,D-2-1)-(2)①,D-2-1)-(3)①②,D-2-1)-(4)①②③,D-2-1)-(5)①②③,D-2-3)-(4)①,D-2-4)-(3)①,E-2-4)-(1)②③④⑤⑥⑧⑨⑩ E-2-4)-(2)③⑥⑧ E-2-4)-(3)①②③④			
	講義資料番号/連番(LMS)				42
45.	2022/10/25(火)	4時限	実習	講義室 201	13:55-17:45
	タイトル	3, 4, 5 神経系の病理(2)			
	担当者(所属)	加藤 陽一郎 山本 智子 増井 憲太			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	C-4-6)①-⑥,D-2-4)-(10)			
	講義資料番号/連番(LMS)				56
46.	2022/10/25(火)	5時限	実習	講義室 201	13:55-17:45
	タイトル	3, 4, 5 神経系の病理(2)			
	担当者(所属)	加藤 陽一郎 山本 智子 増井 憲太			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	C-4-6)①-⑥,D-2-4)-(10)			
	講義資料番号/連番(LMS)				57
47.	2022/10/25(火)	6時限	実習	講義室 201	13:55-17:45
	タイトル	3, 4, 5 神経系の病理(2)			
	担当者(所属)	加藤 陽一郎			

		山本 智子 増井 憲太			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	C-4-6)①-⑥,D-2-4)-(10)			
	講義資料番号/連番(LMS)				58
48.	2022/10/26(水)	2時限	講義	講義室 201	10:25-11:35
	タイトル	53 末梢神経疾患			
	担当者(所属)	鈴木 美紀			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-2-4)-(5)①②③④			
	講義資料番号/連番(LMS)				43
49.	2022/10/28(金)	3時限	講義	講義室 201	12:30-13:40
	タイトル	32 神経変性疾患の病理(2)			
	担当者(所属)	増井 憲太			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-2-1)-(1)②⑤,D-2-1)-(2)①,D-2-1)-(3)①②,D-2-1)-(4)①②③,D-2-1)-(5)①②③,F-1-8)①②③,G-2-7)「全身性:てんかん」			
	講義資料番号/連番(LMS)				44
50.	2022/10/28(金)	4時限	講義	講義室 201	13:55-15:05
	タイトル	33 神経変性疾患の病理(3)			
	担当者(所属)	増井 憲太			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-2-1)-(1)②⑤,D-2-1)-(2)①,D-2-1)-(3)①②,D-2-1)-(4)①②③,D-2-1)-(5)①②③			
	講義資料番号/連番(LMS)				45
51.	2022/10/28(金)	5時限	講義	講義室 201	15:15-16:25
	タイトル	49 中枢神経系 RI診断			
	担当者(所属)	金子 恒一郎			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	F-2-5)①②			
	講義資料番号/連番(LMS)				46
52.	2022/11/01(火)	4時限	実習	講義室 201	13:55-17:45
	タイトル	6, 7, 8 神経系の病理(3)			
	担当者(所属)	加藤 陽一郎 山本 智子 増井 憲太			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	C-4-6)①-⑥,D-2-4)-(10)			
	講義資料番号/連番(LMS)				59
53.	2022/11/01(火)	5時限	実習	講義室 201	13:55-17:45
	タイトル	6, 7, 8 神経系の病理(3)			
	担当者(所属)	加藤 陽一郎 山本 智子 増井 憲太			

	コアカリキュラム/S10国試出題基準	C-4-6)①-⑥,D-2-4)-(10)			
	講義資料番号/連番(LMS)				60
54.	2022/11/01(火)	6時限	実習	講義室 201	13:55-17:45
	タイトル	6, 7, 8 神経系の病理(3)			
	担当者(所属)	加藤 陽一郎 山本 智子 増井 憲太			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	C-4-6)①-⑥,D-2-4)-(10)			
	講義資料番号/連番(LMS)				61
55.	2022/11/02(水)	1時限	講義	講義室 201	09:00-10:10
	タイトル	15 頭痛			
	担当者(所属)	清水 俊彦			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-2-4)-(8)①			
	講義資料番号/連番(LMS)				47
56.	2022/11/02(水)	2時限	講義	講義室 201	10:25-11:35
	タイトル	9 脳腫瘍の放射線治療			
	担当者(所属)	橋本 弥一郎			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	E-3-3)①③⑥⑦,D-2-3)-(4)①,D-2-4)-(3)①,E-2-4)-(1)②③④⑤⑥⑧⑨⑩,E-2-4)-(2)③⑥⑧,E-2-4)-(3)①②③④			
	講義資料番号/連番(LMS)				48
57.	2022/11/08(火)	4時限	実習	ー	13:55-15:05
	タイトル	1 臨床実習(1)			
	担当者(所属)	ー ー			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-2-1)-(1)①②⑤、D-2-1)-(3)、D-2-1)-(4)、D-2-1)-(5)、D-2-1)-(6)、D-2-3)-(1)、D-2-3)-(4)、D-2-4)-(4)、D-2-4)-(6)①②、D-2-4)-(7)、D-5-3)⑦、 E-2-3)③、 F-1-7)②、 F-1-8)①②③、 G-2-7)、G-4-1)-②③④⑤			
	講義資料番号/連番(LMS)				64
58.	2022/11/08(火)	5時限	実習	ー	15:15-16:25
	タイトル	1 臨床実習(1)			
	担当者(所属)	ー ー			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-2-1)-(1)①②⑤、D-2-1)-(3)、D-2-1)-(4)、D-2-1)-(5)、D-2-1)-(6)、D-2-3)-(1)、D-2-3)-(4)、D-2-4)-(4)、D-2-4)-(6)①②、D-2-4)-(7)、D-5-3)⑦、 E-2-3)③、 F-1-7)②、 F-1-8)①②③、 G-2-7)、G-4-1)-②③④⑤			
	講義資料番号/連番(LMS)				65
59.	2022/11/10(木)	1時限	講義	講義室 303	09:00-10:10
	タイトル	41 先天奇形			
	担当者(所属)	衛藤 薫			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	C-2-2)-(1)④,C-2-2)-(2)①,C-2-4)⑨,D-2-1)-(1)①⑤,D-2-1)-(4)①			
	講義資料番号/連番(LMS)				49
60.	2022/11/10(木)	2時限	実習	講義室 303	10:25-13:40

	タイトル	9, 10, 11　神経系の病理(4)			
	担当者(所属)	加藤　陽一郎 山本　智子 増井　憲太			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	C-4-6)①-⑥,D-2-4)-(10)			
	講義資料番号/連番(LMS)				62
61.	2022/11/10(木)	3時限	実習	講義室 303	10:25-13:40
	タイトル	9, 10, 11　神経系の病理(4)			
	担当者(所属)	加藤　陽一郎 山本　智子 増井　憲太			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	C-4-6)①-⑥,D-2-4)-(10)			
	講義資料番号/連番(LMS)				63
62.	2022/11/10(木)	4時限	講義	講義室 303	13:55-15:05
	タイトル	43　筋細胞の分子遺伝学(1)			
	担当者(所属)	荒川　玲子			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-2-2)①②,D-2-4)-(1)①②,D-2-4)-(4)①②③			
	講義資料番号/連番(LMS)				50
63.	2022/11/10(木)	5時限	講義	講義室 303	15:15-16:25
	タイトル	44　筋細胞の分子遺伝学(2)			
	担当者(所属)	荒川　玲子 ー ー			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-2-2)①②,D-2-4)-(3)①②,D-2-4)-(10)①			
	講義資料番号/連番(LMS)				51
64.	2022/11/10(木)	6時限	講義	講義室 303	16:35-17:45
	タイトル	42　運動ニューロン疾患			
	担当者(所属)	武田　貴裕			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-2-4)-(2)①-⑤,D-2-1)-(7)①②③			
	講義資料番号/連番(LMS)				52
65.	2022/11/15(火)	4時限	実習	ー	13:55-15:05
	タイトル	2　臨床実習(2)			
	担当者(所属)	ー ー			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-2-1)-(1)①②⑤、D-2-1)-(3)、D-2-1)-(4)、D-2-1)-(5)、D-2-1)-(6)、D-2-3)-(1)、D-2-3)-(4)、D-2-4)-(4)、D-2-4)-(6)①②、D-2-4)-(7)、D-5-3)⑦、E-2-3)③、F-1-7)②、F-1-8)①②③、G-2-7)、G-4-1)-②③④⑤			
	講義資料番号/連番(LMS)				66
66.	2022/11/15(火)	5時限	実習	ー	15:15-16:25
	タイトル	2　臨床実習(2)			

	担当者(所属)	ー ー			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-2-1)-(1)①②⑤、D-2-1)-(3)、D-2-1)-(4)、D-2-1)-(5)、D-2-1)-(6)、D-2-3)-(1)、D-2-3)-(4)、D-2-4)-(4)、D-2-4)-(6)①②、D-2-4)-(7)、D-5-3)⑦、E-2-3)③、F-1-7)②、F-1-8)①②③、G-2-7)、G-4-1)-②③④⑤			
	講義資料番号/連番(LMS)				67
67.	2022/11/21(月)	2時限	講義	講義室 303	10:25-11:35
	タイトル	40 先天神経奇形の病理			
	担当者(所属)	増井 憲太			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-2-1)-(1)②⑤,D-2-1)-(2)①,D-2-1)-(3)①②,D-2-1)-(4)①②③,D-2-1)-(5)①②③			
	講義資料番号/連番(LMS)				53
68.	2022/11/25(金)	4時限	実習	ー	13:55-15:05
	タイトル	3 臨床実習(3)			
	担当者(所属)	ー ー			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-2-1)-(1)①②⑤、D-2-1)-(3)、D-2-1)-(4)、D-2-1)-(5)、D-2-1)-(6)、D-2-3)-(1)、D-2-3)-(4)、D-2-4)-(4)、D-2-4)-(6)①②、D-2-4)-(7)、D-5-3)⑦、E-2-3)③、F-1-7)②、F-1-8)①②③、G-2-7)、G-4-1)-②③④⑤			
	講義資料番号/連番(LMS)				68
69.	2022/11/25(金)	5時限	実習	ー	15:15-16:25
	タイトル	3 臨床実習(3)			
	担当者(所属)	ー ー			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-2-1)-(1)①②⑤、D-2-1)-(3)、D-2-1)-(4)、D-2-1)-(5)、D-2-1)-(6)、D-2-3)-(1)、D-2-3)-(4)、D-2-4)-(4)、D-2-4)-(6)①②、D-2-4)-(7)、D-5-3)⑦、E-2-3)③、F-1-7)②、F-1-8)①②③、G-2-7)、G-4-1)-②③④⑤			
	講義資料番号/連番(LMS)				69
70.	2023/01/06(金)	4時限	実習	ー	13:55-15:05
	タイトル	4 臨床実習(4)⇒2/8(水)へ振替。			
	担当者(所属)	ー ー			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-2-1)-(1)①②⑤、D-2-1)-(3)、D-2-1)-(4)、D-2-1)-(5)、D-2-1)-(6)、D-2-3)-(1)、D-2-3)-(4)、D-2-4)-(4)、D-2-4)-(6)①②、D-2-4)-(7)、D-5-3)⑦、E-2-3)③、F-1-7)②、F-1-8)①②③、G-2-7)、G-4-1)-②③④⑤			
	講義資料番号/連番(LMS)				70
71.	2023/01/06(金)	5時限	実習	ー	15:15-16:25
	タイトル	4 臨床実習(4)⇒2/8(水)へ振替。			
	担当者(所属)	ー ー			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-2-1)-(1)①②⑤、D-2-1)-(3)、D-2-1)-(4)、D-2-1)-(5)、D-2-1)-(6)、D-2-3)-(1)、D-2-3)-(4)、D-2-4)-(4)、D-2-4)-(6)①②、D-2-4)-(7)、D-5-3)⑦、E-2-3)③、F-1-7)②、F-1-8)①②③、G-2-7)、G-4-1)-②③④⑤			
	講義資料番号/連番(LMS)				71
72.	2023/01/13(金)	4時限	実習	ー	13:55-15:05
	タイトル	6 臨床実習(6)			
	担当者(所属)	ー ー			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-2-1)-(1)①②⑤、D-2-1)-(3)、D-2-1)-(4)、D-2-1)-(5)、D-2-1)-(6)、D-2-3)-(1)、D-2-3)-(4)、D-2-4)-(4)、D-2-4)-(6)①②、D-2-4)-(7)、D-5-3)⑦、E-2-3)③、F-1-7)②、F-1-8)①②③、G-2-7)、G-4-1)-②③④⑤			
	講義資料番号/連番(LMS)				74
73.	2023/01/13(金)	5時限	実習	ー	15:15-16:25
	タイトル	6 臨床実習(6)			

	担当者(所属)	ー ー			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-2-1)-(1)①②⑤、D-2-1)-(3)、D-2-1)-(4)、D-2-1)-(5)、D-2-1)-(6)、D-2-3)-(1)、D-2-3)-(4)、D-2-4)-(4)、D-2-4)-(6)①②、D-2-4)-(7)、D-5-3)⑦、E-2-3)③、F-1-7)②、F-1-8)①②③、G-2-7)、G-4-1)-②③④⑤			
	講義資料番号/連番(LMS)				75
74.	2023/01/17(火)	4時限	実習	ー	13:55-15:05
	タイトル	7 臨床実習(7)			
	担当者(所属)	ー ー			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-2-1)-(1)①②⑤、D-2-1)-(3)、D-2-1)-(4)、D-2-1)-(5)、D-2-1)-(6)、D-2-3)-(1)、D-2-3)-(4)、D-2-4)-(4)、D-2-4)-(6)①②、D-2-4)-(7)、D-5-3)⑦、E-2-3)③、F-1-7)②、F-1-8)①②③、G-2-7)、G-4-1)-②③④⑤			
	講義資料番号/連番(LMS)				76
75.	2023/01/17(火)	5時限	実習	ー	15:15-16:25
	タイトル	7 臨床実習(7)			
	担当者(所属)	ー ー			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-2-1)-(1)①②⑤、D-2-1)-(3)、D-2-1)-(4)、D-2-1)-(5)、D-2-1)-(6)、D-2-3)-(1)、D-2-3)-(4)、D-2-4)-(4)、D-2-4)-(6)①②、D-2-4)-(7)、D-5-3)⑦、E-2-3)③、F-1-7)②、F-1-8)①②③、G-2-7)、G-4-1)-②③④⑤			
	講義資料番号/連番(LMS)				77
76.	2023/01/24(火)	4時限	実習	ー	13:55-15:05
	タイトル	8 臨床実習(8)			
	担当者(所属)	ー ー			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-2-1)-(1)①②⑤、D-2-1)-(3)、D-2-1)-(4)、D-2-1)-(5)、D-2-1)-(6)、D-2-3)-(1)、D-2-3)-(4)、D-2-4)-(4)、D-2-4)-(6)①②、D-2-4)-(7)、D-5-3)⑦、E-2-3)③、F-1-7)②、F-1-8)①②③、G-2-7)、G-4-1)-②③④⑤			
	講義資料番号/連番(LMS)				78
77.	2023/01/24(火)	5時限	実習	ー	15:15-16:25
	タイトル	8 臨床実習(8)			
	担当者(所属)	ー ー			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-2-1)-(1)①②⑤、D-2-1)-(3)、D-2-1)-(4)、D-2-1)-(5)、D-2-1)-(6)、D-2-3)-(1)、D-2-3)-(4)、D-2-4)-(4)、D-2-4)-(6)①②、D-2-4)-(7)、D-5-3)⑦、E-2-3)③、F-1-7)②、F-1-8)①②③、G-2-7)、G-4-1)-②③④⑤			
	講義資料番号/連番(LMS)				79
78.	2023/01/27(金)	4時限	実習	ー	13:55-15:05
	タイトル	9 臨床実習(9)			
	担当者(所属)	ー ー			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-2-1)-(1)①②⑤、D-2-1)-(3)、D-2-1)-(4)、D-2-1)-(5)、D-2-1)-(6)、D-2-3)-(1)、D-2-3)-(4)、D-2-4)-(4)、D-2-4)-(6)①②、D-2-4)-(7)、D-5-3)⑦、E-2-3)③、F-1-7)②、F-1-8)①②③、G-2-7)、G-4-1)-②③④⑤			
	講義資料番号/連番(LMS)				80
79.	2023/01/27(金)	5時限	実習	ー	15:15-16:25
	タイトル	9 臨床実習(9)			
	担当者(所属)	ー ー			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-2-1)-(1)①②⑤、D-2-1)-(3)、D-2-1)-(4)、D-2-1)-(5)、D-2-1)-(6)、D-2-3)-(1)、D-2-3)-(4)、D-2-4)-(4)、D-2-4)-(6)①②、D-2-4)-(7)、D-5-3)⑦、E-2-3)③、F-1-7)②、F-1-8)①②③、G-2-7)、G-4-1)-②③④⑤			
	講義資料番号/連番(LMS)				81
80.	2023/01/31(火)	4時限	実習	講義室 203	13:55-16:25
	タイトル	10 臨床実習(10)			

	担当者(所属)	ー ー			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-2-1)-(1)①②⑤、D-2-1)-(3)、D-2-1)-(4)、D-2-1)-(5)、D-2-1)-(6)、D-2-3)-(1)、D-2-3)-(4)、D-2-4)-(4)、D-2-4)-(6)①②、D-2-4)-(7)、D-5-3)⑦、E-2-3)③、F-1-7)②、F-1-8)①②③、G-2-7)、G-4-1)-②③④⑤			
	講義資料番号/連番(LMS)				82
81.	2023/01/31(火)	5時限	実習	講義室 203	13:55-16:25
	タイトル	10 臨床実習(10)			
	担当者(所属)	ー ー			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-2-1)-(1)①②⑤、D-2-1)-(3)、D-2-1)-(4)、D-2-1)-(5)、D-2-1)-(6)、D-2-3)-(1)、D-2-3)-(4)、D-2-4)-(4)、D-2-4)-(6)①②、D-2-4)-(7)、D-5-3)⑦、E-2-3)③、F-1-7)②、F-1-8)①②③、G-2-7)、G-4-1)-②③④⑤			
	講義資料番号/連番(LMS)				83
82.	2023/02/03(金)	4時限	実習	ー	13:55-15:05
	タイトル	11 臨床実習(11)			
	担当者(所属)	ー ー			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-2-1)-(1)①②⑤、D-2-1)-(3)、D-2-1)-(4)、D-2-1)-(5)、D-2-1)-(6)、D-2-3)-(1)、D-2-3)-(4)、D-2-4)-(4)、D-2-4)-(6)①②、D-2-4)-(7)、D-5-3)⑦、E-2-3)③、F-1-7)②、F-1-8)①②③、G-2-7)、G-4-1)-②③④⑤			
	講義資料番号/連番(LMS)				84
83.	2023/02/03(金)	5時限	実習	ー	15:15-16:25
	タイトル	11 臨床実習(11)			
	担当者(所属)	ー ー			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-2-1)-(1)①②⑤、D-2-1)-(3)、D-2-1)-(4)、D-2-1)-(5)、D-2-1)-(6)、D-2-3)-(1)、D-2-3)-(4)、D-2-4)-(4)、D-2-4)-(6)①②、D-2-4)-(7)、D-5-3)⑦、E-2-3)③、F-1-7)②、F-1-8)①②③、G-2-7)、G-4-1)-②③④⑤			
	講義資料番号/連番(LMS)				85
84.	2023/02/07(火)	4時限	実習	ー	13:55-15:05
	タイトル	12 臨床実習(12)			
	担当者(所属)	ー ー			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-2-1)-(1)①②⑤、D-2-1)-(3)、D-2-1)-(4)、D-2-1)-(5)、D-2-1)-(6)、D-2-3)-(1)、D-2-3)-(4)、D-2-4)-(4)、D-2-4)-(6)①②、D-2-4)-(7)、D-5-3)⑦、E-2-3)③、F-1-7)②、F-1-8)①②③、G-2-7)、G-4-1)-②③④⑤			
	講義資料番号/連番(LMS)				86
85.	2023/02/07(火)	5時限	実習	ー	15:15-16:25
	タイトル	12 臨床実習(12)			
	担当者(所属)	ー ー			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-2-1)-(1)①②⑤、D-2-1)-(3)、D-2-1)-(4)、D-2-1)-(5)、D-2-1)-(6)、D-2-3)-(1)、D-2-3)-(4)、D-2-4)-(4)、D-2-4)-(6)①②、D-2-4)-(7)、D-5-3)⑦、E-2-3)③、F-1-7)②、F-1-8)①②③、G-2-7)、G-4-1)-②③④⑤			
	講義資料番号/連番(LMS)				87
86.	2023/02/08(水)	1時限	実習	ー	09:00-10:10
	タイトル	5 臨床実習(4)(5)(2限のみ実施、1/6/・1/10分振替)			
	担当者(所属)	ー ー			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-2-1)-(1)①②⑤、D-2-1)-(3)、D-2-1)-(4)、D-2-1)-(5)、D-2-1)-(6)、D-2-3)-(1)、D-2-3)-(4)、D-2-4)-(4)、D-2-4)-(6)①②、D-2-4)-(7)、D-5-3)⑦、E-2-3)③、F-1-7)②、F-1-8)①②③、G-2-7)、G-4-1)-②③④⑤			
	講義資料番号/連番(LMS)				72
87.	2023/02/08(水)	2時限	実習	講義室 201	10:25-11:35
	タイトル	5 臨床実習(4)(5)(2限のみ実施、1/6/・1/10分振替)			

	担当者(所属)	堀澤　士朗			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-2-1)-(1)①②⑤、D-2-1)-(3)、D-2-1)-(4)、D-2-1)-(5)、D-2-1)-(6)、D-2-3)-(1)、D-2-3)-(4)、D-2-4)-(4)、D-2-4)-(6)①②、D-2-4)-(7)、D-5-3)⑦、E-2-3)③、F-1-7)②、F-1-8)①②③、G-2-7)、G-4-1)-②③④⑤			
	講義資料番号/連番(LMS)				73
88.	2023/02/14(火)	3時限	試験	講義室 303	13:00-14:30
	タイトル	【脳神経系 2】試験　13:00～14:30			
	担当者(所属)	川俣　貴一			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)				88
89.	2023/02/14(火)	4時限	試験	講義室 303	13:00-14:30
	タイトル	【脳神経系 2】試験　13:00～14:30			
	担当者(所属)	川俣　貴一			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)				89
90.	2023/02/27(月)	3時限	追・再試験	講義室 201	13:00-14:30
	タイトル	【脳神経系 2】追・再試験　13:00～14:30			
	担当者(所属)	川俣　貴一			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)				90
91.	2023/02/27(月)	4時限	追・再試験	講義室 201	13:00-14:30
	タイトル	【脳神経系 2】追・再試験　13:00～14:30			
	担当者(所属)	川俣　貴一			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)				91

[脳神経系 2（病態・疾患・治療・症候）]

大　項　目	中　　項　　目	小　　項　　目	備　考
Ⅰ. 発達期脳障害	1. 発達とその異常	1) 胎児から成人までの脳の発達過程の基礎と臨床	
		2) 正常児と異常児の差異	
		3) 異常姿勢	
	2. 精神遅滞	1) 評価	
		a) 種々の知能・能力テスト	
		2) 診断	
Ⅱ. 先天異常	1. 成因・分類	1) 遺伝子病	
		2) 染色体異常	
		3) 胎芽病、胎児病	
		4) 出生前診断	
	2. 遺伝性疾患(含 先天代謝異常)		
	3. 染色体異常検査法	1) 染色体検査法、分析法	
		2) 高精度分染法	
	4. 染色体異常症	a) trisomy　b) monosomy	
		c) 欠失　d) 転座	
		e) mosaic　f) iso 染色体	
	5. 奇形	1) 頭蓋破裂(無脳症、脳瘤)	
	a. 病因と病態	2) 多脳回症	
	b. 病理	3) 小頭症	
	c. 診断と治療	4) 水頭症	
		Dandy－Walker 奇形	
		Arnold－Chiari 奇形	
		5) 小脳低形成	
		6) 頭蓋底陥入症	
		7) 頭蓋骨早期癒合症	
		(Crouzon 病、Apert 症候群を含む)	
		8) 脊椎破裂(二分脊椎、髄膜瘤を含む)	
		9) 脊髄・延髄空洞症	
	6. 神経・皮膚症候群(母斑症を含む)	1) von Recklinghausen 病	
	a. 病因と病態	2) 結節性硬化症	
	b. 病理	(Bourneville－Pringle 母斑症)	
	c. 診断と治療	3) Sturge－Weber 症候群	
Ⅲ. けいれん疾患、てんかん	1. 臨床症状		
	2. 原因疾患・発症機序		
	3. 脳波	1) 異常波診断	
		2) 脳波賦活法(深呼吸、光刺激、睡眠)	
		3) 誘発電位、ポリグラフィ	
	4. 画像診断		

大　項　目	中　　項　　目	小　　項　　目	備　考
	(CT、MRI、SPECT)		
	5. 熱性痙攣		
	6. 単純部分発作	1) 種類(焦点性発作、Jackson 型発作、自律神経性発作を含む)	
	7. 複雑部分発作(精神運動発作)		
	8. 全般発作	1) 強直間代性けいれん発作(大発作)	
		2) 欠神発作(アブサンス)、ミオクローヌス発作、脱力発作	
	9. けいれん重積状態	1) 治療	
	10. West 症候群(点頭てんかん)	1) 診断、治療、予後	
	11. Lennox － Gastaut 症候群		
Ⅳ. てんかん以外の発作性疾患および自律神経疾患臨床	1. 頭痛（片頭痛を含む）	1) 分類と病態生理	
		2) 症候、診断、治療	
	2. 三叉神経痛		
	3. 顔面痙攣		
	4. Ménière 病と周辺疾患		
	5. ナルコレプシー		
	6. 汎自律神経失調症 (pandysautonomia)		
	7. 起立性調節障害		
Ⅴ.細胞病理	1. 構成細胞(ニューロン、アストロサイト、オリゴデンドログリア、ミクログリア)	1) 生理的役割	
		2) 病的変化	
Ⅵ.神経変性疾患			
A.神経組織に特異的な蛋白質	1. 蛋白質とその機能		
	a. ミエリンの蛋白質		
	b. 神経系特異蛋白質		
B.中枢神経系変性疾患総論	1. 各種変性疾患の症状、病態の変化		
	2. 血液学的診断法		
	3. 病理		
	4. 画像診断法		
	5. 治療		
C.大脳皮質変性疾患	1. Alzheimer 病	1) 病態生化	
		2) 病態生理	
		3) 病理	
		4) 分類、症候、診断、治療	
	2. Pick 病		
D.基底核変性疾患	1. Parkinson 症候群 (Parkinson 病を含む)	1) 病態生化	
		2) 病態生理	
		3) 病理	
		4) 診断・治療	
	2. 舞踏病（小舞踏病を含む）		
	3. Huntington 病		

大 項 目	中 項 目	小 項 目	備 考
	4. アテトーゼ		
	5. ジストニー		
E.脊髄小脳変性症	1. 遺伝性脊髄小脳変性症	1) 病理、分類、症候、診断、治療	
	Friedreich 病		
	Joseph 病		
	DRPLA		
	SCA1		
	SCA2		
	2. OPCA		
	3. Shy－Drager 症候群		
	4. 多系統萎縮症		
F.運動ニューロン疾患	1. 筋萎縮性側索硬化症	1) 病理、症候、診断、合併症、予後	
	2. 脊髄性筋萎縮症		
	(Werdnig-Hoff mann 病,		
	Kugelberg-Welander 病,		
	Kennedy-Alter-Sung 病を含む)		
G.中枢神経作用薬	1. 中枢興奮薬	1) キサンチン誘導体	
		2) アンフェタミン類	
		3) 痙攣薬	
		4) 呼吸中枢興奮薬	
	2. 抗てんかん薬		
	(含薬物動態学)	1) バルビツール酸系	
		2) ヒダントイン系	
		3) オキサゾリジン系	
		4) サクシミド系	
		5) ベンゾジアゼピン系	
		6) ジベンズアゼピン系	
	3. 鎮痛薬	7) 低級脂肪酸系	
	a. 麻薬性鎮痛薬		
		1) モルヒネおよびモルヒネ以外の麻薬性鎮痛薬	
	b. 解熱性鎮痛薬および非ステロイド性抗炎症薬	2) 拮抗薬	
		1) 酸性抗炎症薬	
Ⅶ.脱髄性疾患	c. その他の抗炎症薬	2) 塩基性抗炎症薬	
		1) セロトニン関連薬	
	1. 多発性硬化症(Devic 病を含む)		
	2. 急性散在性脳脊髄炎	1) 疫学、分類、診断、治療	
	3. 白質ジストロフィー		
	(副腎白質ジストロフィー症、		
Ⅷ.感染性神経疾患	異染性白質ジストロフィー)		
	1. 髄膜炎		
	a. 化膿性髄膜炎	1) 病因、病態生理、症候、検査	
	b. 結核性髄膜炎、結核腫	2) 診断、治療、予後	

大　項　目	中　　項　　目	小　　項　　目	備　考
	c. 無菌性髄膜炎 d. 真菌性髄膜炎 （クリプトコックス） 2. 脳炎 a. 単純ヘルペスウイルス脳炎 b. 日本脳炎 c. 亜急性硬化性全脳炎(SSPE) d. 原虫（マラリア、トキソプラズマ、アメーバ） 3. その他 a. プリオン病 （Creutzfeldt－Jakob 病） b. 脳膿瘍 c. 静脈洞感染症 d. 結核腫 e. 神経梅毒(進行麻痺、脊髄癆) f. ライム病 g. HIV 脳症 h. 脳幹脳炎 i. 脊髄炎、HAM j. ポリオ	1) 分類、病因、病理 2) 病態生理、診断	
IX.末梢神経・筋疾患の基礎と臨床			
A.神経筋疾患総論	1. 診断 （フロッピーインファント） 2. 治療・リハビリテーション		
B.神経筋疾患検査	1. 筋生検(筋の正常構造と病理) 2. 神経生検 3. 筋電図 4. 末梢神経伝導検査 5. 筋 CT、MRI		
C.筋疾患各論	1. 進行性筋ジストロフィー 2. 筋強直性ジストロフィー （先天性筋強直症(Thomsen 病)を含む） 3. 先天性ミオパチー 4. 重症筋無力症 筋無力症候群 5. 炎症性ミオパチー 6. 周期性四肢麻痺 7. 糖尿病	1) 分類、症候、診断 1) 病態生理、分類、症候 2) 検査、診断、治療 1) 多発性筋炎 2) 皮膚筋炎	

大　項　目	中　　項　　目	小　　項　　目	備　考
D.ニューロパチー各論	8. ミトコンドリア脳筋症		
	1. 遺伝性ニューロパチー		
	2. Guillain－Barré 症候群		
	3. 慢性炎症性脱髄性多発根ニューロパチー		
E.内科疾患に伴う神経・筋障害	4. 絞扼性ニューロパチー	1) 症候、診断	
	1. 甲状腺機能障害による神経・筋障害		
	2. 上皮小体(副甲状腺)機能障害による神経・筋障害		
	3. 膠原病に伴う神経・筋障害		
	4. 悪性腫瘍に伴う神経・筋障害		
	5. 血液疾患に伴う神経障害		
	6. 糖尿病に伴う神経障害		
	7. 尿毒症に伴う神経障害		
	8. Behçet 病に伴う神経障害		
	9. サルコイドーシスに伴う神経障害		
X.脳神経外科総論			
A.神経症候	1. 脳神経外科よりみた神経学的主要症状		
B.病態	1. 脳神経外科における主要病態	1) 薬物療法	
C.治療	1. 脳神経外科的治療	2) 手術療法	
		3) 救急処置	
		4) リハビリテーション	
XI.頭部外傷	1. 頭部外傷総論	1) 頭蓋骨骨折	
	a. 病因、病態生理、検査	2) 急性硬膜外血腫	
	b. 診断、治療	3) 急性硬膜下血腫	
		4) 急性脳内血腫、脳挫傷	
		5) 慢性硬膜下血腫	
		6) 小児頭部外傷(乳幼児慢性硬膜下血腫)	
		7) 頭部外傷続発症・後遺症	
XII.脊髄脊椎外傷	1. 脊髄脊椎外傷総論	1) 脊髄・脊椎損傷	
	a. 病因、病態生理、検査		
	b. 診断、治療		
XIII.脳血管障害	1. 脳血管障害総論		
	a. 病因、病態生理、検査	1) 脳出血	
	b. 診断、治療	2) クモ膜下出血	
		3) 脳動脈瘤	
		4) 正常圧水頭症	

大 項 目	中 項 目	小 項 目	備 考
		5) 脳動静脈奇形	
		6) 虚血性脳血管障害	
		7) モヤモヤ病	
	2. 脊椎血管障害		
	a. 病因、病態生理、検査	1) 脊髄動静脈奇形	
	b. 診断、治療	2) 脊髄出血	
		3) 脊髄虚血	
XIV. 腫瘍			
A. 脳・頭蓋	1. 脳腫瘍通論	1) 成人に多い脳腫瘍	
	a. 病因、病態生理、検査	a. 膠芽腫（多形性膠芽腫）	
	b. 診断、治療	b. 星細胞腫	
		c. 髄膜腫	
		d. 下垂体腫	
		e. 聴神経鞘腫(シュワン細胞腫)	
		f. 転移性脳腫瘍	
		2) 小児に多い脳腫瘍	
		a. 小児脳腫瘍の特徴	
		b. 髄芽腫	
		c. 小児星細胞腫	
		d. 脳幹部神経膠腫	
		e. 頭蓋咽頭腫	
B. 脊髄脊椎	1. 脊髄・脊椎腫瘍	f. 松果体部腫瘍(胚細胞腫)	
	a. 病因、病態生理、検査	g. 第 4 脳室上衣腫	
	b. 診断、治療	h. 視神経膠腫	
		i. 頭蓋骨腫瘍	
XV. 中枢神経系画像診断			
A.単純 X 線撮影	1. 各種撮影法(RI を除く)		
B.CT	1. 脳の放射線解剖学		
	2. 脊髄の放射線解剖学		
C.MRI	1. 中枢神経系疾患画像診断	1) 単純 X 線撮影、CT、MRI	
		2) Echo、血管撮影法の原理と方法	
D.血管造影	1. 中枢神経系、骨格系の RI 画像診断	1) 各種検査法による画像解剖学（正常像）	
		1) 各種疾患の画像上の変化と病理学的対比	
E.核医学		1) 原理	
		2) 方法	
XVI. 放射線治療学	1. 放射線治療の基礎、悪性腫瘍に関する臨床総論	3) 診断	

大　項　目	中　　項　　目	小　　項　　目	備　考
	2. 脳腫瘍の放射線治療	1) 放射線治療の原理と正常組織の射線感受性 2) 悪性腫瘍の性質と放射線感受性 3) 分割照射の概念 4) 照射範囲と指摘線量の基本的な考え方 1) 脳腫瘍の放射線治療の総論的事項 2) 星細胞腫－膠芽腫系の腫瘍 （成人・小児） 3) 胚細胞腫瘍(小児) 4) 髄芽腫(小児) 5) 転移性脳腫瘍 6) その他(下垂体腫瘍、聴神経腫瘍、髄膜腫、上衣腫、頭蓋咽頭腫など)	

科目名	精神系
科目責任者(所属)	西村　勝治

到達目標	この系では、神経高次機能についての生理、生化学、薬理などを統合的に理解するとともに、 その障害の症状、診断について学ぶ。また人格の全体的ありようや、行動、他者との交流など、 基礎となる人間の心のありかたに簡単に触れる。 診断学では、成因論を廃し、正確な症状把握に基づく操作的診断による「診断カテゴリー」と いう考え方を学ぶ。さらに主要な診断カテゴリーに対する現在の標準的治療法を学ぶ。	
アウトカム・ロードマップに係わる到達目標/項目番号	人体の臓器・器官系の機能と構造、正常と異常を説明できる。	Ⅰ-1-A-(3-4)-①
	全身的疾患、外的要因による異常を説明できる。	Ⅰ-1-A-(3-4)-②
	受精から出生、成長と発育、成熟と加齢の正常と異常を説明できる。	Ⅰ-1-A-(3-4)-③
	疾患、症候の病態を説明できる。	Ⅰ-1-A-(3-4)-④
	診断の過程を説明し実践できる。	Ⅰ-1-B-(3-4)-①
	適切な治療法とその根拠を説明できる。	Ⅰ-1-B-(3-4)-②
	基本的医療技能を示すことができる。	Ⅰ-1-C-(3-4)-①
	問題の優先度および重要度を判断できる。	Ⅰ-2-A-(3-4)-①
	事例で診療上の心理的・社会的問題を明らかにできる。	Ⅰ-2-A-(3-4)-②
	問題の科学的重要性を評価できる。	Ⅰ-2-B-(3-4)-①
	基礎・病態・臨床を結びつけて考えられる。	Ⅰ-2-B-(3-4)-②
	事例から自分の知らないことを発見できる。	Ⅰ-2-C-(3-4)-①
	未知の問題を解決する方法を見つけることができる。	Ⅰ-2-C-(3-4)-②
	適切な診療ガイドラインを選択できる。	Ⅰ-3-A-(3-4)-②
	病態を明らかにする方法を挙げることができる。	Ⅰ-3-B-(3-4)-①
	事例で診療上の問題を解決する方法・手段を明らかにできる。	Ⅰ-3-B-(3-4)-②
	医学的情報をわかりやすく伝えることができる。	Ⅰ-4-A-(3-4)-①
	患者に分かる言葉を選択できる。	Ⅰ-4-A-(3-4)-②
	診療上のエビデンスを選ぶことができる。	Ⅰ-5-B-(3-4)-①
	倫理的問題を明らかにできる。	Ⅰ-6-B-(3-4)-②
	社会保障を概説できる。	Ⅰ-6-D-(3-4)-①
	医療に関する保証制度を概説できる。	Ⅰ-6-D-(3-4)-②
	他者の気持ちに配慮して意志を交わすことができる。	Ⅱ-1-B-(3-4)-①
	患者・家族の心理を説明できる。	Ⅱ-1-B-(3-4)-②
	社会の支援制度を利用する方法を明らかにできる。	Ⅱ-1-C-(3-4)-①
	地域社会の医療ニーズを説明できる。	Ⅱ-2-B-(3-4)-①
	女性のライフサイクルを説明できる。	Ⅱ-2-C-(3-4)-②
	医療を通じた社会・地域への貢献を説明できる。	Ⅱ-3-A-(3-4)-①
学修(教育)方法	講義・実習	
評価方法 (1)総括的評価	科目成績は定期試験(筆記試験)の他に実習の平均を科目成績の5%として反映させる。ただし　すべての実習への参加や欠席した場合はレポ	

の対象	ートの提出が定期試験の受験資格として必要である

評価方法 (2)評価項目	患者-医師の良好な信頼関係に基づく精神科面接の基本を説明できる。	D-15-1)
	精神科診断分類法を説明できる。	D-15-1)
	精神科医療の法と倫理に関する必須項目(精神保健及び精神障害者福祉に関する法律、心神喪失者等医療観察法、インフォームド・コンセント)を説明できる。	D-15-1)
	コンサルテーション・リエゾン精神医学を説明できる。	D-15-1)
	心理学的検査法(質問紙法、Rorschachテスト、簡易精神症状評価尺度(Brief Psychiatric Rating Scale <BPRS>)、Hamiltonうつ病評価尺度、Beckのうつ病自己評価尺度、状態特性不安検査(State-Trait Anxiety Inventory <STAI>)、Mini-Mental State Examination <MMSE>、改訂長谷川式簡易知能評価スケール等)の種類と概要を説明できる。	D-15-1)
	不安・躁うつをきたす精神障害を列挙し、その鑑別診断を説明できる。	D-15-2)
	意識障害、不眠、幻覚・妄想をきたす精神障害を列挙し、その鑑別診断を説明できる。	D-15-2)
	ストレスなどの心理社会的要因が症候(息苦しさ、心窩部痛、腹痛、頭痛、疲労、痒み、慢性疼痛等)に密接に関与している代表的な疾患を列挙し、その鑑別診断を説明できる。	D-15-2)
	症状精神病の概念と診断を概説できる。	D-15-3)
	認知症の診断と治療を説明できる。	D-15-3)
	薬物使用に関連する精神障害やアルコール、ギャンブル等への依存症の病態と症候を説明できる。	D-15-3)
	統合失調症の症候と診断、救急治療を説明できる。	D-15-3)
	うつ病の症候と診断を説明できる。	D-15-3)
	双極性障害(躁うつ病)の症候と診断を説明できる。	D-15-3)
	不安障害群と心的外傷及びストレス因関連障害群の症候と診断を説明できる。	D-15-3)
	身体症状症及び関連症群、食行動障害及び摂食障害群の症候と診断を説明できる。	D-15-3)
	解離性障害群の症候、診断と治療を説明できる。	D-15-3)
	パーソナリティ障害群を概説できる。	D-15-3)
	知的能力障害群と自閉症スペクトラム障害(autism spectrum disorder <ASD>)を概説できる。	D-15-3)
	注意欠如・多動障害(attention deficit / hyperactivity disorder <ADHD>)と運動障害群を概説できる。	D-15-3)

評価方法 (3)評価基準	上記の評価項目について定期試験にて100点満点にて点数化を行い、以下のいずれかとして判定し、C以上を合格とする。 S.極めて良く理解している(90%以上) A.良く理解している(80%以上90%未満) B.平均的に理解している(70%以上80%未満) C.最低限は理解している(60%以上70%未満) D.理解が不十分である(60%未満)
伝達事項	形成的評価は知識・技能・態度全般にわたって講義、実習(レポートを含む)の際に随時行います。

教科書・参考図書

No	書籍名	著者名	上段:出版社 下段:出版年	ISBN
1.	『カンデル神経科学』	Eric R. Kandel [ほか] 編	メディカル・サイエンス・インターナショナル 2014	9784895927710
2.	『標準生理学(Standard textbook)』	本間研一 [ほか] 編	医学書院 2014	9784260017817
3.	『ヴォート生化学　上下』	Donald Voet, Judith G.Voet著 ; 田宮信雄 [ほか] 訳	東京化学同人 2012-2013	9784807908073 9784807908080
4.	『イラストレイテッドハーパー・生化学』	ハーパー [原著] ; R.K. Murray [ほか著] ; 五十嵐和彦 [ほか訳]	丸善 2013	9784621087282
5.	『心身医学標準テキスト』	久保千春編	医学書院 2009	9784260004435

6.	『脳とことば：言語の神経機構（ブレインサイエンス・シリーズ　；21）』	岩田誠著	共立出版 1996	4320053982
7.	『現代臨床精神医学』	大熊輝雄原著；「現代臨床精神医学」第12版改訂委員会編	金原出版 2013	9784307150675
8.	『リエゾン精神医学とその治療学（新世紀の精神科治療；4）』	山脇成人担当編集	中山書店 2009	9784521730851
9.	『臨床神経心理学ハンドブック』	P. W. Halligan, U. Kischka, J. C. Marshall [編]	西村書店 2011	9784890134144
10.	『標準精神医学（Standard textbook）』	尾崎紀夫, 朝田隆, 村井俊哉編；野村総一郎 [ほか] 執筆	医学書院 2015	9784260020411
11.	『カプラン臨床精神医学テキスト：DSM-5診断基準の臨床への展開』	ベンジャミン J. サドック, バージニア A. サドック, ペドロ ルイース編著；井上令一監修；四宮滋子, 田宮聡監訳	メディカル・サイエンス・インターナショナル 2016	9784895928526
12.	『DSM-5精神疾患の分類と診断の手引』	American Psychiatric Association [編]；染矢俊幸 [ほか] 訳	医学書院 2014	9784260019088
13.	『臨床精神神経薬理学テキスト』	日本臨床精神神経薬理学会専門医制度委員会編	星和書店 2014	9784791108916

添付ファイル ※3つまで、1ファイルにつき5MBまで、圧縮ファイルOK	

授業予定表

回数	年月日	時限	授業形式	教室	開始終了時間
1.	2022/08/31(水)	5時限	講義	講義室 201	15:15-16:25
	タイトル	1　科目の概要／精神科診断学総論			
	担当者（所属）	西村　勝治			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-15-1)①②			
	講義資料番号/連番(LMS)				1
2.	2022/09/16(金)	2時限	講義	講義室 201	10:25-11:35
	タイトル	2　学習と記憶のメカニズム			
	担当者（所属）	宮田　麻理子			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	C-5-1)①②③,C-5-2)①②③,D-2-1)-(4)			
	講義資料番号/連番(LMS)				2
3.	2022/09/27(火)	1時限	講義	講義室 303	09:00-10:10
	タイトル	3　心身症の診断			
	担当者（所属）	石川　元直			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	C-5-4),D-15-1),D-15-2)			
	講義資料番号/連番(LMS)				3

4.	2022/10/14(金)	2時限	講義	講義室 201	10:25-11:35
	タイトル	7 脳内活性物質・神経伝達物質			
	担当者(所属)	中村 史雄			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	C-2-3-(1)②,C-2-3-(2)②			
	講義資料番号/連番(LMS)				4
5.	2022/10/14(金)	4時限	講義	講義室 201	13:55-15:05
	タイトル	21 神経心理学と心理・精神機能検査			
	担当者(所属)	押淵 英弘			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-15-1)⑤			
	講義資料番号/連番(LMS)				5
6.	2022/10/18(火)	2時限	講義	講義室 201	10:25-11:35
	タイトル	5 心の脳科学			
	担当者(所属)	夏堀 晃世			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	C-5-1)①②③,C-5-2)①②③,C-5-5)①②			
	講義資料番号/連番(LMS)				6
7.	2022/10/19(水)	1時限	講義	講義室 201	09:00-10:10
	タイトル	6 精神症状学			
	担当者(所属)	西村 勝治			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-15-2),G-2-31),G-2-32)			
	講義資料番号/連番(LMS)				7
8.	2022/10/19(水)	3時限	講義	講義室 201	12:30-13:40
	タイトル	9 器質性精神障害・物質誘発性精神障害			
	担当者(所属)	大坪 天平			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-15-1)④,D-15-2)②,D-15-3)①②③			
	講義資料番号/連番(LMS)				8
9.	2022/10/25(火)	1時限	講義	講義室 201	09:00-10:10
	タイトル	10 気分障害/自殺			
	担当者(所属)	高橋 一志			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-15-3)⑤⑥			
	講義資料番号/連番(LMS)				9
10.	2022/10/26(水)	3時限	講義	講義室 201	12:30-13:40
	タイトル	13 トラウマ関連障害			
	担当者(所属)	赤穂 理絵			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-15-3)⑦			
	講義資料番号/連番(LMS)				10
11.	2022/10/26(水)	4時限	講義	講義室 201	13:55-15:05
	タイトル	14 心身症の治療			

	担当者(所属)	石川　元直			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	C-5-8),D-7-4)-(3)			
	講義資料番号/連番(LMS)				11
12.	2022/10/27(木)	1時限	講義	講義室 201	09:00-10:10
	タイトル	11　パーソナリティーと行動の障害			
	担当者(所属)	辻　かをる			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-15-3)③⑩			
	講義資料番号/連番(LMS)				12
13.	2022/10/27(木)	2時限	講義	講義室 201	10:25-11:35
	タイトル	4　精神機能と画像			
	担当者(所属)	坂井　修二			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-2-2)①			
	講義資料番号/連番(LMS)				13
14.	2022/11/02(水)	3時限	講義	講義室 201	12:30-13:40
	タイトル	16　睡眠覚醒障害			
	担当者(所属)	松井　健太郎			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-15-2)②、D-6-4)-(6)②			
	講義資料番号/連番(LMS)				14
15.	2022/11/02(水)	4時限	講義	講義室 201	13:55-15:05
	タイトル	12　児童・青年期の精神障害			
	担当者(所属)	押淵　英弘			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-15-3)⑪⑫,E-7-3)⑥⑧			
	講義資料番号/連番(LMS)				15
16.	2022/11/11(金)	3時限	講義	講義室 303	12:30-13:40
	タイトル	17　抗精神病薬・抗うつ薬			
	担当者(所属)	塚原　富士子			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-15-2)①,D-15-3)④,F-2-8)①⑧			
	講義資料番号/連番(LMS)				16
17.	2022/11/15(火)	3時限	講義	講義室 303	12:30-13:40
	タイトル	8　神経症性障害			
	担当者(所属)	佐藤　萌子			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-15-3)⑦⑧⑨,D-15-2)①③,F-1-31)①②③			
	講義資料番号/連番(LMS)				17
18.	2022/11/21(月)	3時限	講義	講義室 201	12:30-13:40
	タイトル	15　精神科治療：身体療法・薬物療法			
	担当者(所属)	押淵　英弘			
	コアカリキュラム/S10国試出	F-2-8)①④⑤⑥⑦⑩⑭			

	題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)				18
19.	2022/11/21(月)	4時限	実習	講義室 201	13:55-16:25
	タイトル	①精神科構造化面接とその実際			
	担当者(所属)	辻　かをる 井上　敦子 押淵　英弘			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-15-1)①			
	講義資料番号/連番(LMS)				29
20.	2022/11/21(月)	5時限	実習	講義室 201	13:55-16:25
	タイトル	①精神科構造化面接とその実際			
	担当者(所属)	辻　かをる 井上　敦子 押淵　英弘			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-15-1)①			
	講義資料番号/連番(LMS)				30
21.	2022/11/24(木)	3時限	講義	講義室 201	12:30-13:40
	タイトル	20　睡眠薬・抗不安薬			
	担当者(所属)	塚原　富士子			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-15-2)①,F-2-8)①④⑧			
	講義資料番号/連番(LMS)				19
22.	2023/01/10(火)	3時限	講義	講義室 303	12:30-13:40
	タイトル	25　精神科の診察法			
	担当者(所属)	高橋　一志			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-15-1)①②⑤			
	講義資料番号/連番(LMS)				20
23.	2023/01/11(水)	3時限	講義	講義室 303	12:30-13:40
	タイトル	19 摂食障害およびアルコール・物質関連障害			
	担当者(所属)	赤穂　理絵			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-15-3)③,⑧			
	講義資料番号/連番(LMS)				21
24.	2023/01/12(木)	4時限	実習	講義室 303	13:55-16:25
	タイトル	②心理教育			
	担当者(所属)	辻　かをる 井上　敦子 押淵　英弘			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	G-1-1)-(1)④⑥,G-1-1)-(3)⑨			
	講義資料番号/連番(LMS)				31
25.	2023/01/12(木)	5時限	実習	講義室 303	13:55-16:25
	タイトル	②心理教育			
	担当者(所属)	辻　かをる 井上　敦子 押淵　英弘			

	コアカリキュラム/S10国試出題基準	G-1-1)-(1)④⑥,G-1-1)-(3)⑨			
	講義資料番号/連番(LMS)				32
26.	2023/01/16(月)	1時限	講義	講義室 303	09:00-10:10
	タイトル	27 精神疾患の基礎医学的知識			
	担当者(所属)	押淵 英弘			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	C-5-1)①②,D-2-1)-(4)③,D-2-1)-(7)③			
	講義資料番号/連番(LMS)				22
27.	2023/01/16(月)	2時限	講義	講義室 303	10:25-11:35
	タイトル	18 統合失調症			
	担当者(所属)	村岡 寛之			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-15-3)④			
	講義資料番号/連番(LMS)				23
28.	2023/01/17(火)	3時限	講義	講義室 303	12:30-13:40
	タイトル	23 認知症(痴呆)			
	担当者(所属)	吉澤 浩志			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-15-3)②,F-1-32)①②③			
	講義資料番号/連番(LMS)				24
29.	2023/01/18(水)	2時限	講義	講義室 303	10:25-11:35
	タイトル	26 リエゾン精神医学			
	担当者(所属)	西村 勝治			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-15-1)④,F-1-31)①②③,F-1-32)①②③			
	講義資料番号/連番(LMS)				25
30.	2023/01/19(木)	3時限	講義	講義室 303	12:30-13:40
	タイトル	24 精神科治療:精神療法			
	担当者(所属)	辻 かをる			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	A-3-1)①、A-4-1)①②③, A-4-2)①-⑦, B-4-1)⑤⑨⑬、D-15-1)①			
	講義資料番号/連番(LMS)				26
31.	2023/01/23(月)	3時限	講義	講義室 303	12:30-13:40
	タイトル	22 精神科治療:社会療法および社会援助システム			
	担当者(所属)	辻 かをる			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	B-4-1)④⑤⑧⑨⑫⑬⑭, B-1-7)③, B-1-8)⑬			
	講義資料番号/連番(LMS)				27
32.	2023/02/07(火)	1時限	講義	講義室 201	09:00-10:10
	タイトル	28 老年期の精神障害			
	担当者(所属)	大坪 天平			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	C-5-5),D-15-3),E-8-1)			

	講義資料番号/連番(LMS)				28
33.	2023/02/15(水)	3時限	試験	講義室 303	13:00-14:30
	タイトル	試験 13:00～14:30			
	担当者(所属)	西村　勝治			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)				33
34.	2023/02/15(水)	4時限	試験	講義室 303	13:00-14:30
	タイトル	試験 13:00～14:30			
	担当者(所属)	西村　勝治			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)				34
35.	2023/03/01(水)	1時限	追・再試験	講義室 201	10:00-11:30
	タイトル	再・追試験　10:00～11:30			
	担当者(所属)	西村　勝治			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)				35
36.	2023/03/01(水)	2時限	追・再試験	講義室 201	10:00-11:30
	タイトル	再・追試験　10:00～11:30			
	担当者(所属)	西村　勝治			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)				36

[精神系（病態・疾患・治療)]

[精神系総論]

大　項　目	中　　項　　目	小　　項　　目	備　考
★Ⅰ.正常の脳の構造と機能			
A.神経高次機能	1. 感覚の認識		
	2. 大脳連合野の機能		
	3. 記憶と学習		
	4. 大脳辺縁系		
	5. 情動と本能		
	6. 大脳皮質の可塑性		
	7. 脳内活性物質		
	8. 神経伝達物質		
B.人格の基本的はたらき	1. 気質		
	2. 性格		
C.心身相関	1. ホメオスターシス		
	2. ストレス理論		
★Ⅱ.病因			
A.神経高次機能障害の主要病因			
B.精神障害の病因仮説	1. 三分法の歴史的意義		
	2. 診断カテゴリー		
C.心身症の概念	1. ストレスと心身症		
★Ⅲ.主要症状			
A.神経心理学	1. 失語		
	2. 失行		
	3. 失認		
	4. 記憶障害		
B.精神障害の症状学	1. 意識の障害		
	2. 知覚の障害		
	3. 記憶の障害		
	4. 見当識の障害		
	5. 知能の障害		
	6. 思考の障害		
	7. 感情の障害		
	8. 意思・行動の障害		
	9. 自我の障害		
	10.パーソナリティの障害		

大　項　目	中　　項　　目	小　　項　　目	備　考
C.心身症の 症状学			
★Ⅳ.診断・検査	1. 精神医学的面接	1)　症状の評価	
	2. 操作的診断の手順	2)　生活と生活史の評価	
		3)　身体的評価	
		4)　多軸診断	
	3. 神経心理学的検査		
	4. 心理検査・性格検査	1)　質問紙法	
		2)　投影法	
Ⅴ.治療			
A.身体療法	1. 薬物療法	1) 睡眠薬	
		2) 抗不安薬	
		3) 抗精神病薬	
		4) 抗うつ薬	
		5) 気分安定薬	
		6) 抗認知症薬	
	2. 電気けいれん療法、その他の身体療法		
★B.精神療法	1. 支持的精神療法		
	2. 精神力動的精神療法		
	3. 認知療法		
	4. 行動療法		
	5. 対人関係療法		
	6. 心理教育		
	7. その他の精神療法		
C.社会療法	1. 精神障害者のリハビリテーション	1)　心理教育	
		2)　社会生活技能訓練	
		3)　生活指導	
		4)　作業療法	
		5)　デイケア	
		6)　就労支援	
		7)　訪問型ケア	
D.リエゾン精神医学	1. 身体疾患患者の心理		
	2. 対象疾患	1)　器質性精神障害	
		2)　適応障害・うつ病	
		3)　身体表現性障害・心身症	
	3. 医療コミュニケーション		
	4. 臨床倫理相談		

［精神系各論］

大　項　目	中　　項　　目	小　　項　　目	備　考
Ⅰ.器質性精神障害	1. 感染症、全身疾患による精神障害	1） せん妄	
		2） 通過症候群	
	2. 物質誘発性精神障害（医薬品によるものを含む）	3） 認知症	
	3. 炎症性脳疾患		
	4. 変性性脳疾患		
	5. 脳血管障害		
	6. 脳腫瘍		
	7. てんかん		
	8. 頭部外傷		
Ⅱ.精神病性障害	1. 統合失調症		
	2. 統合失調感情障害		
	3. 妄想性障害		
★Ⅲ.気分障害	1. うつ病性障害	1）大うつ病性障害	
	2. 双極性障害	1） 双極Ⅰ型障害	
		2） 双極Ⅱ型障害	
★Ⅳ.神経症性障害およびストレス関連障害	1.　不安障害	1） パニック障害	
		2） 社交不安障害	
		3） 全般性不安障害	
	2. 強迫性障害		
	3. 解離性障害		
	4. 身体表現性障害		
	5. 適応障害		
	6. 心的外傷後ストレス障害		
★Ⅴ.パーソナリティ障害	1. 境界性パーソナリティ障害		
	2. その他のパーソナリティ障害		
★Ⅵ.摂食障害	1.　神経性無食欲症		
	2.　神経性大食症		
★Ⅶ.精神作用物質使用障害	1.　アルコール関連精神障害	1） アルコール中毒	
		2） アルコール離脱症候群	
		3） アルコール依存症	
		4） コルサコフ症候群・ウェルニッケ脳症	
	2. その他の物質依存	1）アヘン、大麻、コカイン、アンフェタミン、幻覚剤、タバコ、鎮静薬・睡眠薬	

★Ⅷ.発達障害	1. 精神遅滞 2. 自閉症スペクトラム障害 3. 注意欠陥・多動性障害 4. 学習障害 5. チック症		
★Ⅸ. 心身症	1. 循環器心身症 2. 呼吸器心身症 3. 消化器心身症 4. 神経・筋心身症 5. 内分泌・代謝性心身症		
IIX. 睡眠覚醒障害	1. 不眠症 2. 睡眠関連呼吸障害 3. 概日リズム障害 4. 過眠症 5. 睡眠時随伴症 6. 睡眠関連運動障害	 1） 閉塞性睡眠時無呼吸症候群 1） ナルコレプシー 1） レム睡眠行動障害 2） 睡眠時遊行症 3） 睡眠時驚愕症 4） 睡眠関連摂食障害 1） レストレスレッグス症候群 2） 周期性四肢運動障害	

科目名	聴覚・耳鼻咽喉系
科目責任者(所属)	野中　学

到達目標	聴覚・耳鼻咽喉系は耳鼻咽喉科頭頸部領域の基礎と臨床の感覚系を中心にまとめたものである。 嗅覚、聴覚、平衡機能、味覚を中心に顔面神経や三叉神経、舌咽神経、迷走神経、舌下神経についても学ぶ。 これらの感覚器・神経系を支持し、周囲構造としての外耳・中耳・内耳・鼻腔や副鼻腔、口腔、咽頭、喉頭、頸部、上部気管・食道の領域もカバーする。感覚器系疾患、頭頸部腫瘍、唾液腺疾患についても基礎・臨床を含め詳細に講義される。	
アウトカム・ロードマップに係わる到達目標/項目番号	人体の臓器・器官系の機能と構造、正常と異常を説明できる。	Ⅰ-1-A-(3-4)-①
	診断の過程を説明し実践できる。	Ⅰ-1-B-(3-4)-①
	基本的医療技能を示すことができる。	Ⅰ-1-C-(3-4)-①
	問題の優先度および重要度を判断できる。	Ⅰ-2-A-(3-4)-①
	問題の科学的重要性を評価できる。	Ⅰ-2-B-(3-4)-①
	事例から自分の知らないことを発見できる。	Ⅰ-2-C-(3-4)-①
	事例に即した問題解決のための情報検索ができる。	Ⅰ-3-A-(3-4)-①
	病態を明らかにする方法を挙げることができる。	Ⅰ-3-B-(3-4)-①
	適切な問題解決を行ったか検証できる。	Ⅰ-3-C-(3-4)-①
	医学的情報をわかりやすく伝えることができる。	Ⅰ-4-A-(3-4)-①
	研究・実習・症例などの要約が作成できる。	Ⅰ-4-B-(3-4)-①
	研究・実習・症例などの背景、目的、方法、結果、考察を適切に発表できる。	Ⅰ-4-C-(3-4)-①
	データ・結果の根拠を批判的に説明できる。	Ⅰ-5-A-(3-4)-①
	診療上のエビデンスを選ぶことができる。	Ⅰ-5-B-(3-4)-①
	医学生の医行為水準を説明できる。	Ⅰ-6-A-(3-4)-①
	医学における倫理の概念を説明できる。	Ⅰ-6-B-(3-4)-①
	基礎研究における倫理指針を概説できる。	Ⅰ-6-C-(3-4)-①
	傾聴できる。	Ⅱ-1-A-(3-4)-①
	他者の気持ちに配慮して意志を交わすことができる。	Ⅱ-1-B-(3-4)-①
	卒業までの学修目標を立て、自分の達成度を評価できる。	Ⅱ-2-A-(3-4)-①
	学修目標を達成するための自己学修を計画的に行える。	Ⅱ-2-C-(3-4)-①
	自分のモデルとなる先輩を示すことができる。	Ⅱ-2-E-(3-4)-①
	医療を通じた社会・地域への貢献を説明できる。	Ⅱ-3-A-(3-4)-①
	基礎医学研究の意義と現在の動向を概説できる。	Ⅱ-3-B-(3-4)-①
	自分の選択・判断の根拠を説明できる。	Ⅱ-4-A-(3-4)-①
	討論・話し合いを促せる。	Ⅱ-4-B-(3-4)-①
	グループ目標達成のために行動できる。	Ⅱ-4-C-(3-4)-①
	学修する事例について医学の貢献を説明できる。	Ⅱ-5-A-(3-4)-①
	自分が目標をどのように達成したかを他者に説明できる。	Ⅱ-5-B-(3-4)-①
学修(教育)方法	講義・実習・テュートリアル・TBL	
評価方法		

(1)総括的評価の対象	科目成績は定期試験（筆記試験）の他に実習の平均を科目成績の10%として反映させる。ただし　すべての実習への参加や欠席した場合はレポートの提出が定期試験の受験資格として必要である
評価方法 (2)評価項目	1）外耳・中耳・内耳の構造を図示できる。　D-14-1)-① 2）聴覚・平衡覚の受容のしくみと伝導路を説明できる。　D-14-1)-② 3）口腔・鼻腔・咽頭・喉頭の構造を図示できる。　D-14-1)-③ 4）喉頭の機能と神経支配を説明できる。　D-14-1)-④ 5）平衡感覚機構を眼球運動、姿勢制御と関連させて説明できる。　D-14-1)-⑤ 6）味覚と嗅覚の受容のしくみと伝導路を説明できる。　D-14-1)-⑥ 7）聴力検査と平衡機能検査を説明できる。　D-14-2)-① 8）味覚検査と嗅覚検査を説明できる。　D-14-2)-② 9）気道狭窄、難聴、鼻出血、咽頭痛、開口障害と反回神経麻痺（嗄声）をきたす疾患を列挙し、その病態を説明できる。　D-14-3)-(1)① 10）めまい　D-14-3)-(2)① 11）嚥下障害・誤嚥　D-14-3)-(2)② 12）滲出性中耳炎、急性中耳炎と慢性中耳炎の病因、診断と治療を説明できる。　D-14-4)-(1)① 13）伝音難聴と感音難聴、迷路性と中枢性難聴を病態から鑑別し、治療を説明できる。　D-14-4)-(1)② 14）末梢性めまいと中枢性めまいを鑑別し、治療を説明できる。　D-14-4)-(1)③ 15）良性発作性頭位眩暈症の症候、診断と治療を説明できる。　D-14-4)-(1)④ 16）鼻出血の好発部位と止血法を説明できる。　D-14-4)-(1)⑤ 17）副鼻腔炎（急性、慢性）の病態と治療を説明できる。　D-14-4)-(1)⑥ 18）アレルギー性鼻炎の発症機構を説明できる。　D-14-4)-(1)⑦ 19）扁桃の炎症性疾患の病態と治療を説明できる。　D-14-4)-(1)⑧ 20）歯科疾患（う蝕、歯周病等）とその全身への影響や口腔機能管理を概説できる。　D-14-4)-(1)⑨ 21）気管切開の適応を説明できる。　D-14-4)-(1)⑩ 22）外耳道・鼻腔・咽頭・喉頭・食道の代表的な異物を説明し、除去法を説明できる。　D-14-4)-(1)⑪ 23）唾液腺疾患を列挙できる。　D-14-4)-(1)⑫ 24）口腔・咽頭癌について、病因、病期分類、検査所見、画像所見、病理所見、治療法を説明できる。　D-14-4)-(2)① 25）喉頭癌について、病因、病期分類、検査所見、画像所見、病理所見、治療法を説明できる。　D-14-4)-(2)② 26）頭部（顔貌、頭髪、頭皮、頭蓋）の診察ができる。　F-3-5)-(3)① 27）眼（視野、瞳孔、対光反射、眼球運動・突出、結膜）の診察ができる。　F-3-5)-(3)② 28）耳（耳介、聴力）の診察ができる。　F-3-5)-(3)③ 29）耳鏡で外耳道、鼓膜を観察できる。　F-3-5)-(3)④ 30）音叉を用いて聴力試験を実施できる。　F-3-5)-(3)⑤ 31）口唇、口腔、咽頭、扁桃の診察ができる。　F-3-5)-(3)⑥ 32）鼻腔、副鼻腔の診察ができる。　F-3-5)-(3)⑦ 33）鼻鏡を用いて前鼻腔を観察できる。　F-3-5)-(3)⑧ 34）甲状腺、頸部血管、気管、唾液腺の診察ができる。　F-3-5)-(3)⑨ 35）頭頸部リンパ節の診察ができる。　F-3-5)-(3)⑩
評価方法 (3)評価基準	上記の評価項目における定期試験にて100点満点で点数化を行い、 S.極めて良く理解している（90%以上） A.良く理解している（80%以上90%未満） B.平均的に理解している（70%以上80%未満） C.最低限は理解している（60%以上70%未満） D.理解が不十分である（60%未満） のいずれかとして判定し、C以上を合格とする。
伝達事項	-
教科書・参考図	

書	No	書籍名	著者名	上段:出版社 下段:出版年	ISBN
	1.	『SUCCESS耳鼻咽喉科』	野中学, 大塚康司, 渡邊荘編	金原出版 2017	9784307371162
	2.	『唾液腺腫瘍アトラス』	日本唾液腺学会編	金原出版 2005	9784307030533
	3.	『新耳鼻咽喉科学』	切替一郎原著 ; 加我君孝編	南山堂 2013	9784525370510
	4.	『口腔咽頭の臨床』	吉原俊雄, 湯本英二, 黒野祐一総編集 ; 川内秀之 [ほか] 編	医学書院 2015	9784260021630
	5.	『顔面神経麻痺診療の手引 : Bell麻痺とHunt症候群』	日本顔面神経研究会編	金原出版 2011	9784307371049
	6.	『頭頸部癌取扱い規約　第6版補訂版』	日本頭頸部癌学会編	金原出版 2019	9784307204064
	7.	『IgG4関連疾患実践的臨床から病因へ(IgG4研究会モノグラフ)』	中村誠司, 住田孝之監修 ; 川茂幸, 川野充弘編集 ; IgG4研究会著	前田書店 2015	9784944121250
	8.	『21世紀耳鼻咽喉科領域の臨床 : CLIENT 21　1～21巻』	野村恭也, 小松崎篤, 本庄巖総編集	中山書店 1999-2002	
	9.	『中耳・外耳(新図説耳鼻咽喉科・頭頚部外科講座 ; 2)』	森山寛本巻担当編集委員	メジカルビュー社 2000	4895538494
	10.	『鼻・副鼻腔(新図説耳鼻咽喉科・頭頚部外科講座 ; 3)』	夜陣紘治本巻担当編集委員	メジカルビュー社 2000	4895538508
	11.	『口腔・咽頭・喉頭・気管・食道(新図説耳鼻咽喉科・頭頚部外科講座 ; 4)』	山下敏夫本巻担当編集委員	メジカルビュー社 2000	4895538516
	12.	『頭頚部腫瘍(新図説耳鼻咽喉科・頭頚部外科講座 ; 5)』	古川仭本巻担当編集委員	メジカルビュー社 2001	4895538524
	13.	『分担解剖学　全3巻』	森於菟 [ほか] 著	金原出版 1982～	4307003411 430700342X 4307003438
	14.	『標準生理学(Standard textbook) 第9版』	小澤瀞司 [ほか] 編	医学書院 2019	9784260034296
	15.	『人体機能生理学』	杉晴夫編著 ; 宮崎俊一 [ほか] 共著	南江堂 2003	4524224785
	16.	『カラー基本生理学』	バーン, レヴィ編 ; 有田順 [ほか] 訳	西村書店 2003	4890133062
	17.	『半規管前庭神経核ニューロンの神経機構 （神経研究の進歩　36巻5号） 』		医学書院 1992	
	18.	『平衡機能の神経解剖学 （臨床科学 29巻11号 Page1495-1504)』	内野善生著	臨床科学社 1993	
関連リンク					

添付ファイル ※3つまで、1ファイルにつき5MBまで、圧縮ファイルOK	

授業予定表

回数	年月日	時限	授業形式	教室	開始終了時間
1.	2022/09/26(月)	1時限	講義	講義室 303	09:00-10:10
	タイトル	1 科目の概要			
	担当者(所属)	野中 学			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-3-4)-(8)②③④⑤⑥			
	講義資料番号/連番(LMS)				1
2.	2022/09/27(火)	2時限	講義	講義室 303	10:25-11:35
	タイトル	2 感覚器組織学(聴覚)			
	担当者(所属)	森島 正恵			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-14-1)①②			
	講義資料番号/連番(LMS)				2
3.	2022/10/04(火)	3時限	実習	ー	12:30-16:25
	タイトル	1, 2, 3 解剖 感覚器(組織学)聴覚			
	担当者(所属)	浦瀬 香子 菊田 幸子 森島 正恵 石井 泰雄 石津 綾子 望月 牧子 横溝 智雅 矢作 綾野			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-2-1)-(3)①,D-2-1)-(4)②,D-2-2)②,C-2-3)-(2)④			
	講義資料番号/連番(LMS)				26
4.	2022/10/04(火)	4時限	実習	ー	12:30-16:25
	タイトル	1, 2, 3 解剖 感覚器(組織学)聴覚			
	担当者(所属)	浦瀬 香子 菊田 幸子 森島 正恵 石井 泰雄 石津 綾子 望月 牧子 横溝 智雅 矢作 綾野			

	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-2-1)-(3)①,D-2-1)-(4)②,D-2-2)②,C-2-3)-(2)④			
	講義資料番号/連番(LMS)				27
5.	2022/10/04(火)	5時限	実習	ー	12:30-16:25
	タイトル	1，2，3　解剖　感覚器(組織学)聴覚			
	担当者(所属)	浦瀬　香子 菊田　幸子 森島　正恵 石井　泰雄 石津　綾子 望月　牧子 横溝　智雅 矢作　綾野			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-2-1)-(3)①,D-2-1)-(4)②,D-2-2)②,C-2-3)-(2)④			
	講義資料番号/連番(LMS)				61
6.	2022/10/24(月)	1時限	講義	講義室 201	09:00-10:10
	タイトル	3　味覚・嗅覚の信号伝達と情報処理			
	担当者(所属)	緑川　光春			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-14-1)③④⑥,D-2-1)-(6)②			
	講義資料番号/連番(LMS)				3
7.	2022/10/24(月)	2時限	講義	講義室 201	10:25-11:35
	タイトル	4　聴覚の信号伝達と情報処理			
	担当者(所属)	緑川　光春			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-14-1)①②,D-2-1)-(6)②			
	講義資料番号/連番(LMS)				4
8.	2022/11/01(火)	2時限	講義	講義室 201	10:25-11:35
	タイトル	5　平衡感覚			
	担当者(所属)	植田　禎史			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-2-1)-(6)②,D-2-3)-(1)①,D-14-1)⑤			
	講義資料番号/連番(LMS)				6
9.	2022/11/07(月)	1時限	講義	講義室 303	09:00-10:10
	タイトル	10　耳科検査 (2) 平衡機能検査			
	担当者(所属)	門園　修			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-14-2			
	講義資料番号/連番(LMS)				5
10.	2022/11/07(月)	2時限	講義	講義室 303	10:25-11:35
	タイトル	9　耳科検査 (1) 聴覚検査			
	担当者(所属)	須納瀬　弘			

	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-14-2			
	講義資料番号/連番(LMS)				9
11.	2022/11/08(火)	2時限	講義	講義室 303	10:25-11:35
	タイトル	6 耳鼻咽喉科領域の病理			
	担当者(所属)	山本 智子			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-14-4)-(2)①②			
	講義資料番号/連番(LMS)				8
12.	2022/11/08(火)	4時限	実習	ー	13:55-15:05
	タイトル	1 臨床実習(1)			
	担当者(所属)	ー ー			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-2-1)-(1)①②⑤、D-2-1)-(3)、D-2-1)-(4)、D-2-1)-(5)、D-2-1)-(6)、D-2-3)-(1)、D-2-3)-(4)、D-2-4)-(4)、D-2-4)-(6)①②、D-2-4)-(7)、D-5-3)⑦、E-2-3)③、F-1-7)②、F-1-8)①②③、G-2-7)、G-4-1)-②③④⑤			
	講義資料番号/連番(LMS)				30
13.	2022/11/08(火)	5時限	実習	ー	15:15-16:25
	タイトル	1 臨床実習(1)			
	担当者(所属)	ー ー			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-2-1)-(1)①②⑤、D-2-1)-(3)、D-2-1)-(4)、D-2-1)-(5)、D-2-1)-(6)、D-2-3)-(1)、D-2-3)-(4)、D-2-4)-(4)、D-2-4)-(6)①②、D-2-4)-(7)、D-5-3)⑦、E-2-3)③、F-1-7)②、F-1-8)①②③、G-2-7)、G-4-1)-②③④⑤			
	講義資料番号/連番(LMS)				31
14.	2022/11/14(月)	1時限	講義	講義室 303	09:00-10:10
	タイトル	8 画像診断			
	担当者(所属)	井田 正博			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-6-2)			
	講義資料番号/連番(LMS)				7
15.	2022/11/15(火)	4時限	実習	ー	13:55-15:05
	タイトル	2 臨床実習(2)			
	担当者(所属)	ー ー			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-2-1)-(1)①②⑤、D-2-1)-(3)、D-2-1)-(4)、D-2-1)-(5)、D-2-1)-(6)、D-2-3)-(1)、D-2-3)-(4)、D-2-4)-(4)、D-2-4)-(6)①②、D-2-4)-(7)、D-5-3)⑦、E-2-3)③、F-1-7)②、F-1-8)①②③、G-2-7)、G-4-1)-②③④⑤			
	講義資料番号/連番(LMS)				32
16.	2022/11/15(火)	5時限	実習	ー	15:15-16:25
	タイトル	2 臨床実習(2)			
	担当者(所属)	ー ー			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-2-1)-(1)①②⑤、D-2-1)-(3)、D-2-1)-(4)、D-2-1)-(5)、D-2-1)-(6)、D-2-3)-(1)、D-2-3)-(4)、D-2-4)-(4)、D-2-4)-(6)①②、D-2-4)-(7)、D-5-3)⑦、E-2-3)③、F-1-7)②、F-1-8)①②③、G-2-7)、G-4-1)-②③④⑤			
	講義資料番号/連番(LMS)				33
17.	2022/11/16(水)	3時限	講義	講義室 303	12:30-13:40
	タイトル	11 外耳・中耳疾患			
	担当者(所属)	崎谷 恵理			

	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-14-4)-(1)			
	講義資料番号/連番(LMS)				12
18.	2022/11/16(水)	4時限	講義	講義室 303	13:55-15:05
	タイトル	14 耳科手術			
	担当者(所属)	野中 学			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-14-4)-(1)			
	講義資料番号/連番(LMS)				16
19.	2022/11/17(木)	2時限	講義	講義室 303	10:25-11:35
	タイトル	20 鼻アレルギー			
	担当者(所属)	瀬尾 友佳子			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-14-4)-(1),D-3-2),C-3-2)-(4)④,E-4-2)①,F-3-5)-(3)Ⓑ			
	講義資料番号/連番(LMS)				21
20.	2022/11/18(金)	3時限	実習	講義室 303	12:30-15:05
	タイトル	4, 5 眼科・耳鼻咽喉科疾患の病理			
	担当者(所属)	加藤 陽一郎 山本 智子 増井 憲太			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-14-4)-(1)⑪⑫,D-14-4)-(2)①②			
	講義資料番号/連番(LMS)				28
21.	2022/11/18(金)	4時限	実習	講義室 303	12:30-15:05
	タイトル	4, 5 眼科・耳鼻咽喉科疾患の病理			
	担当者(所属)	加藤 陽一郎 山本 智子 増井 憲太			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-14-4)-(1)⑪⑫,D-14-4)-(2)①②			
	講義資料番号/連番(LMS)				29
22.	2022/11/25(金)	4時限	実習	ー	13:55-15:05
	タイトル	3 臨床実習(3)			
	担当者(所属)	ー ー			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-2-1)-(1)①②⑤、D-2-1)-(3)、D-2-1)-(4)、D-2-1)-(5)、D-2-1)-(6)、D-2-3)-(1)、D-2-3)-(4)、D-2-4)-(4)、D-2-4)-(6)①②、D-2-4)-(7)、D-5-3)⑦、E-2-3)③、F-1-7)②、F-1-8)①②③、G-2-7)、G-4-1)-②③④⑤			
	講義資料番号/連番(LMS)				34
23.	2022/11/25(金)	5時限	実習	ー	15:15-16:25
	タイトル	3 臨床実習(3)			
	担当者(所属)	ー ー			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-2-1)-(1)①②⑤、D-2-1)-(3)、D-2-1)-(4)、D-2-1)-(5)、D-2-1)-(6)、D-2-3)-(1)、D-2-3)-(4)、D-2-4)-(4)、D-2-4)-(6)①②、D-2-4)-(7)、D-5-3)⑦、E-2-3)③、F-1-7)②、F-1-8)①②③、G-2-7)、G-4-1)-②③④⑤			

	講義資料番号/連番(LMS)				35
24.	2023/01/06(金)	4時限	実習	ー	13:55-15:05
	タイトル	4 臨床実習(4)			
	担当者(所属)	ー ー			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-2-1)-(1)①②⑤、D-2-1)-(3)、D-2-1)-(4)、D-2-1)-(5)、D-2-1)-(6)、D-2-3)-(1)、D-2-3)-(4)、D-2-4)-(4)、D-2-4)-(6)①②、D-2-4)-(7)、D-5-3)⑦、E-2-3)③、F-1-7)②、F-1-8)①②③、G-2-7)、G-4-1)-②③④⑤			
	講義資料番号/連番(LMS)				36
25.	2023/01/06(金)	5時限	実習	ー	15:15-16:25
	タイトル	4 臨床実習(4)			
	担当者(所属)	ー ー			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-2-1)-(1)①②⑤、D-2-1)-(3)、D-2-1)-(4)、D-2-1)-(5)、D-2-1)-(6)、D-2-3)-(1)、D-2-3)-(4)、D-2-4)-(4)、D-2-4)-(6)①②、D-2-4)-(7)、D-5-3)⑦、E-2-3)③、F-1-7)②、F-1-8)①②③、G-2-7)、G-4-1)-②③④⑤			
	講義資料番号/連番(LMS)				37
26.	2023/01/10(火)	4時限	実習	ー	13:55-15:05
	タイトル	5 臨床実習(5)			
	担当者(所属)	ー ー			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-2-1)-(1)①②⑤、D-2-1)-(3)、D-2-1)-(4)、D-2-1)-(5)、D-2-1)-(6)、D-2-3)-(1)、D-2-3)-(4)、D-2-4)-(4)、D-2-4)-(6)①②、D-2-4)-(7)、D-5-3)⑦、E-2-3)③、F-1-7)②、F-1-8)①②③、G-2-7)、G-4-1)-②③④⑤			
	講義資料番号/連番(LMS)				38
27.	2023/01/10(火)	5時限	実習	ー	15:15-16:25
	タイトル	5 臨床実習(5)			
	担当者(所属)	ー ー			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-2-1)-(1)①②⑤、D-2-1)-(3)、D-2-1)-(4)、D-2-1)-(5)、D-2-1)-(6)、D-2-3)-(1)、D-2-3)-(4)、D-2-4)-(4)、D-2-4)-(6)①②、D-2-4)-(7)、D-5-3)⑦、E-2-3)③、F-1-7)②、F-1-8)①②③、G-2-7)、G-4-1)-②③④⑤			
	講義資料番号/連番(LMS)				39
28.	2023/01/11(水)	1時限	講義	講義室 303	09:00-10:10
	タイトル	17 咽喉頭・頸部の解剖・生理			
	担当者(所属)	野島 知人			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-14-1)			
	講義資料番号/連番(LMS)				13
29.	2023/01/11(水)	4時限	講義	講義室 303	13:55-15:05
	タイトル	18 咽喉頭の感染症疾患と異物・気管切開			
	担当者(所属)	余田 敬子			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-14-4)-(1) D-6-4)-(2)			
	講義資料番号/連番(LMS)				14
30.	2023/01/12(木)	2時限	講義	講義室 303	10:25-11:35
	タイトル	12 感音難聴・めまい疾患 (1)			
	担当者(所属)	草間 薫			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-14-1),D-14-2),D-14-4)-(1),F-3-5)-(3)③⑤			

	講義資料番号/連番(LMS)				10
31.	2023/01/12(木)	3時限	講義	講義室 303	12:30-13:40
	タイトル	13 感音難聴・めまい疾患 (2)			
	担当者(所属)	草間 薫			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-14-4)-(1)③④,D-14-2),D-14-3)-(2)			
	講義資料番号/連番(LMS)				11
32.	2023/01/13(金)	2時限	講義	講義室 303	10:25-11:35
	タイトル	19 味覚・口腔疾患・唾液腺非腫瘍性疾患			
	担当者(所属)	山村 幸江			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-14-1)③⑥,D-14-2)②,E-3-5)⑬			
	講義資料番号/連番(LMS)				20
33.	2023/01/13(金)	4時限	実習	ー	13:55-15:05
	タイトル	6 臨床実習(6)			
	担当者(所属)	ー ー			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-2-1)-(1)①②⑤、D-2-1)-(3)、D-2-1)-(4)、D-2-1)-(5)、D-2-1)-(6)、D-2-3)-(1)、D-2-3)-(4)、D-2-4)-(4)、D-2-4)-(6)①②、D-2-4)-(7)、D-5-3)⑦、E-2-3)③、F-1-7)②、F-1-8)①②③、G-2-7)、G-4-1)-②③④⑤			
	講義資料番号/連番(LMS)				40
34.	2023/01/13(金)	5時限	実習	ー	15:15-16:25
	タイトル	6 臨床実習(6)			
	担当者(所属)	ー ー			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-2-1)-(1)①②⑤、D-2-1)-(3)、D-2-1)-(4)、D-2-1)-(5)、D-2-1)-(6)、D-2-3)-(1)、D-2-3)-(4)、D-2-4)-(4)、D-2-4)-(6)①②、D-2-4)-(7)、D-5-3)⑦、E-2-3)③、F-1-7)②、F-1-8)①②③、G-2-7)、G-4-1)-②③④⑤			
	講義資料番号/連番(LMS)				41
35.	2023/01/17(火)	1時限	講義	講義室 303	09:00-10:10
	タイトル	22 喉頭疾患 (音声・嚥下障害) (1)			
	担当者(所属)	三枝 英人			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-14-1),D-6-4)-(2)			
	講義資料番号/連番(LMS)				18
36.	2023/01/17(火)	2時限	講義	講義室 303	10:25-11:35
	タイトル	23 喉頭疾患 (音声・嚥下障害) (2)			
	担当者(所属)	三枝 英人			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-7-1),D-5-3),D-6-4)-(2)⑤,D-14-3)-(2),E-8-1),F-1-19)			
	講義資料番号/連番(LMS)				19
37.	2023/01/17(火)	4時限	実習	ー	13:55-15:05
	タイトル	7 臨床実習(7)			
	担当者(所属)	ー ー			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-2-1)-(1)①②⑤、D-2-1)-(3)、D-2-1)-(4)、D-2-1)-(5)、D-2-1)-(6)、D-2-3)-(1)、D-2-3)-(4)、D-2-4)-(4)、D-2-4)-(6)①②、D-2-4)-(7)、D-5-3)⑦、E-2-3)③、F-1-7)②、F-1-8)①②③、G-2-7)、G-4-1)-②③④⑤			

	講義資料番号/連番(LMS)				42
38.	2023/01/17(火)	5時限	実習	ー	15:15-16:25
	タイトル	7 臨床実習(7)			
	担当者(所属)	ー ー			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-2-1)-(1)①②⑤、D-2-1)-(3)、D-2-1)-(4)、D-2-1)-(5)、D-2-1)-(6)、D-2-3)-(1)、D-2-3)-(4)、D-2-4)-(4)、D-2-4)-(6)①②、D-2-4)-(7)、D-5-3)⑦、E-2-3)③、F-1-7)②、F-1-8)①②③、G-2-7)、G-4-1)-②③④⑤			
	講義資料番号/連番(LMS)				43
39.	2023/01/19(木)	2時限	講義	講義室 303	10:25-11:35
	タイトル	15 鼻腔の解剖・生理(嗅覚)・睡眠時無呼吸症候群			
	担当者(所属)	渡邊 荘			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-14-1)			
	講義資料番号/連番(LMS)				15
40.	2023/01/19(木)	4時限	講義	講義室 303	13:55-15:05
	タイトル	16 鼻・副鼻腔疾患・手術			
	担当者(所属)	瀬尾 友佳子			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-14-4)-(1)⑥			
	講義資料番号/連番(LMS)				17
41.	2023/01/19(木)	5時限	講義	講義室 303	15:15-16:25
	タイトル	21 頭頸部良性疾患			
	担当者(所属)	稲井 俊太			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-7-1), D-14-4)			
	講義資料番号/連番(LMS)				22
42.	2023/01/24(火)	2時限	講義	講義室 303	10:25-11:35
	タイトル	24 頭頸部腫瘍(1)			
	担当者(所属)	中溝 宗永			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	E-3-5)⑬,D-6-2)①			
	講義資料番号/連番(LMS)				23
43.	2023/01/24(火)	3時限	講義	講義室 303	12:30-13:40
	タイトル	25 頭頸部腫瘍(2)			
	担当者(所属)	中溝 宗永			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	E-3-5)⑬,D-6-2)①			
	講義資料番号/連番(LMS)				24
44.	2023/01/24(火)	4時限	実習	ー	13:55-15:05
	タイトル	8 臨床実習(8)			
	担当者(所属)	ー ー			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-2-1)-(1)①②⑤、D-2-1)-(3)、D-2-1)-(4)、D-2-1)-(5)、D-2-1)-(6)、D-2-3)-(1)、D-2-3)-(4)、D-2-4)-(4)、D-2-4)-(6)①②、D-2-4)-(7)、D-5-3)⑦、E-2-3)③、F-1-7)②、F-1-8)①②③、G-2-7)、G-4-1)-②③④⑤			

	講義資料番号/連番(LMS)				44
45.	2023/01/24(火)	5時限	実習	ー	15:15-16:25
	タイトル	8 臨床実習(8)			
	担当者(所属)	ー ー			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-2-1)-(1)①②⑤、D-2-1)-(3)、D-2-1)-(4)、D-2-1)-(5)、D-2-1)-(6)、D-2-3)-(1)、D-2-3)-(4)、D-2-4)-(4)、D-2-4)-(6)①②、D-2-4)-(7)、D-5-3)⑦、E-2-3)③、F-1-7)②、F-1-8)①②③、G-2-7)、G-4-1)-②③④⑤			
	講義資料番号/連番(LMS)				45
46.	2023/01/25(水)	2時限	講義	講義室 303	10:25-11:35
	タイトル	26 耳鼻咽喉科領域の外傷			
	担当者(所属)	余田 敬子			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-5-3)⑧⑪⑮,D-14-1)①③④,D-14-2)①,F-1-37)①②③,F-2-1)①⑥,F-2-9)-(1)⑥,F-3-1)①②③			
	講義資料番号/連番(LMS)				25
47.	2023/01/27(金)	4時限	実習	ー	13:55-15:05
	タイトル	9 臨床実習(9)			
	担当者(所属)	ー ー			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-2-1)-(1)①②⑤、D-2-1)-(3)、D-2-1)-(4)、D-2-1)-(5)、D-2-1)-(6)、D-2-3)-(1)、D-2-3)-(4)、D-2-4)-(4)、D-2-4)-(6)①②、D-2-4)-(7)、D-5-3)⑦、E-2-3)③、F-1-7)②、F-1-8)①②③、G-2-7)、G-4-1)-②③④⑤			
	講義資料番号/連番(LMS)				46
48.	2023/01/27(金)	5時限	実習	ー	15:15-16:25
	タイトル	9 臨床実習(9)			
	担当者(所属)	ー ー			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-2-1)-(1)①②⑤、D-2-1)-(3)、D-2-1)-(4)、D-2-1)-(5)、D-2-1)-(6)、D-2-3)-(1)、D-2-3)-(4)、D-2-4)-(4)、D-2-4)-(6)①②、D-2-4)-(7)、D-5-3)⑦、E-2-3)③、F-1-7)②、F-1-8)①②③、G-2-7)、G-4-1)-②③④⑤			
	講義資料番号/連番(LMS)				47
49.	2023/01/31(火)	4時限	実習	ー	13:55-15:05
	タイトル	10 臨床実習(10)			
	担当者(所属)	ー ー			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-2-1)-(1)①②⑤、D-2-1)-(3)、D-2-1)-(4)、D-2-1)-(5)、D-2-1)-(6)、D-2-3)-(1)、D-2-3)-(4)、D-2-4)-(4)、D-2-4)-(6)①②、D-2-4)-(7)、D-5-3)⑦、E-2-3)③、F-1-7)②、F-1-8)①②③、G-2-7)、G-4-1)-②③④⑤			
	講義資料番号/連番(LMS)				48
50.	2023/01/31(火)	5時限	実習	ー	15:15-16:25
	タイトル	10 臨床実習(10)			
	担当者(所属)	ー ー			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-2-1)-(1)①②⑤、D-2-1)-(3)、D-2-1)-(4)、D-2-1)-(5)、D-2-1)-(6)、D-2-3)-(1)、D-2-3)-(4)、D-2-4)-(4)、D-2-4)-(6)①②、D-2-4)-(7)、D-5-3)⑦、E-2-3)③、F-1-7)②、F-1-8)①②③、G-2-7)、G-4-1)-②③④⑤			
	講義資料番号/連番(LMS)				49
51.	2023/02/03(金)	4時限	実習	ー	13:55-15:05
	タイトル	11 臨床実習(11)			
	担当者(所属)	ー ー			
	コアカリキュラム/S10国試出	D-2-1)-(1)①②⑤、D-2-1)-(3)、D-2-1)-(4)、D-2-1)-(5)、D-2-1)-(6)、D-2-3)-(1)、D-2-3)-(4)、D-2-4)-(4)、D-2-4)-			

	題基準	(6)①②、D-2-4)-(7)、D-5-3)⑦、E-2-3)③、F-1-7)②、F-1-8)①②③、G-2-7)、G-4-1)-②③④⑤			
	講義資料番号/連番(LMS)				50
52.	2023/02/03(金)	5時限	実習	ー	15:15-16:25
	タイトル	11 臨床実習(11)			
	担当者(所属)	ー ー			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-2-1)-(1)①②⑤、D-2-1)-(3)、D-2-1)-(4)、D-2-1)-(5)、D-2-1)-(6)、D-2-3)-(1)、D-2-3)-(4)、D-2-4)-(4)、D-2-4)-(6)①②、D-2-4)-(7)、D-5-3)⑦、E-2-3)③、F-1-7)②、F-1-8)①②③、G-2-7)、G-4-1)-②③④⑤			
	講義資料番号/連番(LMS)				51
53.	2023/02/07(火)	4時限	実習	ー	13:55-15:05
	タイトル	12 臨床実習(12)			
	担当者(所属)	ー ー			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-2-1)-(1)①②⑤、D-2-1)-(3)、D-2-1)-(4)、D-2-1)-(5)、D-2-1)-(6)、D-2-3)-(1)、D-2-3)-(4)、D-2-4)-(4)、D-2-4)-(6)①②、D-2-4)-(7)、D-5-3)⑦、E-2-3)③、F-1-7)②、F-1-8)①②③、G-2-7)、G-4-1)-②③④⑤			
	講義資料番号/連番(LMS)				52
54.	2023/02/07(火)	5時限	実習	ー	15:15-16:25
	タイトル	12 臨床実習(12)			
	担当者(所属)	ー ー			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-2-1)-(1)①②⑤、D-2-1)-(3)、D-2-1)-(4)、D-2-1)-(5)、D-2-1)-(6)、D-2-3)-(1)、D-2-3)-(4)、D-2-4)-(4)、D-2-4)-(6)①②、D-2-4)-(7)、D-5-3)⑦、E-2-3)③、F-1-7)②、F-1-8)①②③、G-2-7)、G-4-1)-②③④⑤			
	講義資料番号/連番(LMS)				53
55.	2023/02/16(木)	3時限	試験	講義室 303	13:00-14:30
	タイトル	聴覚・耳鼻咽喉系 13:00～14:30			
	担当者(所属)	野中 学			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)				54
56.	2023/02/16(木)	4時限	試験	講義室 303	13:00-14:30
	タイトル	聴覚・耳鼻咽喉系 13:00～14:30			
	担当者(所属)	野中 学			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)				55
57.	2023/02/28(火)	3時限	追・再試験	講義室 201	13:00-14:30
	タイトル	聴覚・耳鼻咽喉系 13:00～14:30			
	担当者(所属)	野中 学			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)				56
58.	2023/02/28(火)	4時限	追・再試験	講義室 201	13:00-14:30
	タイトル	聴覚・耳鼻咽喉系 13:00～14:30			
	担当者(所属)	野中 学			

	コアカリキュラム/S10国試出題基準		
	講義資料番号/連番(LMS)	96	57

[聴覚・耳鼻咽喉系（構造・機能・病態・症候・疾患）]

[聴覚・耳鼻咽喉系総論]

大　項　目	中　　項　　目	小　　項　　目	備　考
Ⅰ.正常構造と機能	1. 総論	1) 聴器	
		2) 鼻・副鼻腔	
		3) 口腔・咽頭・喉頭	
		4) 頸部	
	2. 平衡聴覚器の発生と構造	1) 外耳、中耳、内耳の構造	
		2) 聴覚の伝導路	
		3) 平衡感覚の伝導路	
	3. 嗅覚器の構造	1) 嗅粘膜の構造	
		2) 嗅覚の伝導路	
	4. 味覚器の構造	1) 味蕾の構造	
		2) 味覚の伝導路	
	5. 聴覚の機能	1) 聴覚器での信号変換	
		2) 聴覚の伝導路	
		3) 聴覚野	
		4) 聴覚の情報処理	
		5) 聴覚脳幹反応（大脳誘発電位）	
	6. 味覚の機能	1) 味覚の受容	
		2) 味覚の情報処理	
	7. 嗅覚の機能	1) 嗅覚の受容	
		2) 嗅覚の情報処理	
	8. 平衡感覚の機能	1) 平衡感覚の受容	
		2) 平衡感覚の情報処理	
		3) 前庭眼反射	
		4) 緊張性迷路反射	
		5) 前庭脊髄反射	
Ⅱ.平衡聴覚器の病理	1. 形成異常	1) 外耳奇形	
	2. 炎症・他	1) 外、中、内耳炎	
		2) メニエール病	
		3) 薬剤障害	
		4) 耳硬化症	
	3. 腫瘍	1) 扁平上皮癌	
		2) 聴神経腫瘍	
Ⅲ.一般症候			
	1. 耳痛、耳漏、耳鳴、耳閉感	1) 伝音難聴、感音難聴	
	2. 難聴、めまい	2) 中枢性めまい・末梢性めまい	
	3. 鼻漏、鼻閉		
	4. 嗅覚障害		

大　項　目	中　　項　　目	小　　項　　目	備　考
	5. 咽頭痛、味覚障害、 咽喉頭異常感		
	6. 嚥下障害		
	7. 呼吸困難		
	8. 嗄声		
	9. 頸部腫脹		
Ⅳ.診断、検査			
A.一般検査	1. 血液学的検査		
	2. 生化学的検査	1)　細胞診	
	3. 免疫学的検査	2)　組織診	
	4. 病理学的検査		
	5. 微生物学的検査		
B.機能検査	1. 聴力検査	1)　純音聴力検査	
		2)　語音聴力検査	
		3)　自記オージオメトリー	
		4)　音叉検査	
		5)　聴性脳幹反応	
		6)　幼児聴力検査	
	2. インピーダンス オージオメトリー	1)　ティンパノグラム	
		2)　コンプライアンス	
		3)　アブミ骨筋反射	
	3. 平衡機能検査	1)　偏倚・立ち直り検査	
		2)　ENG 検査	
		3)　温度眼振検査	
		4)　視運動性眼振検査	
		5)　視標追跡検査	
	4. 鼻副鼻腔検査	1)　嗅覚検査	
	5. 口腔検査	1)　味覚検査	
		2)　唾液腺機能検査	
C.放射線による検査	1. 単純撮影		
	2. 断層撮影	1)　CT	
	3. 造影撮影	2)　MRI	
	4. 特殊撮影		
	5. 核医学検査		
D.超音波検査			
E.内視鏡検査			
	1.　軟性内視鏡	1)　鼻咽腔内視鏡	
		2)　喉頭内視鏡	

大　項　目	中　　項　　目	小　　項　　目	備　考
V.治療			
A.生活指導			
B.薬物療法	1. 薬剤の選択		
	2. 薬用量		
	3. 用法		
	4. 副作用		
C.手術療法			
D.放射線療法			
VI.治療後の管理	1. 耳鼻術後		
	2. 咽頭喉頭術後		

［聴覚・耳鼻咽喉系各論］

大　項　目	中　　項　　目	小　　項　　目	備　考
Ⅰ.耳			
A.外耳疾患	1. 外耳道の異常	1）外耳道異物	
		2）耳垢栓塞	
		3）急性化膿性限局性外耳道炎（耳癤）	
		4）耳性帯状疱疹	
		5）外耳道湿疹	
		6）悪性外耳道炎	
	2. 鼓膜の異常	7）鼓膜炎	
B.中耳疾患	1. 中耳の異常	1）急性中耳炎	
		2）耳管機能不全	
		3）滲出性中耳炎	
		4）慢性穿孔性中耳炎	
		5）真珠腫性中耳炎	
		6）耳硬化症	
		7）好酸球性中耳炎	
C.内耳・後迷路疾患	1. 内耳の異常	1）内耳炎	
		2）音響外傷	
		3）騒音性難聴	
		4）薬剤性難聴	
		5）老人性難聴	
		6）乳幼児の難聴	
		7）聾	
		8）突発性難聴	
		9）遺伝性難聴（若年発症型両側性感音難聴など）	
		10）機能性難聴	
		11）ウィルス性難聴	
		12）メニエール病	
		13）良性発作性頭位眩暈症	
		14）前庭神経炎	
		15）外リンパ瘻	
		16）薬剤性平衡障害	
	2. 後迷路疾患	1）聴神経腫瘍	
D.奇形	1. 聴器の奇形	1）耳介奇形	

大　項　目	中　　項　　目	小　　項　　目	備　考
		2）外耳道閉鎖症 （Treacher Collons 症候群） 3）先天性耳瘻孔 4）中耳奇形 5）内耳奇形	
E.外傷		1）耳介血腫 2）鼓膜損傷 3）側頭骨骨折 4）内耳振盪症	
F.腫瘍	1. 外耳腫瘍	1）外耳道癌	
	2. 中耳腫瘍	1）グロムス腫瘍	
G.神経疾患	1. 顔面神経麻痺	1）Bell 麻痺 2）Hunt 症候群 3）中枢性麻痺	
H.治療・リハビリテーション	1. リハビリテーション	1）補聴器 2）人工中耳 3）人工内耳	
	2. 手術	1）鼓膜チューブ留置術 2）鼓室形成術、乳突削開術 3）アブミ骨手術 4）内リンパ嚢開放手術 5）顔面神経管減荷手術	
Ⅱ. 鼻			
A.鼻出血	1. 鼻出血		
B.形態異常	1. 鼻中隔	1）鼻中隔彎曲症 2）鞍鼻	
C.外傷	1. 鼻骨骨折 2. 顔面骨折	1）Le Fort 型骨折 2）吹き抜け骨折 3）頬骨骨折 4）視神経管骨折	
D.鼻副鼻腔疾患	1. 鼻腔の異常	1）鼻癌	

大　項　目	中　　項　　目	小　　項　　目	備　考
		2）急性鼻炎 3）慢性鼻炎	
	2. 副鼻腔の異常	1）急性副鼻腔炎 2）慢性副鼻腔炎、好酸球性副鼻腔炎 3）歯性上顎洞炎 4）副鼻腔真菌症 5）術後性副鼻腔嚢胞	
E.アレルギー性疾患	1. 鼻アレルギー	1）　病因、病態生理、症候 2）　検査、診断、治療	
F.腫瘍	1. 良性腫瘍 2. 悪性腫瘍	1）乳頭腫 1）上顎癌 2）鼻性 NK/T 細胞リンパ腫 3）嗅神経芽細胞腫	
G.治療	1. 保存的治療 2. 手術的治療	1）　ネブライザー、副鼻腔洗浄 2）　適応、種類、副損傷	
H.睡眠疾患	1. 睡眠時無呼吸症状群	1）　中枢性 2）　閉塞性	
Ⅲ.口腔・咽頭・唾液腺			
A.　口腔疾患	1.　口内炎、口角炎	1）　アフタ、Behçet 病、AIDS、梅毒、ヘルペス	
	2.　ヘルパンギーナ		
	3.　鵞口瘡		
	4.　舌炎		
	5.　白板症		
B.咽頭・扁桃疾患	1.　咽頭	1）　急性咽頭炎 2）　慢性咽頭炎 3）　咽後膿瘍 4）　咽頭結核（鑑別：梅毒, AIDS）	
	2. 扁桃	1）口蓋、咽頭扁桃肥大症 2）　急性扁桃炎 3）　慢性扁桃炎（習慣性扁桃炎） 4）　扁桃周囲炎・膿瘍 5）　伝染性単核球症	

大　項　目	中　　項　　目	小　　項　　目	備　考
		6）扁桃病巣感染症	
		7）咽頭異物	
C. 唾液腺	1. 唾液分泌異常	1）ムンプス	
	2. 流行性耳下腺炎		
	3. 唾石症		
	4. がま腫		
	5. 自己免疫性疾患	1）Sjögren 症候群	
		2）IgG4 関連疾患	
D. 腫瘍	1. 良性腫瘍	1）多形腺腫、Walthin 腫瘍	
		2）副咽頭間隙腫瘍	
	2. 悪性腫瘍	1）唾液腺癌	
		2）舌癌	
		3）その他の口腔癌	
		4）上咽頭癌	
		5）中咽頭癌	
		6）下咽頭癌	
Ⅳ.喉頭・気管・気管支			
A.喉頭	1. 喉頭の異常	1）感冒（かぜ症候群）	
		2）クループ症候群	
		3）急性喉頭蓋炎（喉頭浮腫）	
		4）急性喉頭炎	
		5）急性声門下喉頭炎（クループ）	
		6）慢性喉頭炎（結核、梅毒）	
		7）声帯ポリープ、ポリープ様声帯	
		8）声帯結節、喉頭肉芽種	
		9）喉頭嚢胞	
		10）喉頭異物	
B.気管・気管支	1. 気管・気管支の異常	1）気管、気管支異物	
	2. 気管切開術	1）適応、方法、術後管理、後遺症（カニューレ抜去困難症）	
C.神経		1）反回神経麻痺	
		2）喉頭痙攣	
		3）喉頭異常感症	

大　項　目	中　　項　　目	小　　項　　目	備　考
D.腫瘍	1. 良性腫瘍	1) 乳頭腫	
	2. 悪性腫瘍	1) 喉頭癌	
V.頭頸部			
A.奇形	1. 頭部、顎、顔面奇形		
	2. 頸部嚢胞・瘻孔	1) 正中頸嚢胞	
		2) 側頸嚢胞	
		3) 梨状陥凹瘻孔	
		4) リンパ管腫	
B. 炎症	1. 頸部リンパ節炎	1) 結核性リンパ節炎	
		2) 亜急性壊死性リンパ節炎	
		3) 反応性リンパ節炎	
	2. 頸部膿瘍		
C.外傷	1. 喉頭・気管損傷	1) 検査、救急処置	
D.腫瘍	1. 良性疾患	1) 神経原性腫瘍（神経鞘腫、神経線維腫）	
		2) 頸動脈小体腫瘍	
	2. 悪性疾患	1) リンパ節転移	
		2) 悪性リンパ腫	
E.治療	1. TNM 分類と頭頸部腫瘍の治療の概念		
	2. 保存的治療		
	3. 手術的治療	1) 頸部郭清術	
		2) 頭頸部腫瘍手術	
		3) 頭・顎顔面・頸部形成再建手術	
		4) 外頸動脈結紮術	
		5) 頭頸部救急手術	

大　項　目	中　　項　　目	小　　項　　目	備　考
Ⅵ. 音声言語 A.音声障害	1. 無喉頭	1)　リハビリテーション （食道発声、人工喉頭）	
	2. 機能的発声障害	1)　種類（心因性発声障害、変声障害）	
	3.　器質的発声障害		
B.言語障害	1. 聴覚障害に伴う言語障害	1)　検査、診断、 リハビリテーション 2)　病態生理、種類、治療	
	2. 構音障害		

科目名	眼・視覚系
科目責任者(所属)	飯田　知弘

到達目標	眼球は視覚を司る器官で、体に占める容積は小さいが、どんなに精巧に作られたコンピュータもおよばないほど精密に機能している。われわれが外界で得られる情報のうち、実に80% はこの視覚を通して獲得するとも言われている。 眼・視覚系では、この視覚を司る眼球を中心に、その構造、機能、視覚の伝達と情報処理機能およびその異常を基礎的・臨床的立場から統合して学ぶ。
アウトカム・ロードマップに係わる到達目標/項目番号	Ⅰ 基本的知識と技能 問診 1. 医療面接の重要性を理解し、患者やその家族に配慮しながら、患者の解釈モデル、受診動機、受療行動を把握できる。 2. 患者の病歴（主訴、現病歴、既往歴、家族歴、生活・職業歴）の聴取と記録ができる。 眼科的検査 1. 視診（対光反応、眼位、眼球運動、輻輳、充血や眼球突出の有無）の結果を記載できる。 2. 細隙灯顕微鏡検査で前眼部・中間透光体（眼瞼、結膜、角膜、前房、虹彩、水晶体、前部硝子体）の観察をして、記載できる。 3. 眼底写真をみて、正常眼底との違いが述べられる。 4. 網膜の光干渉断層計による画像と網膜の組織像を対応して評価できる。 5. 眼圧の検査方法を説明できる。 6. 網膜電位図の適応疾患を列挙できる。 7. 眼底造影検査の適応、合併症について説明できる。 8. 視野検査の種類と伝導路との関連を理解している。 眼科疾患の診断と治療 1. 屈折異常と調節障害の病態生理を説明できる。 2. ウイルス性結膜炎の原因、治療、感染対策について説明できる。 3. 白内障の原因、症状、手術適応について説明できる。 4. 白内障手術の合併症について述べられる。 5. 白内障術後管理について患者背景を考慮して立案できる。 6. 緑内障の病態と治療について述べられる。 7. 裂孔原性網膜剥離の病態、治療について述べられる。 8. 糖尿病網膜症の病態、分類を述べることができる。 9. 高血圧、動脈硬化による眼底所見の変化、分類を説明できる。 10. ぶどう膜炎を炎症のタイプから分類できる。 11. 黄斑変性の症状、種類、治療について説明できる。 12. 視神経乳頭の異常所見と鑑別疾患を述べることができる。 13. 網膜動脈閉塞症の症状、診断、治療について説明できる。 14. 網膜静脈閉塞症の症状、診断、治療について説明できる。 15. 網膜芽細胞腫の所見、治療について説明ができる。 16. うっ血乳頭の病態、所見、診断を説明できる。 (I-1. B, C,I-2. A, B, C, I-3. A, B, Ⅱ-1A, B) 17. 特徴的視野異常を列挙し、その形成機序と疾患を述べることができる。 (I-1. A, B, C, I-2. B, I-5. A,) 18. 化学外傷の処置、治療について説明できる。 (I-1.A, B, C, I-3. A, B, C, I-2. A,B ,C、I-5. A, B, Ⅱ-1 A, B, C) 基本的手技 （見学でも可） 1. 眼科手術の助手ができる。 (I-6. C, Ⅱ-1.C) 2. 豚眼で白内障手術の流れを実践できる。 (I-4. C,) 3. 正しい眼処置ができる。 (I-6. A, B, C) 4. オートレフラクトメーターで測定できる。 5. 非接触型眼圧計で眼圧測定ができる。 (I-3. A, B, C, I-5.A, B, Ⅱ-2. A, C. D, E, Ⅱ-3 B) 6. 網膜の光干渉断層計で撮影ができる (I-4. B, C, Ⅱ-3.A , Ⅱ-4.B) 7. 細隙灯顕微鏡で観察し、スケッチができる。 (I-2. A, B, C, I-6. A, B, C, D, Ⅱ-1. A, B, C Ⅱ-4.A,B,C, Ⅱ-5.A) 8. 検眼鏡で眼底の観察ができる。 (I-4. B, C) 医療記録 1. 診療録を POS (Problem Oriented System) に従って記載し管理できる。 (I-1. A, B, C, I-2. C) Ⅱ 医療者として必要な基本姿勢・態度 患者－医師関係 1. 患者、家族のニーズを身体・ 心理・社会的側面から把握できる。 2. 守秘義務を果たし、プライバシーへの配慮ができる。 3. ロービジョンの日常生活への影響を理解する。 4. 局所麻酔下での手術時の患者への配慮ができる。 チーム医療 1. 指導医はじめ他の医師や医療従事者と適切なコミュニケーションがとれる。 問題対応能力 1. 臨床上の疑問点を解決するための情報を収集して評価し、当該患者への適応を判断できる（EBM = Evidence Based Medicineの実践ができる） 2. 自己評価及び第三者による評価を踏まえた問題対応能力の改善ができる。 安全管理 1. 医療を行う際の安全確認の考え方を理解し、実施できる。 2. 手術室での不潔清潔の区別を正確にする。 3. 手術室での機器の配線に注意ができる。 4. 医療事故防止及び事故後の対処について、指導医の指導のもと、マニュアルにそって行動できる。 5. 院内感染対策（Standard Precautionsを含む）の理解と、実行ができる。 症例呈示 1. 症例呈示と討論ができる。 2. 症例検討に参加する。 医療の社会性 1. 医療保険、公費負担医療を理解し、適切な立案ができる。 2. 医の倫理・生命倫理について理解し、適切な行動ができる。

学修(教育)方法	講義・実習・テュートリアル・TBL
評価方法 (1)総括的評価の対象	科目成績は定期試験(筆記試験)の他に実習の平均を科目成績の10%として反映させる。ただし すべての実習への参加や欠席した場合はレポートの提出が定期試験の受験資格として必要である
評価方法 (2)評価項目	眼球と付属器の構造と機能を理解し、視覚の伝導路を説明できる。 D-2-1)② 基本的眼科検査(視力検査、細隙灯顕微鏡検査、眼圧検査、眼底検査、視野検査)の目的と主要所見を説明できる。 D-13-4)(1)①-⑩ 眼・視覚系に関する主要症候(視力障害、視野異常、眼球運動障害、眼脂・充血、飛蚊症、眼痛)について、それらの発症機序、原因疾患と治療を説明できる。 屈折異常(近視、遠視、乱視)と調節障害の病態生理を説明できる。 角結膜感染症の症候、診断と治療を説明できる。 白内障の病因、症候、診断と治療を説明できる。 緑内障の病因を理解し、それらの発症機序、症候、診断と治療を説明できる。 網膜剥離の症候、診断と治療を説明できる。 糖尿病、高血圧・動脈硬化による眼底変化を説明できる。
評価方法 (3)評価基準	学期末試験にて100点満点にて点数化を行い、S.極めて良く理解している(90%以上) A.良く理解している(80%以上90%未満) B.平均的に理解している(70%以上80%未満)C.最低限は理解している(60%以上70%未満) D.理解が不十分である(60%未満)のいずれかとして判定し、C以上を合格とする。
伝達事項	-

教科書・参考図書

No	書籍名	著者名	上段:出版社 下段:出版年	ISBN
1.	『標準眼科学(Standard textbook)第14版』	中澤満 [ほか] 執筆	医学書院 2018	
2.	『現代の眼科学第13版』	吉田晃敏, 谷原秀信編	金原出版 2018	
3.	『標準組織学 総論』	藤田尚男, 藤田恒夫原著	医学書院 2015	9784260015318
4.	『標準生理学(Standard textbook)』	本間研一 [ほか] 編	医学書院 2014	9784260017817
5.	『眼病理アトラス』	沖坂重邦編著	文光堂 1992	4830632097
6.	『眼病理学 Ⅰ・Ⅱ』	G.O.H.ナウマン著, 西起史監訳	丸善 2003	9784621064832
7.	『蛍光眼底造影ケーススタディ』	飯田知弘編	医学書院 2019	
8.	『眼科学(2分冊,総目次・総索引)』	大鹿哲郎編	文光堂 2020	
9.	『新OCT・OCTA読影トレーニング』	白神史雄, 飯田知弘編	メジカルビュー社 2019	
10.	『屈折異常と眼鏡矯正(専門医のための眼科診療クオリファイ ; 1)』	大鹿哲郎編	中山書店 2010	9784521733227

11.	『結膜炎オールラウンド(専門医のための眼科診療クオリファイ；2)』	大橋裕一編	中山書店 2010	9784521733234
12.	『緑内障診断ガイド(専門医のための眼科診療クオリファイ；3)』	相原一編	中山書店 2011	9784521733241
13.	『加齢黄斑変性：診断と治療の最先端(専門医のための眼科診療クオリファイ；4)』	瓶井資弘編	中山書店 2011	9784521733258
14.	『全身疾患と眼(専門医のための眼科診療クオリファイ；5)』	村田敏規編	中山書店 2011	9784521733265
15.	『コンタクトレンズ自由自在(専門医のための眼科診療クオリファイ；6)』	大橋裕一編	中山書店 2011	9784521733272
16.	『視神経疾患のすべて(専門医のための眼科診療クオリファイ；7)』	中馬秀樹編	中山書店 2011	9784521733289
17.	『網膜血管障害(専門医のための眼科診療クオリファイ；8)』	白神史雄編	中山書店 2011	9784521733296
18.	『子どもの眼と疾患(専門医のための眼科診療クオリファイ；9)』	仁科幸子編	中山書店 2012	9784521733302
19.	『眼付属器疾患とその病理(専門医のための眼科診療クオリファイ；10)』	野田実香編	中山書店 2012	9784521733319
20.	『緑内障薬物治療ガイド(専門医のための眼科診療クオリファイ；11)』	相原一編	中山書店 2012	9784521734699
21.	『角膜内皮障害 to the Rescue(専門医のための眼科診療クオリファイ；12)』	大橋裕一編	中山書店 2012	9784521734705
22.	『ぶどう膜炎を斬る!(専門医のための眼科診療クオリファイ；13)』	園田康平編	中山書店 2012	9784521734712
23.	『網膜機能検査A to Z(専門医のための眼科診療クオリファイ；14)』	近藤峰生編	中山書店 2012	9784521734729
24.	『メディカルオフサルモロジー眼薬物治療のすべて(専門医のための眼科診療クオリファイ；15)』	村田敏規編	中山書店 2012	9784521734736
25.	『糖尿病眼合併症の新展開(専門医のための眼科診療クオリファイ；16)』	白神史雄編	中山書店 2013	9784521734743
26.	『裂孔原性網膜剥離：how to treat(専門医のための眼科診療クオリファイ；17)』	瓶井資弘編	中山書店 2013	9784521734750
27.	『眼底OCTのすべて(専門医のための眼科診療クオリファイ；18)』	飯田知弘編	中山書店 2013	9784521734767
28.	『ドライアイスペシャリストへの道 (専門医のための眼科診療クオリファイ；19)』	横井則彦編	中山書店 2013	9784521734774
29.	『眼内レンズの使いかた(専門医のための眼科診療クオリファイ；20)』	大鹿哲郎編	中山書店 2014	9784521734781
30.	『眼救急疾患スクランブル(専門医のための眼科診療クオリファイ；21)』	坂本泰二編	中山書店 2014	9784521739182

31.	『弱視・斜視診療のスタンダード(専門医のための眼科診療クオリファイ ; 22)』	不二門尚編	中山書店 2014	9784521739199
32.	『眼科診療と関連法規(専門医のための眼科診療クオリファイ ; 23)』	鳥山佑一, 村田敏規編	中山書店 2015	9784521739205
33.	『前眼部の画像診断(専門医のための眼科診療クオリファイ ; 24)』	前田直之編	中山書店 2014	9784521739212
34.	『角膜混濁のすべて(専門医のための眼科診療クオリファイ ; 25)』	井上幸次編	中山書店 2014	9784521739229
35.	『ロービジョンケアの実際(専門医のための眼科診療クオリファイ ; 26)』	山本修一編	中山書店 2015	9784521739236
36.	『視野検査とその評価(専門医のための眼科診療クオリファイ ; 27)』	松本長太編	中山書店 2015	9784521739243
37.	『近視の病態とマネジメント(専門医のための眼科診療クオリファイ ; 28)』	大野京子編	中山書店 2016	9784521739250
38.	『眼形成手術(専門医のための眼科診療クオリファイ ; 29)』	嘉鳥信忠, 渡辺彰英編	中山書店 2016	9784521739267
39.	『眼の発生と解剖・機能(専門医のための眼科診療クオリファイ ; 30)』	大鹿哲郎編	中山書店 2016	9784521739274

添付ファイル ※3つまで、1ファイルにつき5MBまで、圧縮ファイルOK	

授業予定表

回数	年月日	時限	授業形式	教室	開始終了時間
1.	2022/09/07(水)	4時限	講義	講義室 201	13:55-15:05
	タイトル	1　視覚器概要			
	担当者(所属)	丸子　一朗			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-13-2)①			
	講義資料番号/連番(LMS)				1
2.	2022/09/20(火)	1時限	講義	講義室 303	09:00-10:10
	タイトル	16　感覚器組織学(視覚)			
	担当者(所属)	齋藤　文典			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-13-1)①②③④,C-2-2)-(1)①②③④			
	講義資料番号/連番(LMS)				2
3.	2022/10/07(金)	3時限	実習	講義室 201	12:30-16:25
	タイトル	1, 2, 3　解剖　感覚器(組織学)視覚			
	担当者(所属)	浦瀬　香子 菊田　幸子 森島　正恵 石井　泰雄			

		石津　綾子 望月　牧子			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	C-2-2)-(1)①②③④,D-13-1)①②③④			
	講義資料番号/連番(LMS)				27
4.	2022/10/07(金)	4時限	実習	講義室 201	12:30-16:25
	タイトル	1，2，3　解剖　感覚器(組織学)視覚			
	担当者(所属)	浦瀬　香子 菊田　幸子 森島　正恵 石井　泰雄 石津　綾子 望月　牧子			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	C-2-2)-(1)①②③④,D-13-1)①②③④			
	講義資料番号/連番(LMS)				28
5.	2022/10/07(金)	5時限	実習	講義室 201	12:30-16:25
	タイトル	1，2，3　解剖　感覚器(組織学)視覚			
	担当者(所属)	浦瀬　香子 菊田　幸子 森島　正恵 石井　泰雄 石津　綾子 望月　牧子			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	C-2-2)-(1)①②③④,D-13-1)①②③④			
	講義資料番号/連番(LMS)				29
6.	2022/10/25(火)	2時限	講義	講義室 201	10:25-11:35
	タイトル	2　視覚の信号伝達と情報処理(1)			
	担当者(所属)	緑川　光春			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-13-1)①②③④,D-13-1)①②③④			
	講義資料番号/連番(LMS)				3
7.	2022/10/25(火)	3時限	講義	講義室 201	12:30-13:40
	タイトル	3　視覚の信号伝達と情報処理(2)			
	担当者(所属)	緑川　光春			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	C-2-2)-(1)①②③④			
	講義資料番号/連番(LMS)				4
8.	2022/11/01(火)	1時限	講義	講義室 201	09:00-10:10
	タイトル	7　結膜疾患			
	担当者(所属)	篠崎　和美			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-13-4)-(1)②⑨			
	講義資料番号/連番(LMS)				5
9.	2022/11/08(火)	3時限	講義	講義室 303	12:30-13:40
	タイトル	5　視覚器の病理			
	担当者(所属)				
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-13-4)-(1)⑥⑦⑧⑨⑩			
	講義資料番号/連番(LMS)				6

10.	2022/11/08(火)	4時限	実習	ー	13:55-15:05
	タイトル	1 臨床実習(1)			
	担当者(所属)	ー ー			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	F-3-5)-(6)①-⑥、F-3-5)-(7)③			
	講義資料番号/連番(LMS)				30
11.	2022/11/08(火)	5時限	実習	ー	15:15-16:25
	タイトル	1 臨床実習(1)			
	担当者(所属)	ー ー			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	F-3-5)-(6)①-⑥、F-3-5)-(7)③			
	講義資料番号/連番(LMS)				31
12.	2022/11/11(金)	1時限	講義	講義室 303	09:00-10:10
	タイトル	13 その他の網膜硝子体疾患			
	担当者(所属)	丸子 一朗			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-13-4)-(1)⑥⑩,D-13-4)-(1)②,E-4-3)-(4)④			
	講義資料番号/連番(LMS)				7
13.	2022/11/11(金)	2時限	講義	講義室 303	10:25-11:35
	タイトル	6 調節・屈折			
	担当者(所属)	丸子 留佳			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-13-4)-(1)①			
	講義資料番号/連番(LMS)				8
14.	2022/11/14(月)	2時限	講義	講義室 303	10:25-11:35
	タイトル	11 網膜疾患(1)			
	担当者(所属)	飯田 知弘			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-13-4)-(1)⑦,D-13-4)-(2)①			
	講義資料番号/連番(LMS)				9
15.	2022/11/15(火)	4時限	実習	ー	13:55-15:05
	タイトル	2 臨床実習(2)			
	担当者(所属)	ー ー			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	F-3-5)-(6)①-⑥、F-3-5)-(7)③			
	講義資料番号/連番(LMS)				32
16.	2022/11/15(火)	5時限	実習	ー	15:15-16:25
	タイトル	2 臨床実習(2)			
	担当者(所属)	ー ー			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	F-3-5)-(6)①-⑥、F-3-5)-(7)③			
	講義資料番号/連番(LMS)				33
17.	2022/11/16(水)	1時限	講義	講義室 303	09:00-10:10
	タイトル	12 網膜疾患(2)			

	担当者(所属)	長谷川　泰司			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-13-4)-(1)⑤⑩			
	講義資料番号/連番(LMS)				10
18.	2022/11/16(水)	2時限	講義	講義室 303	10:25-11:35
	タイトル	14　ぶどう膜疾患(1)			
	担当者(所属)	豊口　光子			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-13-4)-(1)⑦			
	講義資料番号/連番(LMS)				11
19.	2022/11/17(木)	1時限	講義	講義室 303	09:00-10:10
	タイトル	9　角膜疾患(1)、強膜疾患			
	担当者(所属)	木全　奈都子			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-13-4)-(1)⑥,D-13-3)-(1)①,D-13-4)-(1)②,E-2-4)-(1)④⑥			
	講義資料番号/連番(LMS)				12
20.	2022/11/21(月)	1時限	講義	講義室 201	09:00-10:10
	タイトル	8 眼瞼・涙器疾患			
	担当者(所属)	篠崎　和美			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-13-4)-(1)⑤⑩			
	講義資料番号/連番(LMS)				13
21.	2022/11/24(木)	2時限	講義	講義室 201	10:25-11:35
	タイトル	17　緑内障(1)			
	担当者(所属)	小暮　俊介			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-13-4)-(1)④			
	講義資料番号/連番(LMS)				14
22.	2022/11/25(金)	3時限	講義	講義室 201	12:30-13:40
	タイトル	10　角膜疾患(2)			
	担当者(所属)	篠崎　和美			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-13-1)①			
	講義資料番号/連番(LMS)				15
23.	2022/11/25(金)	4時限	実習	ー	13:55-15:05
	タイトル	3　臨床実習(3)			
	担当者(所属)	ー　ー			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	F-3-5)-(6)①-⑥、F-3-5)-(7)③			
	講義資料番号/連番(LMS)				34
24.	2022/11/25(金)	5時限	実習	ー	15:15-16:25
	タイトル	3　臨床実習(3)			
	担当者(所属)	ー　ー			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	F-3-5)-(6)①-⑥、F-3-5)-(7)③			

	講義資料番号/連番(LMS)				35
25.	2023/01/06(金)	4時限	実習	ー	13:55-15:05
	タイトル	4 臨床実習(4)			
	担当者(所属)	ー ー			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	F-3-5)-(6)①-⑥、F-3-5)-(7)③			
	講義資料番号/連番(LMS)				36
26.	2023/01/06(金)	5時限	実習	ー	15:15-16:25
	タイトル	4 臨床実習(4)			
	担当者(所属)	ー ー			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	F-3-5)-(6)①-⑥、F-3-5)-(7)③			
	講義資料番号/連番(LMS)				37
27.	2023/01/10(火)	1時限	講義	講義室 303	09:00-10:10
	タイトル	18 緑内障(2)			
	担当者(所属)	須藤 史子			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-13-4)-(1)④			
	講義資料番号/連番(LMS)				16
28.	2023/01/10(火)	2時限	講義	講義室 303	10:25-11:35
	タイトル	19 水晶体疾患			
	担当者(所属)	須藤 史子			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-13-4)-(1)③,D-13-1)②			
	講義資料番号/連番(LMS)				17
29.	2023/01/10(火)	4時限	実習	ー	13:55-15:05
	タイトル	5 臨床実習(5)			
	担当者(所属)	ー ー			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	F-3-5)-(6)①-⑥、F-3-5)-(7)③			
	講義資料番号/連番(LMS)				38
30.	2023/01/10(火)	5時限	実習	ー	15:15-16:25
	タイトル	5 臨床実習(5)			
	担当者(所属)	ー ー			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	F-3-5)-(6)①-⑥、F-3-5)-(7)③			
	講義資料番号/連番(LMS)				39
31.	2023/01/11(水)	2時限	講義	講義室 303	10:25-11:35
	タイトル	22 眼科検査			
	担当者(所属)	荒川 久弥			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-13-1)①,D-13-4)-(1)①②③④⑤			
	講義資料番号/連番(LMS)				18
32.	2023/01/13(金)	3時限	講義	講義室 303	12:30-13:40

	タイトル	15　ぶどう膜疾患(2)			
	担当者(所属)	内村　英子			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-13-2)①,D-12-4)-(5)③			
	講義資料番号/連番(LMS)				19
33.	2023/01/13(金)	4時限	実習	ー	13:55-15:05
	タイトル	6　臨床実習(6)			
	担当者(所属)	ー　ー			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	F-3-5)-(6)①-⑥、F-3-5)-(7)③			
	講義資料番号/連番(LMS)				40
34.	2023/01/13(金)	5時限	実習	ー	15:15-16:25
	タイトル	6　臨床実習(6)			
	担当者(所属)	ー　ー			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	F-3-5)-(6)①-⑥、F-3-5)-(7)③			
	講義資料番号/連番(LMS)				41
35.	2023/01/17(火)	4時限	実習	ー	13:55-15:05
	タイトル	7　臨床実習(7)			
	担当者(所属)	ー　ー			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	F-3-5)-(6)①-⑥、F-3-5)-(7)③			
	講義資料番号/連番(LMS)				42
36.	2023/01/17(火)	5時限	実習	ー	15:15-16:25
	タイトル	7　臨床実習(7)			
	担当者(所属)	ー　ー			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	F-3-5)-(6)①-⑥、F-3-5)-(7)③			
	講義資料番号/連番(LMS)				43
37.	2023/01/18(水)	1時限	講義	講義室 303	09:00-10:10
	タイトル	21　全身疾患と目			
	担当者(所属)	長谷川　泰司			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-13-4)-(1)③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩			
	講義資料番号/連番(LMS)				20
38.	2023/01/24(火)	1時限	講義	講義室 303	09:00-10:10
	タイトル	20 眼科最先端の診断			
	担当者(所属)	丸子　一朗			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-13-4)-(1)⑥⑩,D-13-4)-(1)②,E-4-3)-(4)④			
	講義資料番号/連番(LMS)				21
39.	2023/01/24(火)	4時限	実習	ー	13:55-15:05
	タイトル	8　臨床実習(8)			
	担当者(所属)	ー　ー			

	コアカリキュラム/S10国試出題基準	F-3-5)-(6)①-⑥、F-3-5)-(7)③			
	講義資料番号/連番(LMS)				44
40.	2023/01/24(火)	5時限	実習	ー	15:15-16:25
	タイトル	8 臨床実習(8)			
	担当者(所属)	ー ー			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	F-3-5)-(6)①-⑥、F-3-5)-(7)③			
	講義資料番号/連番(LMS)				45
41.	2023/01/25(水)	1時限	講義	講義室 303	09:00-10:10
	タイトル	26 眼球運動ならびに複視			
	担当者(所属)	髙橋 洋平			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-2-1)-(1)			
	講義資料番号/連番(LMS)				22
42.	2023/01/27(金)	4時限	実習	ー	13:55-15:05
	タイトル	9 臨床実習(9)			
	担当者(所属)	ー ー			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	F-3-5)-(6)①-⑥、F-3-5)-(7)③			
	講義資料番号/連番(LMS)				46
43.	2023/01/27(金)	5時限	実習	ー	15:15-16:25
	タイトル	9 臨床実習(9)			
	担当者(所属)	ー ー			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	F-3-5)-(6)①-⑥、F-3-5)-(7)③			
	講義資料番号/連番(LMS)				47
44.	2023/01/31(火)	1時限	講義	講義室 201	09:00-10:10
	タイトル	23 光覚・色覚とその異常			
	担当者(所属)	中村 かおる			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-13-1)①②			
	講義資料番号/連番(LMS)				23
45.	2023/01/31(火)	2時限	講義	講義室 201	10:25-11:35
	タイトル	24 眼科治療			
	担当者(所属)	和泉 雄彦			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-13-3)-(1)①			
	講義資料番号/連番(LMS)				24
46.	2023/01/31(火)	3時限	講義	講義室 201	12:30-13:40
	タイトル	25 視神経疾患			
	担当者(所属)	河合 萌子			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-13-4)-(1)⑧,D-13-4)-(1)②,E-4-3)-(4)④			

	講義資料番号/連番(LMS)				25
47.	2023/01/31(火)	4時限	実習	講義室 301	13:55-16:25
	タイトル	10 臨床実習(10)			
	担当者(所属)	ー ー			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	F-3-5)-(6)①-⑥、F-3-5)-(7)③			
	講義資料番号/連番(LMS)				48
48.	2023/01/31(火)	5時限	実習	講義室 301	13:55-16:25
	タイトル	10 臨床実習(10)			
	担当者(所属)	ー ー			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	F-3-5)-(6)①-⑥、F-3-5)-(7)③			
	講義資料番号/連番(LMS)				49
49.	2023/02/03(金)	3時限	講義	講義室 201	12:30-13:40
	タイトル	27 斜視・弱視			
	担当者(所属)	梶本 美智子			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-13-1)			
	講義資料番号/連番(LMS)				26
50.	2023/02/03(金)	4時限	実習	ー	13:55-15:05
	タイトル	11 臨床実習(11)			
	担当者(所属)	ー ー			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	F-3-5)-(6)①-⑥、F-3-5)-(7)③			
	講義資料番号/連番(LMS)				50
51.	2023/02/03(金)	5時限	実習	ー	15:15-16:25
	タイトル	11 臨床実習(11)			
	担当者(所属)	ー ー			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	F-3-5)-(6)①-⑥、F-3-5)-(7)③			
	講義資料番号/連番(LMS)				51
52.	2023/02/07(火)	4時限	実習	ー	13:55-15:05
	タイトル	12 臨床実習(12)			
	担当者(所属)	ー ー			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	F-3-5)-(6)①-⑥、F-3-5)-(7)③			
	講義資料番号/連番(LMS)				52
53.	2023/02/07(火)	5時限	実習	ー	15:15-16:25
	タイトル	12 臨床実習(12)			
	担当者(所属)	ー ー			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	F-3-5)-(6)①-⑥、F-3-5)-(7)③			
	講義資料番号/連番(LMS)				53
54.	2023/02/17(金)	3時限	試験	講義室 303	13:00-14:30

	タイトル	眼・視覚系　13:00-14:30			
	担当者(所属)	飯田　知弘			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)				54
55.	2023/02/17(金)	4時限	試験	講義室 303	13:00-14:30
	タイトル	眼・視覚系　13:00-14:30			
	担当者(所属)	飯田　知弘			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)				55
56.	2023/02/28(火)	1時限	追・再試験	講義室 201	10:00-11:30
	タイトル	眼・視覚系　10:00-11:30			
	担当者(所属)	飯田　知弘			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)				56
57.	2023/02/28(火)	2時限	追・再試験	講義室 201	10:00-11:30
	タイトル	眼・視覚系　10:00-11:30			
	担当者(所属)	飯田　知弘			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)				57
58.					
	タイトル				
	担当者(所属)				
	コアカリキュラム/S10国試出題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)				58

[眼・視覚系（構造・機能・病態・症候・疾患）]

[眼・視覚系総論]

大　項　目	中　　項　　目	小　　項　　目	備　考
Ⅰ.眼の構造	1. 眼球	眼球、眼瞼の微細構造	
	2. 視神経		
	3. 眼球付属器	1)　眼窩と眼球の局所解剖	
		2)　眼窩内の血管分布と感覚神経分布	
		3)　眼筋と眼球運動神経および神結核	
Ⅱ.眼の機能	1. 視力	1)　中心視力	
		2)　照度	
		3)　指標	
	2. 視覚	1)　視覚受容	
		2)　網膜での信号伝達	
		3)　視覚伝達路	
		4)　視覚野	
		5)　視覚の情報処理	
	3. 視野	1)　注視野と視野	
		2)　マリオット盲点	
		3)　視機能の島	
		4)　視路	
	4. 色覚	1)　三大要素	
		2)　色覚の生理	
	5. 光覚	1)　明順応	
		2)　暗順応	
	6. 両眼視と立体視	対応点	
	7. 輻湊・開散	1)　視線	
		2)　神経支配	
	8. 調節と屈折	1)　調節筋	
		2)　調節の神経支配	
		3)　正視	
		4)　遠点と近点	
		5)　調節力と調節域	
		6)　調節と屈折と輻湊の関係	
	9. 融像	1)　定義	
	10. 眼球運動	1)　注視野	
		2)　外眼筋とその作用	
		3)　眼筋の神経支配	
		4)　両眼の連合運動	
	11. 瞳孔	1)　機能	
		2)　神経支配	
		3)　瞳孔反応	
		4)　瞳孔の薬理	

大　項　目	中　　項　　目	小　　項　　目	備　考
Ⅲ.眼の発生	1. 正常発生		
Ⅳ.眼の検査	1. 視機能測定		
	a. 視力測定		
	b. 眼位・眼球運動		
	c. 瞳孔反応	1)　対光反応	
		2)　輻湊反応	
	d. 眼圧の検査	1)　指圧	
		2)　圧平	
		3)　圧入	
	e. 輻湊・開散		
	f. 調節力の検査	1)　近点測定	
	g. 視野の測定	1)　周辺	
		2)　中心	
		3)　動的	
		4)　静的	
	h. 色覚・光覚の検査	1)　色盲表	
		2)　アノマロスコープ	
		3)　アダプトメーター	
	2. 光学的検査		
	a. 徹照法と斜照法	1)　方法	
		2)　診断法	
	b. 細隙燈顕微鏡検査	1)　原理と検査法	
		2)　所見	
	c. 眼底検査	1)　方法	
		2)　所見	
		3)　診断	
	d. 蛍光眼底検査	1)　適応	
		2)　方法	
		3)　所見	
	e. 隅角鏡と三面鏡検査	1)　原理	
		2)　検査法	
	3. 電気生理学的検査		
	a. ERG　b. VEP		
	c. EOG　d. EMG		
	4. 眼科 X 線検査	1)　単純	
	5. 眼科 MRI	2)　断層	
	6. 頸動脈エコー		
	7. 超音波検査		
	8. 眼病理		
	9. 眼微生物検査		

大　項　目	中　　項　　目	小　　項　　目	備　考
Ⅴ.治療	1. 眼局所療法	1)　点眼、洗眼 2)　硝子体内注射 3)　球結膜下注射 4)　球後注射 5)　涙管ブジー	
	2. 全身投与		
	3. 非観血的療法	1)　レーザー治療	
	4. 観血的療法		
	5. 眼鏡とコンタクトレンズ		
	6. 視能訓練		

［眼・視覚系各論］

大　項　目	中　　項　　目	小　　項　　目	備　考
Ⅰ.眼の先天異常	1. 臨界期 2. 発現の要因		
Ⅱ.眼の機能障害			
A.屈折異常	1. 近視、2. 遠視、3. 乱視、 4. 不同視、5. 眼精疲労、 6. 盲、7. 失明、8. ロービジョン		
B.調節障害	1. 老視、2. 調節麻痺、3. 調節痙攣、4. 調節衰弱		
C.視野の変化	1. 狭窄と暗点、2. 半盲、 3. 閃輝暗点		
D.色覚障害	1. 後天性 2. 先天性 a. 色盲　b. 色弱 c. 全色盲		
E.光覚の障害	1. 夜盲 2. 昼盲 3. 光視症		
Ⅲ.斜視・弱視	1. 斜位と斜視 2. 共同斜視と麻痺性斜視 3. 斜視と弱視		
Ⅳ.瞳孔反応異常			
Ⅴ.眼瞼疾患	1. 眼瞼炎および眼瞼縁炎 2. 麦粒腫・霰粒腫 3. 睫毛乱生 4. 眼瞼内反・外反 5. 眼瞼痙攣 6. 兎眼 7. 眼瞼下垂 8. その他		
Ⅵ.涙器疾患	1. 乾性角結膜炎（ドライアイ） 2. 鼻涙管狭窄 3. 涙小管炎		

大　項　目	中　　項　　目	小　　項　　目	備　考
Ⅶ.結膜疾患	1. 流行性角結膜炎 2. 急性出血性結膜炎 3. 封入体結膜炎 4. アレルギー性結膜炎・春季カタル 5. 細菌性結膜炎 6. フリクテン 7. その他		
Ⅷ.角膜疾患	1. 細菌性角膜潰瘍 2. 角膜ヘルペス 3. 眼部帯状ヘルペス 4. 円錐角膜 5. 角膜変性 6. その他		
Ⅸ.強膜疾患			
Ⅹ.ぶどう膜疾患	1. 感染性ぶどう膜炎（ウイルス、細菌、真菌など） 2. ベーチェット病 3. 原田病、交感性眼炎 4. サルコイドーシス 5. 急性前部ぶどう膜炎 6. AIDS に伴うぶどう膜炎 7. 腫瘍性ぶどう膜疾患		
Ⅺ. 網膜疾患	1. 高血圧・細動脈硬化に伴う変化 2. 網膜中心動脈閉塞症 3. 網膜中心静脈閉塞症 4. 糖尿病網膜症 5. 中心性脈絡網膜症 6. 若年再発性網膜硝子体出血 7. 網膜色素変性症 8. 網膜剥離 9. 滲出性網膜炎 10. 黄斑変性・加齢黄斑変性 11. 未熟児網膜症 12. 周辺部網膜変性症 13. 網膜裂孔 14. 裂孔原性網膜剥離		

大　項　目	中　　項　　目	小　　項　　目	備　考
	15. 牽引性網膜剥離 16. 滲液性網膜剥離 17. その他の網膜症		
XII.視神経疾患	1. 視神経炎と視神経萎縮 2. うっ血乳頭 3. その他の視神経疾患		
XIII.硝子体疾患	1. 硝子体出血 2. 硝子体混濁 3. 増殖性硝子体網膜症 4. その他の硝子体疾患		
XIV.水晶体疾患	1. 白内障 2. 水晶体の位置異常		
XV.緑内障	1. 原発緑内障 a. 開放隅角緑内障 b. 閉塞隅角緑内障 2. 続発緑内障 3. 先天緑内障 4. その他		
XVI.外眼筋疾患			
XVII.眼窩疾患	1. 眼球突出と眼球陥没 2. 眼窩漏斗尖端症候群 3. 眼窩蜂巣炎 4. その他		
XVIII.眼外傷と薬品中毒			
XIX.眼腫瘍	1. 良性 2. 悪性（原発性、転移性）		
XX.全身疾患と眼			
XXI.眼保健衛生	1. VDT 作業と眼 2. 視機能と職業適性		

科目名	運動器系
科目責任者(所属)	岡崎　賢

到達目標	ヒトの運動器系は、支柱である骨、可動部である軟骨（関節）、力源である筋肉より構成され、重力に抗し生物としてしなやかで、強靭な動きを実現している。このスムーズな動きを制御、栄養するために神経系、循環系が密接に関与している。まず運動器を構成する骨・軟骨・筋・腱・靭帯などの構造と機能、すなわち、解剖、生理、代謝等の運動器の基本を理解する。超高齢社会において、運動器の加齢に基づく退行変性は荷重関節や脊椎を中心に多く見られ、実際に厚生労働省統計による有訴者率でみると、腰痛・肩こり・四肢関節痛は上位3 位を占める。また骨粗鬆症などの代謝性骨疾患とそれに基づく骨折も大きな社会問題である。さらには、スポーツなどの余暇は充実した人生をおくるために重要な要素であるが、スポーツ開始年齢の若年化あるいは高齢化、過度の負荷によるスポーツ傷害・障害も頻度の高い傷病である。四肢体幹に発生する骨軟部腫瘍も、小児から高齢者まで様々な年齢分布で発生し、見逃しや不適切治療の症例も後をたたない。これら体幹、四肢にわたる広範な疾患の診断には、運動器の機能を考慮した問診、視診より始まり、整形外科的な診察法が基本となる。幅広い運動器の傷病を理解し、社会における重要性を認識する。これらの診察に基づき該当する疾患を想定し、近年長足の進歩を示している各種画像診断などの補助診断法を駆使して診断を確定する。そして患者の希望、社会的背景を考慮に入れ最適の治療法を選択する。そして、その治療法に伴う合併症についても十分に理解することが大切である。
アウトカム・ロードマップに係わる到達目標/項目番号	人体の臓器・器官系の機能と構造、正常と異常を説明できる。　Ⅰ-1-A-(3-4)-① 全身的疾患、外的要因による異常を説明できる。 疾患、症候の病態を説明できる。　Ⅰ-1-A-(3-4)-④ 診断の過程を説明し実践できる。　Ⅰ-1-B-(3-4)-① 適切な治療法とその根拠を説明できる。　Ⅰ-1-B-(3-4)-② 問題の優先度および重要度を判断できる。　Ⅰ-2-A-(3-4)-① 事例で診療上の心理的・社会的問題を明らかにできる。　Ⅰ-2-A-(3-4)-② 問題の科学的重要性を評価できる。　Ⅰ-2-B-(3-4)-① 基礎・病態・臨床を結びつけて考えられる。　Ⅰ-2-B-(3-4)-② 事例から自分の知らないことを発見できる。　Ⅰ-2-C-(3-4)-① 未知の問題を解決する方法を見つけることができる。　Ⅰ-2-C-(3-4)-② 事例に即した問題解決のための情報検索ができる。　Ⅰ-3-A-(3-4)-① 適切な診療ガイドラインを選択できる。　Ⅰ-3-A-(3-4)-② 病態を明らかにする方法を挙げることができる。　Ⅰ-3-B-(3-4)-① 事例で診療上の問題を解決する方法・手段を明らかにできる。　Ⅰ-3-B-(3-4)-② 適切な問題解決を行ったか検証できる。　Ⅰ-3-C-(3-4)-① 結果の客観的評価ができる。　Ⅰ-3-C-(3-4)-② 結果の解釈の限界を明らかにできる。　Ⅰ-3-C-(3-4)-③ 自分の選択・判断の根拠を説明できる。　Ⅱ-4-A-(3-4)-① 他者の考えを聞いて自分の選択を判断し説明できる。　Ⅱ-4-A-(3-4)-② 討論・話し合いを促せる。　Ⅱ-4-B-(3-4)-① 自分の方針を説明し同意を得ることができる。　Ⅱ-4-B-(3-4)-② 活動向上のための評価に基づく行動をグループに導入できる。　Ⅱ-4-B-(3-4)-③ グループ目標達成のために行動できる。　Ⅱ-4-C-(3-4)-① 講成員の役割と考えを尊重してグループの目標を立てられる。　Ⅱ-4-C-(3-4)-②
学修（教育）方法	講義・実習・テュートリアル・TBL
評価方法 (1)総括的評価の対象	本科目の評価は授業および実習の評価と筆記試験をもって総合的に行う

評価方法 (2)評価項目	1)運動器を形成する骨・軟骨・神経・筋組織において、その発生と細胞分化、そして退行変性のしくみをマクロ・ミクロの視点から説明できる。	C-2-4③、D-4-1)⑥
	2)運動器の局所解剖をマクロ・ミクロの視点で説明できる	D-4-1)①②③④⑤⑦⑧)
	3)脊椎運動器の基本的診察方法と疾患特異的身体検査方法および画像診断を説明できる	D-4-2)①②
	4)脊椎の変性疾患、外傷、腫瘍の病態および診断と治療法を説明できる。	D-4-3)3 、D-4-4)⑤⑨⑩⑪⑫⑬⑭
	5)上肢下肢の関節疾患の病態および診断と治療法を説明できる。	D-4-3)②, D-4-4)⑥⑦
	6)末梢神経障害の病態および診断と治療法を説明できる	D-4-3)①、D-4-4)⑧
	7)四肢外傷の診断と治療法を説明できる。	D-4-4)①②③④⑤
	8)骨関節と軟部の感染症の診断と治療法を説明できる。	D-4-4)-(2)①②
	9)骨軟部腫瘍の診断と治療法を説明できる。	D-4-4)-(3)①②③
	10)運動器リハビリテーションの理論と方法について説明できる	D-4-4)-(1)⑮
評価方法 (3)評価基準	上記の評価項目について授業への出席と定期試験にて100点満点にて点数化を行い、下記の5段階で評価する。 S.極めて良く理解している(90%以上) A.良く理解している(80%以上90%未満) B.平均的に理解している(70%以上80%未満) C.最低限は理解している(60%以上70%未満) D.理解が不十分である(60%未満)	
伝達事項	-	

教科書・参考図書

No	書籍名	著者名	上段:出版社 下段:出版年	ISBN
1.	『グラント解剖学図譜』	James E . Anderson 編著 ; 森田茂, 楠豊和 訳	医学書院 1988	4260100408
2.	『イラストレイテッドハーパー・生化学』	Robert K. Murray, Daryl K. Granner, Victor W. Rodwell [著] ; 産賀敏彦 [ほか訳]	丸善 2007	9784621078013
3.	『ストライヤー生化学』	Jeremy M. Berg, John L. Tymoczko, Lubert Stryer著	東京化学同人 2008	9784807906833
4.	『標準生理学(Standard textbook)』	豊田順一, 熊田衛 [ほか] 編	医学書院 2000	4260101366
5.	『筋病理学』	桧澤一夫 [ほか] 編	文光堂 1989	4830604174
6.	『Orthopaedic pathology : a synopsis with clinical and radiographic correlation』	George P. Bogumill, Harry A. Schwamm	Saunders 1984	0721611699
7.	『Skeletal muscle pathology』	Frank L. Mastaglia and Lord Walton of Detchant	Churchill Livingstone 1992	9780443042416
8.	『標準整形外科学(Standard textbook)』	中村利孝 [ほか] 編集 ; 中村利孝 [ほか] 執筆	医学書院 2016	978-4260025379
9.	『整形外科診断学』	辻陽雄,高橋栄明編	金原出版 1999	4307251040
10.	『今日の整形外科治療指針』	国分正一 [ほか] 編	医学書院 2010	9784260008020
11.	『脊椎・骨盤(整形外科手術のための解剖学)』	伊藤達雄編	メジカルビュー社 1998	4895536572
12.	『下肢(整形外科手術のための解剖学)』	腰野富久編	メジカルビュー社	4895536564

				1999	
	13.	『上肢(整形外科手術のための解剖学)』	長野昭編	メジカルビュー社 2000	4895536556
	14.	『整形外科 術前・術後のマネジメント』	伊藤達雄, 大塚隆信, 久保俊一編	医学書院 2005	426012594X
	15.	『最新リハビリテーション医学』	石神重信[ほか]編	医歯薬出版 2005	426012594X
	16.	『現代リハビリテーション医学』	千野直一編	金原出版 2009	9784307251426
	17.	『図解四肢と脊椎の診かた』	Stanley Hoppenfeld[著]	医歯薬出版 1984	4263203682
	18.	『整形外科医のための神経学図説：脊髄・神経根障害レベルのみかた、おぼえかた』	Stanley Hoppenfeld [著]	南江堂 2005	4524240268

関連リンク	
添付ファイル ※3つまで、1ファイルにつき5MBまで、圧縮ファイルOK	

授業予定表

回数	年月日	時限	授業形式	教室	開始終了時間
1.	2022/09/22(木)	1時限	講義	講義室 303	09:00-10:10
	タイトル	1 科目の概要 運動器の序論			
	担当者(所属)	岡崎 賢			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-4-1)①-⑥			
	講義資料番号/連番(LMS)				1
2.	2022/10/06(木)	1時限	講義	講義室 201	09:00-10:10
	タイトル	2 運動器の解剖(1) 骨の構造・生理・成長			
	担当者(所属)	岡崎 賢			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-4-4)-(1)⑥,D-4-1)⑤⑥			
	講義資料番号/連番(LMS)				2
3.	2022/10/06(木)	2時限	講義	講義室 201	10:25-11:35
	タイトル	5 運動器の病理 骨組織			
	担当者(所属)	山本 智子			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-4-4)-(1)③⑤,D-4-4)-(3)①②			
	講義資料番号/連番(LMS)				3
4.	2022/10/11(火)	3時限	講義	講義室 201	12:30-13:40
	タイトル	7 運動器の解剖(2) 関節・靱帯・腱・筋			

	担当者(所属)	猪狩　勝則			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-4-4)-(1)⑦⑧			
	講義資料番号/連番(LMS)				4
5.	2022/10/11(火)	4時限	実習	講義室 201	13:55-15:05
	タイトル	1，2，3　解剖　運動器(解剖・整形外科)骨関節			
	担当者(所属)	伊藤　淳哉			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	C-2-3)-(2)①-⑤			
	講義資料番号/連番(LMS)				33
6.	2022/11/01(火)	3時限	講義	講義室 201	12:30-13:40
	タイトル	6　運動器の病理　軟部組織			
	担当者(所属)	山本　智子			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-4-4)-(1)⑥⑦⑪,D-4-4)-(2)①,D-4-4)-(3)③			
	講義資料番号/連番(LMS)				5
7.	2022/11/04(金)	3時限	実習	講義室 201	12:30-15:05
	タイトル	4，5　運動器の病理			
	担当者(所属)	加藤　陽一郎 山本　智子 増井　憲太			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-4-4)-(1)⑩			
	講義資料番号/連番(LMS)				34
8.	2022/11/04(金)	4時限	実習	講義室 201	12:30-15:05
	タイトル	4，5　運動器の病理			
	担当者(所属)	加藤　陽一郎 山本　智子 増井　憲太			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-4-4)-(1)①-④,F-1-37)①②③			
	講義資料番号/連番(LMS)				35
9.	2022/11/08(火)	4時限	実習	ー	13:55-15:05
	タイトル	1　臨床実習(1)			
	担当者(所属)	ー　ー			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	F-3-5)-(6)①-⑥、F-3-5)-(7)③			
	講義資料番号/連番(LMS)				36
10.	2022/11/08(火)	5時限	実習	ー	15:15-16:25
	タイトル	1　臨床実習(1)			
	担当者(所属)	ー　ー			
	コアカリキュラム/S10国試出	F-3-5)-(6)①-⑥、F-3-5)-(7)③			

	題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)				37
11.	2022/11/15(火)	2時限	講義	講義室 303	10:25-11:35
	タイトル	23 足の疾患			
	担当者(所属)	矢野 紘一郎			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-4-4)-(1)②③⑦			
	講義資料番号/連番(LMS)				6
12.	2022/11/15(火)	4時限	実習	ー	13:55-15:05
	タイトル	2 臨床実習(2)			
	担当者(所属)	ー ー			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	F-3-5)-(6)①-⑥、F-3-5)-(7)③			
	講義資料番号/連番(LMS)				38
13.	2022/11/15(火)	5時限	実習	ー	15:15-16:25
	タイトル	2 臨床実習(2)			
	担当者(所属)	ー ー			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	F-3-5)-(6)①-⑥、F-3-5)-(7)③			
	講義資料番号/連番(LMS)				39
14.	2022/11/25(金)	1時限	講義	講義室 201	09:00-10:10
	タイトル	3 結合組織の分子・代謝			
	担当者(所属)	中村 史雄			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D4-1)①,C-2-2)-(1)②			
	講義資料番号/連番(LMS)				7
15.	2022/11/25(金)	2時限	講義	講義室 201	10:25-11:35
	タイトル	4 骨・筋肉における分子・代謝			
	担当者(所属)	中村 史雄			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D4-1)⑥,C-2-2)-(1)②			
	講義資料番号/連番(LMS)				8
16.	2022/11/25(金)	4時限	実習	ー	13:55-15:05
	タイトル	3 臨床実習(3)			
	担当者(所属)	ー ー			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	F-3-5)-(6)①-⑥、F-3-5)-(7)③			
	講義資料番号/連番(LMS)				40
17.	2022/11/25(金)	5時限	実習	ー	15:15-16:25
	タイトル	3 臨床実習(3)			
	担当者(所属)	ー ー			

	コアカリキュラム/S10国試出題基準	F-3-5)-(6)①-⑥、F-3-5)-(7)③			
	講義資料番号/連番(LMS)				41
18.	2023/01/06(金)	4時限	実習	ー	13:55-15:05
	タイトル	4 臨床実習(4)			
	担当者(所属)	ー ー			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	F-3-5)-(6)①-⑥、F-3-5)-(7)③			
	講義資料番号/連番(LMS)				42
19.	2023/01/06(金)	5時限	実習	ー	15:15-16:25
	タイトル	4 臨床実習(4)			
	担当者(所属)	ー ー			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	F-3-5)-(6)①-⑥、F-3-5)-(7)③			
	講義資料番号/連番(LMS)				43
20.	2023/01/10(火)	4時限	実習	講義室 203	13:55-16:25
	タイトル	5 臨床実習(5)			
	担当者(所属)	ー ー			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	F-3-5)-(6)①-⑥、F-3-5)-(7)③			
	講義資料番号/連番(LMS)				44
21.	2023/01/10(火)	5時限	実習	講義室 203	13:55-16:25
	タイトル	5 臨床実習(5)			
	担当者(所属)	ー ー			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	F-3-5)-(6)①-⑥、F-3-5)-(7)③			
	講義資料番号/連番(LMS)				45
22.	2023/01/13(金)	4時限	実習	ー	13:55-15:05
	タイトル	6 臨床実習(6)			
	担当者(所属)	ー ー			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	F-3-5)-(6)①-⑥、F-3-5)-(7)③			
	講義資料番号/連番(LMS)				46
23.	2023/01/13(金)	5時限	実習	ー	15:15-16:25
	タイトル	6 臨床実習(6)			
	担当者(所属)	ー ー			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	F-3-5)-(6)①-⑥、F-3-5)-(7)③			
	講義資料番号/連番(LMS)				47
24.	2023/01/16(月)	3時限	講義	講義室 303	12:30-13:40
	タイトル	18 脊柱疾患(1)（頸椎）			
	担当者(所属)	水谷 潤			

	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-4-4)-(1)⑨⑩,F-1-34)①②③,D-4-1)②③,D-4-3)①			
	講義資料番号/連番(LMS)				9
25.	2023/01/16(月)	4時限	講義	講義室 303	13:55-15:05
	タイトル	19 脊柱疾患(2)（胸椎・腰椎・仙椎）			
	担当者(所属)	水谷 潤			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-4-4)-(1)⑪-⑭,F-1-34)①②③,F-1-35)①②,D-4-3)③,D-4-4)-(2)①②			
	講義資料番号/連番(LMS)				10
26.	2023/01/16(月)	5時限	講義	講義室 303	15:15-16:25
	タイトル	20 脊柱疾患(3)（胸椎疾患と脊柱側弯症）			
	担当者(所属)	水谷 潤			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-4-1)③,F-1-34)①②③			
	講義資料番号/連番(LMS)				11
27.	2023/01/17(火)	4時限	実習	ー	13:55-15:05
	タイトル	7 臨床実習(7)			
	担当者(所属)	ー ー			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	F-3-5)-(6)①-⑥、F-3-5)-(7)③			
	講義資料番号/連番(LMS)				48
28.	2023/01/17(火)	5時限	実習	ー	15:15-16:25
	タイトル	7 臨床実習(7)			
	担当者(所属)	ー ー			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	F-3-5)-(6)①-⑥、F-3-5)-(7)③			
	講義資料番号/連番(LMS)				49
29.	2023/01/23(月)	1時限	講義	講義室 303	09:00-10:10
	タイトル	25 末梢神経疾患(電気生理を含む)			
	担当者(所属)	山本 直也			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	C-2-3)-(2)①-⑤			
	講義資料番号/連番(LMS)				12
30.	2023/01/23(月)	2時限	講義	講義室 303	10:25-11:35
	タイトル	26 体幹の外傷(脊椎・脊髄外傷を含む)・治療			
	担当者(所属)	山本 直也			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-4-4)-(1)⑩			
	講義資料番号/連番(LMS)				13
31.	2023/01/23(月)	4時限	講義	講義室 303	13:55-15:05
	タイトル	10 小児の外傷・運動器疾患			
	担当者(所属)	宗像 裕太郎			

	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-4-4)-(1)①-④,F-1-37)①②③			
	講義資料番号/連番(LMS)				14
32.	2023/01/23(月)	5時限	講義	講義室 303	15:15-16:25
	タイトル	27 股関節疾患			
	担当者(所属)	宗像 裕太郎			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)				15
33.	2023/01/24(火)	4時限	実習	ー	13:55-15:05
	タイトル	8 臨床実習(8)			
	担当者(所属)	ー ー			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	F-3-5)-(6)①-⑥、F-3-5)-(7)③			
	講義資料番号/連番(LMS)				50
34.	2023/01/24(火)	5時限	実習	ー	15:15-16:25
	タイトル	8 臨床実習(8)			
	担当者(所属)	ー ー			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	F-3-5)-(6)①-⑥、F-3-5)-(7)③			
	講義資料番号/連番(LMS)				51
35.	2023/01/26(木)	1時限	講義	講義室 303	09:00-10:10
	タイトル	8 整形外科診断学(身体計測を含む)			
	担当者(所属)	猪狩 勝則			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-2-2)①②,D-4-2)①②,D-4-1)④			
	講義資料番号/連番(LMS)				16
36.	2023/01/26(木)	2時限	講義	講義室 303	10:25-11:35
	タイトル	13 上肢関節疾患(肩・肘)			
	担当者(所属)	枝重 光洋			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-4-4)-(1)⑥⑦⑭,F-1-36)①②③			
	講義資料番号/連番(LMS)				17
37.	2023/01/26(木)	3時限	講義	講義室 303	12:30-13:40
	タイトル	21 膝関節外傷			
	担当者(所属)	岡崎 賢			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-4-4)-(1)⑦,F-1-36)①②③			
	講義資料番号/連番(LMS)				18
38.	2023/01/27(金)	3時限	講義	講義室 303	12:30-13:40
	タイトル	14 スポーツと運動器			
	担当者(所属)	桑島 海人			

	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-4-4)-(1)①②			
	講義資料番号/連番(LMS)				19
39.	2023/01/27(金)	4時限	実習	ー	13:55-15:05
	タイトル	9 臨床実習(9)			
	担当者(所属)	ー ー			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	F-3-5)-(6)①-⑥、F-3-5)-(7)③			
	講義資料番号/連番(LMS)				52
40.	2023/01/27(金)	5時限	実習	ー	15:15-16:25
	タイトル	9 臨床実習(9)			
	担当者(所属)	ー ー			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	F-3-5)-(6)①-⑥、F-3-5)-(7)③			
	講義資料番号/連番(LMS)				53
41.	2023/01/30(月)	1時限	講義	講義室 201	09:00-10:10
	タイトル	16 骨軟部の腫瘍性疾患			
	担当者(所属)	萩原 洋子			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-4-4)-(3)①②③,E-3-1)①②③,E-3-2)①②③,E-3-3)①-⑦,E-3-4)①②③			
	講義資料番号/連番(LMS)				20
42.	2023/01/30(月)	3時限	講義	講義室 201	12:30-13:40
	タイトル	28 筋骨格系の画像診断(1)			
	担当者(所属)	坂井 修二			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-4-2)②			
	講義資料番号/連番(LMS)				21
43.	2023/01/30(月)	4時限	講義	講義室 201	13:55-15:05
	タイトル	29 筋骨格系の画像診断(2)			
	担当者(所属)	坂井 修二			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-4-2)②			
	講義資料番号/連番(LMS)				22
44.	2023/01/30(月)	5時限	講義	講義室 201	15:15-16:25
	タイトル	11 骨関節の炎症性疾患・感染症			
	担当者(所属)	矢野 紘一郎			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-4-4)-(2)①			
	講義資料番号/連番(LMS)				23
45.	2023/01/31(火)	4時限	実習	ー	13:55-15:05
	タイトル	10 臨床実習(10)			
	担当者(所属)	ー ー			

	コアカリキュラム/S10国試出題基準	F-3-5)-(6)①-⑥、F-3-5)-(7)③			
	講義資料番号/連番(LMS)				54
46.	2023/01/31(火)	5時限	実習	ー	15:15-16:25
	タイトル	10 臨床実習(10)			
	担当者(所属)	ー ー			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	F-3-5)-(6)①-⑥、F-3-5)-(7)③			
	講義資料番号/連番(LMS)				55
47.	2023/02/02(木)	3時限	講義	講義室 201	12:30-13:40
	タイトル	22 膝関節変性疾患			
	担当者(所属)	岡崎 賢			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-4-4)-(1)⑦,F-1-36)①②③			
	講義資料番号/連番(LMS)				24
48.	2023/02/02(木)	4時限	講義	講義室 201	13:55-15:05
	タイトル	24 関節リウマチ(類似疾患を含む)			
	担当者(所属)	猪狩 勝則			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-4-3)②,D-4-4)-(1)⑥			
	講義資料番号/連番(LMS)				25
49.	2023/02/03(金)	1時限	講義	講義室 201	09:00-10:10
	タイトル	9 外傷学総論			
	担当者(所属)	伊藤 匡史			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-4-4)-(2)①-④			
	講義資料番号/連番(LMS)				26
50.	2023/02/03(金)	2時限	講義	講義室 201	10:25-11:35
	タイトル	15 救急(処置も含む)四肢の外傷・治療			
	担当者(所属)	伊藤 匡史			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-4-4)-(1)①④,F-1-37)①②③			
	講義資料番号/連番(LMS)				27
51.	2023/02/03(金)	4時限	実習	ー	13:55-15:05
	タイトル	11 臨床実習(11)			
	担当者(所属)	ー ー			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	F-3-5)-(6)①-⑥、F-3-5)-(7)③			
	講義資料番号/連番(LMS)				56
52.	2023/02/03(金)	5時限	実習	ー	15:15-16:25
	タイトル	11 臨床実習(11)			
	担当者(所属)	ー ー			

	コアカリキュラム/S10国試出題基準	F-3-5)-(6)①-⑥、F-3-5)-(7)③			
	講義資料番号/連番(LMS)				57
53.	2023/02/06(月)	1時限	講義	講義室 201	09:00-10:10
	タイトル	30 リハビリテーション(1)			
	担当者(所属)	若林 秀隆			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-4-4)-(1)⑮,F-2-14)①-⑦			
	講義資料番号/連番(LMS)				28
54.	2023/02/06(月)	2時限	講義	講義室 201	10:25-11:35
	タイトル	31 リハビリテーション(2)			
	担当者(所属)	若林 秀隆			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	E-8-1)⑦,D-2-4)-(4)③			
	講義資料番号/連番(LMS)				29
55.	2023/02/06(月)	3時限	講義	講義室 201	12:30-13:40
	タイトル	32 リハビリテーション(3)			
	担当者(所属)	若林 秀隆			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	F-2-14)①,D-2-4)-(9)①,D-4-4)-(1)⑮,D-6-4)-(3)②			
	講義資料番号/連番(LMS)				30
56.	2023/02/07(火)	2時限	講義	講義室 201	10:25-11:35
	タイトル	17 骨代謝と骨系統疾患			
	担当者(所属)	冨永 絢子			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-4-4)-(1)⑤			
	講義資料番号/連番(LMS)				31
57.	2023/02/07(火)	3時限	講義	講義室 201	12:30-13:40
	タイトル	12 手の外傷と疾患			
	担当者(所属)	岩倉 菜穂子			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-4-4)-(1)⑧,F-1-36)①②③			
	講義資料番号/連番(LMS)				32
58.	2023/02/07(火)	4時限	実習	ー	13:55-15:05
	タイトル	12 臨床実習(12)			
	担当者(所属)	ー ー			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	F-3-5)-(6)①-⑥、F-3-5)-(7)③			
	講義資料番号/連番(LMS)				58
59.	2023/02/07(火)	5時限	実習	ー	15:15-16:25
	タイトル	12 臨床実習(12)			
	担当者(所属)	ー ー			

	コアカリキュラム/S10国試出題基準	F-3-5)-(6)①-⑥、F-3-5)-(7)③			
	講義資料番号/連番(LMS)				59
60.	2023/02/20(月)	3時限	試験	講義室 303	13:00-14:30
	タイトル	運動器系　13:00～14:30			
	担当者(所属)	岡崎　賢			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)				60
61.	2023/02/20(月)	4時限	試験	講義室 303	13:00-14:30
	タイトル	運動器系　13:00～14:30			
	担当者(所属)	岡崎　賢			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)				61
62.	2023/03/01(水)	3時限	追・再試験	講義室 201	13:00-14:30
	タイトル	運動器系　13:00～14:30			
	担当者(所属)	岡崎　賢			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)				62
63.	2023/03/01(水)	4時限	追・再試験	講義室 201	13:00-14:30
	タイトル	運動器系　13:00～14:30			
	担当者(所属)	岡崎　賢			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)				63

[運動器系（構造・機能・病態・疾患・治療・症候)]

[運動器系総論]

大　項　目	中　　項　　目	小　　項　　目	備　考
Ⅰ.正常構造と機能			
A.骨･関節	1. 骨・軟骨	1) 正常構造	
		2) 発生、成長、代謝	
		3) 骨のリモデリングとホルモンなど	
		4) Ca 恒常性	
	2. 関節・滑膜	1) 構造	
		2) 軟骨・滑膜・関節液	
		3) 可動性・支持性	
	3. 骨格	1) 脊柱（脊椎）胸郭・骨盤	
		2) 上肢・下肢	
B.筋･神経･腱	1. 骨格筋	1) 構造、神経筋接合部	
		2) 運動機能、筋力、持久力	
	2. 神経系	1) 脊髄・末梢神経の構造・機能	
		2) 支配領域	
	3. 腱・靭帯	1) 構造と機能	
Ⅱ.病理			
A.骨・関節	1. 変性、加齢	1) 変形性関節症	
		2) （変形性）脊椎症	
	2. 外傷	1) 骨折	
		2) 脱臼・軟部損傷	
		3) 脊椎外傷、脊髄損傷	
		4) 四肢外傷	
	3. 炎症	1) 化膿性骨髄炎・関節炎・脊椎炎	
		2) 非化膿性炎症（RA など）	
	4. 腫瘍	1) 悪性腫瘍	
		2) 良性腫瘍	
		3) 腫瘍類似疾患	
	5. 他		
	a. 先天性疾患、成長障害	1) 骨系統疾患	
	b. 代謝性疾患	2) 骨粗鬆症、骨軟化症	
B.筋	1. 代謝		
	2. 炎症		
Ⅲ.症候	1. 異常姿勢、変形	1) 骨格系疾患	
		2) 神経系疾患	
	2. 腰背部痛	1) 脊椎疾患	
	3. 関節痛		
	4. 関節拘縮、強直、異常可動性		
	5. 歩行異常	1) 神経・筋疾患	

大　項　目	中　　項　　目	小　　項　　目	備　考
		2) 骨・関節疾患	
	6. しびれ・感覚障害	1) 神経系疾患	
	7. 脱力・運動障害	2) 神経・筋疾患	
Ⅳ.診断と検査			
A.理学的診断	1. 四肢	1) 変形	
		2) 肢位	
		3) 関節	
		4) 四肢長、周径	
	2. 体幹	1) 脊柱・脊椎	
		2) 胸郭	
		3) 骨盤	
	3. 神経系	1) 感覚	
		2) 運動	
		3) 反射	
		4) 自律神経系	
B.一般検査	1. 血液・生化学的検査		
	2. 免疫学的検査		
	3. 生理学的検査		
	4. 病理学的検査		
C.画像診断など	1. 単純 X 線	1) 単純、機能撮影	
		2) 造影撮影	
脊椎、脊髄	2. X 線 CT	1) 単純、三次元、再構築	
四肢:骨、関節		2) 造影	
	3. MRI	1) 単純	
		2) 造影、拡散	
	4. RI	1) 骨シンチグラフィー	
	5. 関節鏡		
	6. 超音波		
Ⅴ.治療			
A.薬物治療	1. 抗炎症鎮痛剤	1) 関節・神経痛、骨代謝、RA、骨軟部腫瘍	
	2. 他		
B.保存的治療	1. 安静	1) ギプス固定	
	2. 牽引		
	3. 装具		
C.手術的治療	1. 脊椎・脊髄	1) 除圧術（内視鏡を含む）	
		2) 固定術（インスツルメンテーションを含む）	
	2. 四肢・関節	1) 関節形成術	
		2) 関節切除、固定術	
		3) 人工関節手術	
		4) 筋・腱・靭帯の手術	
		5) 神経・血管の手術	

大　項　目	中　　項　　目	小　　項　　目	備　考
	3. 最小侵襲手術	1)　内視鏡	
		2)　経皮的侵襲	
D.損傷	1. 全身状態の把握	1)　プライマリー・ケア	
	2. 創傷処置	1)　創の洗滌、汚染部除去	
		2)　止血	
		3)　創閉鎖	
	3. 骨折、脱臼の処置	1)　整腹、固定	
		2)　骨接合術	
	4. 多発外傷の処置	1)　治療優先順位の判定	
E.リハビリテーション	1. 概念	1)　理念と種類	
		2)　リハビリテーションチーム	
	2. 手技	1)　理学療法	
		2)　作業療法	
		3)　物理療法	
		4)　装具、補装具	
		5)　社会復帰	

［運動器系各論］

大　項　目	中　　項　　目	小　　項　　目	備　考
Ⅰ.脊椎疾患	1. 斜頚	1)　筋性	
		2)　骨格異常	
	2. 脊椎形成異常	1)　Klippel－Feil 症候群	
		2)　os odontoideum	
	3. 側弯症、円背、平背	1)　病因	
	4. 腰痛症		
	5. 脊椎炎・椎間板炎	1)　化膿性、結核性、非感染性	
	6. 椎間板ヘルニア	1)　頚部	
		2)　腰部	
	7（. 変形性）脊椎症	1)　頚部	
		2)　腰部	
	8. 脊髄症、神経根症		
	9. 後縦靭帯骨化症、黄色靭帯骨化症		
	10. 脊椎分離・すべり症		
	11. 脊椎・脊髄腫瘍	1)　原発性・転移性	
Ⅱ.骨・関節系統疾患	1. 軟骨発育不全	1)　軟骨無形成症	
	2. 骨形成不全症		
	3. 大理石骨病		
	4. 先天性多発性関節拘縮症		
	5. 多発性軟骨性外骨腫		
	6. 多発性内軟骨腫		
	7. 骨 Paget 病		
	8. 透析骨症（腎性骨症）		
Ⅲ.非感染性骨・関節・四肢軟部疾患	1. 変形性関節症	1)　Heberden 結節	
		2)　股関節	
		3)　膝関節	
		4)　肘関節	
	2. 特発性骨壊死症	1)　病因	
	3. 滑膜炎、関節炎		
	4. 関節リウマチ		
	5. 痛風、偽痛風		
	6. 離断性骨軟骨炎		
	7. 四肢軟部病変	1)　腱付着部炎	
		2)　deQuervain 病	
		3)　弾撥指	
		4)　滑液包炎	
		5)　骨化性筋炎	

大　項　目	中　　項　　目	小　　項　　目	備　考
		6）異所性骨化	
		7）ガングリオン	
Ⅳ.上肢の運動疾患	1. 先天性肩甲骨高位症（Sprengel 病）		
	2. 肩関節周囲炎、腱板障害		
	3. 肘内障		
	4. 上腕骨外側上顆炎		
	5. 外反肘、内反肘		
	6. 外反手、内反手	1）Madelung 変形	
	7. Kienböck 病		
	8. Dupuytren 拘縮		
	9. 手指形成異常	1）多指症	
		2）合併症	
	10. 手指変形	1）ボタン穴変形	
		2）スワンネック変形	
		3）槌指	
Ⅵ.下肢の運動器疾患	1. 先天性股関節脱臼	1）Trendelenburg 徴候	
	2. 臼蓋形成不全		
	3. 大腿骨頭すべり症		
	4. Perthes 病		
	5. 変形性股関節症		
	6. 大腿骨頭壊死症		
	7. 変形性膝関節症		
	8. 外反膝、内反膝、反張膝		
	9. Osgood－Schlatter 病		
	10. 半月板障害		
	11. 膝蓋軟骨軟化症		
	12. 足部変形	1）内反足	
		2）扁平足	
		3）尖足	
		4）外反母趾	
		5）槌趾	
Ⅶ.筋疾患	1. 進行性筋ジストロフィー	1）Duchenne 型	
		2）Becker 型	
	2. 筋緊張性ジストロフィー		
	3. 重症筋無力症		
	4. 多発筋炎		
	5. 筋拘縮症		

大　項　目	中　　項　　目	小　　項　　目	備　考
Ⅷ.感染性疾患	1. 筋炎、滑液包炎、腱鞘炎		
	2. 骨髄炎	1) 急性化膿性	
		2) 慢性化膿性	
		3) Brodie 骨膿瘍	
	3. 関節炎		
Ⅸ.末梢神経障害	1. 絞扼性末梢神経障害	1) 手根管症候群	
		2) 肘部管症候群	
	2. 胸郭出口症候群		
Ⅹ.骨・軟部腫瘍と類似疾患	1. 原発性良性骨腫瘍	1) 骨軟骨腫	
		2) 良性軟骨芽細胞腫	
		3) 内軟骨腫	
		4) 類骨骨腫	
		5) 非骨化性線維腫	
		6) 骨巨細胞腫	
	2. 原発性悪性骨腫瘍	1) 軟骨肉腫	
		2) 骨肉腫	
		3) 骨線維肉腫	
		4) Ewing 肉腫	
		5) 骨悪性線維性組織球腫	
		6) 脊索腫	
	3. 転移性骨腫瘍		
	4. 骨腫瘍類似疾患	1) 単発性骨嚢腫	
		2) 動脈瘤様骨嚢腫	
		3) 線維性骨異形成	
	5. 良性軟部腫瘍	4) 骨組織球症、類腱腫	
		5) 脂肪腫	
		6) 血管腫	
		7) グロムス腫瘍	
		8) 神経鞘腫	
	6. 悪性軟部腫瘍	1) 悪性線維性組織球腫	
		2) 脂肪肉腫	
		3) 平滑筋肉腫	
		4) 線維肉腫	
		5) 血管肉腫	
		6) 横紋筋肉腫	
		7) 滑膜肉腫	
Ⅺ.損傷	1. 脊椎・脊髄損傷	1) 麻痺	
		2) リハビリテーションと社会復帰	
	2. 末梢神経損傷	1) 腕神経叢損傷	

大　項　目	中　　項　　目	小　　項　　目	備　考
		2）正中・尺骨・橈骨神経損傷	
		3）腓骨神経損傷	
	3. 骨折		
	4. 関節捻挫、靭帯損傷		
	5. 脱臼		
	6. 四肢軟部損傷	1）筋断裂	
		2）腱断裂	
		3）（筋）区画症候群（Volkmann 拘縮を含む）	
		4）圧挫（挫滅）症候群	
	7. 多発外傷		
Ⅻ.四肢循環障害	1. 動脈硬化性閉塞症		
	2. Buerger 病		
	3. 血栓性動脈炎		
	4. 静脈瘤		
	5. 先天性片側肥大症		
	6. Raynaud 症候群		

科目名	皮膚粘膜系
科目責任者(所属)	石黒　直子

到達目標	本科目の到達目標は以下とする。①表層の角層から皮下脂肪織に至る皮膚と口腔粘膜の構造を理解すること、②①において生じる病的状態について、その所見を適確に表現すること、③診断に必要な検査法及び検査結果の解釈について理解すること、④皮膚症状から病理組織像を想定しながら、病態を正しくとらえること、⑤皮膚疾患の原因についての考察を深めること、⑥代表的な皮膚疾患については適切な治療法の選択が可能となること	
アウトカム・ロードマップに係わる到達目標/項目番号	人体の臓器・器官系の機能と構造、正常と異常を説明できる。	Ⅰ-1-A-(3-4)-①
	全身的疾患、外的要因による異常を説明できる。	Ⅰ-1-A-(3-4)-②
	疾患、症候の病態を説明できる。	Ⅰ-1-A-(3-4)-④
	診断の過程を説明し実践できる。	Ⅰ-1-B-(3-4)-①
	適切な治療法とその根拠を説明できる。	Ⅰ-1-B-(3-4)-②
	基本的医療技能を示すことができる。	Ⅰ-1-C-(3-4)-①
	学修目標を達成するための自己学修を計画的に行える。	Ⅱ-2-C-(3-4)-①
	自分の特性を活かして学修できる。	Ⅱ-2-D-(3-4)-①
	学修の中で興味を持ったことを自ら学べる。	Ⅱ-2-D-(3-4)-②
学修(教育)方法	講義・実習・テュートリアル・TBL	
評価方法 (1)総括的評価の対象	定期試験、実習時の態度、レポートの内容で総合的に評価する。実習への参加とレポート(理解度チェックで基準に達した)の提出は総括的評価を受ける資格として必要である。	
評価方法 (2)評価項目	皮膚の組織構造を図示して説明できる。	[D-3-1)-①]
	皮膚の細胞動態と角化の機構を説明できる。	[D-3-1)-②]
	皮膚の免疫防御能を説明できる。	[D-3-1)-③]
	皮膚検査法(硝子圧法、皮膚描記症(Darier徴候)、Nikolsky現象、Tzanck試験、光線テスト)を概説できる。	[D-3-2)-①]
	皮膚アレルギー検査法(プリックテスト、皮内テスト、パッチテスト)を説明できる。	[D-3-2)-②]
	微生物検査法(検体採取法、苛性カリ<KOH>直接検鏡法)を概説できる。	[D-3-2)-③]
	発疹	[D-3-3)-①]
	湿疹反応を説明できる。	[D-3-4)-(1)①]
	湿疹・皮膚炎の疾患(接触皮膚炎、アトピー性皮膚炎、脂漏性皮膚炎、貨幣状湿疹、皮脂欠乏性湿疹、自家感作性皮膚炎)を列挙し、概説できる。	[D-3-4)-(1)②]
	蕁麻疹、紅斑症、紅皮症と皮膚そう痒症	[D-3-4)-(2)①]
	多形滲出性紅斑、環状紅斑と紅皮症の病因と病態を説明できる。	[D-3-4)-(2)②]
	皮膚そう痒症の病因と病態を説明できる。	[D-3-4)-(2)③]
	皮膚血流障害と血管炎の病因、症候と病態を説明できる。	[D-3-4)-(3)①]
	薬疹や薬物障害の発生機序、症候と治療を説明できる。	[D-3-4)-(4)①]
	薬疹を起こしやすい主な薬物を列挙できる。	[D-3-4)-(4)②]
	自己免疫性水疱症の病因、病態と分類を説明できる。	[D-3-4)-(5)①]
	膿疱症の種類と病態を説明できる。	[D-3-4)-(5)②]
	水疱症鑑別のための検査法を説明できる。	[D-3-4)-(5)③]

	尋常性乾癬、扁平苔癬とGibert薔薇色粃糠疹の病態、症候と治療を説明できる。	[D-3-4)-(6)①]
	魚鱗癬の病態、症候と治療を説明できる。	[D-3-4)-(6)②]
	皮膚細菌感染症(伝染性膿痂疹、せつ、癰、毛嚢炎、丹毒、ブドウ球菌性熱傷様皮膚症候群)を列挙し、概説できる。	[D-3-4)-(7)①]
	皮膚真菌症(表在性、深在性)の症候と病型を説明できる。	[D-3-4)-(7)②]
	皮膚結核病の症候、病型と病因菌を説明できる。	[D-3-4)-(7)③]
	梅毒の症候、病期と合併症を説明できる。	[D-3-4)-(7)④]
	皮膚ウイルス感染症(単純ヘルペス、帯状疱疹、伝染性軟属腫、麻疹、風疹、水痘)を列挙し、概説できる。	[D-3-4)-(7)⑤]
	後天性免疫不全症候群<AIDS>に伴う皮膚症状(梅毒、難治性ヘルペス、伝染性軟属腫、カポジ肉腫等)を列挙し、概説できる。	[D-3-4)-(7)⑥]
	母斑・母斑症の種類を列挙できる。	[D-3-4)-(8)①]
	皮膚良性腫瘍、前癌状態と悪性腫瘍の種類と見分け方を説明できる。	[C-4-6)③][D-3-4)-(8)②][E-3-1)①②][E-3-2)①][E-3-5)③]
	皮膚悪性リンパ腫、血管肉腫を説明できる。	[D-3-4)-(8)③][E-3-5)③]
	基底細胞上皮腫(癌)の定義と病態、症候、皮疹とダーモスコピー像の所見、病理所見や診断、治療法を説明できる。	[D-3-4)-(8)④][E-3-5)③]
	有棘細胞癌の定義と病態、症候、皮疹とダーモスコピー像の所見、病理所見や診断、治療法を説明できる。	[D-3-4)-(8)⑤][E-3-5)③]
	悪性黒色腫の定義と病態、症候、皮疹とダーモスコピー像の所見、病理所見や診断、治療法を説明できる。	[D-3-4)-(8)⑥][E-3-5)③]
	毛の疾患の病態、症状と治療を説明できる。	[D-3-4)-(9)①]
	爪の疾患の病態、症状と治療を説明できる。	[D-3-4)-(9)②]
	熱傷面積(9の法則)と深(達)度から熱傷の重症度を説明できる。	[E-5-3)-(3)①][F-1-37)①②]
	熱傷の治療方針を概説できる。	[E-5-3)-(3)②][F-1-37)③]
	主な先天性疾患を列挙できる。	[E-7-1)-②]
	小児の診断法と治療法における特徴を概説できる。	[E-7-3)-⑦]

評価方法 (3)評価基準	上記評価項目について、定期試験を90%、実習点を10%で、合計100点満点にて点数化を行う。実習点については、皮膚粘膜系の実習の出席(実習点の40%)とレポートの記載(実習点の30%)、解剖学(顕微解剖学・形態形成学分野)の実習「皮膚の構造」の評価点(実習点の30%)とする。定期試験の出題内容は評価項目のリストに相当する。判定は、S.極めて良く理解している(90%以上)A.良く理解している(80%以上90%未満)B.平均的に理解している(70%以上80%未満)C.最低限は理解している(60%以上70%未満)D.理解が不十分である(60%未満)のいずれかとし、C.以上を合格とする。
伝達事項	学生ポータルサイトに予習・復習について記載のあるものはそれに沿って行うことを推奨する。皮膚科実習時に、その場でレポートをチェックし、実習書の実習項目についての理解度を確認後フィードバックを行う。不十分な場合にはその場で再度理解を深めてもらうように指導する。解剖学(顕微解剖学・形態形成学分野)の実習では、理解度の低いものはスケッチ全体の見直しとその再提出、重要なポイントの理解が不十分な場合にはその部分の再観察を指導する。

教科書・参考図書

No	書籍名	著者名	上段:出版社 下段:出版年	ISBN
1.	『標準皮膚科学』	橋本隆, 岩月啓氏, 照井正編	医学書院 2013	9784260016162
2.	『皮膚科学』	上野賢一原著 ; 大塚藤男著	金芳堂 2016	9784765316880
3.	『あたらしい皮膚科学』	清水宏著	中山書店 2018	9784521745817
4.	『皮膚科学』	片山一朗[ほか]編	文光堂 2006	9784830634482
5.	『皮膚病理を読む : 皮膚病理がみえてくる(皮膚科診療プラクティス 3)』	熊切正信ゲスト編集	文光堂 1998	9784830634235
6.	『皮膚病理組織診断学入門』	斎田俊明著	南江堂 2017	9784524258789
7.	『1冊でわかる皮膚病理(皮膚科サブスペシャリティシリーズ)』	木村鉄宣ゲスト編集 ; 宮地良樹, 清水宏常任編集	文光堂	9784830634543

				2010	
	8.	『Rook's Textbook of Dermatology』	Tony Burns ... [et al.]	Wiley-Blackwell 2016	9781118441190
	9.	『LEVER's Histopathology of the skin』	editor-in-chief, David E. Elder ; associate editors, Rosalie Elenitsas ... [et al.]	Wolters Kluwer Health/Lippincott Williams & Wilkins 2009	9780781773638
	10.	『標準組織学　各論』	藤田尚男・藤田恒夫(原著)	医学書院 2017	9784260015318
関連リンク					
添付ファイル ※3つまで、1ファイルにつき5MBまで、圧縮ファイルOK					

授業予定表

回数	年月日	時限	授業形式	教室	開始終了時間
1.	2022/09/22(木)	2時限	講義	講義室 303	10:25-11:35
	タイトル	1　科目の概要、 皮疹の見方・皮膚免疫・皮膚検査法			
	担当者(所属)	石黒　直子			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-3-1)①②③,D-3-2)①,D-3-3)①			
	講義資料番号/連番(LMS)				1
2.	2022/09/22(木)	3時限	講義	講義室 303	12:30-13:40
	タイトル	2　湿疹・接触皮膚炎			
	担当者(所属)	竹中　祐子			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)				2
3.	2022/10/07(金)	1時限	講義	講義室 201	09:00-10:10
	タイトル	3　皮膚の構造(1)			
	担当者(所属)	菊田　幸子			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-3-1)①②③			
	講義資料番号/連番(LMS)				3
4.	2022/10/07(金)	2時限	講義	講義室 201	10:25-11:35
	タイトル	4　皮膚の構造(2)			
	担当者(所属)	菊田　幸子			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-3-1)①②③			
	講義資料番号/連番(LMS)				4
5.	2022/10/18(火)	3時限	実習	講義室 201	12:30-16:25
	タイトル	1, 2, 3　皮膚の構造			

	担当者(所属)	浦瀬　香子 菊田　幸子 森島　正恵 石井　泰雄 石津　綾子 望月　牧子 横溝　智雅 矢作　綾野			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-3-1)①②③			
	講義資料番号/連番(LMS)				19
6.	2022/10/18(火)	4時限	実習	講義室 201	12:30-16:25
	タイトル	1, 2, 3　皮膚の構造			
	担当者(所属)	浦瀬　香子 菊田　幸子 森島　正恵 石井　泰雄 石津　綾子 望月　牧子 横溝　智雅 矢作　綾野			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-3-1)①②③			
	講義資料番号/連番(LMS)				20
7.	2022/10/18(火)	5時限	実習	講義室 201	12:30-16:25
	タイトル	1, 2, 3　皮膚の構造			
	担当者(所属)	浦瀬　香子 菊田　幸子 森島　正恵 石井　泰雄 石津　綾子 望月　牧子 横溝　智雅 矢作　綾野			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-3-1)①②③			
	講義資料番号/連番(LMS)				21
8.	2022/10/26(水)	1時限	講義	講義室 201	09:00-10:10
	タイトル	5　アトピー性皮膚炎			
	担当者(所属)	竹中　祐子			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-3-4)-(8)①			
	講義資料番号/連番(LMS)				5

9.	2022/11/17(木)	3時限	実習	ー	12:30-13:40
	タイトル	1，2，3　皮疹の種類と組織像（4限のみ実施）			
	担当者（所属）	石黒　直子 福屋　泰子 竹中　祐子 鈴木　瑞穂 近藤　明里 浦山　佳織 宮田　龍臣 児島　祐華 山上　淳			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-3-1)①,D-3-4)-(1)①,D-3-4)-(3)①,D-3-4)-(5)①,D-3-4)-(6)①,D-3-4)-(8)①⑤⑥			
	講義資料番号/連番(LMS)				22
10.	2022/11/17(木)	4時限	実習	講義室 303	13:55-15:05
	タイトル	1，2，3　皮疹の種類と組織像			
	担当者（所属）	石黒　直子 福屋　泰子 竹中　祐子 鈴木　瑞穂 近藤　明里 浦山　佳織 宮田　龍臣 児島　祐華 山上　淳			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-3-1)①,D-3-4)-(1)①,D-3-4)-(3)①,D-3-4)-(5)①,D-3-4)-(6)①,D-3-4)-(8)①⑤⑥			
	講義資料番号/連番(LMS)				23
11.	2022/11/17(木)	5時限	実習	ー	15:15-16:25
	タイトル	1，2，3　皮疹の種類と組織像（4限のみ実施）			
	担当者（所属）	石黒　直子 福屋　泰子 竹中　祐子 鈴木　瑞穂 近藤　明里 浦山　佳織 宮田　龍臣 児島　祐華 山上　淳			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-3-1)①,D-3-4)-(1)①,D-3-4)-(3)①,D-3-4)-(5)①,D-3-4)-(6)①,D-3-4)-(8)①⑤⑥			
	講義資料番号/連番(LMS)				24
12.	2023/01/06(金)	1時限	講義	講義室 303	09:00-10:10

	タイトル	6 母斑・母斑症			
	担当者(所属)	福屋 泰子			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-3-4)-(8)①			
	講義資料番号/連番(LMS)				6
13.	2023/01/06(金)	2時限	講義	講義室 303	10:25-11:35
	タイトル	7 皮膚良性腫瘍			
	担当者(所属)	福屋 泰子			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	C-4-6)③,D-3-4-8)②,E-3-5)③,E-3-1)①②,E-3-2)①			
	講義資料番号/連番(LMS)				7
14.	2023/01/18(水)	3時限	講義	講義室 303	12:30-13:40
	タイトル	8 皮膚血流障害と血管炎			
	担当者(所属)	石黒 直子			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-3-4)-(1)②			
	講義資料番号/連番(LMS)				8
15.	2023/01/18(水)	4時限	講義	講義室 303	13:55-15:05
	タイトル	9 皮膚悪性腫瘍			
	担当者(所属)	田中 勝			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-3-4)-(8)②③④⑤⑥			
	講義資料番号/連番(LMS)				9
16.	2023/01/25(水)	3時限	講義	講義室 303	12:30-13:40
	タイトル	10 体表面の先天異常と治療			
	担当者(所属)	菊池 雄二			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)				10
17.	2023/01/25(水)	4時限	講義	講義室 303	13:55-15:05
	タイトル	11 自己免疫水疱症・膿疱症			
	担当者(所属)	山上 淳			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-3-1)①,D-3-4)-(5)①②③			
	講義資料番号/連番(LMS)				11
18.	2023/01/26(木)	4時限	講義	講義室 303	13:55-15:05
	タイトル	12 付属器疾患・色素異常症			
	担当者(所属)	山上 淳			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-3-4)-(9)①②			
	講義資料番号/連番(LMS)				12
19.	2023/01/26(木)	5時限	講義	講義室 303	15:15-16:25

	タイトル	13 紅斑症・紫斑			
	担当者(所属)	梅垣 知子			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-3-4)-(2)②			
	講義資料番号/連番(LMS)				13
20.	2023/01/30(月)	2時限	講義	講義室 201	10:25-11:35
	タイトル	14 角化異常症			
	担当者(所属)	小林 里実			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-3-1)①②,D-3-4)-(6)①②			
	講義資料番号/連番(LMS)				14
21.	2023/02/02(木)	1時限	講義	講義室 201	09:00-10:10
	タイトル	15 薬疹・蕁麻疹・皮膚瘙痒症			
	担当者(所属)	石﨑 純子			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-3-4)-(2)①③, D-3-4)-(4)①②			
	講義資料番号/連番(LMS)				15
22.	2023/02/02(木)	2時限	講義	講義室 201	10:25-11:35
	タイトル	16 皮膚の真菌・細菌感染症・皮膚結核			
	担当者(所属)	石﨑 純子			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-3-4)-(7)①②			
	講義資料番号/連番(LMS)				16
23.	2023/02/02(木)	5時限	講義	講義室 201	15:15-16:25
	タイトル	17 熱傷と植皮術			
	担当者(所属)	松峯 元			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	F-1-37)①②③			
	講義資料番号/連番(LMS)				17
24.	2023/02/08(水)	4時限	講義	講義室 201	13:55-15:05
	タイトル	18 皮膚のウイルス感染症(AIDSを含む)・梅毒			
	担当者(所属)	小林 里実			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-3-4)-(7)⑤⑥			
	講義資料番号/連番(LMS)				18
25.	2023/02/21(火)	3時限	試験	講義室 303	13:00-14:30
	タイトル	皮膚粘膜系 13:00～14:30			
	担当者(所属)	石黒 直子			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)				25
26.	2023/02/21(火)	4時限	試験	講義室 303	13:00-14:30

	タイトル	皮膚粘膜系　13:00～14:30			
	担当者(所属)	石黒　直子			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)				26
27.	2023/03/02(木)	1時限	追・再試験	講義室 201	10:00-11:30
	タイトル	皮膚粘膜系　10:00～11:30			
	担当者(所属)	石黒　直子			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)				27
28.	2023/03/02(木)	2時限	追・再試験	講義室 201	10:00-11:30
	タイトル	皮膚粘膜系　10:00～11:30			
	担当者(所属)	石黒　直子			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)	150			28

[皮膚粘膜系（構造・機能・病態・症候・疾患）]

[皮膚系総論]

大項目	中項目	小項目	備考
Ⅰ.皮膚の構造	1. 表皮	1) 角質層 2) 淡明層 3) 顆粒層 4) 有棘層 5) 基底層 6) ケラチノサイト 7) メラノサイト 8) Langerhans 細胞 9) Merkel 細胞	
	2. 真皮	1) 乳頭層 2) 網状層 3) 感覚神経終末（Meissner 触覚小体） 4) 膠原線維 5) 弾性線維	
	3. 皮下組織	1) 脂肪層 2) 感覚神経終末（Vater－Pacini 小体）	
	4. 毛	1) 毛幹 2) 毛球部 3) 毛母 4) 毛乳頭 5) 毛髄質 6) 毛皮質 7) 毛小皮 8) 毛包 9) 内毛根鞘 10) 外毛根鞘 11) 立毛筋 12) 毛周期	
	5. 爪	1) 爪甲 2) 爪床 3) 爪母 4) 爪郭	
	6. 皮膚腺	1) 汗腺 ⓐエクリン腺 ⓑアポクリン腺 2) 脂腺 ⓐ毛脂腺 ⓑ独立脂腺	
Ⅱ.主要症候	1. 原発疹	1) 紅斑 2) 紫斑 3) 色素斑 4) 丘疹 5) 結節 6) 水疱 7) 膿疱 8) 嚢腫 9) 膨疹（蕁麻疹） 10) 毛細血管拡張	
	2. 続発疹	1) びらん 2) 潰瘍 3) 鱗屑 4) 痂皮 5) 瘢痕 6) 苔癬 7) 苔癬化 8) 疱疹 9) 面皰 10) 紅皮症 11) 皮膚萎縮	
Ⅲ.病理	1. 表皮	1) 過角化 2) 不全角化 3) 表皮肥厚 4) 海綿状態 5) 棘融解 6) 液状変性 7) 表皮内水疱	
	2. 真皮	1) 表皮下水疱 2) 細胞浸潤 3) 血管炎 4) フィブリノイド変性 5) 膠原線維増生	
	3. 皮下組織	1) 脂肪織炎 2) 筋膜炎	
Ⅳ.診断・検査	1. 診断法	1) 硝子圧法 2) Dermographism（皮膚描記法） 3) 真菌直接鏡検 4) Nikolsky 現象 5) Auspitz 現象	

大　項　目	中　　項　　目	小　　項　　目	備　考
		6) Köbner 現象	
		7) Darier 徴候	
		8) ダーモスコピー	
		9) 針反応	
	2. 検査法	1) パッチテスト	
		2) 光パッチテスト	
		3) 皮内テスト	
		4) スクラッチテスト	
		5) プリックテスト	
		6) MED 測定	
		7) 蛍光抗体法	
V.治療	1. 薬物療法	1) ステロイド外用剤	
		a) ランク別 b) 副作用	
		2) 抗ヒスタミン剤	
		抗アレルギー剤	
		3) 抗真菌剤	
		4) 抗ウイルス剤	
		5) Etretinate	
		6) 免疫抑制外用剤	
		7) ビタミン D3 外用剤	
		8) 生物学的製剤	
		9) 保湿外用剤	
	2. 手術療法	1) 植皮	
		2) 冷凍療法	
	3. 光線療法	1) PUVA 療法	
		2) レーザー療法	
		3) narrow band UVB 療法	

［皮膚系各論］

大　項　目	中　　項　　目	小　　項　　目	備　考
Ⅰ.炎症性疾患	1. 湿疹・皮膚炎群	1)　接触皮膚炎	
		2)　アトピー性皮膚炎	
		3)　脂漏性皮膚炎	
		4)　主婦湿疹	
		5)　貨幣状湿疹	
		6)　自家感作性皮膚炎	
		7)　紅皮症	
		8)　痒疹	
		9)　皮脂欠乏性湿疹	
		a）皮膚瘙痒症	
	2. 蕁麻疹	1)　急性蕁麻疹	
		2)　慢性蕁麻疹	
		3)　物理的蕁麻疹	
		4)　血管神経性浮腫	
	3. 紅斑症	1)　多形滲出性紅斑	
		2)　粘膜・皮膚・眼症候群	
		（Stevens－Johnson 症候群）	
		3)　Sweet 病	
		4)　結節性紅斑	
		5)　硬結性紅斑	
		6)　環状紅斑	
		a）ライム病	
	4. 紫斑	1)　IgA 血管炎	
		（紫斑病）	
		2)　老人性紫斑	
		3)　慢性色素性紫斑	
	5. 血行障害	1)　網状皮斑（livedo）	
		2)　Raynaud 症候群	
		3)　うっ滞性皮膚炎	
		4)　Buerger 病	
Ⅱ.膠原病		1)　全身性エリテマトーデス	
		a）円板状エリテマトーデス	
		2)　全身性強皮症	
		a）限局性強皮症	
		3)　皮膚筋炎	
		4)　Overlap 症候群	
		5)　MCTD	
		6)　Sjögren 症候群	
		7)　結節性多発動脈炎	

大　項　目	中　　項　　目	小　　項　　目	備　考
		8) 膠原病近縁疾患 a) 壊疽性膿皮症 b) Beçhet 病 c) Weber－Christian 病	
Ⅲ.肉芽腫症		1) サルコイドーシス 2) 環状肉芽腫 3) 顔面播種状粟粒性狼瘡	
Ⅳ.光線性皮膚障害	1. 光線過敏症	1) 日光皮膚炎 2) 光接触皮膚炎 3) 光線過敏症型薬疹 4) 多形日光疹 5) 日光蕁麻疹 6) 種痘様水疱症 7) 色素性乾皮症	
Ⅴ.物理的皮膚障害		1) 放射線皮膚炎 2) 熱傷 3) 凍傷 4) 凍瘡 5) 褥瘡 6) 化学熱傷	
Ⅵ.薬剤性皮膚障害	1. 薬疹	1) 皮疹型 a) 播種状紅斑丘疹型 b) 多形紅斑型 c) TEN 型 d) 固定薬疹 e) 扁平苔癬型 f) 薬剤性過敏症症候群	
Ⅶ.水疱症・膿疱症	1. 自己免疫性水疱症	1) 天疱瘡 2) 水疱性類天疱瘡 3) 疱疹状皮膚炎	
	2. 非自己免疫性水疱症	1) 家族性良性慢性天疱瘡 2) 先天性表皮水疱症	
	3. 膿疱症	1) 掌蹠膿疱症 2) 膿疱性乾癬	
Ⅷ.角化症		1) 魚鱗癬 2) Darier 病	

大　項　目	中　　項　　目	小　　項　　目	備　考
		3) 汗孔角化症	
		4) 乾癬	
		5) 類乾癬	
		6) 扁平苔癬	
		7) Gibert ばら色粃糠疹	
		8) 黒色表皮腫	
Ⅸ.形成・色素異常症	1. 形成・代謝異常	1) 線状皮膚萎縮症	
		2) 弾力線維性仮性黄色腫	
		3) Werner 症候群	
		4) アミロイドーシス	
		5) 黄色腫	
		6) 亜鉛欠乏症候群（腸性肢端皮膚炎）	
	2. 色素異常症	1) 尋常性白斑	
		2) 先天性白皮症	
		3) 遺伝性対側性色素異常症	
	3. 母斑	1) 表皮母斑	
		2) 母斑細胞母斑	
		3) 脂腺母斑	
		4) 扁平母斑	
		5) 青色母斑	
		6) 太田母斑	
		7) 単純性血管腫（ポートワイン母斑）	
		8) 後天性真皮メラノサイトーシス	
		9) 蒙古斑	
	4. 神経・皮膚症候群（母斑症）	1) Bourneville－Pringle 母斑症（結節性硬化症）	
		2) von Recklinghausen 病、NF1（神経線維腫症）	
		3) Peutz-jeghers 症候群	
		4) 色素失調症（Bloch－Sulzberger 症候群）	
		5) Sturge－Weber 症候群	
Ⅹ.腫瘍	1. 上皮性良性腫瘍	1) 脂漏性角化症（老人性疣贅）	
		2) 粉瘤	
		3) 汗管腫	
		4) ケラトアカントーマ	
	2. 上皮性悪性腫瘍	1) 光線性角化症	

大　項　目	中　　項　　目	小　　項　　目	備　考
		2) 乳房・乳房外 Paget 病	
		3) Bowen 病	
		4) 白板症	
		5) 有棘細胞癌	
		6) 基底細胞上皮腫（癌）	
	3. メラノサイト系腫瘍	1) 悪性黒色腫	
	4. 間葉系皮膚腫瘍	1) 皮膚線維腫	
		2) 隆起性皮膚線維肉腫	
		3) 悪性線維性組織球腫	
		4) ケロイド	
		5) 毛細血管拡張性肉芽腫	
		6) 肥満細胞腫	
		7) 悪性血管内皮細胞腫	
		8) Langerhans 細胞組織球症	
		9) 皮膚 T 細胞リンパ腫	
		10) Hodgkin 病	
		11) 成人 T 細胞白血病	
XI.付属器疾患	1. 汗腺疾患	1) 汗疹	
		2) 汗疱	
		3) 臭汗症	
	2. 脂腺疾患	1) 尋常性痤瘡	
		2) 酒皶	
		3) 酒皶様皮膚炎（口囲皮膚炎）	
	3. 毛髪疾患	1) 円形脱毛症	
		2) 壮年性脱毛	
		3) 多毛症	
		4) 抜毛癖	
	4. 爪疾患	1) 爪甲剥離症	
		2) 時計皿爪	
		3) 匙形爪甲	
		4) 爪甲色調異常	
		5) 爪囲炎	
		6) 陥入爪	
XII.感染症	1. ウイルス感染症	1) 単純ヘルペス	
		a) カポジ水痘様発疹症	
		2) 水痘	
		3) 帯状疱疹	
		4) ヒト乳頭腫ウイルス感染症	
		5) 伝染性軟属腫	
		6) 手足口病	

大　項　目	中　　項　　目	小　　項　　目	備　考
		7)　風疹	
		8)　Gianotti 病・Gianotti 症候群	
		9)　伝染性単核症	
		10)　伝染性紅斑	
	2. 細菌感染症	1)　膿皮症	
		2)　伝染性膿痂疹	
		3)　ブドウ球菌性熱傷様皮膚症候群（SSSS）	
		4)　丹毒	
		5)　蜂窩織炎	
		6)　壊死性筋膜炎	
		7)　皮膚結核	
		8)　Hansen 病	
		9)　非結核性抗酸菌症	
	3. 真菌感染症	1)　白癬	
		2)　カンジダ症	
		3)　癜風	
		4)　スポロトリコーシス	
	4. 動物性皮膚疾患	1)　皮膚顎口虫症	
		2)　疥癬	
		3)　しらみ症	
		4)　線状皮膚炎	
		5)　毒蛾皮膚炎	
		6)　つつが虫病	
	5. 性行為感染症	1)　梅毒	
		2)　軟性下疳	
		3)　鼠径リンパ肉芽腫	
		4)　後天性免疫不全症候群	
		5)　性器ヘルペス	
XIII.全身と皮膚		1)　皮膚症状	
		a)　内臓悪性腫瘍	
		b)　糖尿病	
		c)　消化器疾患	
		d)　肝疾患	
		e)　内分泌疾患	
		f)　ビタミン欠乏症・過剰症	
		g)　腎疾患	
		h)　妊娠	

臨床系実習スケジュール

※学年全体を番号順に6ｸﾞﾙｰﾌﾟに分ける
※詳細は実習書を参照のこと
※実施方式などに変更が生じる可能性がある為、必ず**最新情報はポータルサイトで確認**すること

[脳神経系１,脳神経系２,聴覚・耳鼻咽喉系,眼・視覚系,運動器系]

科目				脳神経系１		脳神経系２				聴覚・耳鼻咽喉系		眼・視覚系		運動器系	
担当教室				脳神経内科		小児科		脳神経外科（脳外医局）		耳鼻咽喉科（配信）		眼科		整形外科（ギプス室）	
回	年月日	曜日	時間	①	②	①	②	①	②	①	②	①②	③	①	②
1	2022/11/8	火	13:55～16:25	1		2		3		4		5		6	
2	2022/11/15	火	13:55～16:25		1		2		3		4		5		6
3	2022/11/25	金	13:55～16:25	6		1		2		3		4		5	
4	2023/1/6	金	13:55～16:25		6		1		2		3		4		5
5	2023/1/10	火	13:55～16:25	5		6		1		2		3		4	
6	2023/1/13	金	13:55～16:25		5		6		1		2		3		4
7	2023/1/17	火	13:55～16:25	4		5		6		1		2		3	
8	2023/1/24	火	13:55～16:25		4		5		6		1		2		3
9	2023/1/27	金	13:55～16:25	3		4		5		6		1		2	
10	2023/1/31	火	13:55～16:25		3		4		5		6		1		2
11	2023/2/3	金	13:55～16:25	2		3		4		5		6		1	
12	2023/2/7	火	13:55～16:25		2		3		4		5		6		1

科　目	コア・カリ対象項目
脳神経系1	F-3-5)-(6)①-⑥、 F-3-5)-(7)③
脳神経系2	D-2-1)-(1)①②⑤、D-2-1)-(3)、D-2-1)-(4)、D-2-1)-(5)、D-2-1)-(6)、D-2-3)-(1)、D-2-3)-（4)、D-2-4)-(4)、D-2-4)-(6)①②、D-2-4)-(7)、D-5-3)⑦、 E-2-3)③、 F-1-7)②、 F-1-8)①②③、 G-2-7)、G-4-1)-②③④⑤
聴覚・耳鼻咽喉系	F-3-5)-(3)③-⑩
眼・視覚系	D-13-2)①
運動器系	D-4-1)①-⑤、 D-4-4)-(1)①-④

[精神系]

科目責任者：西村　勝治（精神医学）
担当教室：精神医学
担当者：押淵, 井上,辻(精神医学)

回	年月日	曜	時間	担当教室	実習内容	実習室	コア・カリ対象項目
1	2022/11/21	月	13:55～16:25	精神医学	①精神科構造化面接とその実際	201	D-15-1)①
2	2023/1/12	木	13:55～16:25	精神医学	②心理教育	302・303	G-1-1)-(1)④⑥,G-1-1)-(3)⑨

[皮膚粘膜系]

科目責任者：石黒　直子（皮膚科学）
担当教室：皮膚科学
担当者：石黒, 山上, 福屋, 竹中, 鈴木, 仲,宮田（皮膚科学）

回	年月日	曜	時間	担当教室	実習内容	実習室	コア・カリ対象項目
1	2022/11/17	木	12:30～16:25	皮膚科学	1，2，3　皮疹の種類と組織像	（配信）	D-3-1)①,D-3-4)-(1)①,D-3-4)-(3)①,D-3-4)-(5)①,D-3-4)-(6)①,D-3-4)-(8)①⑤⑥

縦 断 教 育 科 目

科目名	「至誠と愛」の実践学修
科目責任者(所属)	西村　勝治

到達目標	教育理念 本学は百年余に亘り、医学の知識・技能の修得の上に「至誠と愛」を実践する女性医師の育成を行ってきた。医学の進歩の一方で、患者の抱える問題を包括して解決する医学・医療の必要性が重視されている。今後さらに心の重要性が問われることは必定である。医師は温かい心をもって医療に臨み、患者だけでなく家族・医療チームとも心を通わせ問題を解決していく資質を高めなくてはならない。「至誠と愛」の実践学修では、全人的医人を育成するために、体験の中から感性を磨き、他者・患者と共感できる能力・態度を修得する教育を行う。 具体的には「至誠と愛」の実践学修の理念には下記のような6本の柱がある。各講義･ワークショップ、実習はこの6本の柱の下に構成されている。 【6本の柱】 (1) 専門職としての態度、マナー、コミュニケーション能力(患者を理解する力、支持する力、意志を通わす力、患者医師関係) (2)専門職としての使命感(医学と社会に奉仕する力) (3)医療におけるリーダーシップ・パートナーシップ (4)医療人としての倫理―解釈と判断(法と倫理に基づく実践力) (5)女性医師のキャリア・ライフサイクル(医師として、女性医師として生涯研鑽する姿勢) (6)自校の理念、歴史を知る(自校教育)
アウトカム・ロードマップに係わる到達目標/項目番号	セグメント5、セグメント6共通 事例で診療上の心理的・社会的問題を明らかにできる。　Ⅰ-2-A-(3-4)-② 問題の科学的重要性を評価できる。　Ⅰ-2-B-(3-4)-① 事例から自分の知らないことを発見できる。　Ⅰ-2-C-(3-4)-① 医学的情報をわかりやすく伝えることができる。　Ⅰ-4-A-(3-4)-① 患者に分かる言葉を選択できる。　Ⅰ-4-A-(3-4)-② 医療チームでの情報共有について説明できる。　Ⅰ-4-C-(3-4)-② 根拠となる文献を検索できる。　Ⅰ-5-A-(3-4)-③ 医学における倫理の概念を説明できる。　Ⅰ-6-B-(3-4)-① 倫理的問題を明らかにできる。　Ⅰ-6-B-(3-4)-② 患者情報が含まれる文書・電子媒体を適切に使用できる。　Ⅰ-6-B-(3-4)-③ 傾聴できる。　Ⅱ-1-A-(3-4)-① 他者の気持ちに配慮して意志を交わすことができる。　Ⅱ-1-B-(3-4)-① 患者・家族の心理を説明できる。　Ⅱ-1-B-(3-4)-② 社会の支援制度を利用する方法を明らかにできる。　Ⅱ-1-C-(3-4)-① 医師として必要な知識、技能、態度を述べることができる。　Ⅱ-2-A-(3-4)-② 地域社会の医療ニーズを説明できる。　Ⅱ-2-B-(3-4)-① 女性のライフサイクルを説明できる。　Ⅱ-2-C-(3-4)-② キャリア継続の意思を持つ。　Ⅱ-2-C-(3-4)-③ 自分の特性を活かして学修できる。　Ⅱ-2-D-(3-4)-① 学修の中で興味を持ったことを自ら学べる。　Ⅱ-2-D-(3-4)-② 自分のモデルとなる先輩を示すことができる。　Ⅱ-2-E-(3-4)-① 医療を通じた社会・地域への貢献を説明できる。　Ⅱ-3-A-(3-4)-① 基礎医学研究の意義と現在の動向を概説できる。　Ⅱ-3-B-(3-4)-① 医学研究成果の意義と応用・将来性を説明できる。　Ⅱ-3-B-(3-4)-② 臨床や医学研究の動向に目を向け概説できる。　Ⅱ-3-B-(3-4)-③

	セグメント5のみ	
	事例に即した問題解決のための情報検索ができる。	Ⅰ-3-A-(3-4)-①
	基礎研究における倫理指針を概説できる。	Ⅰ-6-C-(3-4)-①
	他者を尊重して対話ができる。	Ⅱ-1-A-(1-2)-②
	他者の自己決定を理解できる。	Ⅱ-1-A-(1-2)-③
	患者の自己決定を支援し、必要な情報が提供できる。	Ⅱ-1-A-(5-6)-①
	患者の意志を聞き出すことができる。	Ⅱ-1-A-(5-6)-②
	セグメント6のみ	
	適切な治療法とその根拠を説明できる。	Ⅰ-1-B-(3-4)-②
	医療安全に必要な配慮を示すことができる。	Ⅰ-1-C-(3-4)-②
	問題の優先度および重要度を判断できる。	Ⅰ-2-A-(3-4)-①
	未知の問題を解決する方法を見つけることができる。	Ⅰ-2-C-(3-4)-②
	自分の考えを他者に伝えることができる。	Ⅰ-4-A-(1-2)-①
	研究・実習・症例などの要約が作成できる。	Ⅰ-4-B-(3-4)-①
	研究・実習・症例などの背景、目的、方法、結果、考察を適切に発表できる。	Ⅰ-4-C-(3-4)-①
	診療上のエビデンスを選ぶことができる。	Ⅰ-5-B-(3-4)-①
	医師法・医療法の概要を説明できる。	Ⅰ-6-A-(3-4)-②
	利益相反(Conflict of interest)について説明できる。	Ⅰ-6-C-(3-4)-②
	医療に関する保証制度を概説できる。	Ⅰ-6-D-(3-4)-②
	患者の人権・尊厳を説明できる。	Ⅱ-1-A-(3-4)-②
	卒業までの学修目標を立て、自分の達成度を評価できる。	Ⅱ-2-A-(3-4)-①
	学修目標を達成するための自己学修を計画的に行える。	Ⅱ-2-C-(3-4)-①
	自分の選択・判断の根拠を説明できる。	Ⅱ-4-A-(3-4)-①
	他者の考えを聞いて自分の選択を判断し説明できる。	Ⅱ-4-A-(3-4)-②
	討論・話し合いを促せる。	Ⅱ-4-B-(3-4)-①
	自分の方針を説明し同意を得ることができる。	Ⅱ-4-B-(3-4)-②
	活動向上のための評価に基づく行動をグループに導入できる。	Ⅱ-4-B-(3-4)-③
	グループ目標達成のために行動できる。	Ⅱ-4-C-(3-4)-①
	講成員の役割と考えを尊重してグループの目標を立てられる。	Ⅱ-4-C-(3-4)-②
	自分が所属する医療チーム構成者の役割を説明できる。	Ⅱ-4-C-(5-6)-①
	学修する事例について医学の貢献を説明できる。	Ⅱ-5-A-(3-4)-①
	相手の知識・技能に合わせて質問に答えることができる。	Ⅱ-5-B-(3-4)-②
学修(教育)方法	講義、実習、ワークショップ、小グループでディスカッション・プレゼンテーション	
評価方法 (1)総括的評価の対象	「至誠と愛」の実践学修の評価は、講義、ワークショップ、実習、行事のすべての授業形態における、自己診断シートおよび課題を総括的に評価する。	
評価方法 (2)評価項目	セグメント5、セグメント6共通	
	患者の自己決定権の意義を説明できる。	A-1-2)②
	選択肢が多様な場合でも適切に説明を行い患者の価値観を理解して、患者の自己決定を支援する。	A-1-2)③
	インフォームド・コンセントとインフォームド・アセントの意義と必要性を説明できる。	A-1-2)④
	患者やその家族のもつ価値観や社会的背景が多様であり得ることを認識し、そのいずれにも柔軟に対応できる。	A-1-3)②
	必要な課題を自ら発見できる。	A-2-1)①

自分に必要な課題を、重要性・必要性に照らして順位付けできる。	A-2-1)②
課題を解決する具体的な方法を発見し、課題を解決できる。	A-2-1)③
課題の解決に当たり、他の学修者や教員と協力してよりよい解決方法を見出すことができる。	A-2-1)④
適切な自己評価ができ、改善のための具体的方策を立てることができる。	A-2-1)⑤
得られた情報を統合し、客観的・批判的に整理して自分の考えを分かりやすく表現できる。	A-2-2)②
患者・家族の話を傾聴し、共感することができる。	A-4-1)③
患者のプライバシーに配慮できる。	A-4-2)⑥
実際の医療には、多職種が多段階の医療業務内容に関与していることを具体的に説明できる。	A-6-1)①
地域社会（離島・へき地を含む）における医療の状況、医師の偏在（地域、診療科及び臨床・非臨床）の現状を概説できる。	A-7-1)①
地域包括ケアシステムの概念を理解し、地域における保健（母子保健、学校保健、成人・高齢者保健、地域保健、精神保健）・医療・福祉・介護の分野間及び多職種間（行政を含む）の連携の必要性を説明できる。	A-7-1)③
生涯学修の重要性を説明できる。	A-9-1)①
セグメント5のみ	
コミュニケーションの方法と技能（言語的と非言語的）を説明し、コミュニケーションが態度あるいは行動に及ぼす影響を概説できる。	A-4-1)①
コミュニケーションを通じて良好な人間関係を築くことができる。	A-4-1)②
チーム医療の意義を説明できる。	A-5-1)①
医療計画（医療圏、基準病床数、地域医療支援病院、病診連携、病病連携、病院・診療所・薬局の連携等）及び地域医療構想を説明できる。	A-7-1)②
かかりつけ医等の役割や地域医療の基盤となるプライマリ・ケアの必要性を理解し、実践に必要な能力を獲得する。	A-7-1)④
地域社会（へき地・離島を含む）における医療の状況、医師の偏在（地域、診療科及び臨床・非臨床）の現状を概説できる。	B-1-7)①
セグメント6のみ	
臨床倫理や生と死に関わる倫理的問題を概説できる。	A-1-1)②
リスボン宣言等に示された患者の基本的権利を説明できる。	A-1-2)①
医師が患者に最も適した医療を勧めなければならない理由を説明できる。	A-1-3)③
医師には能力と環境により診断と治療の限界があることを説明できる。	A-1-3)④
医師の法的義務を列挙し、例示できる。	A-1-3)⑤
講義、国内外の教科書・論文、検索情報等の内容について、重要事項や問題点を抽出できる。	A-2-2)①
実験・実習の内容を決められた様式に従って文書と口頭で発表できる。	A-2-2)③
患者と家族の精神的・身体的苦痛に十分配慮できる。	A-4-2)①
患者に分かりやすい言葉で説明できる。	A-4-2)②
患者の心理的及び社会的背景や自立した生活を送るための課題を把握し、抱える問題点を抽出・整理できる。	A-4-2)③
医療行為が患者と医師の契約的な信頼関係に基づいていることを説明できる。	A-4-2)④
患者の要望（診察・転医・紹介）への対処の仕方を説明できる。	A-4-2)⑤
患者情報の守秘義務と患者等への情報提供の重要性を理解し、適切な取扱いができる。	A-4-2)⑦
医療上の事故等を防止するためには、個人の注意（ヒューマンエラーの防止）はもとより、組織的なリスク管理（制度・組織エラーの防止）が重要であることを説明できる。	A-6-1)②
医療現場における報告・連絡・相談と記録の重要性や、診療録（カルテ）改竄の違法性を説明できる。	A-6-1)③
医療の安全性に関する情報（薬剤等の副作用、薬害、医療過誤（事例や経緯を含む）、やってはいけないこと、優れた取組事例等）を共有し、事後に役立てるための分析の重要性を説明できる。	A-6-1)④
医療の安全性確保のため、職種・段階に応じた能力向上の必要性を説明できる。	A-6-1)⑤
医療機関における医療安全管理体制の在り方（事故報告書、インシデントレポート、医療事故防止マニュアル、医療廃棄物処理、医療安全管理者（リスクマネージャー）、安全管理委員会、事故調査委員会、医療事故調査制度、産科医療補償制度）を概説できる。	A-6-1)⑥
真摯に疑義に応じることができる。	A-6-1)⑧

	医療上の事故等（インシデントを含む）と合併症の違いを説明できる。	A-6-2)①
	医療上の事故等（インシデントを含む）が発生したときの緊急処置や記録、報告を説明し、実践できる。	A-6-2)②
	医療過誤に関連した刑事・民事責任や医師法に基づく行政処分を説明できる。	A-6-2)③
	地域における救急医療、在宅医療及び離島・へき地医療の体制を説明できる。	A-7-1)⑤
	患者の文化的背景を尊重し、英語をはじめとした異なる言語に対応することができる。	A-7-2)①
	地域医療の中での国際化を把握し、価値観の多様性を尊重した医療の実践に配慮することができる。	A-7-2)②
	医療に関わる国際協力の重要性を理解し、仕組みを説明できる。	A-7-2)⑤
	研究は、医学・医療の発展や患者の利益の増進を目的として行われるべきことを説明できる。	A-8-1)①
	生涯にわたる継続的学修に必要な情報を収集できる。	A-9-1)②
	キャリア開発能力を獲得する。	A-9-1)③
	キャリアステージにより求められる能力に異なるニーズがあることを理解する。	A-9-1)④
	地域包括ケアシステムの概念を理解し、地域における、保健（母子保健、学校保健、成人・高齢者保健、地域保健、精神保健）・医療・福祉・介護の分野間及び多職種間（行政を含む）の連携の必要性を説明できる。	B-1-7)③
	かかりつけ医等の役割や地域医療の基盤となるプライマリ・ケアの必要性を理解し、実践に必要な能力を獲得する。	B-1-7)④
	医療保険、介護保険及び公費医療を説明できる。	B-1-8)②
	高齢者福祉と高齢者医療の特徴を説明できる。	B-1-8)③
	世界の保健・医療問題（母子保健、感染症、非感染性疾患(non-communicable diseases <NCD>)、UHC (Universal Health Coverage)、保健システム（医療制度）、保健関連SDG (Sustainable Development Goals))を概説できる。	B-1-9)①
	医学研究と倫理（それぞれの研究に対応した倫理指針と法律）を説明できる。	B-3-1)①
	臨床研究、臨床試験、治験と市販後臨床試験の違いを概説できる。	B-3-1)②
	臨床試験・治験と倫理性（ヘルシンキ宣言、第Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ相試験、医薬品の臨床試験の実施の基準(Good Clinical Practice <GCP>)、治験審査委員会・倫理審査委員会(institutional review board <IRB>)）を説明できる。	B-3-1)③
	薬物に関する法令を概説し、医薬品の適正使用に関する事項を列挙できる。	B-3-1)④
	副作用と有害事象の違い、報告の意義（医薬品・医療機器等安全性情報報告制度等）を説明できる。	B-3-1)⑤
	対人関係にかかわる心理的要因を概説できる。	C-5-7)①
	効果的な対人コミュニケーションを説明できる。	C-5-7)⑤
	話し手と聞き手の役割を説明でき、適切なコミュニケーションスキルが使える。	C-5-7)⑥

**評価方法
(3)評価基準**

上記の評価対象、評価項目について、学修目標の達成度に従って点数化する。

評価基準：　５点　優：優れている
４点　良：平均的
３点　可：おおむね良いが向上心が必要
２点　劣る：一層の努力が必要である
１点　不可：著しく劣り問題がある

評価基準の合計を100点満点に換算し、総合評価を行う。総合評価の基準は下記とする。
S.大変よく理解し十分実行できている（90%以上）　A.良く理解し十分実行できている（80%以上90%未満）　B.理解および実行は平均的である（70%以上80%未満）　C.最低限は理解し実行できている（60%以上70%未満）　D.理解および実行が不十分である（60%未満）のいずれかとして判定し、C以上を合格とする。

伝達事項

＊講義、ワークショップ、実習、行事の出席（配信講義の場合は視聴）をもって、自己診断シートおよび各回の課題提出資格が与えられる。
＊講義、ワークショップ、実習、行事を欠席した学生は欠席届を出す。やむを得ない理由での欠席については担当委員が代替の課題を与えて評価する場合がある。
＊総合評価が不合格（D）の場合は、担当委員の意見を参考にして、本人と委員長または副委員長との面接を行うことがある。その上で委員長・副委員長の協議により最終評価を決定する。
＊極めて優れていると委員が評価をした場合には、加点をすることがある。問題のある学生に対しては、担当委員が学生との面接による形成的評価を行い、その経過と結果を文書にて委員長に報告する。

教科書・参考図書

No	書籍名	著者名	上段：出版社 下段：出版年	ISBN
1.	『人間関係教育と行動科学テキストブック-第3版「至誠と愛」の実践学修』	東京女子医科大学「至誠と愛」の実践学修教育委員会　編	三恵社 2018	9784864878425
2.	『医学生のための生命倫理』	盛永審一郎, 松島哲久編	丸善出版 2012	9784621085936
3.	『平静の心：オスラー博士講演集』	オスラー［述］；日野原重明, 仁木久恵訳	医学書院	426012708X

			2003	
4.	『医療倫理Q & A』	医療倫理Q&A刊行委員会編	太陽出版 1998	4884691482
5.	『期待される医師のマナー：実践をめざして』	日本医学教育学会編	篠原出版 1988	9784879490889
6.	『診療参加型臨床実習に参加する学生に必要とされる技能と態度に関する学習評価項目』	医療系大学間共用試験実施評価機構	 2004	
7.	『血液疾患診療編（インフォームド・コンセント ガイダンス）』	月本一郎編著	先端医学社 2001	9784884070380
8.	『ハーバードの医師づくり：最高の医療はこうして生まれる』	田中まゆみ著	医学書院 2002	9784260138871
9.	『脳死判定・臓器移植ハンドブック』	厚生省保健医療局臓器移植対策室監修	社会保険出版社 1998	9784784601639
10.	『生命医学倫理ノート：和の思想との対話』	松田一郎著	日本評論社 2004	9784535982345
11.	『死をみとる1週間（総合診療ブックス）』	林章敏, 池永昌之編	医学書院 2002	9784260138888
12.	『人あかり死のそばで』	徳永進著	ゆみる出版 2004	9784946509353
13.	『モリー先生との火曜日』	ミッチ・アルボム著；別宮貞徳訳	日本放送出版協会 1998	9784140803837
14.	『Oxford textbook of palliative medicine』	Derek Doyle, Geoffrey W.C. Hanks and Neil MacDonald	Oxford University Press 1998	0192630571
15.	『真実を伝える：コミュニケーション技術と精神的援助の指針』	ロバート・バックマン著；前野宏, 平井啓, 坂口幸弘訳	診断と治療社 2000	9784787803702
16.	『子どもを選ばないことを選ぶ：いのちの現場から出生前診断を問う』	大野明子編著	メディカ出版 2003	9784840407731
17.	『蹄跡：ALS患者となった眼科医の手記』	渡辺春樹著	西田書店 2003	9784888663694
18.	『小児科医者内藤寿七郎物語』	丹羽洋子著	赤ちゃんとママ社 2003	9784870140318
19.	『治療としての面接』	鈴木二郎著	金剛出版 2001	9784772406826
20.	『知っておきたい薬害の知識：薬による健康被害を防ぐために』	日本公定書協会企画・編集	じほう 2011	9784840741743
21.	『知っておきたい薬害の教訓：再発防止を願う被害者からの声』	医薬品医療機器レギュラトリーサイエンス財団企画編	薬事日報社 2012	9784840812139
22.	『実践チーム医療論：実際と教育プログラム：インタープロフェッショナル・ヘルスケア』	水本清久 [ほか] 編著	医歯薬出版 2011	9784263235577
23.	『「チーム医療」とは何か：医療ケアに生かす社会学からのアプローチ』	細田満和子著	日本看護協会出版会 2012	9784818016583

	24.	『対人援助のためのコーチング：利用者の自己決定とやる気をサポート』	諏訪茂樹著	中央法規出版 2007	9784805829097
	25.	『コスモスの花蔭で らい医療に携わった女医達の記録 』	肥田野信／東京女子医科大学皮膚科学教室	 1990	
	26.	『昭二十会文集 たんぽぽ』	東京女子医学専門学校昭和20年卒業クラス会	東京女子医学専門学校昭和20年卒業クラス会 2007	
	27.	『悔いありてこそ』	三神美和	山手書房 1984	
	28.	『小島の春 ある女医の手記』	小川正子	長崎出版 1995	9784930695611
	29.	『野に咲くベロニカ』	林富美子	小峯書店 1981	9784915634062
	30.	『命を見つめて 魂に寄り添った女医の物語』	山崎倫子 岡山徹 構成	ランダムハウス講談社 2005	9784270000809
	31.	『回想のハルビン ある女医の激動の記録』	山崎倫子	牧羊社 1993	9784833315357
	32.	『生きがいについて』	神谷美恵子	みすず書房 1969	9784622081814
	33.	『神谷美恵子 ハンセン病と歩んだ命の道程』	大谷美和子	くもん出版 2012	9784774321394
	34.	『女性よ賢くあれ 母娘二代女医の道』	長池博子	河北新報社 1999	9784873411361
	35.	『ドクター・エプロン 私は田舎の町医者です』	青山眞理	新風社 2003	9784797422559
	36.	『つなぐ命つなげる心 東京大空襲を乗り越えて 無名偉人伝 町医者中尾聰子』	平野久美子著	中央公論事業出版 2015	9784895144490
	37.	『佐々木靜子からあなたへ 女のからだと医療・性暴力・人権』	著：佐々木靜子／編集：『佐々木靜子からあなたへ』編集委員会	株式会社教育史料出版会発行 2015	9784876525348
	38.	『国境なき医師団：貴戸朋子』	NHK「課外活動 ようこそ先輩」制作グループ＋KTC中央出版.編	KTC中央出版 2000	9784877581602
	39.	『幕末の女医 楠本イネ シーボルトの娘と家族の肖像』	宇神幸男	現代書館 2018	9784768458242
	40.	『アット・ザ・ベンチ アップデート版 バイオ研究完全指南』	Kathy Barker	メディカル・サイエンス・インターナショナル 2005	9784895924146

関連リンク	
添付ファイル ※3つまで、1ファイルにつき5MBまで、圧縮ファイルOK	

授業予定表

回数	年月日	時限	授業形式	教室	開始終了時間
1.	2022/05/11(水)	1時限	講義	ー	09:00-10:10
	タイトル	1　キャリアを考える(5)「女性医師ロールモデル実習ガイダンス(全体)」			
	担当者(所属)	岩崎　直子 中村　裕子 佐藤　梓 横田　仁子			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	A-1-3)②,A-2-1)①②,A-4-1)①②③			
	講義資料番号/連番(LMS)				1
2.	2022/05/16(月)	2時限	実習	ー	10:25-11:35
	タイトル	キャリアを考える(6)「女性医師のロールモデル実習ガイダンス(小グループ)」			
	担当者(所属)	清水　優子 篠崎　和美 岩崎　直子 加藤　多津子 中村　裕子 松本　みどり 山口　俊夫 小林　浩子 小林　博人 佐藤　梓 浦瀬　香子 蒋池　勇太 田中　正太郎 辻野　賢治 横田　仁子			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	A-2-1)①②③④⑤,A-4-1)②,A-4-2)⑥,A-5-1)①,A-6-1)①,A-7-1)①②③④,B-1-7)①,A-9-1)①			
	講義資料番号/連番(LMS)				2
3.	2022/05/23(月)	3時限	行事	弥生記念講堂	12:30-16:25
	タイトル	吉岡彌生記念講演会			
	担当者(所属)	岩崎　直子 遠藤　美香 佐藤　梓 浦瀬　香子 菊田　幸子 辻村　貴子 吉武　久美子 吉田　千鶴			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)				3

4.	2022/05/23(月)	4時限	行事	弥生記念講堂	12:30-16:25
	タイトル	吉岡彌生記念講演会			
	担当者(所属)	岩﨑　直子 遠藤　美香 佐藤　梓 浦瀬　香子 菊田　幸子 辻村　貴子 吉武　久美子 吉田　千鶴			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)				4
5.	2022/05/23(月)	5時限	行事	弥生記念講堂	12:30-16:25
	タイトル	吉岡彌生記念講演会			
	担当者(所属)	岩﨑　直子 遠藤　美香 佐藤　梓 浦瀬　香子 菊田　幸子 辻村　貴子 吉武　久美子 吉田　千鶴			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)				5
6.	2022/05/27(金)	3時限	講義	講義室 303	12:30-13:40
	タイトル	2　社会規範教育(2)			
	担当者(所属)	石黒　直子 西村　勝治 諏訪　茂樹 村崎　かがり 小川　久貴子 宮田　麻理子 清水　洋子 吉武　久美子			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	A-1-3)②, A-2-2)②, A-4-1)②, A-4-1)③			
	講義資料番号/連番(LMS)				6
7.	2022/05/27(金)	4時限	講義	講義室 303	13:55-15:05
	タイトル	3　医療コミュニケーション(12)「患者の自己決定と自己解決のサポート(Coaching)」			
	担当者(所属)	諏訪　茂樹			

	コアカリキュラム/S10国試出題基準	A-1-2)②③④			
	講義資料番号/連番(LMS)				7
8.	2022/10/05(水)	1時限	講義	講義室 201	09:00-11:35
	タイトル	キャリアを考える(8)(9)「女性医師のロールモデル実習　振り返りWS」			
	担当者(所属)	岩﨑　直子 中村　裕子 佐藤　梓 横田　仁子			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	A-2-2)①③,A-7-1)①③⑤,B-1-7)③④,B-1-8)②③,C-5-7)①⑤⑥			
	講義資料番号/連番(LMS)				8
9.	2022/10/05(水)	2時限	講義	講義室 201	09:00-11:35
	タイトル	キャリアを考える(8)(9)「女性医師のロールモデル実習　振り返りWS」			
	担当者(所属)	岩﨑　直子 中村　裕子 佐藤　梓 横田　仁子			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	A-2-2)①③,A-7-1)①③⑤,B-1-7)③④,B-1-8)②③,C-5-7)①⑤⑥			
	講義資料番号/連番(LMS)				9
10.	2022/10/19(水)	4時限	講義	講義室 201	13:55-15:05
	タイトル	臨床研究倫理(1)			
	担当者(所属)	時田　大輔			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	A-8-1)①,B-3-1)①②③			
	講義資料番号/連番(LMS)				10
11.	2022/11/18(金)	1時限	講義	講義室 303	09:00-10:10
	タイトル	医療行為における法と倫理			
	担当者(所属)	佐藤　梓 横野　恵			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	B-3-1)①			
	講義資料番号/連番(LMS)				11
12.	2022/11/22(火)	4時限	講義	大実習室 1 PC室 1	13:55-16:25
	タイトル	薬害を考える「看護学部生、薬学部生と考える」			
	担当者(所属)	佐藤　梓 深谷　寛 花房　規男 吉武　久美子 吉田　千鶴 外部 講師			

	コアカリキュラム/S10国試出題基準	A-1-1)②,A-1-2)①②③④,A-1-3)②③④⑤,A-2-1)①②③④⑤,A-2-2)①②③,A-4-1)③,A-4-2)①②③④⑤⑥⑦,A-6-1)①②③④⑤⑥⑧,A-6-2)①②③,B-3-1)④⑤			
	講義資料番号/連番(LMS)				12
13.	2022/11/22(火)	5時限	講義	大実習室 1 PC室 1	13:55-16:25
	タイトル	薬害を考える「看護学部生、薬学部生と考える」			
	担当者(所属)	佐藤 梓 深谷 寛 花房 規男 吉武 久美子 吉田 千鶴 外部 講師			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	A-1-1)②,A-1-2)①②③④,A-1-3)②③④⑤,A-2-1)①②③④⑤,A-2-2)①②③,A-4-1)③,A-4-2)①②③④⑤⑥⑦,A-6-1)①②③④⑤⑥⑧,A-6-2)①②③,B-3-1)④⑤			
	講義資料番号/連番(LMS)				13
14.	2023/02/06(月)	4時限	講義	講義室 201	13:55-17:45
	タイトル	キャリアを考える(10)(11)(12)「医師の多彩な働き方」			
	担当者(所属)	岩﨑 直子 横田 仁子 石津 綾子 帖佐 理子 外部 講師			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	A-7-2)①②⑤,A-9-1)①②③④,B-1-9)①			
	講義資料番号/連番(LMS)				14
15.	2023/02/06(月)	5時限	講義	講義室 201	13:55-17:45
	タイトル	キャリアを考える(10)(11)(12)「医師の多彩な働き方」			
	担当者(所属)	岩﨑 直子 横田 仁子 石津 綾子 帖佐 理子 外部 講師			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	A-7-2)①②⑤,A-9-1)①②③④,B-1-9)①			
	講義資料番号/連番(LMS)				15
16.	2023/02/06(月)	6時限	講義	講義室 201	13:55-17:45
	タイトル	キャリアを考える(10)(11)(12)「医師の多彩な働き方」			
	担当者(所属)	岩﨑 直子 横田 仁子 石津 綾子 帖佐 理子 外部 講師			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	A-7-2)①②⑤,A-9-1)①②③④,B-1-9)①			

	講義資料番号/連番(LMS)		16

〔「至誠と愛」の実践学修〕

科目責任者：西村　勝治（精神医学）

東京女子医科大学医学部
「至誠と愛」の実践学修到達目標

医学生の人間関係（態度・習慣・マナー・コミュニケーションおよび人間関係に関連する技能）の到達目標を示す。

卒前教育の中で卒後の目標として俯瞰すべき到達目標は、＊印を付して示す。

到達目標の概略（構造）を以下に示す。次ページに示すのが全文で、具体的到達目標が述べられている。

概略（構造）

Ⅰ 習慣・マナー・こころ
- A 人として・医学生として
  1. 人間性
  2. 態度
  3. 人間関係
  4. 一般社会・科学に於ける倫理
- B 医師（医人）として
  1. 医人としての人間性
  2. 医人としての態度
  3. 医人としての人間関係
  4. 医療の実践における倫理
  5. 女性医師の資質

Ⅱ 技能・工夫・努力
- A 人と人との信頼
  1. 人としての基本的コミュニケーション
  2. 医人としての基本的コミュニケーション
  3. 医療面接におけるコミュニケーション
  4. 身体診察・検査におけるコミュニケーション
  5. 医療における説明・情報提供
- B 信頼できる情報の発信と交換
  1. 診療情報
  2. 医療安全管理

「至誠と愛」の実践学修到達目標全文

I 習慣・マナー・こころ

A 人として・医学生として

1. 人間性

（自分）

1） 生きていることの意味・ありがたさを表現できる。

2） 人生における今の自分の立場を認識できる。

3） 自分の特性や価値観を認識し伸ばすことができる。

（他者の受け入れ）

4） 他の人の話を聴き理解することができる。

5） 他の人の特性や価値観を受け入れることができる。

6） 他の人の喜びや苦しみを理解できる。

7） 温かいこころをもって人に接することができる。

8） 人の死の意味を理解できる。

（自分と周囲との調和）

9） 自分の振る舞い・言動の他者への影響を考えることができる。

10） 他の人に適切な共感的態度が取れる。

11） 他の人と心を開いて話し合うことができる。

12） 他の人の苦しみ・悲しみを癒すように行動できる。

13） 他の人に役立つことを実践することができる。

2. 態度

（人・社会人として）

14） 場に即した礼儀作法で振舞える。

15） 自分の行動に適切な自己評価ができ、改善のための具体的方策を立てることができる。

16） 自分の振る舞いに示唆・注意を受けたとき、受け入れることができる。

17） 自分の考えを論理的に整理し、分かりやすく表現し主張できる。

18） 話し合いにより相反する意見に対処し、解決することができる。

（医学を学ぶものとして）

19） 人間に関して興味と関心を持てる。

20） 自然現象・科学に興味と好奇心を持てる。

21） 学修目的・学修方法・評価法を認識して学修できる。

22） 動機・目標を持って自己研鑽できる。

23） 要点を踏まえて他の人に説明できる。

24） 社会に奉仕・貢献する姿勢を示すことができる。

3. 人間関係

（人・社会人として）

25） 人間関係の大切さを認識し、積極的に対話ができる。

26） 学生生活・社会において良好な人間関係を築くことができる。

27） 信頼に基づく人間関係を確立できる。

28） 対立する考えの中で冷静に振舞える。

（医学を学ぶものとして）

29） 共通の目的を達成するために協調できる。

30） 対立する考えの中で歩み寄ることができる。

4. 一般社会・科学に於ける倫理

（社会倫理）

31） 社会人としての常識・マナーを理解し実践できる。
32） 法を遵守する意義について説明できる。
33） 自分の行動の倫理性について評価できる。
34） 自分の行動を倫理的に律することができる。
35） 個人情報保護を実践できる。
36）他の人・社会の倫理性について評価できる。

（科学倫理）

37） 科学研究の重要性と問題点を倫理面から考え評価できる。
38） 科学研究上の倫理を説明し実践できる。
39） 動物を用いた実習・研究の倫理を説明し実践できる。
40） 個々の科学研究の倫理性について評価できる。

B 医師（医人）として

1. 医人としての人間性

（自己）

1） 健康と病気の概念を説明できる。
2） 医療・公衆衛生における医師の役割を説明できる。
3） 自己の医の実践のロールモデルを挙げることができる。
4） 患者／家族のニーズを説明できる。
5） 生の喜びを感じることができる。
6） 誕生の喜びを感じることができる。
7） 死を含む Bad news の受容過程を説明できる。
8） 個人・宗教・民族間の死生観・価値観の違いを理解できる。

（患者・家族）

9） 診療を受ける患者の心理を理解できる。
10） 患者医師関係の特殊性について説明できる。
11） 患者の個人的、社会的背景が異なってもわけへだてなく対応できる。
12） 医師には能力と環境により診断と治療の限界があることを認識して医療を実践できる。
13） 病者を癒すことの喜びを感じることができる。
14） 家族の絆を理解できる。
15） 親が子供を思う気持ちが理解できる。
16） 死を含む Bad news を受けた患者・家族の心理を理解できる。
17） 患者を見捨てない気持ちを維持できる。

（チーム医療、社会）

18） 医行為は社会に説明されるものであることを理解できる。
19） 医の実践が、さまざまな社会現象（国際情勢・自然災害・社会の風潮など）のなかで行われることを理解できる。

2. 医人としての態度

（自己）

1） 医療行為が患者と医師の契約的な関係に基づいていることを説明できる。
2） 臨床能力を構成する要素を説明できる。

3） チーム医療を説明できる。
4） 患者の自己決定権を説明できる。
5） 患者による医療の評価の重要性を説明できる。
6） 多様な価値観を理解することができる。

（患者・家族）

7） 傾聴することができる。
8） 共感を持って接することができる。
9） 自己決定を支援することができる。
10） 心理的社会的背景を把握し、抱える問題点を抽出・整理できる。（Narrative-based medicine, NBM）
11） 患者から学ぶことができる。
12） 患者の人権と尊厳を守りながら診療を行える。
13） 終末期の患者の自己決定権を理解することができる。
14） 患者が自己決定権を行使できない場合を判断できる。
15） 患者満足度を判断しながら医療を行える。＊

（チーム医療、社会）

16） 医療チームの一員として医療を行える。
17） 必要に応じて医療チームを主導できる。＊
18） クリニカル・パスを説明できる。
19） 医療行為を評価しチーム内の他者に示唆できる。＊
20） トリアージが実践できる。
21） 不測の状況・事故の際の適切な態度を説明できる。
22） 事故・医療ミスがおきたときに適切な行動をとることができる。＊
23） 社会的な奉仕の気持ちを持つことができる。
24） 特殊な状況（僻地、国際医療）、困難な環境（災害、戦争、テロ）でチーム医療を実践できる。＊

3. 医人としての人間関係

（自己）

1） 患者医師関係の歴史的変遷を概説できる。
2） 患者とのラポールについて説明できる。
3） 医療チームにおける共（協）働（コラボレーション）について説明できる。

（患者・家族）

4） 医療におけるラポールの形成ができる。
5） 患者や家族と信頼関係を築くことができる。
6） 患者解釈モデルを実践できる。

（チーム医療、社会）

7） 患者医師関係を評価できる。
8） 医療チームメンバーの役割を理解して医療を行うことができる。
9） 360 度評価を実践できる。＊

4. 医療の実践における倫理

（自己）

1） 医の倫理について概説し、基本的な規範を説明できる。
2） 患者の基本的権利について説明できる。
3） 患者の個人情報を守秘することができる。
4） 生命倫理について概説できる。
5） 生命倫理の歴史的変遷を概説できる。

6） 臨床研究の倫理を説明できる。

（患者・家族）

7） 医学的適応・患者の希望・QOL・患者背景を考慮した臨床判断を実践できる。

8） 事前指示・DNR 指示に配慮した臨床判断を実践できる。＊

（チーム医療、社会）

9） 自分の持つ理念と医療倫理・生命倫理・社会倫理との矛盾を認識できる。

10） 自己が行った医療の倫理的配慮を社会に説明できる。

11） 臨床研究の倫理に基づく臨床試験を計画・実施できる。＊

12） 医療および臨床試験の倫理を評価できる。＊

5. 女性医師の資質・特徴

（自己）

1） 東京女子医科大学創立の精神を述べることができる。

2） 女性と男性の心理・社会的相違点を説明できる。

3） 女性のライフ・サイクルの特徴を説明できる。

4） 女性のライフ・サイクルのなかで医師のキャリア開発を計画できる。

（患者・家族）

5） 同性の医師に診療を受けることの女性の気持ちを理解する。

6） 異性の医師の診療を受ける患者心理（恐怖心・羞恥心・葛藤）を説明できる。

7） 女性が同性の患者教育をする意義を説明できる。

（チーム医療、社会）

8） 保健・公衆衛生における女性の役割を述べることができる。

9） 女性組織のなかでリーダーシップ・パートナーシップをとることができる。

10） 男女混合組織の中でリーダーシップ・パートナーシップをとることができる。

11） 女性医師としての保健・公衆衛生の役割を実践できる。＊

Ⅱ 技能・工夫・努力

A 人と人との信頼

1. 人としての基本的コミュニケーション

（自己表現）

1） 挨拶、自己紹介ができる。

2） コミュニケーションの概念・技能（スキル）を説明できる。

3） 言語的、準言語的、および非言語的コミュニケーションについて説明できる。

4） 自分の考え、意見、気持ちを話すことができる。

5） 様々な情報交換の手段（文書・電話・e メールなど）の特性を理解し適切に活用ができる。

（対同僚・友人・教員）

6） 年齢・職業など立場の異なる人と適切な会話ができる。

7） 相手の考え、意見、気持ちを聞くことができる。

8） 同僚に正確に情報を伝達できる。

9） 他の人からの情報を、第 3 者に説明することができる。

2. 医人として基本的コミュニケーション

（対患者・家族）

1） 患者に分かりやすい言葉で説明できる。

2） 患者と話すときに非言語的コミュニケーション能力を活用できる。

3） 患者の状態・気持ちに合わせた対話が行える。

4) 患者の非言語的コミュニケーションがわかる。
5) 小児・高齢の患者の話を聞きくことができる。
6) 障害を持つ人（知的・身体的・精神的）の話を聞くことができる。
7) 家族の話を聞くことができる。
8) 患者・家族の不安を理解し拒否的反応の理由を聞き出すことができる。

（対医療チーム・社会）

9) チーム医療のなかで、自分と相手の立場を理解して情報交換（報告、連絡、相談）ができる。
10) 医療連携のなかで情報交換ができる。
11) 救急・事故・災害時の医療連携で情報交換が行える。＊
12) 社会あるいは患者関係者から照会があったとき、患者の個人情報保護に配慮した適切な対応ができる。

3. 医療面接におけるコミュニケーション

（基本的技能）

1) 自己紹介を含む挨拶を励行できる。
2) 基本的医療面接法を具体的に説明し、実践できる。
3) 患者の人間性（尊厳）に配慮した医療面接が行える。
4) 患者の不安な気持ちに配慮した医療面接を行える。
5) 共感的声かけができる。
6) 診察終了時に、適切な送り出しの気持ちを表現できる。
7) 適切な環境を設定できる。

（高次的技能）

8) 小児の医療面接を行える。
9) 高齢者の医療面接を行える。
10) 患者とのコミュニケーションに配慮しながら診療録を記載できる。

4. 身体診察・検査におけるコミュニケーション

（基本的技能）

1) 身体診察・検査の必要性とそれに伴う苦痛・不快感を理解して患者と接することができる。
2) 身体診察・検査の目的と方法を患者に説明できる。
3) 説明しながら診察・検査を行うことができる。
4) 患者の安楽に配慮しながら診察・検査ができる。
5) 診察・検査結果を患者に説明できる。

（高次的技能）

6) 患者の抵抗感、プライバシー、羞恥心に配慮した声かけと診察・検査の実践ができる。
7) 検査の目的・方法・危険性について口頭で説明し、書面で同意を得ることができる。

5. 医療における説明・情報提供

（基本的技能）

1) 医療における説明義務の意味と必要性を説明できる。
2) インフォームド・コンセントの定義と必要性を説明できる。
3) 患者にとって必要な情報を整理し、分かりやすい言葉で表現できる。
4) 説明を行うための適切な時期、場所と機会に配慮できる。
5) 説明を受ける患者の心理状態や理解度について配慮できる。
6) 患者に診断過程の説明を行うことができる。

7） 患者に治療計画について説明を行い、相談して、同意を得ることができる。
8） 患者に医療の不確実性について説明することができる。
9） 患者に EBM（Evidence Based Medicine）に基づく情報を説明できる。
10）セカンドオピニオンの目的と意義を説明できる。

（高次的技能）

11） 患者の行動変容に沿った説明・情報提供ができる。
12） 患者の質問に適切に答え、拒否的反応にも柔軟に対応できる。
13） 患者の不安を理解し拒否的反応の理由を聞き出すことができる。＊
14） 患者の受容に配慮した Badnews の告知ができる。
15） 家族の気持ちに配慮した死亡宣告を行うことができる。＊
16） 家族の気持ちに配慮した脳死宣告を行うことができる。＊
17） 特殊な背景を持つ患者・家族への説明・情報提供ができる。＊
18） セカンドオピニオンを求められたときに適切に対応できる。＊
19） 先進医療・臓器移植について説明を行い、同意を得ることができる。＊
20） 臨床試験・治験の説明を行い、同意を得ることができる。＊

B 信頼できる情報の発信と交換

1. 診療情報

（基本的技能）

1） POMR に基づく診療録を作成できる。
2） 診療録の開示を適切に行える。
3） 処方箋の正しい書き方を理解している。
4） 診療情報の守秘を実践できる。

（高次的技能）

5） 病歴要約を作成できる。
6） 紹介状・診療情報提供書を作成できる。
7） 医療連携のため適切に情報を伝達できる。
8） 診療情報の守秘義務が破綻する場合を説明できる。

2. 医療安全管理

（基本的技能）

1） 医療安全管理について概説できる。
2） 医療事故はどのような状況で起こりやすいか説明できる。
3） 医療安全管理に配慮した行動ができる。
4） 医薬品・医療機器の添付資料や安全情報を活用できる。

（高次的技能）

5） 医療事故発生時の対応を説明できる。
6） 災害発生時の医療対応を説明できる。

「至誠と愛」の実践学修の概要

【6本の柱】

(1) 専門職としての態度、マナー、コミュニケーション能力（患者を理解する力、支持する力、意志を通わす力、患者医師関係）

(2) 専門職としての使命感（医学と社会に奉仕する力）

(3) 医療におけるリーダーシップ・パートナーシップ

(4) 医療人としての倫理―解釈と判断（法と倫理に基づく実践力）

(5) 女性医師のキャリア・ライフサイクル（医師として、女性医師として生涯研鑽する姿勢）

(6) 自校の理念、歴史を知る（自校教育）

S5：「至誠と愛」の実践学修 3		6本の柱					
		(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)
講義 実習	・キャリアを考える（5～6） 「女性医師のロールモデル」 実習ガイダンス 実習	○	○	○		○	
講義	・社会規範教育（2）	○	○			○	○
講義	・医療コミュニケーション（12） 「患者の自己決定と自己解決のサポート（Coaching)」	○			○		
行事	・彌生記念講演会		○	○		○	

S6：「至誠と愛」の実践学修 4		6本の柱					
		(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)
WS	・キャリアを考える（8,9） 「女性医師のロールモデル」 実習振り返り WS	○	○	○		○	
WS	・キャリアを考える（10～12） 「医師の多彩な働き方」	○	○	○		○	
講義	・臨床研究倫理（1）	○	○		○		
講義	・医療行為における法と倫理		○		○		
WS	・薬害を考える 「看護学部生、薬学部生と考える」	○	○	○	○		

セグメント 7 以降へ続く

S6「至誠と愛」の実践学修 6

Ⅰ. 講義・実習：キャリアを考える (8) (9)「女性医師のロールモデル実習　振り返り WS」

実習責任者：岩﨑直子（成人医学センター）、横田仁子（学生健康管理室）
実務担当者：佐藤梓、中村裕子（統合教育学修センター）

主　旨

医学部入学以来、新入生オリエンテーション、「チーム医療入門」、「乳幼児との対話」、「高齢者との対話」、「医療対話入門（ロールプレイ入門)」、「自己との対話」、「看護の医療対話」、「外来患者との対話」などの学修によって、さまざまな状況における対話を学んできた。

3 学年では医療に関わる人間関係の学修に入るが、この学修にあたっては、これまでの講義、実習を総括し、自分のウイークポイントを認識し、医療現場での人と人との関係形成について学修する。今後の臨床実習に備え、地域医療で活躍中の本学の卒業生をはじめとする女性医師の活躍を出版物、ウェブでの検索、ビデオ鑑賞での気づきを通して医療におけるプロフェッショナリズムに関しても理解を深める。

目　的

主体的に目標を立て、自ら実習の依頼を行うことによって学外施設で実習を行うことができる。地域医療に従事する先輩女性医師の活躍を出版物、ウェブでの検索、ビデオ鑑賞での気づきを通して、医療場面での対話、医師患者関係、チーム医療の様子、地域医療あるいは家庭医の役割などについて気づきを得る。社会から期待される医師の役割について理解を深め、医師という職業のプロフェッショナリズムに気づき、女性医師のライフサイクルを理解しつつキャリア開発を計画できるようになる。

方　法

(1)　本実習はセグメント 5 とセグメント 6 にまたがって実施される。セグメント 5 で実施される部分は当該学修の手引きの記載にあるとおりである。

(2)　夏休み終了後にグループ討論を行い、下記を中心に実習内容の振り返りを行う。

1. 何を学んだか
2. 今後の臨床実習にどのように活かしていけるか
3. 医師という職業のプロフェッショナリズムについて
4. 将来女性医師となる自分自身のキャリア形成について

評　価

1）前期・後期講義への出席、2）講義への貢献、3）後期グループ討論、4）レポートから総合的に行われる。

参考図書

「人間関係教育と行動科学テキストブック第三版「至誠と愛」の実践学修」　三恵社　2018 年

実習日程

9 月中旬　グループ討論：詳細は Web Class 参照

到達目標

大　項　目	中　　項　　目	小　　項　　目
Ⅰ. キャリアを考える（8,9） 女性医師のロールモデル実習 振り返り WS	1. 地域包括医療	1）プライマリケア
		2）保健サービス
		3）在宅医療
		4）リハビリテーション
		5）福祉介護サービス
		6）医療機関の連携
		7）地域社会での医療ニーズを説明できる
		8）医療を通じた社会・地域へ貢献を説明できる
	2. Narrative－Based Medicine	1）Patient－Oriented System
		2）傾聴、受容、共感
		3）ラポールの形成
		4）患者への情報開示
		5）患者の自己決定権
		6）チーム医療
	3. 女性医師のロールモデル実習：診療所･地域中小病院における 1. 2. の早期体験実習	1）グループ面接、実習計画の作成
		2）社会人としての実習施設へのアプローチの実践
		3）社会人としての実習施設でのマナーの実践
		4）指導医の様々な医療場面での対応、対話の見学
		5）指導医、患者、看護師、技師、事務職員との対話
		6）医療チームでの情報の共有について説明できる
	4. 実習体験の共有を目的とし体験したことを発表する	1）発表技術の実践
		2）討論技術の実践
	5. 医のプロフェッショナリズム	1）医師の使命
		2）卓越性
		3）人間性
		4）説明責任
		5）利他主義
	6. 女性医師の資質、特徴とキャリアの構築	1）東京女子医科大学創立の精神を述べることができる
		2）キャリア継続の意思を持つ
		3）自分のモデルとなる先輩を示すことが出来る
		4）女性のライフサイクルの中で医師のキャリア開発を計画できる
		5）同性の医師に診療を受ける患者心理を説明できる
		6）女性が同性の患者教育をする意義を説明できる
		7）保健公衆衛生における女性の役割を述べることができる

Ⅱ. 講義：臨床研究倫理（1）

時田　大輔（研究推進センター）

医行為の妥当性の根拠は臨床研究からもたらされるが、それを支えるもののひとつが研究倫理である。臨床研究の倫理は生命倫理の一部であり、研究は行われなければならないものであるならば、それは正しい方法（科学性）で実施されるべきであるだけでなく、少数の被験者が社会のリスクを背負うこと、また被験者の人権に対する倫理的配慮が必要という考えに基づく。

臨床研究を実施するためには 3 つの必須要件があり、その意義について学ぶ。さらに、臨床研究の現場においてこれを担保する制度や手続を理解することが本講義の目的である。

Ⅲ. 講義：医療行為における法と倫理

横野　恵、佐藤　梓

この講義では、医療に関わる法と倫理の問題を考える基礎を学ぶことを目的とします。「1. 医師の規律と医師法」では、医の倫理を支える自立のあり方、本法における医師法による医師の統制を取り上げます。「2. 医療行為と法」では、医療行為の法的位置づけと、その前提となっている医療行為の性質、さらに医療行為を適法に行うための要件を確認します。「3. インフォームド・コンセント（IC）」では IC 概念の基礎と沿革、および法原則としての IC について解説します。

なお、今回は時間が限られているため、個別の論点について時間を割くことができません。以下の参考書を参照してください。

『医学生のための生命倫理』（盛永審一郎・松島哲久編、丸善出版、2012 年）

到達目標

大　項　目	中　　項　　目	小　　項　　目
Ⅱ. 臨床研究倫理（1）	1. 臨床研究の倫理的規範	1）臨床研究の歴史的流れとその意味を概説できる
		2）ヘルシンキ宣言の基本原則を述べることができる
	2. 臨床研究の実施要件	1）臨床研究を実施するための必須要件を述べることができる
		2）日常診療と臨床研究の違いを述べることができる
		3）治験その法的背景を述べることができる
Ⅲ. 医療行為における法と倫理	1. 医師の規律と医師法	1）プロフェッショナルの自律と倫理
		2）医師法による医師の統制
	2. 医療行為と法	1）医療行為の性質と法的位置づけ
		2）適法な医療行為の要件
	3. インフォームド・コンセント（IC）	1）IC とは
		2）IC の沿革
		3）患者の同意原則
		4）医師の説明義務

Ⅳ. 講義・WS：薬害を考える「看護学部生、薬学部生と考える」

佐藤 梓、花房 則男、深谷薬剤師長、薬害当事者
（看護学部）吉武 久美子、吉田 千鶴

目　的

薬学生との協働ワークショップを通して、患者を中心とするチーム医療のメンバーである薬剤師との協働について理解を深めることがねらいである。題材として薬害を取り上げ、患者講師の講演を聴き、患者をどのようにケアしていけばよいのか、薬害を繰り返さないためには医療者としてどうすればよいのか、などについて薬学生とともに考える。薬剤部長による講義とグループワークにより、医師と薬剤師それぞれの職能、考え方の違いと共通点、チーム医療におけるそれぞれの役割などを学び、今後の患者中心医療において互いにリスペクトをもって連携する力を涵養することを目的とする。

方　法

現在、東京女子医大病院などにおいて実務実習を行っている薬学部 5 年生を含むグループ編成でワークショップを行う。

1. プレアンケートの実施
2. 薬害被害に遭われた患者講師・家族の講演、薬剤部長の講演
3. グループディスカッションとプロダクトの作成
4. 発表によるプロダクトの共有
5. 講評とまとめ
6. ポストアンケート、自己診断シートの記入

到達目標

大　項　目	中　　項　　目	小　　項　　目
Ⅳ. 薬害を考える「看護学部生、薬学部生と考える」	1. チーム医療	1）医師と薬剤師の職能
		2）患者を中心とするチーム医療
		3）医師と薬剤師のチーム医療におけるそれぞれの役割
		4) チーム医療におけるコミュニケーション･協働
		5）医学部生と薬学部生の視点の違いと共通点
	2. 薬害について	1）薬害とは
		2）医薬品の有用性と医薬品の有害事象
		3）医療者と患者との信頼関係
		4）患者・家族の心理
		5）患者の権利
		6）薬害を繰り返さないためには
		7）医薬品開発において医療者が果たすべき役割
		8）患者からの学び

Ⅴ. 講義・WS：キャリアを考える（10~12）「医師の多彩な働き方」

岩﨑 直子、横田 仁子、石津 綾子

主　旨

医学部卒業後、初期研修を修了するといよいよ一人の医師としての人生を歩み始めることとなる。女性医師としてのキャリアのスタート地点である。そう遠くないこの時点でどのような道があるのだろうか。「大学等の教育機関で診療・研究・教育に従事する」、「大学や研究所で基礎研究に従事する」、「市中病院あるいは診療所で臨床医として地域医療に貢献する」、の他にも「産業医として勤労者の保健衛生管理に従事する」、「行政の立場から保健衛生業務に従事する」、「WHO を代表とする国際保健機関に属する」、「国境なき医師団等の組織に属して医療活動奉仕を行う」、「NPO 法人を介して国内外で医療・保健衛生業務に従事する」、など様々な選択肢が存在し、さらに医師としての能力を発揮する方法を自分自身で開拓することもできよう。このように多彩な活躍の場があることを理解し、医師を目指した動機を振り返りつつ将来展望へと発展させていくことにより「医学を学び続けるのはなぜか」という問いを深化させることができるであろう。

目　的

本ワークショップでは、様々な立場において医師としての人生を歩まれている先輩医師の講義を拝聴し、働き方の多様性について眼を開き、将来に対する視野を広げることを目的とする。さらに WS による議論を通じて医師（女性医師）としてのキャリアについて考察を深める。

方　法

1．3 名の講師の講演を拝聴する。
2．グループディスカッションとプロダクト作成
3．5〜6 人のグループを作り、自由にテーマを決めて意見を出し合う。
4．代表者が書画カメラを用いて発表する（時間の都合で数グループの発表とする）。
5．アンケートと自己診断シートの記入

講義１：「基礎医学研究者のキャリア」　解剖学（顕微解剖学・形態形成学分野）石津　綾子

「至誠と愛」の実践学修の 6 つの柱
（2）専門職としての使命感（医学と社会に奉仕する力）
（5）女性医師のキャリア・ライフサイクル

医学研究は生命現象の包括的な理解と人類の福祉への貢献を大きな目標としている。生命科学研究は細分化と専門化が進行する一方、基礎研究で得られた知見を医療現場へ応用するためのトランスレーショナル・リサーチが普及し始めている。基礎研究なしに将来の医学の進歩はありえないにもかかわらず、現在、基礎医学研究に携わる医学部出身者が激減し危機的な状況に直面しており、その対策として本学においても基礎研究医を養成するプログラムが構築・運営されつつある。ミクロ科学現象から個体生命の連携的制御を統合的に理解することは基礎研究医に特化した視点であり、疾病の本質的な課題の解決に役立つものである。

講義 2：「公衆衛生行政に携わって」　　大田区保健所感染症対策課長　高橋　千香

「至誠と愛」の実践学修の 6 つの柱
(1) 専門職としての態度、マナー、コミュニケーション能力（患者を理解する力、支持する力、意志を通わす力、患者医師関係）
(2) 専門職としての使命感（医学と社会に奉仕する力）
(5) 女性医師のキャリア・ライフサイクル

臨床医学の現場では医師は、患者個人を対象として、診断・治療を行っていきますが、行政における医師も同じく、「地域の課題」を診断し、「健康増進に寄与するため」の治療＝様々な対策を行っています。関わる分野としては住民に身近な母子保健や健康づくり・NCD 予防等に関するサービスから、感染症対策、環境保健、食品衛生、薬事衛生など多岐にわたります。

具体的な行政医師（保健所）の業務について、また、女性医師の職場として行政の魅力についてお伝えし、医師の使命とは何であるのか考えてみたいと思います。

講義 3：「国際協力には哲学が必要と教わった」　　若松記念病院理事長　帖佐　理子

「至誠と愛」の実践学修の 6 つの柱
(2) 専門職としての使命感（医学と社会に奉仕する力）
(5) 女性医師のキャリア・ライフサイクル

学生時代に立てた計画通りには人生は進まなかった。それでも、気付くと小学生の時にぼんやりと思い描いていた夢に近い事をしている。父の後を継いで 74 床、職員 110 名の病院の理事長であり、糖尿病専門医である。ポリオ根絶の仕事をしてきた夫と、来年成人式を迎える娘がいる。NPO“じゃっど”を創立しラオス国で学校保健の援助を 20 年続けている。乳がんに罹患し 10 年。NPO ピンクリボンかごしまの理事長として 8 年。医師で良かったと思いながら、楽しく生きている。ドイツ、フィリピン、タイ、ラオスでそれぞれ半年以上生活し、多種多様な価値観に遭遇できたことが、人生哲学を得て、生きることを易しくしたように思う。

到達目標

大　項　目	中　　項　　目	小　　項　　目
Ⅴ.「キャリアを考える(10~12)「医師の多彩な働き方」	1. 臨床研究と基礎研究	1）学部のミッション
	2. 医学研究者の果たす役割	
Ⅴ-1 基礎医学研究者キャリア	3. 医学部出身の基礎医学研究者不足の実態	1） translational research － from bench to bedside
	4. 加速される生物医学研究	1）ゲノム医学・生命科学技術
		2）疾病のメカニズム
	5. 社会への還元	1）診断・治療法の開発
Ⅴ-2 公衆衛生行政に携わって	1. 医師の業務	1）医師法第 1 条
	2. 公衆衛生行政とは	2）憲法第 25 条

		3）公衆衛生 4）地域保健法、保健所 5）治療、予防
V-3 国際協力には哲学が必要と教わった	1. 受容 2. 人生 3. 助けを求める 4. 医師 5. 雇用 6. 資格	1）驚きの常識、格差社会、クーデター下の日常 2）国際保健、哲学、いかに行き死ぬか 3）育児、45 歳で留学 4）父の死、自分の乳がん、検死 5）孤独、責任 6）糖尿病専門医、途上国への応用

科目名	研究プロジェクト
科目責任者(所属)	藤枝　弘樹

到達目標	研究プロジェクトは、医師に必要な科学的思考力や研究マインドの涵養を目的とした縦断カリキュラムである。学生は希望する学内の研究部署に配属され、各自が個別のテーマを設定して研究活動を行う。必修期間は第3学年の12月（セグメント6）の3週間であるが、学生の意欲次第でこれ以前に開始したり、これ以後も継続することができる。研究の一連のプロセス（研究の立案、研究方法の習得、研究結果の記録と評価、文献の検索、研究成果の発表、研究倫理の遵守等）を体験することで、医学研究の目的、意義や方法について理解を深め、科学的探究心と思考力を培うことを目標とする。研究を適切に実施するためには、研究における心得やルールを学ぶ必要がある。3週間の研究を開始する前に、研究倫理の教本の熟読、eラーニング、グループワークの実習によって誠実な研究活動とは何かを十分理解しておくことが必要である。

アウトカム・ロードマップに係わる到達目標/項目番号	データを読み解釈できる。	Ⅰ-1-B-(1-2)-①
	実習に必要な技術を実践できる。	Ⅰ-1-C-(1-2)-①
	安全に配慮して実習・研修を行える。	Ⅰ-1-C-(1-2)-②
	現象・事例から学ぶべきことを発見できる。	Ⅰ-2-A-(1-2)-①
	仮説を導くことができる	Ⅰ-2-B-(1-2)-①
	事象、現象、観察などからその原因について考えられる。	Ⅰ-2-B-(1-2)-②
	既知と未知の問題を明らかにできる。	Ⅰ-2-C-(1-2)-①
	医学の発展に寄与した科学的発見を述べられる。	Ⅰ-2-C-(1-2)-②
	問題の優先度および重要度を判断できる。	Ⅰ-2-A-(3-4)-①
	問題の科学的重要性を評価できる。	Ⅰ-2-B-(3-4)-①
	事例から自分の知らないことを発見できる。	Ⅰ-2-C-(3-4)-①
	未知の問題を解決する方法を見つけることができる。	Ⅰ-2-C-(3-4)-②
	問題解決のための情報収集ができる。	Ⅰ-3-A-(1-2)-①
	仮説を証明する手順を説明できる。	Ⅰ-3-A-(1-2)-②
	情報に即して適切な解決方法を導くことができる。	Ⅰ-3-B-(1-2)-①
	複数の問題解決法を考えることができる。	Ⅰ-3-B-(1-2)-②
	問題解決結果の妥当性を評価できる。	Ⅰ-3-C-(1-2)-①
	結果に予想される誤差を考えられる。	Ⅰ-3-C-(1-2)-②
	事例に即した問題解決のための情報検索ができる。	Ⅰ-3-A-(3-4)-①
	病態を明らかにする方法を挙げることができる。	Ⅰ-3-B-(3-4)-①
	事例で診療上の問題を解決する方法・手段を明らかにできる。	Ⅰ-3-B-(3-4)-②
	適切な問題解決を行ったか検証できる。	Ⅰ-3-C-(3-4)-①
	結果の客観的評価ができる。	Ⅰ-3-C-(3-4)-②
	結果の解釈の限界を明らかにできる。	Ⅰ-3-C-(3-4)-③
	自分の考えを他者に伝えることができる。	Ⅰ-4-A-(1-2)-①
	結論とその根拠が明確な文書を作成できる。	Ⅰ-4-B-(1-2)-①
	研究・実習の報告書が作成できる。	Ⅰ-4-B-(1-2)-②
	文書の要約を作成できる。	Ⅰ-4-B-(1-2)-③
	簡潔で要点が明確な質問と回答ができる。	Ⅰ-4-C-(1-2)-①
	相手の理解に合わせて、説明できる。	Ⅰ-4-C-(1-2)-②
	自己学修の結果を適切に伝えられる。	Ⅰ-4-C-(1-2)-③

	医学的情報をわかりやすく伝えることができる。	Ⅰ-4-A-(3-4)-①
	研究・実習・症例などの要約が作成できる。	Ⅰ-4-B-(3-4)-①
	研究・実習・症例などの背景、目的、方法、結果、考察を適切に発表できる。	Ⅰ-4-C-(3-4)-①
	実験・実習などで得られた結果を評価し予想との相違を明確にできる。	Ⅰ-5-A-(1-2)-②
	情報の信頼度を評価できる。	Ⅰ-5-A-(1-2)-③
	データ・結果の根拠を批判的に説明できる。	Ⅰ-5-A-(3-4)-①
	結果・情報をもとに新たな仮説を立てられる。	Ⅰ-5-A-(3-4)-②
	根拠となる文献を検索できる。	Ⅰ-5-A-(3-4)-③
	個人情報保護について説明できる。	Ⅰ-6-B-(1-2)-①
	研究倫理の概念について述べることができる。	Ⅰ-6-C-(1-2)-①
	研究倫理に配慮して実験・実習の結果報告書を作成できる。	Ⅰ-6-C-(1-2)-②
	患者情報が含まれる文書・電子媒体を適切に使用できる。	Ⅰ-6-B-(3-4)-③
	基礎研究における倫理指針を概説できる。	Ⅰ-6-C-(3-4)-①
	利益相反(Conflict of interest)について説明できる。	Ⅰ-6-C-(3-4)-②
	臨床研究の倫理指針を概説できる。	Ⅰ-6-C-(5-6)-①
	医学研究の重要性について概説できる。	Ⅱ-3-B-(1-2)-①
	基礎医学研究の意義と現在の動向を概説できる。	Ⅱ-3-B-(3-4)-①
	医学研究成果の意義と応用・将来性を説明できる。	Ⅱ-3-B-(3-4)-②
	臨床や医学研究の動向に目を向け概説できる。	Ⅱ-3-B-(3-4)-③

学修(教育)方法	実習
評価方法 (1)総括的評価の対象	①学生の出席状況と活動態度、②配属部署で開催される研究発表、③研究レポート、④アウトカム・ロードマップを考慮して作成された評価シートの記載、⑤研究倫理(eラーニング、グループワーク、レポート)、の5つの観点を総合的に考慮して成績を評価する。

評価方法 (2)評価項目	1)講義、国内外の教科書・論文、検索情報等の内容について、重要事項や問題点を抽出できる。	A-2-2)①
	2)得られた情報を統合し、客観的・批判的に整理して自分の考えを分かりやすく表現できる。	A-2-2)②
	3)実験・実習の内容を決められた様式に従って文書と口頭で発表できる。	A-2-2)③
	4)各自の興味に応じて選択制カリキュラム(医学研究等)に参加する。	A-2-2)⑤
	5)研究は、医学・医療の発展や患者の利益の増進を目的として行われるべきことを説明できる。	A-8-1)①
	6)生命科学の講義・実習で得た知識を基に、診療で経験した病態の解析ができる。	A-8-1)②
	7)患者や疾患の分析を基に、教科書・論文等から最新の情報を検索・整理統合し、疾患の理解・診断・治療の深化につなげることができる。	A-8-1)③
	8)抽出した医学・医療情報から新たな仮説を設定し、解決に向けて科学的研究(臨床研究、疫学研究、生命科学研究等)に参加することができる。	A-8-1)④

評価方法 (3)評価基準	S、A、B、C、Dのいずれかとして判定し、C以上を合格とする。
伝達事項	第3学年4月に第1回目、11月に第2回目のオリエンテーションを実施するので必ず出席すること。

教科書・参考図書

No	書籍名	著者名	上段:出版社 下段:出版年	ISBN
1.	『科学の健全な発展のために　—誠実な科学者の心得—』	日本学術振興会「科学の健全な発展のために」編集委員会 編	丸善出版 2015	978-4-621-08914-9
2.	『【参考図書】事例から学ぶ公正な研究活動　～気づき、学びのためのケースブック～』	森田育男、新谷由紀子、岡林浩嗣 監修	国立研究開発法人　日本医療研究開発機構	

				2017	
	3.	『【参考図書】医学研究・臨床試験の倫理　わが国の事例に学ぶ』	井上悠輔、一家綱邦	日本評論社 2018	978-4-535-98453-0
	4.	『【参考図書】研究不正　科学者の捏造、改竄、盗用』	黒木登志夫	中公新書 2016	978-4-12-102373-5

添付ファイル ※3つまで、1ファイルにつき5MBまで、圧縮ファイルOK	

授業予定表

回数	年月日	時限	授業形式	教室	開始終了時間
1.	2022/11/04(金)	1時限	実習	講義室 201	09:00-10:10
	タイトル	研究倫理 グループワーク			
	担当者(所属)	塚原　富士子 本多　祥子			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)				1
2.	2022/11/04(金)	2時限	実習	講義室 201	10:25-11:35
	タイトル	研究倫理 グループワーク			
	担当者(所属)	塚原　富士子 本多　祥子			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)				2
3.	2022/11/18(金)	2時限	実習	講義室 303	10:25-11:35
	タイトル	個人情報の取扱い			
	担当者(所属)	西村　勝治			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)				3
4.	2022/11/22(火)	3時限	実習	講義室 201	12:30-13:40
	タイトル	研究プロジェクト直前オリエンテーション			
	担当者(所属)	未定			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-13-1)①			
	講義資料番号/連番(LMS)				4
5.	2022/11/28(月)	1時限	実習	-	09:00-17:00
	タイトル	研究プロジェクト			
	担当者(所属)	ー ー			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)				5
6.	2022/11/28(月)	2時限	実習	-	09:00-17:00

	タイトル	研究プロジェクト			
	担当者(所属)	ー ー			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)				6
7.	2022/11/28(月)	3時限	実習	-	09:00-17:00
	タイトル	研究プロジェクト			
	担当者(所属)	ー ー			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)				7
8.	2022/11/28(月)	4時限	実習	-	09:00-17:00
	タイトル	研究プロジェクト			
	担当者(所属)	ー ー			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)				8
9.	2022/11/28(月)	5時限	実習	-	09:00-17:00
	タイトル	研究プロジェクト			
	担当者(所属)	ー ー			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)				9
10.	2022/11/28(月)	6時限	実習	-	09:00-17:00
	タイトル	研究プロジェクト			
	担当者(所属)	ー ー			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)				10
11.	2022/11/29(火)	1時限	実習	-	09:00-17:00
	タイトル	研究プロジェクト			
	担当者(所属)	ー ー			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)				11
12.	2022/11/29(火)	2時限	実習	-	09:00-17:00
	タイトル	研究プロジェクト			
	担当者(所属)	ー ー			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)				12
13.	2022/11/29(火)	3時限	実習	-	09:00-17:00
	タイトル	研究プロジェクト			
	担当者(所属)	ー ー			

	コアカリキュラム/S10国試出題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)				13
14.	2022/11/29(火)	4時限	実習	-	09:00-17:00
	タイトル	研究プロジェクト			
	担当者(所属)	ー ー			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)				14
15.	2022/11/29(火)	5時限	実習	-	09:00-17:00
	タイトル	研究プロジェクト			
	担当者(所属)	ー ー			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)				15
16.	2022/11/29(火)	6時限	実習	-	09:00-17:00
	タイトル	研究プロジェクト			
	担当者(所属)	ー ー			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)				16
17.	2022/11/30(水)	1時限	実習	-	09:00-15:05
	タイトル	研究プロジェクト			
	担当者(所属)	ー ー			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)				17
18.	2022/11/30(水)	2時限	実習	-	09:00-15:05
	タイトル	研究プロジェクト			
	担当者(所属)	ー ー			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)				18
19.	2022/11/30(水)	3時限	実習	-	09:00-15:05
	タイトル	研究プロジェクト			
	担当者(所属)	ー ー			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)				19
20.	2022/11/30(水)	4時限	実習	-	09:00-15:05
	タイトル	研究プロジェクト			
	担当者(所属)	ー ー			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準				

	講義資料番号/連番(LMS)				20
21.	2022/12/01(木)	1時限	実習	-	09:00-17:00
	タイトル	研究プロジェクト			
	担当者(所属)	ー ー			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)				21
22.	2022/12/01(木)	2時限	実習	-	09:00-17:00
	タイトル	研究プロジェクト			
	担当者(所属)	ー ー			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)				22
23.	2022/12/01(木)	3時限	実習	-	09:00-17:00
	タイトル	研究プロジェクト			
	担当者(所属)	ー ー			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)				23
24.	2022/12/01(木)	4時限	実習	-	09:00-17:00
	タイトル	研究プロジェクト			
	担当者(所属)	ー ー			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)				24
25.	2022/12/01(木)	5時限	実習	-	09:00-17:00
	タイトル	研究プロジェクト			
	担当者(所属)	ー ー			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)				25
26.	2022/12/01(木)	6時限	実習	-	09:00-17:00
	タイトル	研究プロジェクト			
	担当者(所属)	ー ー			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)				26
27.	2022/12/02(金)	1時限	実習	-	09:00-17:00
	タイトル	研究プロジェクト			
	担当者(所属)	ー ー			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)				27
28.	2022/12/02(金)	2時限	実習	-	09:00-17:00

	タイトル	研究プロジェクト			
	担当者(所属)	ー ー			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)				28
29.	2022/12/02(金)	3時限	実習	-	09:00-17:00
	タイトル	研究プロジェクト			
	担当者(所属)	ー ー			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)				29
30.	2022/12/02(金)	4時限	実習	-	09:00-17:00
	タイトル	研究プロジェクト			
	担当者(所属)	ー ー			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)				30
31.	2022/12/02(金)	5時限	実習	-	09:00-17:00
	タイトル	研究プロジェクト			
	担当者(所属)	ー ー			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)				31
32.	2022/12/02(金)	6時限	実習	-	09:00-17:00
	タイトル	研究プロジェクト			
	担当者(所属)	ー ー			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)				32
33.	2022/12/06(火)	1時限	実習	-	09:00-17:00
	タイトル	研究プロジェクト			
	担当者(所属)	ー ー			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)				33
34.	2022/12/06(火)	2時限	実習	-	09:00-17:00
	タイトル	研究プロジェクト			
	担当者(所属)	ー ー			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)				34
35.	2022/12/06(火)	3時限	実習	-	09:00-17:00
	タイトル	研究プロジェクト			
	担当者(所属)	ー ー			

	コアカリキュラム/S10国試出題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)				35
36.	2022/12/06(火)	4時限	実習	-	09:00-17:00
	タイトル	研究プロジェクト			
	担当者(所属)	ー ー			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)				36
37.	2022/12/06(火)	5時限	実習	-	09:00-17:00
	タイトル	研究プロジェクト			
	担当者(所属)	ー ー			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)				37
38.	2022/12/06(火)	6時限	実習	-	09:00-17:00
	タイトル	研究プロジェクト			
	担当者(所属)	ー ー			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)				38
39.	2022/12/07(水)	1時限	実習	-	09:00-15:05
	タイトル	研究プロジェクト			
	担当者(所属)	ー ー			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)				39
40.	2022/12/07(水)	2時限	実習	-	09:00-15:05
	タイトル	研究プロジェクト			
	担当者(所属)	ー ー			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)				40
41.	2022/12/07(水)	3時限	実習	-	09:00-15:05
	タイトル	研究プロジェクト			
	担当者(所属)	ー ー			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)				41
42.	2022/12/07(水)	4時限	実習	-	09:00-15:05
	タイトル	研究プロジェクト			
	担当者(所属)	ー ー			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)				42

43.	2022/12/08(木)	1時限	実習	-	09:00-17:00
	タイトル	研究プロジェクト			
	担当者(所属)	ー ー			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)				43
44.	2022/12/08(木)	2時限	実習	-	09:00-17:00
	タイトル	研究プロジェクト			
	担当者(所属)	ー ー			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)				44
45.	2022/12/08(木)	3時限	実習	-	09:00-17:00
	タイトル	研究プロジェクト			
	担当者(所属)	ー ー			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)				45
46.	2022/12/08(木)	4時限	実習	-	09:00-17:00
	タイトル	研究プロジェクト			
	担当者(所属)	ー ー			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)				46
47.	2022/12/08(木)	5時限	実習	-	09:00-17:00
	タイトル	研究プロジェクト			
	担当者(所属)	ー ー			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)				47
48.	2022/12/08(木)	6時限	実習	-	09:00-17:00
	タイトル	研究プロジェクト			
	担当者(所属)	ー ー			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)				48
49.	2022/12/09(金)	1時限	実習	-	09:00-17:00
	タイトル	研究プロジェクト			
	担当者(所属)	ー ー			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)				49
50.	2022/12/09(金)	2時限	実習	-	09:00-17:00
	タイトル	研究プロジェクト			

	担当者(所属)	ー ー			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)				50
51.	2022/12/09(金)	3時限	実習	-	09:00-17:00
	タイトル	研究プロジェクト			
	担当者(所属)	ー ー			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)				51
52.	2022/12/09(金)	4時限	実習	-	09:00-17:00
	タイトル	研究プロジェクト			
	担当者(所属)	ー ー			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)				52
53.	2022/12/09(金)	5時限	実習	-	09:00-17:00
	タイトル	研究プロジェクト			
	担当者(所属)	ー ー			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)				53
54.	2022/12/09(金)	6時限	実習	-	09:00-17:00
	タイトル	研究プロジェクト			
	担当者(所属)	ー ー			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)				54
55.	2022/12/12(月)	1時限	実習	-	09:00-17:00
	タイトル	研究プロジェクト			
	担当者(所属)	ー ー			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)				55
56.	2022/12/12(月)	2時限	実習	-	09:00-17:00
	タイトル	研究プロジェクト			
	担当者(所属)	ー ー			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)				56
57.	2022/12/12(月)	3時限	実習	-	09:00-17:00
	タイトル	研究プロジェクト			
	担当者(所属)	ー ー			
	コアカリキュラム/S10国試出				

	題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)				57
58.	2022/12/12(月)	4時限	実習	-	09:00-17:00
	タイトル	研究プロジェクト			
	担当者(所属)	ー ー			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)				58
59.	2022/12/12(月)	5時限	実習	-	09:00-17:00
	タイトル	研究プロジェクト			
	担当者(所属)	ー ー			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)				59
60.	2022/12/12(月)	6時限	実習	-	09:00-17:00
	タイトル	研究プロジェクト			
	担当者(所属)	ー ー			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)				60
61.	2022/12/13(火)	1時限	実習	-	09:00-17:00
	タイトル	研究プロジェクト			
	担当者(所属)	ー ー			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)				61
62.	2022/12/13(火)	2時限	実習	-	09:00-17:00
	タイトル	研究プロジェクト			
	担当者(所属)	ー ー			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)				62
63.	2022/12/13(火)	3時限	実習	-	09:00-17:00
	タイトル	研究プロジェクト			
	担当者(所属)	ー ー			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)				63
64.	2022/12/13(火)	4時限	実習	-	09:00-17:00
	タイトル	研究プロジェクト			
	担当者(所属)	ー ー			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)				64

65.	2022/12/13(火)	5時限	実習	-	09:00-17:00
	タイトル	研究プロジェクト			
	担当者(所属)	ー ー			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)				65
66.	2022/12/13(火)	6時限	実習	-	09:00-17:00
	タイトル	研究プロジェクト			
	担当者(所属)	ー ー			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)				66
67.	2022/12/14(水)	1時限	実習	-	09:00-15:05
	タイトル	研究プロジェクト			
	担当者(所属)	ー ー			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)				67
68.	2022/12/14(水)	2時限	実習	-	09:00-15:05
	タイトル	研究プロジェクト			
	担当者(所属)	ー ー			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)				68
69.	2022/12/14(水)	3時限	実習	-	09:00-15:05
	タイトル	研究プロジェクト			
	担当者(所属)	ー ー			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)				69
70.	2022/12/14(水)	4時限	実習	-	09:00-15:05
	タイトル	研究プロジェクト			
	担当者(所属)	ー ー			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)				70
71.	2022/12/15(木)	1時限	実習	-	09:00-17:00
	タイトル	研究プロジェクト			
	担当者(所属)	ー ー			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)				71
72.	2022/12/15(木)	2時限	実習	-	09:00-17:00
	タイトル	研究プロジェクト			

	担当者(所属)	ー ー			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)				72
73.	2022/12/15(木)	3時限	実習	-	09:00-17:00
	タイトル	研究プロジェクト			
	担当者(所属)	ー ー			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)				73
74.	2022/12/15(木)	4時限	実習	-	09:00-17:00
	タイトル	研究プロジェクト			
	担当者(所属)	ー ー			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)				74
75.	2022/12/15(木)	5時限	実習	-	09:00-17:00
	タイトル	研究プロジェクト			
	担当者(所属)	ー ー			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)				75
76.	2022/12/15(木)	6時限	実習	-	09:00-17:00
	タイトル	研究プロジェクト			
	担当者(所属)	ー ー			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)				76
77.	2022/12/16(金)	1時限	実習	-	09:00-17:00
	タイトル	研究プロジェクト			
	担当者(所属)	ー ー			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)				77
78.	2022/12/16(金)	2時限	実習	-	09:00-17:00
	タイトル	研究プロジェクト			
	担当者(所属)	ー ー			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)				78
79.	2022/12/16(金)	3時限	実習	-	09:00-17:00
	タイトル	研究プロジェクト			
	担当者(所属)	ー ー			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準				

	講義資料番号/連番(LMS)				79
80.	2022/12/16(金)	4時限	実習	-	09:00-17:00
	タイトル	研究プロジェクト			
	担当者(所属)	ー ー			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)				80
81.	2022/12/16(金)	5時限	実習	-	09:00-17:00
	タイトル	研究プロジェクト			
	担当者(所属)	ー ー			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)				81
82.	2022/12/16(金)	6時限	実習	-	09:00-17:00
	タイトル	研究プロジェクト			
	担当者(所属)	ー ー			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)				82
83.	2023/01/20(金)	1時限	実習	講義室 303	09:00-17:45
	タイトル	ポスター発表会			
	担当者(所属)	ー ー			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)				83
84.	2023/01/20(金)	2時限	実習	講義室 303	09:00-17:45
	タイトル	ポスター発表会			
	担当者(所属)	ー ー			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)				84
85.	2023/01/20(金)	3時限	実習	講義室 303	09:00-17:45
	タイトル	ポスター発表会			
	担当者(所属)	ー ー			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)				85
86.	2023/01/20(金)	4時限	実習	講義室 303	09:00-17:45
	タイトル	ポスター発表会			
	担当者(所属)	ー ー			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)				86
87.	2023/01/20(金)	5時限	実習	講義室 303	09:00-17:45

	タイトル	ポスター発表会			
	担当者(所属)	ー ー			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)				87
88.	2023/01/20(金)	6時限	実習	講義室 303	09:00-17:45
	タイトル	ポスター発表会			
	担当者(所属)	ー ー			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)				88

〔研究プロジェクト〕

大　項　目	中　　項　　目	小　　項　　目
研究	1. 基礎研究	1) 問題点抽出 2) 研究立案と作業仮説 3) 材料と方法の選定 4) 結果のまとめ 5) 考察と結論（反省と展望を含む）
	2. 臨床研究	1) 問題点抽出 2) 研究立案と作業仮説 3) 材料と方法の選定 4) 結果のまとめ 5) 考察と結論（反省と展望を含む）
	3. 症例報告	1) 背景と目的 2) 症例呈示の要約と表現の技法 3) 考察と結論
研究倫理	1.研究倫理教材の通読及び e ラーニング	研究倫理教材「科学の健全な発展のために」を通読して研究倫理 e ラーニング（eL CoRE）を受講することにより、研究倫理について自己学修する。
	2.グループワーク	事例を基にグループ討論を行い、研究倫理に関する理解を深める。

付記：配属学生は、大項目「研究」の三種類の中項目（1. 基礎研究、2. 臨床研究、3. 症例報告）のうち一項目を選択する。

科目名	国際コミュニケーション
科目責任者(所属)	長坂　安子

到達目標	将来医療人として国際的に活躍できる人材を育成するために、英語を用いて、臨床で患者および医療者とコミュニケーションができる能力を養成する。単に、英語を話すだけでなく、異なる文化的背景を持つ人の倫理観・社会観・死生観そして専門的言語についての理解を伴うコミュニケーション能力をも開発する。さらに、言語によるコミュニケーションに必要な、読む力・書く力を合わせて教育し、国際的に全人的医療を行える人材育成を目標とする。 セグメント5　国際コミュニケーション到達目標及び概要 セグメント5では、医学、臨床の場面で必要な英語運用を習得する最初のステップとして、症例報告及び医学論文に焦点を置き、講義及び医学英語を使いながらの演習を行う。英語を介して、症例報告・医学論文の基本的なフォーマットを理解することを到達目標とする。 セグメント3，4に引き続き、医学関連のトピックに関心を持ち、英語で学ぼうという自主的 な学修姿勢を維持するためにも、必要な書類、文献を英語で読む習慣を身につけるとともに、 e-learning による医学英語の語彙学修の継続性を定着させる。 セグメント6　国際コミュニケーション到達目標及び概要 セグメント5では、医学、臨床の場面で必要な英語運用を習得する最初のステップとして、症例報告及び医学論文に焦点を置き、講義及び医学英語を使いながらの演習を行い、英語を介して、症例報告・医学論文の基本的なフォーマットを理解することを到達目標としてきた。 セグメント6 ではセグメント5 に引き続き、医学関連のトピックに関心を持ち、英語で学ぼうという自主的な学修姿勢を維持するとともに、e-learning による医学英語の語彙学修の継続性を定着させる。また診療で使われる基礎的な英語表現に慣れる。	
アウトカム・ロードマップに係わる到達目標/項目番号	患者に分かる言葉を選択できる。	I-4-A-(3-4)-② I-4-B-(3-4)-① II-2-A-(3-4)-① II-2-C-(3-4)-① II-2-C-(3-4)-②
学修(教育)方法	講義・演習	
評価方法 (1)総括的評価の対象	セグメント5の国際コミュニケーションと一緒に通年で評価する。 具体的には、授業への参加度、語彙テスト、e-learning 修了基準達成度および、レポート提出により評価する。	
評価方法 (2)評価項目	1) 医学関連のトピックに関心を持ち、英語で学ぼうという自主的な学修姿勢を維持できる。 2) e－learning による医学英語の語彙学修を継続的に行うことができる。 3) 医学英語の語彙形成と発音を演習形式で習得することができる。 4) 定期的に行われる語彙テストを通して、学修の自己評価を行うことができる。 5) 英語を母語とする医師による医療関連のレクチャーを聴き、内容を理解するとともに、不明な点を質問したり、自分の意見などを英語で表現できるようにする。	A-2-1)①②③④⑤ A-4-1)①② C-5-7)⑥⑦⑧ A-2-1)①②③④⑤ A-4-1)①② A-2-1)①②③④⑤ A-2-2)①② A-4-1)①② A-2-1)①②③⑤ A-2-1)①②③④⑤ A-2-2)①②③ A-4-1)①② C-5-7)⑥⑦⑧ A-8-1)①
評価方法 (3)評価基準	セグメント5の国際コミュニケーションと一緒に通年で評価するが、上記の評価項目について S.極めて優れている(90%以上) A.優れている(80%以上90%未満) B.平均的にできている(70%以上80%未満) C.最低限はできている(60%以上70%未満) D.劣っていて問題がある(60%未満) のいずれかとして判定し、C以上を合格とする。	
伝達事項	1)授業への参加度を重視。授業回数が少ないので、欠席・遅刻は大きなマイナス、また、講義中での積極的な回答や質問はプラスとして評価。 2)各講義で出される提出課題は提出期限を守ることが大切。(S,A,B,C,Dで評価され、提出期限を過ぎた場合はC以下。未提出はO。) 3)語彙テストが、セグメント5で2回、セグメント6では3回実施されますが、これはe-learningの学修成果をみるためのもの。各回60%以上は正答できるよう学修を続けること。問題用紙は保存して復習に役立てること。 4)毎回の講義1週間前までにはポータルサイトで準備学修などの連絡をします。確認、準備の上、講義に臨んで下さい。	

教科書・参考図書	No	書籍名	著者名	上段:出版社 下段:出版年	ISBN
	1.	『Communication skills for the healthcare professional』	Laurie Kelly McCorry, Jeff Mason	Wolters Kluwer/Lippincott Williams & Wilkins Health 2011	9781582558141
	2.	『How to Present at Meetings』	George M. Hall, Peter Neville Robinson	John Wiley & Sons 2012	9780470654583
	3.	『アカデミック・プレゼンテーション』	幸重美津子 [ほか] 著	三修社 2013	9784384334326
	4.	『動詞で究める医学英語writing』	小林充尚著	メジカルビュー 2015	9784758304450
	5.	『医療現場の英語辞典』	山田政美, 田中芳文編著	三省堂 2016	9784385110363
	6.	『ライフサイエンス必須英和・和英辞典』	ライフサイエンス辞書プロジェクト編著	羊土社 2010	9784758108393
	7.	『ライフサイエンス論文を書くための英作文＆用例500』	河本健, 大武博著	羊土社 2009	9784758108386
添付ファイル ※3つまで、1ファイルにつき5MBまで、圧縮ファイルOK					

授業予定表

回数	年月日	時限	授業形式	教室	開始終了時間
1.	2022/04/19(火)	2時限	講義	ー	10:25-11:35
	タイトル	1　医学英語演習			
	担当者(所属)	遠藤　美香			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	A-2-1)①②③④⑤,A-2-2)①②,A-4-1)①②			
	講義資料番号/連番(LMS)				1
2.	2022/05/20(金)	4時限	講義	講義室 303	13:55-15:05
	タイトル	2 「Case Report(症例報告)を読む」			
	担当者(所属)	遠藤　美香 伊藤　幸子			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	A-2-1)①②③④⑤,A-2-2)①②③,A-4-1)①②,C-5-7)⑥⑦⑧,A-8-1)①			
	講義資料番号/連番(LMS)				2
3.	2022/06/28(火)	1時限	講義	講義室 203	09:00-10:10
	タイトル	3　既習医学分野のレクチャー			
	担当者(所属)	遠藤　美香 レフォー　アラン			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	A-2-1)①②③④⑤,A-2-2)①②③,A-4-1)①②,C-5-7)⑥⑦⑧,A-8-1)①			
	講義資料番号/連番(LMS)				3
4.	2022/09/01(木)	3時限	講義	講義室 201	12:30-13:40

	タイトル	「海外留学のためのCV、書類の書き方」			
	担当者(所属)	遠藤　美香 北原　秀治			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	A-2-1)①②③④⑤,A-2-2)①②③,A-4-1)①②,C-5-7)⑥⑦⑧,A-8-1)①④			
	講義資料番号/連番(LMS)				4
5.	2022/09/21(水)	4時限	講義	講義室 303	13:55-15:05
	タイトル	1　既習医学分野のレクチャー			
	担当者(所属)	遠藤　美香 フー　ユイーング			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	A-2-1)①②③④⑤,A-2-2)①②③,A-4-1)①②,C-5-7)⑥⑦⑧,A-8-1)①④			
	講義資料番号/連番(LMS)				5
6.	2022/10/17(月)	2時限	講義	講義室 201	10:25-11:35
	タイトル	2　国際環境に関する英語によるレクチャー			
	担当者(所属)	遠藤　美香 チエルノフ　ミハイル			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	A-2-1)①②③④⑤,A-2-2)①②③,A-4-1)①②,C-5-7)⑥⑦⑧,A-8-1)①④,A-7-2)③④⑤			
	講義資料番号/連番(LMS)				6
7.	2023/01/06(金)	3時限	講義	講義室 303	12:30-13:40
	タイトル	国際環境に関する英語レクチャー			
	担当者(所属)	遠藤　美香 坂元　晴香			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	A-2-1)①②③④⑤ A-2-2)①②③,A-4-1)①②,C-5-7)⑥⑦⑧,A-8-1)①④,B-4-1)⑭			
	講義資料番号/連番(LMS)				7

〔国際コミュニケーション〕

大　項　目	中　　項　　目	小　　項　　目
Ⅰ.医学英語の継続的語彙学修	1. e-learning	1)　医学英語の e-learning を継続的に行い、定期的に行われる語彙テストによって、自己の学修の達成度を見る。また、自主的に付随の Practice Test にもチャレンジし、語彙力定着を図る。
Ⅱ.英語で学ぶ医学的知識	1. 臨床医学の他、社会医学分野に関しても、英語のレクチャーを聴く	1)　医学関連のレクチャーを英語で聴き、医学の知識・教養を増やすとともに、積極的に発言をして、コミュニケーション能力を高める。

科目名	AI・データサイエンスと医療
科目責任者(所属)	野原　理子

到達目標	縦断科目である情報処理・統計では、医療に関わる各種情報を効果的に活用するために、ICT (Information and Communication Technology)の利用を中心にした情報の収集・整理・統合・分析・選択・検索・発信・提示の実際を学修する。セグメント5とセグメント6では、疫学の概念と方法を理解し、これを集団に応用するための基礎的な能力を身につけることを目標とする。講義の前半では内容の説明を行い、後半では図や表を見て考察すること、簡単な演習問題を解いてみることを通して、セグメント4で学修した統計学が疫学でどのように用いられているのかなど疫学の基本的な考え方を理解する。さらに、疫学研究から発展したEvidence Based Medicine(EBM)の学修の導入として、医学論文の文献検索の方法などを習得することを目標とする。
アウトカム・ロードマップに係わる到達目標/項目番号	疾病予防・健康維持・公衆衛生の方法を説明できる。　Ⅰ-1-B-(3-4)-③ 結果の客観的評価ができる。　Ⅰ-3-C-(3-4)-② 結果の解釈の限界を明らかにできる。　Ⅰ-3-C-(3-4)-③ データ・結果の根拠を批判的に説明できる。　Ⅰ-5-A-(3-4)-①
学修(教育)方法	講義・演習
評価方法 (1)総括的評価の対象	授業の出席態度(オンラインの場合は視聴状況)(20%)、授業中の課題(80%)。
評価方法 (2)評価項目	1)カイ2乗検定法を実施できる。　B-1-2)③ 2)一元配置分散分析を利用できる。　B-1-2)④ 3)2変量の散布図を描き、回帰と相関の違いを説明できる。　B-1-2)⑤ 4)線形重回帰分析、多重ロジスティック回帰分析と交絡調整を概説できる。　B-1-2)⑥ 5)根拠に基づいた医療<EBM>の5つのステップを列挙できる。　B-1-3)① 6)Patient, population, problem, intervention (exposure), comparison, outcome <PICO (PECO)>を用いた問題の定式化ができる。　B-1-3)② 7)研究デザイン(観察研究(記述研究、横断研究、症例対照研究、コホート研究)、介入研究(臨床研究、ランダム化比較試験)、システマティックレビュー、メタ分析(メタアナリシス)を概説できる。　B-1-3)③ 8)データベースや二次文献からのエビデンス、診療ガイドラインを検索することができる。　B-1-3)④ 9)得られた情報の批判的吟味ができる。　B-1-3)⑤ 10)平均寿命、健康寿命を説明できる。　B-1-4)② 11)罹患率と発生割合の違いを説明できる。　B-1-4)③ 12)疫学とその応用(疫学の概念、疫学指標(リスク比、リスク差、オッズ比)とその比較(年齢調整率、標準化死亡比(standardized mortality ratio <SMR>))、バイアス、交絡)を説明できる。　B-1-4)④
評価方法 (3)評価基準	授業の出席態度(オンラインの場合は視聴状況)(20%)、授業中の課題(80%)を総括し、S.極めて良く理解している(90%以上)、A.良く理解している(80%以上90%未満)、B.平均的に理解している(70%以上80%未満)C.最低限は理解している(60%以上70%未満)、D.理解が不十分である(60%未満)のいずれかとして判定し、C以上を合格とする。
伝達事項	-
教科書・参考図書	

No	書籍名	著者名	上段:出版社 下段:出版年	ISBN

1.	『はじめて学ぶやさしい疫学 改訂第3版』	日本疫学会	南江堂 2018	9784524243990
2.	『疫学：基礎から学ぶために』	日本疫学会	南江堂 1996	4524212582
3.	『疫学ハンドブック：重要疾患の疫学と予防』	日本疫学会	南江堂 1998	4524215441

関連リンク	
添付ファイル ※3つまで、1ファイルにつき5MBまで、圧縮ファイルOK	

授業予定表

回数	年月日	時限	授業形式	教室	開始終了時間
1.	2022/04/07(木)	4時限	講義	講義室 301	13:55-15:05
	タイトル	1　疫学とは			
	担当者(所属)	野原　理子			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	B-1-4)④			
	講義資料番号/連番(LMS)				1
2.	2022/04/07(木)	5時限	講義	講義室 301	15:15-16:25
	タイトル	2　疫学指標：罹患率と有病率			
	担当者(所属)	野原　理子			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	B-1-4)③			
	講義資料番号/連番(LMS)				2
3.	2022/04/12(火)	3時限	講義	講義室 301	12:30-13:40
	タイトル	3　疫学指標：年齢調整死亡率と標準化死亡比			
	担当者(所属)	野原　理子			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	B-1-4)④			
	講義資料番号/連番(LMS)				3
4.	2022/04/12(火)	4時限	講義	講義室 301	13:55-15:05
	タイトル	4　疫学指標：生命表と平均寿命			
	担当者(所属)	野原　理子			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	B-1-4)②			
	講義資料番号/連番(LMS)				4
5.	2022/11/09(水)	1時限	講義	講義室 303	09:00-10:10
	タイトル	1　記述疫学・生態学的研究・横断研究			
	担当者(所属)	野原　理子			
	コアカリキュラム/S10国試出	B-1-3)③			

	題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)				5
6.	2022/11/09(水)	2時限	講義	講義室 303	10:25-11:35
	タイトル	2 コホート研究・症例対照研究			
	担当者(所属)	野原 理子			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	B-1-3)③			
	講義資料番号/連番(LMS)				6
7.	2022/11/09(水)	3時限	講義	大実習室 3 PC室 1	12:30-13:40
	タイトル	3 医学研究における文献検索1			
	担当者(所属)	加藤 砂織 野田 久愛 重川 須賀子 田部 瑶子 野原 理子 三木 貴子			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	B-1-3)①②④⑤			
	講義資料番号/連番(LMS)				7
8.	2022/11/09(水)	4時限	講義	大実習室 3 PC室 1	13:55-15:05
	タイトル	4 医学研究における文献検索2			
	担当者(所属)	加藤 砂織 野田 久愛 重川 須賀子 田部 瑶子 野原 理子 三木 貴子			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	B-1-3)①②④⑤			
	講義資料番号/連番(LMS)				8
9.	2022/11/24(木)	1時限	講義	講義室 201	09:00-10:10
	タイトル	5 JMPによるデータ解析			
	担当者(所属)	佐藤 康仁			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	B-1-2)③④⑤⑥			
	講義資料番号/連番(LMS)				9

[AI・データサイエンスと医療]

科目責任者：野原 理子

大　項　目	中　　項　　目	小　　項　　目
Ⅰ. 疫学とその応用	1. 疫学の概念	1) 定義と歴史 2) 曝露と疾病 3) 危険因子と予防因子 4) 疫学モデル
	2. 疫学指標	1) 割合・率・比 2) 有病と罹患の概念 3) 人年法 4) 罹患率と累積罹患率 5) 有病率 6) 年齢調整死亡率 7) 標準化死亡比（SMR） 8) 生命表関数 9) 平均余命と平均寿命 10) 致命率、相対頻度
	3. 統計解析	1) 検定と推定 2) 分析モデル
	4. 観察研究	1) 記述疫学の方法 2) 生態学的研究の方法・利点と限界 3) 横断研究の方法・利点と限界 4) コホート研究の方法・利点と限界 5) 症例対照研究の方法・利点と限界
	5. 根拠に基づいた医療（EBM）	1) 患者の問題の定式化 2) 情報収集法 3) 批判的吟味

科目名	健康管理
科目責任者(所属)	加藤　多津子

到達目標	医師という職業選択をすでにすませている皆さんは職業上、医師として患者さんの健康管理に携わることになります。そのためには、自身の健康管理を学生中に身につけておくことが大変重要です。また自身の健康を管理することは、たとえばいつも机を並べる友人達、実習班の友人、同学年、医学部全体、大学全体、しいては、病院を守ることにつながります。健康管理の重要性を学ぶと同時に、皆さんのカリキュラムに沿った健康管理についてセグメントごとに講義を行い、皆さんに自身の健康管理について、予定されている健康管理行事の意義を理解し積極的に参加してほしいと考えています。 また、昨今では大学生のメンタルヘルスの重要性が社会で問われていますが、医学部では、共用試験が医師国家試験前に在学中に施されるようになり、大変ストレスのかかりやすい状況です。そうであっても、大学の理念にありますように社会に貢献できる女性医師となるためには、在学中に身体の健康だけではなく、心の健康についても6年間かけて自身でコントロールできるようになっていくべきと考えています。	
アウトカム・ロードマップに係わる到達目標/項目番号	1）自己の認識ができることにより他者をうけいれることができる	Ⅰ-4-A-(1-2)-①, Ⅰ-6-B-(5-6)-③, Ⅱ-2-D-(3-4)-①, Ⅱ-2-E-(5-6)-①, Ⅱ-4-A-(3-4)-①, Ⅱ-4-A-(3-4)-②
	2）　自分の生活のリズムと食生活を整えることができその方法や必要性を説明できる	
	3）医学部学生のとしての感染管理の必要性を理解した上で実践できる	①　Ⅰ-6-A-(1-2)-①
	4）リーダーとしてメンバーとしての役割を認識し実践できる	Ⅰ-4-A-(1-2)-①, Ⅱ-4-B-(1-2)-③, Ⅱ-4-C-(1-2)-①, Ⅱ-4-C-(1-2)-②, Ⅱ-4-C-(1-2)-③, Ⅱ-4-C-(3-4)-①, Ⅱ-4-C-(3-4)-②
	5）ストレスへの対処方を理解し実践できる	Ⅱ-4-A-(1-2)-①
	6）病院実習における健康管理を理解し実践できる	Ⅰ-1-C-(3-4)-②, Ⅰ-6-A-(5-6)-①
	7）女性としての心と身体の健康管理について理解し実践できる	Ⅰ-4-A-(1-2)-①, Ⅱ-2-C-(1-2)-①
	8）医療従事者としての健康管理について理解し説明できる	Ⅰ-1-C-(3-4)-②, Ⅰ-6-A-(5-6)-①
	9）女性のキャリアと健康について理解できる	Ⅱ-2-C-(1-2)-①, Ⅱ-2-C-(3-4)-②, Ⅱ-2-C-(3-4)-③, Ⅱ-2-E-(3-4)-①, Ⅱ-2-C-(5-6)-①, Ⅱ-2-D-(5-6)-①
	10）学生健康管理行事の必要性について理解し実践できる	Ⅰ-1-B-(3-4)-③, Ⅰ-6-A-(1-2)-①, Ⅱ-5-B-(1-2)-①
学修(教育)方法	講義・健康管理行事・学生健康管理室の受診	
評価方法 (1)総括的評価の対象	講義への出席、学生健康管理行事への参加(定期健康診断、インフルエンザワクチン接種、その他)を形成的に評価する。総括的評価の対象とはしない	
評価方法 (2)評価項目	1）自己の認識	A-9-1)②③④, C-5-5)②
	2）生活のリズムと食生活	A-6-3)①, A-9-1)②③, B1-4)②③
	3）医学部学生の感染管理	A-6-3)①, B-1-8)⑫
	4）リーダーとしてメンバーとして	A-2-2)④, A-4-1)②, C-5-7)④
	5）ストレスへの対処法	A-9-1)②③④, B-1-5)④, C-5-4)④
	6）病院実習における健康管理	A-6-3)①④, F-3-2)①
	7）女性としての心と身体の健康管理	B-1-6)④　B-4-1)⑥, G-4-1)②
	8）医療従事者としての健康管理	A-2-1)⑤, A-6-3)①, A-9-1)①②③④, B-4-1)③, E-2-4)①②③
	9）女性のキャリアと健康	A-9-1)③④, B-1-5)⑥

	10) 健康管理行事　　B-6-1)④
評価方法 (3)評価基準	上記の評価項目について、講義内のアンケート、健康管理行事への参加を通して形成的に評価する
伝達事項	健康管理行事に理由無く欠席しないこと

教科書・参考図書

No	書籍名	著者名	上段:出版社 下段:出版年	ISBN
1.	『健康行動と健康教育』	【訳】曽根智史ら	医学書院 2006年	978-4-260-00350-6
2.	『近代日本の女性専門職教育』	渡邊洋子	明石書店 2014年	978-4-7503-4097-5
3.	『吉岡弥生　吉岡弥生伝』	吉岡弥生女史伝記編纂委員会	日本図書センター 1998年	4-8205-4308-3
4.	『最新　行動科学からみた健康と病気』	宗像恒次	メヂカルフレンド社 1996年	978-4-8392-1025-0
5.	『最新 保健学講座(別巻1)健康教育論』	宮坂忠夫・川田智恵子・吉田亨	メヂカルフレンド社 2006年	978-4-8392-1282-7
6.	『学生のための健康管理学(改訂2版)』	木村康一・熊澤幸子・近藤陽一	南山堂 2007年	978-4-525-62052-3
7.	『最新　女性心身医学』	本庄英雄監修、女性心身医学会編	ぱーそん書房 2015年	978-4907095246
8.	『TEXT BOOK 女性心身医学』	玉田太朗・本庄英雄編集責任、日本女性心身医学会編	永井書店 2006年	978-4-8159-1760-9
9.	『コンサイスガイド　女性のためのメンタルヘルス』	【訳】島悟・長谷川恵美子	日本評論社 1999年	4-535-98163-9
10.	『健康格差社会　何が心と健康を蝕むのか』	近藤克則	医学書院 2005年	978-4-260-00143-4
11.	『格差社会と健康　社会疫学からのアプローチ』	川上憲人・小林廉毅・橋本英樹編	東京大学出版会 2006年	4-13-060406-6

関連リンク

1.	日本環境感染学会　医療者関係者のためのワクチンガイドライン第2版	http://www.kankyokansen.org
2.	文部科学省　学校において予防すべき感染症の概説	http://www.mext.go.jp/a_menu/kenko

添付ファイル ※3つまで、1ファイルにつき5MBまで、圧縮ファイルOK	

授業予定表

回数	年月日	時限	授業形式	教室	開始終了時間
1.	2022/09/07(水)	3時限	講義	講義室 201	12:30-13:40
	タイトル	リーダーとしてメンバーとしての健康管理			

担当者(所属)	横田　仁子	
コアカリキュラム/S10国試出題基準		
講義資料番号/連番(LMS)	212	1

〔健康管理〕

科目責任者:加藤　多津子(衛生学公衆衛生学)

大　項　目	中　　項　　目	小　　項　　目
Ⅰ. 身体の健康管理	1. 生活リズムと食生活	1) 体内時計と光と食
		2) 月経周期と体重・食欲の変化
		3) ストレスと食行動
		4) 摂食障害
		5) 日常生活の工夫
		6) 食事の摂り方
	2. 感染症対策	1) 健診スケジュールとワクチン接種
		2) 出席停止となる感染症
		3) 小児4種感染症
		4) インフルエンザ
		5) ノロウィルス
		6) 新型コロナウィルス感染症
		7) 子宮頸がん
		8) 医学生としての感染対策への責任
	3. 定期健康診断	1) 学校保健法と定期健康診断
		2) 健診の項目
		3) 結果の判定
		4) 事後措置
		5) 健康診断書の利用方法
Ⅱ. 大学生のメンタルヘルス	1. ストレスとストレス対処法	1) ストレスとは
		2) ストレスと心身の反応
		3) 医学部生活でのストレス
		4) ストレスコーピング
		5) リラクゼーション
	2. 大学生時代に注意したい精神健康障害	1) 適応障害
		2) うつ病
		3) 外傷後ストレス障害
		4) 医学部カリキュラムと心の危機
		a. 解剖実習
		b. CBT,OSCE
		c. 臨床実習
		d. マッチング
		e. 国家試験
	3. リーダー・メンバーとして	1)チームとグループの違い
		2)リーダーとは
		3)リーダーシップ
		5) メンバーの役割
		6) クラブ幹部の役割
Ⅲ. 女性の健康	1. ライフステージと女性の健康	1) 思春期から性成熟期への体の変化
		2) 若年女性の健康問題
		a. やせ
		b. 貧血

		c. 心身症 d. 月経関連症状
	2. 女性の健康の心理的要因	1）ストレスと心身の反応 2）自律神経症状 3）バイオレンスと心身への影響 4）対等な関係とは
	3. 女性の健康と社会的要因	1）女性の健康に関する時代背景 a. アルマ･アタ宣言 b. 男女雇用機会均等法 c. 国連女性会議 d. 男女共同参画基本法 e. 女性活躍推進法 2）健康決定要因の枠組み 3）持続的開発目標（SDGs） 4）ライフサイクルにおける性差別と健康 5）女性医師のキャリア

基礎研究医養成プログラム

（趣旨）
第１条　本規程は、東京女子医科大学（以下「本学」という。）大学院学則（以下「大学院学則」という。）第８および９条関係「履修方法に関する内規」に関し、本学の医学部学生（以下「学生」という。」で本学の基礎医学系大学院への進学を希望する者に対する仮単位履修制度の取り扱いに関し必要な事項を定める。

（名称）
第２条　本履修制度を「基礎研究医養成プログラム」と称する。
２.「基礎研究医養成プログラム」登録を行った者は、医学部在学中より本学医学研究科大学院の単位を仮単位として履修し、初期臨床研修の２年間を大学院の１～２年次と兼ねることができる。

（目的）
第３条　本プログラムは、医学部在学中に医学部のカリキュラムと並行して大学院医学研究科の教育を受け、研究マインドを醸成し、基礎医学系の研究者を育成することを目的とする。

（資格）
第４条　以下の資格条件を満たすものを対象とする。
(1)　本学医学部の 3 年から 6 年次に在籍する学生。
(2)　所属を希望する本学基礎医学系講座の教授・講座主任（機能学系、形態学系、社会医学系）または先端生命医科学系専攻の大学院教授から推薦のあった者
(3)　原則として初期臨床研修を東京女子医科大学内の病院で行う予定の者。ただし、教務委員会が認めればその限りでない。

（定員）
第５条　各講座（または専攻）につき若干名（指導する基礎医学系講座の教授・講座主任または先端生命医科学系専攻の大学院教授の判断による）。

（登録）
第６条　本プログラムの履修を希望する者は、所属を希望する分野の指導予定教授の許可を経て次の書類を学務課に提出しなければならない。
(1)　基礎研究医養成プログラム登録申請書
(2)　所属を希望する分野の指導予定教授の推薦書

（登録許諾）
第７条　教務委員会において、書類審査及び必要に応じて面接（志望者および当該教授・講座主任または大学院教授）で個別に審議し、許可する場合は大学院委員会の承諾を得る。

（登録取り消し）
第８条　登録を取り消す場合は、理由書を付して教務委員会に提出する。教務委員会において、個別に審議し、取り消す場合は大学院委員会の承諾を得る。

（履修科目および単位数）
第９条　履修科目および単位数については以下に定める。
医学部在籍中（3～6 年次）に、大学院学則第８および９条関係「履修方法に関する内規」に定める学科目のうち、次のものを履修し、仮単位とすることができる（大学院修了に必要な最低修得単位数 30 単位のうち、最大 24 単位まで）。
・大学院共通カリキュラム：実習（機能学系、形態学系、社会医学系、先端生命医科学系専攻の実習）４単位（2 系の実習）
・大学院共通カリキュラム：教授・講座主任による講義　　5 単位（講義 25 コマ）

・主分野 15 単位

１）履修方法は、東京女子医科大学大学院学則ならびに大学院学則第８および９条関係「履修方法に関する内規」による。

２）医学部在籍中の本プログラムによる履修に要する学生の費用負担はない。

（履修学科目、仮単位の認定）

第１０条　履修学科目、仮単位は、大学院委員会において、「仮単位申請書」により個別に審議する。

（本学大学院入学の単位申請）

第１１条　６年次から後期臨床研修修了までに、大学院入学試験を受験する。分野は原則として医学部在籍中に登録した基礎医学系講座と同一の分野または登録した先端生命医科学系専攻と同一の所属とする。入学許可後、第９条において認定した仮単位を既修得単位とする。

Ⅲ　試験科目表・試験日程表

試験科目・試験スケジュール

年　月　日	曜	時　　間	試 験 科 目	試 験 場
2023/2/13	月	13：00 ～ 14：30	脳神経系 1	302・303
2023/2/14	火	13：00 ～ 14：30	脳神経系 2	302・303
2023/2/15	水	13：00 ～ 14：30	精神系	302・303
2023/2/16	木	13：00 ～ 14：30	聴覚・耳鼻咽喉系	302・303
2023/2/17	金	13：00 ～ 14：30	眼・視覚系	302・303
2023/2/20	月	13：00 ～ 14：30	運動器系	302・303
2023/2/21	火	13：00 ～ 14：30	皮膚粘膜系	302・303

追・再試験スケジュール

年　月　日	曜	時　　間	試 験 科 目	試 験 場
2023/2/27	月	10：00 ～ 11：30	脳神経系 1	201
2023/2/27	月	13：00 ～ 14：30	脳神経系 2	201
2023/2/28	火	10：00 ～ 11：30	眼・視覚系	201
2023/2/28	火	13：00 ～ 14：30	聴覚・耳鼻咽喉系	201
2023/3/1	水	10：00 ～ 11：30	精神系	201
2023/3/1	水	13：00 ～ 14：30	運動器系	201
2022/03/02	水	10：00 ～ 11：30	皮膚粘膜系	201

Problem based learning（PBL）テュートリアルと Team-based learning （TBL）について

PBL テュートリアル（テュートリアル）と TBL の概略

テュートリアルと TBL はいずれも active learning に含まれる学修法である。本学ではテュートリアルを医師としての考え方を身につけるための学修法として1990年度から導入し、TBL を問題解決能力の向上のための学修法として2008年度から導入した。

１．PBL テュートリアル（テュートリアル）とこれまでの累進型について

テュートリアルでは、既に学んだあるいはこれから学ぶ知識を、人体内の現象、環境・外界と生体の関連、生体構造・機能の正常と異常、病者の理解と医療の実践、患者・家族・社会と医療・公衆衛生の関わりなどの視点で、どのように使い、医師としてあるいは医学者として考え、判断するために活用するかを修得する。医師は患者の問題を、研究者は科学的真理を自ら見つけ探究する専門職であり、テュートリアルはその方法と姿勢を修得し生涯学び発展できるための力と自信をつけるための学修である。

その全体的な目的は：

1) 未知の課題（専門職として自分がなさなければならないこと）に取り組む力を身につける（能動学修)。
2) 実際の流れ（現象や症例）の中で、解決すべき問題を見つける力を身につける。
3) 問題を解決するために、自分で方法を考え、情報検索を行い、分析・解釈を行う力を身につける（自己方向付け学修)。
4) 自分の問題解決（学修結果）を互いに教え合うことにより（グループ討論)、学修の確かさと不確かな点を明らかにして自分の学修を振り返り（省察）次の目標を立て、更に深く学び理解する姿勢を身につける。

これまでの大きな流れとして、1年生から4年生にかけて、自己学修を通じて行った問題解決を学生同士で教え合い振り返り合うテュートリアルの流れと学び方を学ぶ「入門テュートリアル」、課題から学修者が自分で解決すべき問題を考えて学修目標に設定する「学修項目発見型テュートリアル」、自分が必要なことは課題から発展させ、関係する領域全体を見渡して学ぶ「領域を統合して学ぶテュートリアル」、臓器・器官系の構造と機能の正常と異常についての学修をするとともに、医学的な診断治療だけではなく、患者・家族の心理、患者支援・医療費など社会とのつながり、疫学・公衆衛生などを学修する「診療問題解決型テュートリアル」へと累進し、学生が考える力を段階的に高めていけるように「累進型テュートリアル」という形を構築して実施してきた。

２．Team-based learning （TBL）と高学年セグメントでの学修の継続

TBL では教員・学生間および学生・学生間の双方向性授業を通じてお互いの知識を活用した問題解決を行う。具体的には、個人で学修し、関連した問題について個人で解答し、次に小グループ（チーム）に分かれ討論・解答し、専門家（教員）からの説明を含むクラス全体の学修内容共有を行う学修法である。数回の授業を通じて基礎的学修だけでなく、発展・応用的な内容に進む。

2008年度より4年生後期（セグメント8）で問題解決能力のさらなる向上のために、従来の「診療問題解決型テュートリアル」に代わって TBL を導入し、診療上の問題解決の中で、診

療・治療を中心に考え方を学ぶ TBL が行われている。臨床実習を行うにあたり、医師の基本能力ともいえる患者に合わせた診断・治療を考えることを臨床推論 TBL という学修法で学ぶ。また、2013年度から1年生後期（セグメント2）では「学修項目発見型テュートリアル」の段階でテュートリアルと TBL を組み合わせて行っており、ここでは、セグメント1で学んだテュートリアルの方法を発展させ、より高学年で学ぶ医学への橋渡しとなる役割をなしてきた。2020年度より2，3，4年生（セグメント3－7）においてもテュートリアルに代わって TBL による学修が開始された。TBL は4年生で終了するが、医師にとって必要な考え方を学ぶ学修は卒業まで続けられる。2020年度から開始された4年生後期（セグメント8）の「入門型臨床実習」、5年生（セグメント9）以降の「診療参加型臨床実習」はそれまでに学んできた問題解決能力を本格的に臨床で実践しながら学ぶ機会となり、テュートリアルや TBL で体得した考える力は、卒業までに医師として考える力の継続的な向上につながっていく。

Team-based learning (TBL) について

科目責任者：中村　真一（消化器内科学）

※2022年度は新型コロナ感染症の状況により適宜内容の変更を行う。

TBL の特徴

1．　予習（事前学修）を前提としている。
2．　個人で考えた後、チーム内で問題点についての討議を行い、全体セッションでチーム間の討議と教員の解説を行う学生参加型の授業。
3．　１人もしくは２人の教員がすべてのチームを管理。
4．　教員は司会者および専門家として機能する。
5．　学生同士が「チームへの貢献度」を互いに評価する。

本学での目的

S6では、診療上の問題発見・解決の中で、臓器・器官系の構造と機能の正常と異常について学修する。さらに医学的知識のみならず、患者・家族の心理、患者支援・医療費など社会とのつながり、疫学・公衆衛生についても学修する。これまで「診療問題解決型テュートリアル」として行われてきた内容を TBL という学修法で学ぶ。」

TBL の概要

事前学修に始まる以下の３つのプロセスで構成される。

Ⅰ．予習

事前に学修すべき項目が提示される。
項目に沿って個々に事前学修する。

Ⅱ．基本ユニット

個人テスト

・　学修項目に従って予習の知識の確認（予習確認テスト）

チーム内討論とチームテスト

・　個人テストと同じ設問に対し、チーム内で検討し、チームとしての解答を作成

チーム間討論とフィードバック

・　チームテストの結果をもとに、クラス全体で討論

・　専門家によるフィードバック（理解の不十分な点の解説）

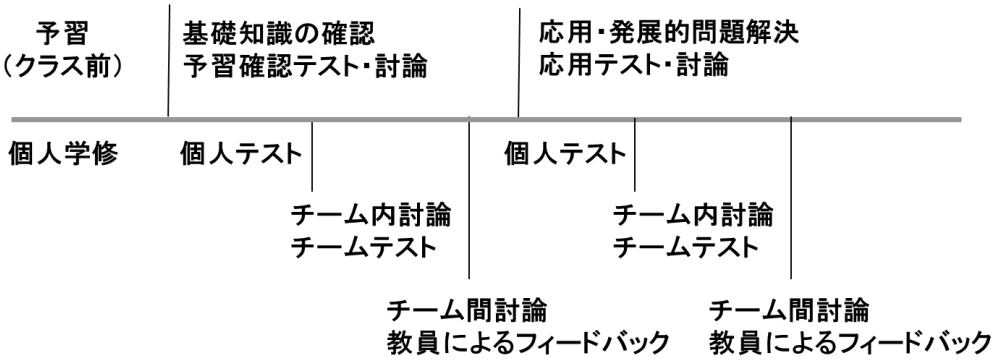
Ⅲ．応用ユニット

予習した学修項目を基に、応用的・発展的問題解決

応用テストにおいてⅡ.基本ユニットと同様の内容の繰り返し

TBL の進行（１回の授業）

Ⅰ．予習　　Ⅱ．基本ユニット　　Ⅲ．応用ユニット



具体的な進め方

進行の仕方

以下のⅠからⅢのプロセスを1回の授業として、2~4回繰り返し１つの課題を学ぶ。

Ⅰ．予習

事前に配布された事前学修項目を含む予習シートおよび予習資料に沿って、学生は個々に自己学修を行う。

Ⅱ．基本ユニット

1.　個人テスト

・　事前学修の到達度の確認をするために、個人テスト（予習確認テスト）を施行する。レスポンスアナライザーで解答する。

2.　チーム内討論とチームテスト

・　個人テストと同じ設問について、チーム内で検討し、レスポンスアナライザーで解答する。

・ 答えを導いた思考過程についてはチーム解答用紙に記入する。

3. チーム間討論
   ・ 回答が出揃った後にレスポンスアナライザーで集計したチームの解答状況を表示する。
   ・ チーム毎に発表を行い、クラス全体で討論する。
   ・ 問題の正解について、異論があればチームとしてその根拠を示すことができる（アピール）。アピールは原則としてチーム解答用紙に思考過程を記載して提出し、後から専門家が判断する。
4. 専門家によるフィードバック
   ・ チームの解答を討論後、理解の不十分であった点について、専門家よりクラス全体にフィードバックする。

Ⅲ．応用ユニット
   ・ 予習シート（事前学修項目）、予習資料、予習確認テスト、新たな資料などをもとに発展的・応用的問題について、個人テスト（応用テスト）・チーム内討論とチームテスト・チーム間討論・フィードバックを行う。

Ⅳ．アセスメント
   ・ 課題終了時にアセスメントシートに記載する形で、自己評価、同僚評価を行う。

Ⅴ．評価
   ・ 個人テストの正答率とともに、チームテストの正答率および同僚評価(学生同士による「チームへの貢献度」評価)から評価を行う。評点は５点満点で、課題毎に評価が行われる。
   ・ 講義開始時のレスポンスアナライザ―端末への学生証の設置をもって、出欠をとるものとする。それ以降はすべて遅刻とみなす。
   これら欠席・遅刻・早退は学生評価から減点される。やむを得ない事情で欠席する場合は欠席届（病気欠席の場合は診断書を添付）を医学部学務課に提出する。届けの提出された欠席については、学年教育委員長が減点について判断する。
   ・ 評点と欠席・遅刻・早退の評価が加味され、最終的には学年教育委員会で検討され、医学部教授会で決定される。全課題の評点の平均が２点未満の場合は進級できない。
   ・ 同チームの学生同士の評価として、上記「チームへの貢献度」のほか、自己学修や協働学修についての自己評価および同僚評価を行う場合もある（みんなの評価）。

授業としての一般的遵守事項

１． TBL は授業であるので飲食は行わない。
２． 教科書・資料の持ち込みは許可するが、個人のテスト中の使用は不可とする。
３． 個人テスト、チームテストともに個人成績に反映されるものであり、一般の試験と同様に真摯な態度で受けること。

用語解説

専門家：課題を作成し、TBL 施行時にその課題について専門的な解説を行う役割を担う教員

司会者：TBL の進行役を担う教員（専門家が兼ねることがある）

予習資料：初回は症例の簡単な現病歴と症候などの症例背景について記載されたシート。それ以降は次回の授業にあたって必要な症例の臨床経過などについて記載されたシートや症例に関する検査所見、画像など

予習シート：TBL のための予習すべき学修項目が記載されたシート（予習資料に記載されることもある。）

資料：授業の流れに応じて、必要な症例の臨床経過などのシート、検査データ、画像などの資料

基本ユニット：TBL の授業時間の中で、事前学修項目と予習資料をもとに、基本的知識・概念を学修する部分。授業の初めに行われる。

応用ユニット：TBL の授業時間の中で、基本ユニット終了後に行われる発展的・応用的課題に取り組む部分。

個人テスト：個人で解答するテスト（予習確認テストと応用テストに分かれる)。個人テストはノート、教科書、参考書を見ることなく、自分の力で解答する。

チームテスト：チームで行うテスト。内容は個人テストと同じ。

予習確認テスト：TBL 開始前（TBL 実施中は前回授業の最後）に示される学修項目についての自己学修・予習の知識を確認する、TBL 授業開始直後に行う試験。

応用テスト：毎回の授業で基本的知識・概念を確認した後に、応用的・発展的内容について問う試験。

チーム解答用紙：チーム内で検討し導き出された解答に対して、その思考過程、根拠などを記載する用紙。下記のアピールにも使用する。

チーム内討論：原則としてチームテストとして与えられた問題について、チーム内で検討するための討論。ただし、講義の進行によっては、専門家からその場で質問が発せられ、個人あるいはチームで解答する場合もある。

チーム間討論：チームテスト終了後、各チームの回答をもとに、解答の違い、解答の根拠をチーム間で討論する機会。司会者または専門家が進行する。

フィードバック：チーム内討論、チーム間討論での学生の問題解決に対して、専門家がコメントを述べ、合理的、妥当な問題解決を示す。

アピール：チームテストの結果で、自分のチームの解答が正解とされなかったとき、根拠を示して解答が正しい、あるいは正解を絞ることが不可能であることを論理的に説明すること。その内容をチーム解答用紙に記載して提出し、アピールの内容について専門家が認めればその設問を正解したとみなされる。

令和４年度(2022年度)　S6 TBL　日程

担当日		課題番号	担当科	時間
2022/9/2	金	/	オリエンテーション	１２：３０－１３：４０
2022/9/8	木	１－１		１４：００－１５：４０
2022/9/12	月	１－２		１４：００－１５：４０
2022/9/15	木	２－１		１４：００－１５：４０
2022/9/26	月	２－２		１４：００－１５：４０
2022/9/29	木	３－１		１４：００－１５：４０
2022/10/3	月	３－２		１４：００－１５：４０
2022/10/6	木	４－１		１４：００－１５：４０
2022/10/13	木	４－２		１４：００－１５：４０
2022/10/17	月	５－１		１４：００－１５：４０
2022/10/24	月	５－２		１４：００－１５：４０
2022/10/27	木	６－１		１４：００－１５：４０
2022/10/31	月	６－２		１４：００－１５：４０
2022/11/7	月	７－１		１４：００－１５：４０
2022/11/14	月	７－２		１４：００－１５：４０
2022/11/24	木	予備日		１３：５５－１６：２５

Ⅴ　第３学年教育委員会・学生アドバイザー・学生委員

第３学年教育委員

委員長	北　川　一　夫	教　授	（脳　神　経　内　科　学）主担当Ｓ６
副委員長	馬場園　哲　也	教　授	（糖尿病・代謝内科学）主担当Ｓ５
委　員	徳　重　克　年	教　授	（消　化　器　内　科　学）
	板　橋　道　朗	教　授	（消化器・一般外科（炎症性腸疾患外科学分野））
	宮　田　麻　理　子	教　授	（生理学（神経生理学分野））
	川　俣　貴　一	教　授	（脳　神　経　外　科　学）
	西　村　勝　治	教　授	（精　神　医　学）
	市　原　淳　弘	教　授	（高　血　圧　内　科　学）
	大　月　道　夫	教　授	（内科学（内分泌内科学分野））
	野　中　　学	教　授	（耳　鼻　咽　喉　科　学）
	飯　田　知　弘	教　授	（眼　科　学）
	岡　崎　　賢	教　授	（整　形　外　科　学）
	石　黒　直　子	教　授	（皮　膚　科　学）
	永　田　　智	教　授	（小　児　科　学）
	小　川　哲　也	教　授	（足立医療センター内科）

セグメント６担当委員

テュートリアル委員会・ＴＢＬ委員会

委員長	中　村　真　一	教　授	（内科学　（消化器内科学分野））
副委員長	飯　嶋　　睦	臨床教授	（内科学　（脳神経内科学分野））
	山　村　幸　江	准教授	（耳　鼻　咽　喉　科　学）
	越　野　一　朗	講　師	（生化学（生化学分野））
委　員	大　森　久　子	講　師	（足立医療センター内科）
	森　本　　聡	准教授	（高　血　圧　内　科　学）
	小　川　真　平	講　師	（消　化　器　外　科　学）
	衛　藤　　薫	講　師	（小　児　科　学）

「至誠と愛」の実践学修教育委員会

委員長	西　村　勝　治	教　授	（精　神　医　学）
副委員長	岩　﨑　直　子	教　授	（成人医学センター）
〃	柳　澤　直　子	教　授	（微生物学免疫学）
〃	佐　藤　　梓	講　師	（統合教育学修センター　基礎科学）

研究プロジェクト教育委員会

委員長	藤　枝　弘　樹	教　授	（解剖学（神経分子形態学分野））

国際コミュニケーション委員会

委員長	長　坂　安　子	教　授	（麻酔科学（麻酔科学分野））
副委員長	遠　藤　美　香	講　師	（統合教育学修センター　基礎教育学）

AI・データサイエンスと医療教育委員会

委員長	岡　本　高　宏	教　授	（内分泌外科（内分泌外科学分野）

学生委員

学年担当	石　津　　綾　子	教　授	（解剖学（顕微解剖学・形態形成学））

選択科目履修要領（第1～第4学年）

1.　科目名(23科目)

初級ドイツ語	初級中国語	心理学	物理学
初級フランス語	倫理学	医療人のための経済学	化学
英語（Medical Discussion）	文化人類学	医療人のための法学	食と栄養の科学
英語（Basic Listening ）	女性とジェンダー	医療と社会デザイン	医学情報学
医療英語（Medical English ）	哲学	数学	フィットネスの理論と実技
初級コリア語	歴史学	生物学	

2. 開講期間・曜日・時限

開講期間は各科目とも半年間です。その時期は前期を4/13から9/14、後期は9/21から翌年1/25までの水曜日5 限（15：20～16：30）、6 限（16：45～ 17：55）に開講する。

3. ガイダンスおよび履修登録について

・ガイダンス　今年度はガイダンスを開催しません。学修の手引きと追加資料（1年生には新入生オリエンテーションにて配布予定、2年生以上にはポータルサイトに掲載予定）を参照の上、履修登録を行うこと。

・履修登録について

１年生前期：

新入生オリエンテーション時の配布資料をよく読み、Google フォームにて出席番号、氏名を入力し、履修希望科目を選び、送信すること。

登録期間は 4 月 7 日(木)12:30 まで

※１．期間厳守のこと。その後の申請は一切認めない。

２．Google フォームにて履修申請し、その科目が登録されなければ、出席しても無効となる。

３．科目によって受講者数を制限することがある。

４．登録結果および各科目の講義室は、開講日までに学生ポータルサイト１年総合掲示板に掲載する。

３．により登録されなかった科目があった場合の指示もこの時に掲載する。

１年生後期、および 2～4 年(前・後期):

新学年ポータルサイトからの web 登録のみ受付を行う。

登録方法の詳細は登録期間前に各学年の総合掲示板に掲載する。

登録期間は次のとおり。

前期分…4 月 1 日(金)～4 月 7 日(木)12:30 まで（期間を過ぎると登録できない。）

後期分…8 月 29 日(月)～9 月 7 日(水)12:30 まで（　　〃　　）

※１．web 登録を行い、その科目が登録されなければ、出席しても無効となる。

２．受講者数の制限、登録結果等の掲載方法は上記と同様

4. 履修認定について

各科目は2単位(半年間)の科目を4年次までにのべ6科目以上（12単位以上）履修しなければならない。

そのうち2科目以上は人文・社会科学系の科目(学生便覧:学則第9条関係別表Ⅰ)とする。

各科目の講義内容は、前期・後期が同じ場合も異なる場合もある。この場合、同一科目でも内容あるいは段階が異なるものなら2科目と認められる。 なお、他大学での既修得単位を認定する場合がある。（以上、**学生便覧参照**）

5. 履修登録完了後は、その取り消しおよび変更は認めない。

6. 選択科目の成績は及落判定の対象となる。ただし、ある学年で選択科目が不合格の場合、上級学年で単位を取得できると認められるときに限って、及落には特別の配慮を行うことがある。

7. なお、第2～第4学年では、上記12単位の他に指定する他大学のオープン科目(自由選択)の中からさらに受講することができる。取得した単位は、東京女子医科大学医学部では増加単位として認められる。(卒業単位へは算入されない)

医学部 選択科目時間割

前　　期

【水曜　5限　15:20～16:30】

前　期（4月13日～9月14日）	
~~初級フランス語Ⅰ（）~~　令和4年度は非開講	
英語（Medical Discussion Ⅰ）（スタウト）	
初級中国語Ⅰ（舘）	（共通）
哲学Ａ（梶谷）	（共通）
医療人のための法学Ａ（中島）	（共通）
医療と社会デザインＡ（坂元）	
フィットネスの理論と実技Ａ（沢田）　※	

【水曜　6限　16:45～17:55】

前　期（4月13日～9月14日）	
初級ドイツ語Ⅰ（伊藤）	（共通）
英語（Basic Listening Ⅰ）（スタウト）	
~~医療英語（Medical English Ⅰ）（）（共通）~~ 令和4年度は非開講	
初級コリア語Ⅰ（朴）	（共通）
倫理学Ａ（磯部）	（共通）
歴史学Ａ（林）	（共通）
心理学Ａ（大塚）	
医療人のための経済学Ａ（粟沢）	（共通）
数学Ａ（小野木）	
医学情報学（佐藤）2～4年	

後　　期

【水曜　5限　15:20～16:30】

後　期（9月21日～1月25日）	
~~初級フランス語Ⅱ（）~~　令和4年度は非開講	
英語（Medical Discussion Ⅱ）（スタウト）	
初級中国語Ⅱ（舘）	（共通）
哲学Ｂ（梶谷）	（共通）
心理学Ｂ（宮脇）	
医療人のための法学Ｂ（中島）	（共通）
医療と社会デザインＢ（坂元）	
生物学（後期）（石井）	
物理学（後期）Ａ（辻野）	
化学（後期）（中村）	
フィットネスの理論と実技Ｂ（沢田）　※	

【水曜　6限　16:45～17:55】

後　期（9月21日～1月25日）	
初級ドイツ語Ⅱ（伊藤）	（共通）
英語（Basic Listening Ⅱ）（スタウト）	
~~医療英語（Medical English Ⅱ）（）（共通）~~ 令和4年度は非開講	
初級コリア語Ⅱ（朴）	（共通）
倫理学Ｂ（磯部）	（共通）
歴史学Ｂ（林）	（共通）
医療人のための経済学Ｂ（粟沢）	（共通）
数学Ｂ（小野木）	
物理学（後期）Ｂ（辻野）	
食と栄養の科学（松井）	

（共通）は看護学部との共通科目です。

※「フィットネスの理論と実技」は、前期と後期は同じ内容です。どちらか１つしか履修できません。

＜看護学部の開講科目＞

【水曜　5限　15:15～16:25】

※授業開始時間が医学部開講科目と異なりますので、ご注意ください。

前　期（4月13日～9月14日）	
文化人類学Ａ（宍戸）　※	（共通）
女性とジェンダーＡ（平川）　※	（共通）

【水曜　5限　15:15～16:25】

後　期（9月21日～1月25日）	
文化人類学Ｂ（宍戸）　※	（共通）
女性とジェンダーＢ（平川）　※	（共通）

※「文化人類学」と「女性とジェンダー」は、前期と後期は同じ内容です。どちらか１つしか履修できません。

Ⅶ　講義・実習時間割表

令和4年度　Segment6　講義・実習時間割表

		Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅳ	Ⅴ	Ⅵ
		09:00　10:10	10:25　11:35	12:30　13:40	13:55　15:05	15:15　16:25	16:35　17:45
第1週（自宅週）	8／29 月	(講義) セグメント6ガイダンス 講義・実習・テュートリアル・研究プロジェクト (脳神経内科学　北川)	(講義) 脳神経系1 1　科目の概要 (生理学(神経生理学分野)宮田)	(講義) 脳神経系1 2　脳血管、髄膜、脳脊髄液 (解剖学(神経分子形態学分野)本多)	(講義) 脳神経系1 3　脊髄、脊髄神経 (解剖学(神経分子形態学分野)本多)	(講義) 脳神経系1 4　脳幹、脳神経 (解剖学(神経分子形態学分野)本多)	
	8／30 火	(講義) 脳神経系1 5　小脳 (解剖学(神経分子形態学分野)本多)	(講義) 脳神経系1 6　小脳の機能と運動制御 (生理学(神経生理学分野)宮田)	(講義) 脳神経系1 10　間脳、大脳基底核 (解剖学(神経分子形態学分野)本多)	(講義) 脳神経系1 7　大脳基底核の機能 (生理学(神経生理学分野)宮田)	(講義) 脳神経系1 9　自律神経中枢、内臓機能の調節 (生理学(神経生理学分野)宮田)	(講義) 脳神経系1 16　脳の正常画像(Ⅰ)核医学 (画像診断学・核医学　金子)
	8／31 水	(講義) 脳神経系1 11　終脳 (解剖学(神経分子形態学分野)本多)	(講義) 脳神経系1 8　大脳皮質運動野の機能・運動制御まとめ (生理学(神経生理学分野)宮田)	(講義) 脳神経系1 12　間脳、大脳皮質の機能 (生理学(神経生理学分野)宮田)	(講義) 脳神経系1 13　脳幹の機能：姿勢と歩行 (統合医科学研究所　赤川)	(講義) 精神系 1　科目の概要／精神科診断学総論 (精神医学　西村)	
	9／1 木	(講義) 脳神経系1 14　伝導路(Ⅰ)感覚器系(上行性)伝導路 (解剖学(神経分子形態学分野)　本多)	(講義) 脳神経系1 15　伝導路(Ⅱ)運動系(下行性)伝導路 (解剖学(神経分子形態学分野)　本多)	(講義) 国際コミュニケーション 海外留学のためのCV、書類の書き方 (先端生命医科学研究所北原)(統合教育学修センター(基礎教育学)　遠藤)	(講義) 脳神経系1 23　神経系の補助診断検査(Ⅰ) (脳神経内科学　清水、飯嶋)	(講義) 脳神経系1 18　神経症候学(Ⅰ) (脳神経内科学　北川)	(講義) 脳神経系1 19 神経症候学(Ⅱ) (脳神経内科学　北川)
	9／2 金	(講義) 脳神経系2 1　科目の概要 (脳神経外科学　天野)	(講義) 脳神経系1 17　脳の正常画像(Ⅱ)CT・MRI (画像診断学・核医学　阿部　香代子)	(TBL) TBLオリエンテーション (脳神経内科学　飯嶋)			
	9／3 土						

令和4年度　Segment6　講義・実習時間割表

		Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅳ	Ⅴ	Ⅵ
		09:00　10:10	10:25　11:35	12:30　13:40	13:55　15:05	15:15　16:25	16:35　17:45
第2週（自宅週　※一部実習は登校）	9／5 月	(講義) 脳神経系2 25　小児脳神経外科疾患 (脳神経外科学 藍原)	(講義) 脳神経系2 26　神経系外傷 (八千代医療センター 脳神経外科　川島)	(実習) 基礎系実習1 脳神経系1 1, 2, 3　解剖1　中枢(解剖)脳全景・髄膜・血管系 (解剖学(神経分子形態学分野)　藤枝、本多、齋藤、須藤、蒋池)			
	9／6 火	(講義) 脳神経系1 27　ニューロンとグリアの細胞病理学(Ⅰ) (病理学(人体病理学・病態神経科学分野) 倉田)	(講義) 脳神経系1 28　ニューロンとグリアの細胞病理学(Ⅱ) (病理学(人体病理学・病態神経科学分野) 倉田)	(実習) 基礎系実習1 脳神経系1 4, 5, 6　解剖2　中枢(解剖)小脳・脳幹 (解剖学(神経分子形態学分野)　藤枝、本多、齋藤、須藤、蒋池)			
	9／7 水	(講義) 脳神経系2 14　脳腫瘍の病理 病理学(人体病理学・病態神経科学分野)増井)	(講義) 脳神経系2 35 脳腫瘍　良性腫瘍 (脳神経外科学　川俣)	(講義) セグメント6ガイダンス リーダーとしてメンバーとしての健康管理 (学生健康管理室 横田)	(講義) 眼・視覚系 1　視覚器概要 (眼科学　丸子)	(選択科目) 15:20～16:30 **前期 V-14**	(選択科目) 16:45～17:55 **前期 VI-14**
	9／8 木		(講義) 脳神経系1 22　神経系の補助診断検査(Ⅱ) (脳神経内科学 飯嶋)	(TBL) 自己学修	(TBL) 14:00～15:40 TBL課題1-1		(TBL) 15:50～17:00 自己学修
	9／9 金	(実習) 基礎系実習1 脳神経系1 7, 8　解剖3　中枢(解剖)間脳・終脳 (解剖学(神経分子形態学分野)　藤枝、本多、齋藤、須藤、蒋池)		(実習) 基礎系実習1 脳神経系1 9, 10, 11　解剖4　中枢(解剖)大脳の内景・脊髄 (解剖学(神経分子形態学分野)　藤枝、本多、齋藤、須藤、蒋池)			
	9／11 土						

令和4年度　Segment6　講義・実習時間割表

		Ⅰ 09:00　10:10	Ⅱ 10:25　11:35	Ⅲ 12:30　13:40	Ⅳ 13:55　15:05	Ⅴ 15:15　16:25	Ⅵ 16:35　17:45
第3週（自宅週　※一部実習は登校）	9／12 月	(講義) 脳神経系1 29　ニューロンとグリアの細胞病理学(Ⅲ) (病理学(人体病理学・病態神経科学分野)　倉田)	(講義) 脳神経系2 10　神経血管障害の病理(1) (病理学(人体病理学・病態神経科学分野)　増井)	(TBL) 自己学修	(TBL) 14:00～15:40 TBL課題1-2		(TBL) 15:50～17:00 自己学修
	9／13 火	(講義) 脳神経系2 5　癌・集学的治療における放射線治療の役割 (放射線腫瘍学　唐澤)	(講義) 脳神経系2 11　神経血管障害の病理(2) (病理学(人体病理学・病態神経科学分野)　増井)	(講義) 脳神経系2 12　神経血管障害の病理(3) (病理学(人体病理学・病態神経科学分野)　増井)	(講義) 脳神経系2 22　神経系感染症の病理(1) (病理学(人体病理学・病態神経科学分野)　増井)	(講義) 脳神経系2 23　神経系感染症の病理(2) (病理学(人体病理学・病態神経科学分野)　増井)	
	9／14 水	(講義) 脳神経系2 7　小児の神経疾患 (小児科学　小平)	(実習) 基礎系実習1 脳神経系1 12, 13, 14　中枢神経系の微細構造(組織学) (解剖学(顕微解剖学・形態形成学)　石津、横溝、菊田、森島、望月、矢作) (統合教育学修センター(基礎科学)石井、浦瀬)			(選択科目) 15:20～16:30 **前期 V-15**	(選択科目) 16:45～17:55 **前期 VI-15**
	9／15 木	(講義) 脳神経系2 3　脳・脊髄の感染症(1) (脳神経内科学　清水)	(講義) 脳神経系2 4　脳・脊髄の感染症(2) (脳神経内科学　清水)	(TBL) 自己学修	(TBL) 14:00～15:40 TBL課題2-1		(TBL) 15:50～17:00 自己学修
	9／16 金	(講義) 脳神経系1 30　意識と睡眠 (統合医科学研究所　赤川)	(講義) 精神系 2　学習と記憶のメカニズム (生理学(神経生理学分野)宮田)	(実習) 基礎系実習1 脳神経系1 15, 16, 17　神経生理実習1 (生理学(神経生理学分野)宮田、植田、緑川、河村、安田、丸山、児玉) (生理学(分子細胞生理学分野)三谷、茂泉、末廣、出嶋、吉田、伊豆原、大野)			
	9／17 土						

令和4年度　Segment6　講義・実習時間割表

		Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅳ	Ⅴ	Ⅵ
		09:00　10:10	10:25　11:35	12:30　13:40	13:55　15:05	15:15　16:25	16:35　17:45
第4週（登校週）	9／19 月	敬老の日					
	9／20 火	（講義） 眼・視覚系 16　感覚器組織学(視覚) （解剖学(神経分子形態学)　齋藤）	（講義） 脳神経系2 13　脊椎・脊髄(1) （脳神経外科学　佐々木）	（実習） 基礎系実習1脳神経系1 18, 19, 20　神経生理実習2 （生理学(神経生理学分野)宮田、植田、緑川、河村、安田、丸山、児玉） （生理学(分子細胞生理学分野)三谷、茂泉、末廣、出嶋、吉田、伊豆原、大野）		
	9／21 水	（講義） 脳神経系2 6　鎮痛薬・抗炎症薬 （薬理学　塚原）	（講義） 脳神経系2 34　脳血管障害の外科(1) （脳神経外科学　川俣）	（講義） 脳神経系1 26　意識障害と脳死 （脳神経外科学江口）	（講義） 国際コミュニケーション 1　既習医学分野の英語レクチャー （慶應義塾大学　フーユィーング）(統合教育学修センター(基礎教育学)遠藤）	（選択科目） 15:20～16:30 後期 Ⅴ-1	（選択科目） 16:45～17:55 後期 Ⅵ-1
	9／22 木	（講義） 運動器系 1　科目の概要　運動器の序論 （整形外科学　岡崎）	（講義） 皮膚粘膜系 1　科目の概要、皮疹の見方・皮膚免疫・皮膚検査法 （皮膚科学　石黒）	（講義） 皮膚粘膜系 2　湿疹・接触皮膚炎 （皮膚科学　竹中）	（講義） 脳神経系2 16　脳血管障害(1) （脳神経内科学　北川）	（講義） 脳神経系2 17　脳血管障害(2) （脳神経内科学　北川）	
	9／23 金	秋分の日					
	9／24 土						

令和4年度　Segment6　講義・実習時間割表

		Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅳ	Ⅴ	Ⅵ
		09:00　10:10	10:25　11:35	12:30　13:40	13:55　15:05	15:15　16:25	16:35　17:45
第5週（登校週）	9／26 月	(講義) 聴覚・耳鼻咽喉系 1　科目の概要 (耳鼻咽喉科学　野中)	(講義) 脳神経系2 18　フロッピーインファント (小児科学　石垣)	(TBL) 自己学修	(TBL) 14:00～15:40 TBL課題2-2		(TBL) 15:50～17:00 自己学修
	9／27 火	(講義) 精神系 3　心身症の診断 (足立医療センター内科　石川)	(講義) 聴覚・耳鼻咽喉系 2　感覚器組織学(聴覚) (解剖学(顕微解剖学・形態形成学)森島)	(実習) 基礎系実習1 脳神経系1 21, 22, 23　神経生理実習3 (生理学(神経生理学分野)宮田、植田、緑川、河村、安田、丸山、児玉) (生理学(分子細胞生理学分野)三谷、茂泉、末廣、出嶋、吉田、伊豆原、大野)			
	9／28 水	(講義) 脳神経系2 8　小児のけいれん性疾患 (小児科学　伊藤　進)	(実習) 基礎系実習1 脳神経系2 1, 2　神経系の病理(1) (病理学(人体病理学・病態神経科学分野)増井、加藤) (病理診断学　山本)		(講義) 脳神経系2 24　神経系感染症の病理(3) 病理学(人体病理学・病態神経科学分野)増井	(選択科目) 15:20～16:30 **後期 V-2**	(選択科目) 16:45～17:55 **後期　Ⅵ-2**
	9／29 木	(講義) 脳神経系2 47　脱随性疾患 (脳神経内科学　清水)	(講義) 脳神経系2 48　内科疾患と神経障害 (脳神経内科学　原)	(TBL) 自己学修	(TBL) 14:00～15:40 TBL課題3-1		(TBL) 15:50～17:00 自己学修
	9／30 金	(講義) 脳神経系2 20　周生期脳障害 (小児科学　竹下)	(講義) 脳神経系1 25　神経系の発達症候学 (小児科学　竹下)	(実習) 基礎系実習1 脳神経系1 24, 25, 26　神経生理実習4 (生理学(神経生理学分野)宮田、植田、緑川、河村、安田、丸山、児玉) (生理学(分子細胞生理学分野)三谷、茂泉、末廣、出嶋、吉田、伊豆原、大野)			
	10／1 土						

令和4年度　Segment6　講義・実習時間割表

		Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅳ	Ⅴ	Ⅵ
		09:00　10:10	10:25　11:35	12:30　13:40	13:55　15:05	15:15　16:25	16:35　17:45
第6週（自宅週　※一部実習は登校）	10／3 月	(講義) 脳神経系2 36　中枢神経系の画像診断(1) (鹿児島大学　吉浦)	(講義) 脳神経系2 37　中枢神経系の画像診断(2) (鹿児島大学　吉浦)	(TBL) 自己学修	(TBL) 14:00～15:40 TBL課題3-2		(TBL) 15:50～17:00 自己学修
	10／4 火	(講義) 脳神経系2 27　変性疾患・遺伝性疾患(1) (脳神経内科学　飯嶋)	(講義) 脳神経系2 28　変性疾患・自律神経疾患 (脳神経内科学　飯嶋)	(実習) 基礎系実習1 聴覚・耳鼻咽喉系 1, 2, 3　解剖　感覚器(組織学)聴覚 (解剖学(顕微解剖学・形態形成学)　石津、横溝、菊田、森島、望月、矢作) (統合教育学修センター(基礎科学)石井、浦瀬)			
	10／5 水	(講義・ワークショップ) 「至誠と愛」の実践学修 キャリアを考える(8)(9)「女性医師のロールモデル実習　振り返りWS」 (成人医学センター　岩﨑) (学生健康管理室　横田) (統合教育学修センター(基礎科学)　佐藤、中村)		(講義) 脳神経系2 29　定位放射線手術(ガンマナイフ) (脳神経外科学　林)	(講義) 脳神経系2 51　機能的脳神経外科 (脳神経外科学　堀澤)	(選択科目) 15:20～16:30 **後期 V-3**	(選択科目) 16:45～17:55 **後期　Ⅵ-3**
	10／6 木	(講義) 運動器系 2　運動器の解剖(1)　骨の構造・生理・成長 (整形外科学　岡崎)	(講義) 運動器系 5　運動器の病理　骨組織 (病理診断学　山本)	(TBL) 自己学修	(TBL) 14:00～15:40 TBL課題4-1		(TBL) 15:50～17:00 自己学修
	10／7 金	(講義) 皮膚粘膜系 3　皮膚の構造(1) (解剖学(顕微解剖学・形態形成学)菊田)	(講義) 皮膚粘膜系 4　皮膚の構造(2) (解剖学(顕微解剖学・形態形成学)菊田)	(実習) 基礎系実習2 眼・視覚系 1, 2, 3　解剖　感覚器(組織学)視覚 (解剖学(顕微解剖学・形態形成学)　石津、横溝、菊田、森島、望月、矢作) (統合教育学修センター(基礎科学)石井、浦瀬)			
	10／8 土						

令和4年度　Segment6　講義・実習時間割表

		Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅳ	Ⅴ	Ⅵ
		09:00　10:10	10:25　11:35	12:30　13:40	13:55　15:05	15:15　16:25	16:35　17:45
第7週（自宅週　※一部実習は登校）	10／10 月	スポーツの日					
	10／11 火	(講義) 脳神経系2 38　小児期発症の変性疾患(脳白質変性を中心に) (小児科学　伊藤　康)	(講義) 脳神経系2 39　脳血管障害の外科(2) (脳神経外科学　山口)	(講義) 運動器系 7　運動器の解剖(2)　関節・靭帯・腱・筋 (整形外科学　猪狩)	(実習)※講義形式 基礎系実習2 運動器系 1, 2, 3　解剖　運動器(解剖・整形外科)　骨関節 (整形外科学　伊藤　淳哉)		
	10／12 水	(講義) 脳神経系2 19　脳腫瘍　悪性腫瘍 (脳神経外科学　丸山)	(講義) 脳神経系2 21　てんかん (脳神経外科学　久保田)	(講義) 脳神経系2 50　出血性脳血管障害 (脳神経外科学　石川)	(講義) 脳神経系2 30　脳・脊髄感染症の外科 (脳神経外科学　江口)	(選択科目) 15:20～16:30 **後期 Ⅴ-4**	(選択科目) 16:45～17:55 **後期 Ⅵ-4**
	10／13 木	(講義) 脳神経系2 45　中枢神経系の画像診断(3) (画像診断学・核医学　野口)	(講義) 脳神経系2 46　筋疾患 (脳神経内科学　鈴木)	(TBL) 自己学修	(TBL) 14:00～15:40 TBL課題4-2		(TBL) 15:50～17:00 自己学修
	10／14 金	(講義) 脳神経系2 2　脊椎・脊髄(2) (脳神経外科学　三浦)	(講義) 精神系 7　脳内活性物質・神経伝達物質 (生化学　中村)	(講義) 脳神経系1 24　神経の分化と回路形成の分子機構 (生化学　中村)	(講義) 精神系 21　神経心理学と心理・精神機能検査 (精神医学　押淵)		
	10／15 土						

令和4年度　Segment6　講義・実習時間割表

		Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅳ	Ⅴ	Ⅵ
		09:00　10:10	10:25　11:35	12:30　13:40	13:55　15:05	15:15　16:25	16:35　17:45
第8週（自宅週）	10／17 月	(講義) 脳神経系2 52　間脳下垂体 (脳神経外科学 天野)	(講義) 国際コミュニケーション 2　既習医学分野の英語レクチャー (先端生命医科学研究所 チェルノフ　ミハイル)(統合教育学修センター(基礎教育学)　遠藤)	(TBL) 自己学修	(TBL) 14:00～15:40 TBL課題5-1		(TBL) 15:50～17:00 自己学修
	10／18 火		(講義) 精神系 5　心の脳科学 (生理学(神経生理学分野)　夏堀)	(実習) 基礎系実習2 皮膚粘膜系 1, 2, 3　皮膚の構造 (解剖学(顕微解剖学・形態形成学)　石津、横溝、菊田、森島、望月、矢作) (統合教育学修センター(基礎科学)石井、浦瀬)			
	10／19 水	(講義) 精神系 6　精神症状学 (精神医学　西村)	(講義) 脳神経系2 31　神経変性疾患の病理(1) 病理学(人体病理学・病態神経科学分野)　増井)	(講義) 精神系 9　器質性精神障害・物質誘発性精神障害 (足立医療センター 精神科　大坪)	(講義) 「至誠と愛」の実践学修 臨床研究倫理(1) (研究推進センター 時田)	(選択科目) 15:20～16:30 **後期 V-5**	(選択科目) 16:45～17:55 **後期Ⅵ-5**
	10／20 木	**女子医大際の準備**					
	10／21 金	**女子医大際**					
	10／22 土	**女子医大際**					

令和4年度　Segment6　講義・実習時間割表

		Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅳ	Ⅴ	Ⅵ
		09:00　10:10	10:25　11:35	12:30　13:40	13:55　15:05	15:15　16:25	16:35　17:45
第9週（自宅週）	10／24 月	(講義) 聴覚・耳鼻咽喉系 3　味覚・嗅覚の信号伝達と情報処理 (生理学(神経生理学分野)　緑川)	(講義) 聴覚・耳鼻咽喉系 4　聴覚の信号伝達と情報処理 (生理学(神経生理学分野)　緑川)	(TBL) 自己学修	(TBL) 14:00～15:40 TBL課題5-2		(TBL) 15:50～17:00 自己学修
	10／25 火	(講義) 精神系 10　気分障害/自殺 (八千代医療センター心身医療科　高橋)	(講義) 眼・視覚系 2　視覚の信号伝達と情報処理(1) (生理学(神経生理学分野)　緑川)	(講義) 眼・視覚系 3　視覚の信号伝達と情報処理(2) (生理学(神経生理学分野)　緑川)	(実習) 基礎系実習1 脳神経系2 3，4，5　神経系の病理(2) (病理学(人体病理学・病態神経科学分野)増井、加藤) (病理診断学　山本)		
	10／26 水	(講義) 皮膚粘膜系 5　アトピー性皮膚炎 (皮膚科学　竹中)	(講義) 脳神経系2 53　末梢神経疾患 (脳神経内科学　鈴木)	(講義) 精神系 13　トラウマ関連障害 (精神医学　赤穂)	(講義) 精神系 14　心身症の治療 (足立医療センター内科　石川)	(選択科目) 15:20～16:30 **後期 Ⅴ-6**	(選択科目) 16:45～17:55 **後期Ⅵ-6**
	10／27 木	(講義) 精神系 11　パーソナリティーと行動の障害 (精神医学　辻)	(講義) 精神系 4　精神機能と画像 (画像診断学・核医学　坂井)	(TBL) 自己学修	(TBL) 14:00～15:40 TBL課題6-1		(TBL) 15:50～17:00 自己学修
	10／28 金			(講義) 脳神経系2 32　神経変性疾患の病理(2) 病理学(人体病理学・病態神経科学分野)　増井)	(講義) 脳神経系2 33　神経変性疾患の病理(3) 病理学(人体病理学・病態神経科学分野)　増井)	(講義) 脳神経系2 49　中枢神経系　RI診断 (画像診断学・核医学　金子)	
	10／29 土						

令和4年度　Segment6　講義・実習時間割表

		Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅳ	Ⅴ	Ⅵ
		09:00　10:10	10:25　11:35	12:30　13:40	13:55　15:05	15:15　16:25	16:35　17:45
第10週（自宅週）	10／31 月			(TBL) 自己学修	(TBL) 14:00～15:40 TBL課題6-2		(TBL) 15:50～17:00 自己学修
	11／1 火	(講義) 眼・視覚系 7　結膜疾患 (八千代医療センター眼科　篠崎)	(講義) 聴覚・耳鼻咽喉系 5　平衡感覚 生理学(神経生理学分野) 植田)	(講義) 運動器系 6　運動器の病理　軟部組織 (病理診断学　山本)	(実習) 基礎系実習1 脳神経系2 6, 7, 8　神経系の病理(3) (病理学(人体病理学・病態神経科学分野) 増井、加藤) (病理診断学　山本)		
	11／2 水	(講義) 脳神経系2 15　頭痛 (脳神経外科学 清水)	(講義) 脳神経系2 9　脳腫瘍の放射線治療 (放射線腫瘍学 橋本)	(講義) 精神系 16　睡眠覚醒障害 (精神医学　松井)	(講義) 精神系 12　児童・青年期の精神障害 (精神医学　押淵)	(選択科目) 15:20～16:30 **後期 Ⅴ-7**	(選択科目) 16:45～17:55 **後期Ⅵ-7**
	11／3 木	**文化の日**					
	11／4 金	(実習) 研究プロジェクト 研究倫理 グループワーク (薬理学　塚原) (解剖学(神経分子形態学)　本多)		(実習) 基礎系実習2 運動器系 4, 5　運動器の病理 (病理学(人体病理学・病態神経科学分野) 増井、加藤) (病理診断学　山本)			
	11／5 土						

令和4年度　Segment6　講義・実習時間割表

		Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅳ	Ⅴ	Ⅵ
		09:00　10:10	10:25　11:35	12:30　13:40	13:55　15:05	15:15　16:25	16:35　17:45
第11週（登校週）	11／7 月	（講義） 聴覚・耳鼻咽喉系 10　耳科検査(2) 平衡機能検査 （八千代医療センター耳鼻咽喉科　門園）	（講義） 聴覚・耳鼻咽喉系 9　耳科検査 (1) 聴覚検査 （足立医療センター耳鼻咽喉科　須納瀬）	(TBL) 自己学修	(TBL) 14:00～15:40 TBL課題7-1		(TBL) 15:50～17:00 自己学修
	11／8 火		（講義） 聴覚・耳鼻咽喉系 6 耳鼻咽喉科領域の病理 （病理診断学　山本）	（講義） 眼・視覚系 5　視覚器の病理 （病理診断学　山本）	（実習） 脳神経系1,脳神経系2,聴覚・耳鼻咽喉系,眼・視覚系,運動器系 1　臨床実習(1)		
	11／9 水	（講義・演習） AI・データサイエンスと医療 1　記述疫学・生態学的研究・横断研究 （衛生学公衆衛生学野原）	（講義・演習） AI・データサイエンスと医療 2　コホート研究・症例対照研究 （衛生学公衆衛生学野原）	（講義・演習） AI・データサイエンスと医療 3　医学研究における文献検索1 （衛生学公衆衛生学野原、三木） （図書館　加藤、野田、重川、田部）	（講義・演習） AI・データサイエンスと医療 4　医学研究における文献検索2 （衛生学公衆衛生学野原、三木） （図書館　加藤、野田、重川、田部）	（選択科目） 15:20～16:30 **後期 V-8**	（選択科目） 16:45～17:55 **後期　Ⅵ-8**
	11／10 木	（講義） 脳神経系2 41　先天奇形 （小児科学　衛藤）	（実習） 基礎系実習1 脳神経系2 9, 10　神経系の病理(4) （病理学（人体病理学・病態神経科学分野）増井、加藤） （病理診断学　山本）		（講義） 脳神経系2 43　筋細胞の分子遺伝学(1) （遺伝子医療センター荒川）	（講義） 脳神経系2 44　筋細胞の分子遺伝学(2) （遺伝子医療センター荒川）	（講義） 脳神経系2 42　運動ニューロン疾患 （脳神経内科学　武田 ）
	11／11 金	（講義） 眼・視覚系 13　その他の網膜硝子体疾患 （眼科学　丸子一朗）	（講義） 眼・視覚系 6　調節・屈折 （眼科学　丸子留佳）	（講義） 精神系 17　抗精神病薬・抗うつ薬 （薬理学　塚原）			
	11／12 土						

令和4年度　Segment6　講義・実習時間割表

		Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅳ	Ⅴ	Ⅵ
		09:00　10:10	10:25　11:35	12:30　13:40	13:55　15:05	15:15　16:25	16:35　17:45
第12週（登校週）	11／14 月	（講義） 聴覚・耳鼻咽喉系 8　画像診断 （画像診断学・核医学 井田）	（講義） 眼・視覚系 11　網膜疾患(1) （眼科学　飯田）	(TBL) 自己学修	(TBL) 14:00～15:40 TBL課題7-2		(TBL) 15:50～17:00 自己学修
	11／15 火		（講義） 運動器系 23　足の疾患 （整形外科学　矢野）	（講義） 精神系 8　神経症性障害 （精神医学　佐藤）	（実習） 脳神経系1,脳神経系2,聴覚・耳鼻咽喉系,眼・視覚系,運動器系 1　臨床実習(2)		
	11／16 水	（講義） 眼・視覚系 12　網膜疾患(2) （眼科学　長谷川）	（講義） 眼・視覚系 14　ぶどう膜疾患(1) （八千代医療センター 眼科　豊口）	（講義） 聴覚・耳鼻咽喉系 11　外耳・中耳疾患 （耳鼻咽喉科学 崎谷）	（講義） 聴覚・耳鼻咽喉系 14　耳科手術 （耳鼻咽喉科学 野中）	(選択科目) 15:20～16:30 **後期 Ⅴ-9**	(選択科目) 16:45～17:55 **後期Ⅵ-9**
	11／17 木	（講義） 眼・視覚系 9　角膜疾患(1)、強膜疾患 （眼科学　木全）	（講義） 聴覚・耳鼻咽喉系 20　鼻アレルギー （耳鼻咽喉科学 瀬尾）		（実習） 臨床系実習 皮膚粘膜系 1，2，3　皮疹の種類と組織像 （皮膚科学　石黒、山上、福屋、竹中、鈴木、宮田、近藤、浦山、児島）		
	11／18 金	（講義・ワークショップ） 「至誠と愛」の実践学修 医療行為における法と倫理 （早稲田大学 社会科学部　横野） （統合教育学修センター 佐藤）	（実習） 研究プロジェクト 個人情報の取扱い （精神医学　西村）	（実習） 基礎系実習1 聴覚・耳鼻咽喉系 4，5　眼科・耳鼻咽喉科疾患の病理 （病理学（人体病理学・病態神経科学分野） 増井、加藤） （病理診断学　山本）			
	11／19 土						

令和4年度　Segment6　講義・実習時間割表

		Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅳ	Ⅴ	Ⅵ
		09:00　10:10	10:25　11:35	12:30　13:40	13:55　15:05	15:15　16:25	16:35　17:45
第13週（自宅週　※一部実習は登校）	11／21 月	（講義） 眼・視覚系 8　眼瞼・涙器疾患 （眼科学　篠崎）	（講義） 脳神経系2 40　先天神経奇形の病理 （病理学（人体病理学・病態神経科学分野）増井）	（講義） 精神系 15　精神科治療：身体療法・薬物療法 （精神医学　押淵）	（実習） 臨床系実習 精神系 ①精神科構造化面接とその実際 （精神医学　押淵）		
	11／22 火			（実習） 研究プロジェクト 研究プロジェクト直前オリエンテーション （解剖学（神経分子形態学）藤枝）	（講義・ワークショップ） 「至誠と愛」の実践学修 薬害を考える「看護学部生、薬学部生と考える」 （統合教育学修センター（基礎科学）　佐藤） （血液浄化療法科 花房）（看護学部 吉武、吉田） （薬剤部　深谷）（患者講師）		
	11／23 水	勤労感謝の日					
	11／24 木	（講義・演習） AI・データサイエンスと医療 5　JMPによるデータ解析 （衛生学公衆衛生学　佐藤）	（講義） 眼・視覚系 17　緑内障(1) （眼科学　小暮俊介）	（講義） 精神系 20　睡眠薬・抗不安薬 （薬理学　塚原）	（TBL） TBL※予備日		
	11／25 金	（講義） 運動器系 3　結合組織の分子・代謝 （生化学　中村）	（講義） 運動器系 4　骨・筋肉における分子・代謝 （生化学　中村）	（講義） 眼・視覚系 10　角膜疾患(2) （八千代医療センター眼科　篠崎）	（実習） 脳神経系1,脳神経系2,聴覚・耳鼻咽喉系,眼・視覚系,運動器系 2　臨床実習（3）		
	11／26 土						

令和4年度　Segment6　講義・実習時間割表

		Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅳ	Ⅴ	Ⅵ
		09:00　10:10	10:25　11:35	12:30　13:40	13:55　15:05	15:15　16:25	16:35　17:45
第14週（研究プロジェクト）	11／28 月	(実習) 研究プロジェクト 09:00～17:00					
	11／29 火	(実習) 研究プロジェクト 09:00～17:00					
	11／30 水	(実習) 研究プロジェクト 09:00～15:05				(選択科目) 15:20～16:30 後期 V-10	(選択科目) 16:45～17:55 後期Ⅵ-10
	12／1 木	(実習) 研究プロジェクト 09:00～17:00					
	12／2 金	(実習) 研究プロジェクト 09:00～17:00					
	12／3 土						

令和4年度　Segment6　講義・実習時間割表

		Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅳ	Ⅴ	Ⅵ
		09:00 10:10	10:25 11:35	12:30 13:40	13:55 15:05	15:15 16:25	16:35 17:45
第15週（研究プロジェクト）	12／5 月	（創立記念日）					
	12／6 火	（実習） 研究プロジェクト 09:00～17:00					
	12／7 水	（実習） 研究プロジェクト 09:00～15:05				（選択科目） 15:20～16:30 後期 V-11	（選択科目） 16:45～17:55 後期 VI-11
	12／8 木	（実習） 研究プロジェクト 09:00～17:00					
	12／9 金	（実習） 研究プロジェクト 09:00～17:00					
	12／10 土						

令和4年度　Segment6　講義・実習時間割表

		Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅳ	Ⅴ	Ⅵ
		09:00　10:10	10:25　11:35	12:30　13:40	13:55　15:05	15:15　16:25	16:35　17:45
第16週（研究プロジェクト）	12／12 月	(実習) 研究プロジェクト 09:00～17:00					
	12／13 火	(実習) 研究プロジェクト 09:00～17:00					
	12／14 水	(実習) 研究プロジェクト 09:00～15:05				(選択科目) 15:20～16:30 後期 V-12	(選択科目) 16:45～17:55 後期Ⅵ-12
	12／15 木	(実習) 研究プロジェクト 09:00～17:00					
	12／16 金	(実習) 研究プロジェクト 09:00～17:00					
	12／17 土						

令和4年度　Segment6　講義・実習時間割表

		Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅳ	Ⅴ	Ⅵ
		09:00 10:10	10:25 11:35	12:30 13:40	13:55 15:05	15:15 16:25	16:35 17:45
第17週（自宅週）	1／2 月	冬季休業					
	1／3 火	冬季休業					
	1／4 水	冬季休業（最終日）					
	1／5 木	PCR検査					
	1／6 金	（講義） 皮膚粘膜系 6　母斑・母斑症 （皮膚科学　福屋）	（講義） 皮膚粘膜系 7　皮膚良性腫瘍 （皮膚科学　福屋）	（講義） 国際コミュニケーション 国際環境に関する英語レクチャー （国際環境・熱帯医学　坂元）（統合教育学修センター（基礎教育学）遠藤）	（実習） 脳神経系1,脳神経系2,聴覚・耳鼻咽喉系,眼・視覚系,運動器系 4　臨床実習（4）		
	1／7 土						

令和4年度　Segment6　講義・実習時間割表

		I 09:00 10:10	II 10:25 11:35	III 12:30 13:40	IV 13:55 15:05	V 15:15 16:25	VI 16:35 17:45
第18週（登校週）	1／9 月	成人の日					
	1／10 火	(講義) 眼・視覚系 18　緑内障(2) (足立医療センター眼科　須藤)	(講義) 眼・視覚系 19　水晶体疾患 (足立医療センター眼科　須藤)	(講義) 精神系 25　精神科の診察法 (精神医学　高橋)	(実習) 脳神経系1,脳神経系2,聴覚・耳鼻咽喉系,眼・視覚系,運動器系 5　臨床実習(5)		
	1／11 水	(講義) 聴覚・耳鼻咽喉系 17　咽喉頭・頸部の解剖・生理 (耳鼻咽喉科学　野島)	(講義) 眼・視覚系 22　眼科検査 (八千代医療センター眼科　荒川)	(講義) 精神系 19 摂食障害およびアルコール・物質関連障害 (精神医学　赤穂)	(講義) 聴覚・耳鼻咽喉系 18　咽喉頭の感染症疾患と異物・気管切開 (足立医療センター耳鼻咽喉科　余田)	(選択科目) 15:20～16:30 **後期 V-13**	(選択科目) 16:45～17:55 **後期VI-13**
	1／12 木		(講義) 聴覚・耳鼻咽喉系 12　感音難聴・めまい疾患(1) (耳鼻咽喉科学　草間)	(講義) 聴覚・耳鼻咽喉系 13　感音難聴・めまい疾患(2) (耳鼻咽喉科学　草間)	(実習) 臨床系実習 精神系 ②心理教育 (精神医学　井上、辻)		
	1／13 金		(講義) 聴覚・耳鼻咽喉系 19 味覚・口腔疾患・唾液腺非腫瘍性疾患 (耳鼻咽喉科学　山村)	(講義) 眼・視覚系 15　ぶどう膜疾患(2) (眼科学　内村)	(実習) 脳神経系1,脳神経系2,聴覚・耳鼻咽喉系,眼・視覚系,運動器系 6　臨床実習(6)		
	1／14 土						

令和4年度　Segment6　講義・実習時間割表

		Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅳ	Ⅴ	Ⅵ
		09:00　10:10	10:25　11:35	12:30　13:40	13:55　15:05	15:15　16:25	16:35　17:45
第19週（登校週）	1／16 月	（講義） 精神系 27　精神疾患の基礎医学的知識 （精神医学　押淵）	（講義） 精神系 18　統合失調症 （精神医学　村岡）	（講義） 運動器系 18　脊柱疾患(1)（頸椎） （整形外科学　水谷）	（講義） 運動器系 19　脊柱疾患(2)（胸椎・腰椎・仙椎） （整形外科学　水谷）	（講義） 運動器系 20　脊柱疾患(3)（胸椎疾患と脊柱側弯症） （整形外科学　水谷）	
	1／17 火	（講義） 聴覚・耳鼻咽喉系 22 喉頭疾患(音声・嚥下障害)（1） （八千代医療センター耳鼻咽喉科　三枝）	（講義） 聴覚・耳鼻咽喉系 23　喉頭疾患(音声・嚥下障害)（2） （八千代医療センター耳鼻咽喉科　三枝）	（講義） 精神系 23　認知症(痴呆) （脳神経内科学吉澤）	（実習） 脳神経系1,脳神経系2,聴覚・耳鼻咽喉系,眼・視覚系,運動器系 7　臨床実習(7)		
	1／18 水	（講義） 眼・視覚系 21　全身疾患と目 （眼科学　長谷川）	（講義） 精神系 26　リエゾン精神医学 （精神医学　西村）	（講義） 皮膚粘膜系 8　皮膚血流障害と血管炎 （皮膚科学　石黒）	（講義） 皮膚粘膜系 9　皮膚悪性腫瘍 （足立医療センター皮膚科　田中）	（選択科目） 15:20～16:30 **後期 V-14**	（選択科目） 16:45～17:55 **後期Ⅵ-14**
	1／19 木		（講義） 聴覚・耳鼻咽喉系 15　鼻腔の解剖・生理(嗅覚) （耳鼻咽喉科学渡邊）	（講義） 精神系 24　精神科治療：精神療法 （精神医学　辻 ）	（講義） 聴覚・耳鼻咽喉系 16　鼻・副鼻腔疾患・手術 （耳鼻咽喉科学瀬尾）	（講義） 聴覚・耳鼻咽喉系 21　頭頸部良性疾患 （耳鼻咽喉科学稲井）	
	1／20 金	(実習) 研究プロジェクト ポスター発表会					
	1／21 土						

令和4年度　Segment6　講義・実習時間割表

		Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅳ	Ⅴ	Ⅵ
		09:00　10:10	10:25　11:35	12:30　13:40	13:55　15:05	15:15　16:25	16:35　17:45
第20週（登校週）	1／23 月	(講義) 運動器系 25　末梢神経疾患(電気生理を含む) (足立医療センター　整形外科　山本)	(講義) 運動器系 26　体幹の外傷(脊椎・脊髄外傷を含む)・治療 (足立医療センター　整形外科　山本)	(講義) 精神系 22　精神科治療：社会療法および社会援助システム (精神医学　辻)	(講義) 運動器系 10　小児の外傷・運動器疾患 (整形外科学　宗像)	(講義) 運動器系 27　股関節疾患 (整形外科学　宗像)	
	1／24 火	(講義) 眼・視覚系 20 眼科最先端の診断 (眼科学　丸子)	(講義) 聴覚・耳鼻咽喉系 24　頭頸部腫瘍(1) (耳鼻咽喉科学　中溝)	(講義) 聴覚・耳鼻咽喉系 25　頭頸部腫瘍(2) (耳鼻咽喉科学　中溝)	(実習) 脳神経系1,脳神経系2,聴覚・耳鼻咽喉系,眼・視覚系,運動器系 8　臨床実習(8)		
	1／25 水	(講義) 眼・視覚系 26　眼球運動ならびに複視 (眼科学　高橋)	(講義) 聴覚・耳鼻咽喉系 26　耳鼻咽喉科領域の外傷 (足立医療センター　耳鼻咽喉科　余田)	(講義) 皮膚粘膜系 10　体表面の先天異常と治療 (形成外科学　菊池)	(講義) 皮膚粘膜系 11　自己免疫水疱症・膿疱症 (皮膚科学　山上)	(選択科目) 15:20～16:30 **後期 V-15**	(選択科目) 16:45～17:55 **後期 Ⅵ-15**
	1／26 木	(講義) 運動器系 8　整形外科診断学(身体計測を含む) (整形外科学　猪狩)	(講義) 運動器系 13　上肢関節疾患(肩・肘) (整形外科学　枝重)	(講義) 運動器系 21　膝関節外傷 (整形外科学　岡崎)	(講義) 皮膚粘膜系 12　付属器疾患・色素異常症 (皮膚科学　山上)	(講義) 皮膚粘膜系 13　紅斑症・紫斑 (足立医療センター　皮膚科　梅垣)	
	1／27 金			(講義) 運動器系 14　スポーツと運動器 (整形外科学　桑島)	(実習) 脳神経系1,脳神経系2,聴覚・耳鼻咽喉系,眼・視覚系,運動器系 6　臨床実習(6)		
	1／28 土						

令和4年度　Segment6　講義・実習時間割表

		Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅳ	Ⅴ	Ⅵ
		09:00　10:10	10:25　11:35	12:30　13:40	13:55　15:05	15:15　16:25	16:35　17:45
第21週（自宅週　※一部実習は登校）	1／30 月	(講義) 運動器系 16　骨軟部の腫瘍性疾患 (整形外科学　萩原)	(講義) 皮膚粘膜系 14　角化異常症 (皮膚科学　小林)	(講義) 運動器系 28　筋骨格系の画像診断(1) (画像診断学・核医学　坂井)	(講義) 運動器系 29　筋骨格系の画像診断(2) (画像診断学・核医学　坂井)	(講義) 運動器系 11　骨関節の炎症性疾患・感染症 (整形外科学　矢野)	
	1／31 火	(講義) 眼・視覚系 23　光覚・色覚とその異常 (眼科学　中村)	(講義) 眼・視覚系 24　眼科治療 (眼科学　和泉)	(講義) 眼・視覚系 25　視神経疾患 (眼科学　河合)	(実習) 脳神経系1,脳神経系2,聴覚・耳鼻咽喉系,眼・視覚系,運動器系 10　臨床実習(10)		
	2／1 水	**入学試験**					
	2／2 木	(講義) 皮膚粘膜系 15　薬疹・蕁麻疹・皮膚瘙痒症 (足立医療センター　皮膚科　石﨑)	(講義) 皮膚粘膜系 16　皮膚の真菌・細菌感染症・皮膚結核 (足立医療センター　皮膚科　石﨑)	(講義) 運動器系 22　膝関節変性疾患 (整形外科学　岡崎)	(講義) 運動器系 24　関節リウマチ(類似疾患を含む) (整形外科学　猪狩)	(講義) 皮膚粘膜系 17　熱傷と植皮術 (形成外科学　松峯)	
	2／3 金	(講義) 運動器系 9　外傷学総論 (整形外科学　伊藤)	(講義) 運動器系 15　救急(処置も含む)　四肢の外傷・治療 (整形外科学　伊藤)	(講義) 眼・視覚系 27　斜視・弱視 (眼科学　梶本)	(実習) 脳神経系1,脳神経系2,聴覚・耳鼻咽喉系,眼・視覚系,運動器系 9　臨床実習(11)		
	2／4 土						

令和4年度　Segment6　講義・実習時間割表

		Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅳ	Ⅴ	Ⅵ
		09:00　10:10	10:25　11:35	12:30　13:40	13:55　15:05	15:15　16:25	16:35　17:45
第22週（自宅週　※一部実習は登校）	2／6 月	(講義) 運動器系 30　リハビリテーション(1) (リハビリテーション科　若林)	(講義) 運動器系 31　リハビリテーション(2) (リハビリテーション科　若林)	(講義) 運動器系 32　リハビリテーション(3) (リハビリテーション科　若林)	(講義・ワークショップ) 「至誠と愛」の実践学修 キャリアを考える(10)(11)(12)「医師の多彩な働き方」 (成人医学センター　岩﨑)(学生健康管理室　横田) (解剖学(顕微解剖学・形態形成学分野)石津) (医療法人大誠会若松記念病院　帖佐) (大田区保健所　高橋)		
	2／7 火	(講義) 精神系 28　老年期の精神障害 (足立医療センター　精神科　大坪)	(講義) 運動器系 17　骨代謝と骨系統疾患 (整形外科学　冨永)	(講義) 運動器系 12　手の外傷と疾患 (整形外科学　岩倉)	(実習) 脳神経系1,脳神経系2,聴覚・耳鼻咽喉系,眼・視覚系,運動器系 12　臨床実習(12)		
	2／8 水		(実習) **臨床実習(臨時)** **脳神経系2　振替予定**		(講義) 皮膚粘膜系 18　皮膚のウイルス感染症(AIDSを含む)・梅毒 (皮膚科学　小林)		
	2／9 木						
	2／10 金						
	2／11 土	**建国記念の日**					

令和4年度　Segment6　講義・実習時間割表

		Ⅰ		Ⅱ		Ⅲ		Ⅳ		Ⅴ		Ⅵ	
		09:00	10:10	10:25	11:35	12:30	13:40	13:55	15:05	15:15	16:25	16:35	17:45
第23週	2／13 月					(試験) 13:00-14:30 脳神経系1							
	2／14 火					(試験) 13:00-14:30 脳神経系2							
	2／15 水					(試験) 13:00-14:30 精神系							
	2／16 木					(試験) 13:00-14:30 聴覚・耳鼻咽喉系							
	2／17 金					(試験) 13:00-14:30 眼・視覚系							
	2／18 土												

令和4年度　Segment6　講義・実習時間割表

		Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅳ	Ⅴ	Ⅵ
		09:00　10:10	10:25　11:35	12:30　13:40	13:55　15:05	15:15　16:25	16:35　17:45
第24週	2／20 月			(試験) 13:00-14:30 運動器系			
	2／21 火			(試験) 13:00-14:30 皮膚粘膜系			
	2／22 水						
	2／23 木	天皇誕生日					
	2／24 金						
	2／25 土						

令和4年度　Segment6　講義・実習時間割表

		Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅳ	Ⅴ	Ⅵ
		09:00 10:10	10:25 11:35	12:30 13:40	13:55 15:05	15:15 16:25	16:35 17:45
第25週	2／27 月	(追・再試験) 10:00-11:30 脳神経系1		(追・再試験) 13:00-14:30 脳神経系2			
	2／28 火	(追・再試験) 10:00-11:30 眼・視覚系		(追・再試験) 13:00-14:30 聴覚・耳鼻咽喉系			
	3／1 水	(追・再試験) 10:00-11:30 精神系		(追・再試験) 13:00-14:30 運動器系			
	3／2 木	(追・再試験) 10:00-11:30 皮膚粘膜系					
	3／3 金						
	3／4 土						